

上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係る
アンケート調査報告書（別冊）

令和4年12月
上尾市教育委員会

目次

1. 市民アンケート 問 2-2 学校再編理由	4
必要である(市民アンケート).....	6
どちらかといえば必要である(市民アンケート).....	13
どちらかといえば必要ではない(市民アンケート)	21
必要ではない(市民アンケート)	23
分からない(市民アンケート).....	25
2. 未就学児保護者アンケート 問 6-2 学校再編理由.....	28
必要である(未就学児保護者アンケート)	30
どちらかといえば必要である(未就学児保護者アンケート)	36
どちらかといえば必要ではない(未就学児保護者アンケート)	43
必要ではない(未就学児保護者アンケート)	45
分からない(未就学児保護者アンケート).....	47
3. 保護者アンケート 問 25 学校再編理由	48
必要である(保護者アンケート)	50
どちらかといえば必要である(保護者アンケート)	73
どちらかといえば必要ではない(保護者アンケート)	99
必要ではない(保護者アンケート)	109
分からない(保護者アンケート)	118
4. 教員アンケート 問 7-2 学校再編理由.....	126
必要である(教員アンケート).....	128
どちらかといえば必要である(教員アンケート).....	133
どちらかといえば必要ではない(教員アンケート)	139
必要ではない(教員アンケート)	141
分からない(教員アンケート).....	142

1. 市民アンケート 問 2-2 学校再編理由

(1) 「必要」「どちらかといえば必要」と回答された方の主な理由

①通学に関すること

学校再編は必要と考える一方で、これにより通学距離が長くなり子供たちの負担を考慮する意見や通学の安全性への配慮が必要といった意見が出されている。また、通学区の見直しは必要といった意見も出されている。

②クラス替えできる学校規模（単学級による人間関係の固定化）

多くの人と交流できる環境があるとよい、トラブル・いじめ回避のために人間関係が固定化しないよう、クラス替えができる学校規模が良いといった意見が出されている

③学校規模の適正化（平準化）

市内の学校規模が適正化（平準化）は必要、公立学校の教育は、格差を出さないよう平等・公平であるべきといった学校規模の適正化（平準化）を望む意見が出されている。

④社会性の育成や多様な価値観の形成

社会性の育成のために一定の集団は必要、多くの児童生徒と交流することにより多様な価値観が形成されるといった意見が出されている。

⑤その他

教員や保護者の負担の軽減などの意見が出されている。

(2) 「どちらかといえば必要ではない」「必要ではない」と回答された方の主な理由

①通学に関すること

学校再編により通学距離が遠くなるのではないかという不安の声が出されている。また、通学距離が遠くなることにより、子供の通学の安全性への懸念や子供の負担の増加を心配する声が出されている。

②学校規模の偏りの許容

大規模校と小規模校のメリットデメリットは一長一短である、学校間で偏りがあることに問題を感じないなどの意見が出されている。

③その他

小規模校の良さを生かす意見や、地域事情への配慮を求める意見も出されている。

(3) 学校再編の是非【単数回答】(n=1044) (上段：実数、下段：%) ※報告書本編より

全 体	問2-1 学校再編の是非					
	必要である と思う	どちらかとい えば、必要 であると思う	どちらかとい えば、必要 ではないと思 う	必要ではな いと思う	分からない	不 明
1044	350	416	75	56	136	11
100.0	33.5	39.8	7.2	5.4	13.0	1.1

(4) 学校再編の是非の理由まとめ (注：Nは出された意見の数)

①「市民」学校再編
「必要」理由(N=266)

意見項目	単位：%
人間関係の流動化	11.3
通学	9.8
平等・公平	9.8
学校規模の平準化	9.4
社会性の育成	6.0
教員	5.3
財政	4.9
教育格差	4.5
先生の日	4.5
多様な価値観の形成	4.5
能力向上・刺激	4.5
部活や学校行事への懸念	4.1
その他	21.4

※4%以下は、その他に計上

②「市民」学校再編
「どちらかといえば必要」理由(N=294)

意見項目	単位：%
通学	19.4
学校規模の平準化	13.6
人間関係の流動化	13.6
平等・公平	7.5
教員	5.4
教育格差	4.1
社会性の育成	3.7
先生の日	3.4
多様な価値観の形成	3.4
能力向上・刺激	3.4
その他	22.4

※3%以下は、その他に計上

通学に関することが最も多く(①9.8%、②19.4%)、次いでクラス替えなど人間関係の流動化に関すること(①11.3%、②13.6%)、学校規模の平準化に関すること(①9.4%、②13.6%)や平等・公平に関すること(①6.0%、②7.5%)、社会性の育成(①6.0%、3.7%)や多様な価値観の形成(①4.5%、②3.4%)が多くなっている。

③「市民」学校再編
「どちらかといえば不要」理由(N=77)

意見項目	単位：%
通学	37.7
小規模校の良さを生かす	10.4
偏りを許容	10.4
地域事情への配慮	7.8
検討の進め方	5.2
一長一短	5.2
クラスの人数	2.6
少子化	2.6
現状維持	2.6
先生の日	2.6
地域とのつながりが必要	2.6
廃校への懸念	2.6
クラス数	1.3
学校規模の平準化	1.3
財政	1.3
子どもの負担軽減	1.3
時代に合わせた教育環境の整備	1.3
平等・公平	1.3

④「市民」学校再編
「不要」理由(N=49)

意見項目	単位：%
通学	40.8
偏りを許容	14.3
クラスの人数	6.1
現状維持	6.1
小規模校の良さを生かす	6.1
学校規模への懸念	4.1
学校規模の平準化	2.0
居住地選択理由	2.0
教員	2.0
子どもの負担軽減	2.0
地域とのつながりが必要	2.0
廃校への懸念	2.0
その他	10.2

通学に関することが最も多く(③37.7%、④40.8%)、次いで偏りを許容に関すること(③10.4%、④14.3%)、小規模校の良さを生かすこと(③10.4%、④6.1%)や地域事情への配慮(③7.8%)などに関するが多くなっている。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模校に通う生徒は、人間関係などでトラブルがあった場合不登校になってしまうリスクが高くなるのではと思うから。多くの友達とかかわり、様々な経験を積んで学生生活を過ごしてほしい。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模校では、クラス数が少ないことで人間関係が固定され、交流や関係性が広がらず、成長期においてクラス数が多い方が、たくさんの人と関わることで、経験や心が豊かになると思う。クラス数が少ないと、慢性化されて人間関係が息づまってしまうことがある。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスの小規模な学校では、人間関係が固定され何か問題が生じた時に初＝が遅れる可能性があるなど思いました。※「＝」:判読不明文字
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスで6年間は、子供にとっても良くないと思う人間関係が心配
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスだと仲が良い子と悪い子がはまりしてしまいそれが6年間続くとよくないと思います。
人間関係の流動化		同学年の交流を広げる為1クラスしかない学年ではなく、一定規模(均等)の集団になるよう再編するべき、クラスがえは心身共に、成長する。
人間関係の流動化		同クラスのお子さん同士、クラス替がほとんどなく数年も同クラスで他児との関わりがないことが良い印象がない為です。
人間関係の流動化		人数を多くすることによる他者との交流の増加(クラス替えにより色々な同級生とのつながりが増える)が期待できると感じる
人間関係の流動化		自分自身や我が子達が育った時、児童数が最大値の頃だったが、他のクラスとの交流や、クラスでの行事などで、子供達は大きく成長したと思っています。子供の数(家庭内でも)が少ない今、出来るだけ多くの人との交流は成長にとってとても重要なことだと思います。
人間関係の流動化		自分が自分であることを自覚するために多くの人と接することが必要であると思います。
人間関係の流動化		学校は人間関係を学ぶところである。その人間の数が少ないと、学ぶ機械が少なくなる。社会に出た時に、たくましい人間になってほしいのである程度人数の学校社会で、様々なことを経験してほしい
人間関係の流動化		たくさんの人と接してほしいから
人間関係の流動化		席替、クラス替は一大イベントのひとつ、この時順応することが、成長のひとつになる
人間関係の流動化		1学年1クラスの場合卒業まで1クラスの状態となり多くの児童と接する機会が少なくなる
人間関係の流動化		1学年1クラスでは進級時のクラス替えという経験もできず人間関係づくりが学べないのでは…。
人間関係の流動化		1学年1クラスでは学年内での変化が乏しいクラス替えは必要だと思う。
人間関係の流動化		1学年1クラス20人前後の学校にいましたが、人との関わり方が固定してしまったり、いろんな人の中から、気の合う人を探す事が困難だったから、それと先生の指導も、個人的な感情があったり、他の先生にわかりにくい閉鎖的な感じがして、信頼できなかつたから。
人間関係の流動化		1.同窓生を増やす事による一生のつながりの向上。2.長期に渡る地域への貢献(同窓生)3.地域社会での住環境の向上及び犯罪等の抑止4.顔見知りによる協調意識等の向上及び市の人材づくり。(幼なじみの構築)5.“ふるさと”上尾づくり。
人間関係の流動化		・学校の規模に偏りが生じる事で、人間関係でのコミュニケーションや自分の心の開ける友人との出会いが出来ると思うので必要だと思う。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	トラブル・いじめ回避	学校の規模に偏りがあると、行事を行う時や、計画を進める段階で生徒数や学校の規模で違いが出てしまう。少人数の規模は、きめ細やかな指導が可能な反面、いじめ等の問題が出た場合の逃げ場も無い為、適正化が必要と思う。
人間関係の流動化 能力向上・刺激	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスではクラス替えもできず、いじめ等の問題があっても対応できない。多くの友人に恵まれる機会がない 競争意識も植え付ける必要がある。
人間関係の流動化 先生目	トラブル・いじめ回避	小規模校では、皆が顔見知りで、仲間づくりが大規模校よりしやすいかも知れないが、クラス替えもほぼ無く、相性の合わない子とも6年間(3年間)離れられない、といった、子供にとっては大切な問題が生じる。大規模校では、子供一人一人に目がゆき届いているのか、子供自身も親も不安に思う人が少なからずいると思う。
人間関係の流動化 財政	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスというのは、イヤなことがあっても、6年間、がまんを強いられると思う。子供にはコナなことだと思う。今の学校は空き教室も多いと聞いている。経費さくげんを考えるとムダに出さない。今後少子化が解消しようされることは非常にむづかしいと思うから。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念		小規模校の場合、人間関係や行事活動などの範囲が限られてしまう。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念		・交友関係が限定されてしまうため。(小規模だと…)また、学校行事なども盛り上がらない。・中学校だと部活動の人数に差が出たり、人数が少なく部活動が廃部になり選択肢がなくなってしまう。
通学	通学の安全性	通学路の安全性も見直し必要
通学	通学の安全性	子供たちの通学に安全のため。
通学	通学の安全性	学校、家庭、地域、教育委員会が一体となり通学の安全を確保することを優先し、市民に対し丁寧に説明できることを願っています。
通学	通学の安全性	以前谷津に住んでおり子供達は富士見小に通っていた。校区外からの越境生徒がたくさんおり人数が多いため。子供1人1人に目が届いていないように思えた。毎日、母親が自動車ですぐ登校させていた人もいた。また、自宅の目の前に西小があるのに富士見小へ通わなくてはならない子や、春日(北上尾に近い)から歩いて通う子供もおり低学年など体力的にかわいそうに思えた。

必要である（市民アンケート）

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
通学	通学区域の見直し	通学区域の分け方にもっと自由であってほしい(道一つへだった、だけで遠く巡行っている現状がある)
通学	通学区域の見直し	通学区域の見直しは今まで実施されており今後も必要を思う
通学	通学区域の見直し	人口増加(減少)も地域により差があり、通学区を見直す事によって、学校統廃合も仕方がない。
通学	通学区域の見直し	時代に沿った通学区域の見直し等は必要であるため。
通学	通学区域の見直し	見直しをしないといつまでも変えられない兄弟が通っている限り同じ学校に通わせる人が多い最高学年のみで下の学年は振り分けた方がよい
通学	通学距離重視	地理的状況を配慮し一地区に統合する学校は二校位にしたら何如でしょうか一地区に3校や4校を統合すると通学距離の問題が発生すると思います
通学	通学距離重視	自分の近くにある学校に行くのが一番大事その為には問2-1の※1は必要。
通学	通学距離重視	区域により小学生の足で20分～30分かかかったり、もう少しバランスよくなりませんが。
通学	スクールバス	見直しにより、通学時間が長くなる、遠くなる問題がありますが、スクールバスを採用すると良いと思います、通学時の事故や事件も減って、統廃合で経費も浮くと思うので、その分バスの運営費にできるのではないのでしょうか。
通学 平等・公平	スクールバス	教育レベルの平準化通学方法についてフォローが必要(通学バス等)
通学 学校規模の平準化	スクールバス	1カ所に集中させるより、分散させた方が教員も余裕をもって指導できる環境になると思う。(教員に余裕がなければ良い教育もできない。)遠い場合はスクールバスなどあっても良いかもしれない。
通学 多様な価値観の形成	通学の安全性	グローバルな社会を生きていくうえで“学校”という社会から集団の多様性を身につけていく事が重要だと感じます。(色んな地域の人が集まるコミュニティとして)ただ・・・通学路の問題等のみ心配
通学 その他	通学の安全性 地域事情への配慮	各地域の土地の用途の種類その他、将来人口の予測や学校施設の耐用年数等を考慮して学校の統廃合を検討すると共に通学時の安心安全を確保しながら通学区域の見直しも必要不可欠な課題と思う。
通学 人間関係の流動化	学校選択制	近い遠い関係なく、自分の生きたい学校を選べる様にしてほしい。人間関係もリセットできる。
通学 学校規模の平準化	学校選択制 通学距離重視	学校規模を適正化する事も大切だと思いますし、昔からの学区を見直し、通学の距離もしっかり見直した方がよいと思います。近くに学校があるのに、決められた学区のせいで、遠くまでかよわなければいけない家庭もあると思います。せめて、2カ所位から選べれば良いのになと思っています。☆親の通勤の都合上、他の学校が良い場合などもあると思います。
通学 時代に合わせた教育環境の整備 学校規模の平準化	通学の安全性	学校規模によつてのよい点がそれぞれあると思いますが、私は学校再編は必要だと感じています。学校統廃合は反対する方も沢山いると思いますが、これから上尾市で子供たちに即した学びの場を考えてほしい。また、通学区域の見直しも安全第一であることも大事である。
平等・公平		偏りを無くす事は大事と思う為
平等・公平		偏りをなくしてほしいから
平等・公平		全ての子供達に極力平等な環境にする為
平等・公平		小中学校は人間形成の基を創生する場であります。誰もが平等な環境の下で平等に教育を受ける必要があります。
平等・公平		出来る範囲で再編した方がよい片寄があると不平等(公平でない)
平等・公平		児童に均一な指導や配慮が行なわれるために必要であると思う。
平等・公平		子供達は、同じ質の教育を受けさせるべきだ。
平等・公平		子どもたちの学ぶ環境が平等であるようにするべきだと思うから。
平等・公平		公平を保つため
平等・公平		義務教育は皆平等に受ける権利があると思うからです。
平等・公平		学習面、生活面、財政面、運営面(参考資料P.3)を平等にすることが必要であるとするため。
平等・公平		学習の機会はできるだけ平等にしてほしいので。
平等・公平		学校内の環境・設備において、生徒数が多い学校と少ない学校では待遇に違いがある様に思えます例えば、過去の話ですが、大規模学校の場合教室の数が足りずプレハブ校舎などを立て、そこで授業を行っていることもありました。
平等・公平		学校規模に偏りがあるのは公平ではない。
平等・公平		バランスをとれた教育、片よりのない教育が必要と思う
平等・公平		バランスをとることは、小学校も必要ではないのでしょうか。
平等・公平		できる限り同じ様な教育環境をあたえてほしい。
平等・公平		スポーツ等の大会やイベント等への出場機会が平等に与えられる事。格差の無い学校生活を送れた方がよいと思う。

必要である（市民アンケート）

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
平等・公平		☆学校規模に偏りが生じている為
平等・公平		・規模の偏りにより、受ける教育等に不平等差が生じるのでは、ないでしょうか。
平等・公平 その他		・限られた公共財産を有効に活用するため。・人生100年時代、老後の生きがい作りの場所として活用するため。・通学の大変さはあるだろうが、平等な教育環境の必要性から。
平等・公平 教員 学校施設	利用頻度 負担軽減	生徒1人当たりに対する教育密度を適正にする必要がある。また、教員の負担や校舎の規模や許容量にも問題を生じるため。
学校規模の平準化	中一ギャップ	少数の学校と多数クラスの学校が1つの中学校に集まった時に起こりうるトラブルの未然解決のため。
学校規模の平準化		複数クラスのある学校でクラス替えが行われている意義からすると、1クラス(単)は望ましくない
学校規模の平準化		福祉施設にも言えるのですが、大きすぎると、合理的、効率的のように思いますが、全く逆です。管理に死角が生じ、事件や事故が増えます。
学校規模の平準化		標準程度に近づける様に、スクールバスを利用し1学年の人数を増やし 学校生活を豊かに(友人作り・協調性の学びなど)出来る様に再編出来れば良いと思う。
学校規模の平準化		大規模も小規模もそれぞれメリット・デメリットがあるので、その差をできるだけ縮めるため、なるべく標準化した方がよいと思う。
学校規模の平準化		生徒数は多すぎても、少なすぎても。子供達の教育環境に影響があると思う
学校規模の平準化		生徒数にたよるのではなく、平均化する努力が必要である
学校規模の平準化		人数が多くないとできないことがたくさんあると思います。
学校規模の平準化		少子化をみすえ児童・生徒が集団の中で、自から判断し決断し得る為には程度の規模が必要である。
学校規模の平準化		小規模校は閉校すべきである。
学校規模の平準化		自分が小規模の学校で育ちました。大規模では、できないこと等が沢山あったような気がします。ある程度の人数でもたちにはのびのび育てほしいと思います。
学校規模の平準化		児童生徒数が減少している中、子供達の健全な成長のためには学校再編は早急に必要なことだと思います。
学校規模の平準化		市内の学校を適正規模に再編することにより、規模によるメリットが標準化されるのではないかとと思うから。
学校規模の平準化		子供にとってクラスが少なすぎても、多すぎても良くないでしょう。区域を見直して解消出来るので、あれば大人かより良い環境作りをめざすのはあたり前の事、良い環境から、良い精神が育つ基本です。
学校規模の平準化		参考資料にある通り、それぞれメリットがあると思いますが、規模の偏りをある程度なくすほうがよいと思います。時代の流れとともに、地域の形(人口、年齢層)が変わっていると思うので。
学校規模の平準化		教育のばらつきに撃がるため、学校再編は必要と思う。(1教師に対してみれる子ども人数)。
学校規模の平準化		学校規模を適正にする事が必要であると感じている為
学校規模の平準化		学校規模の適正化は必要である。学校統廃合はぜひ実施するべきである。
学校規模の平準化		学校の規模が偏りすぎている。
学校規模の平準化		学校の規模が適正な方がよいと思います。
学校規模の平準化 先生目		小中学校の時は、児童、生徒の持つ個性を生かし良い面を伸ばし基礎を築く時であると思われるので、一人一人に目を行き渡らせ将来に向けた教育指導、人間形成を行う大切な過程の時であると思われるからです学校再編により一定の集団のもとの偏りを無くし適正化は必要と考えます
社会性の育成		大ぜいの友達とのかかわりの中で人間性協力性等を学んでゆく。
社会性の育成		他人との協調性等を学ばせる
社会性の育成		人間関係を形成するにはある集団が必要と思う
社会性の育成		人とかかれなければならない、思考を学べない。
社会性の育成		上尾市は、面積が広い為、偏りがあります、1学年1クラスは、1つの小さな社会が6年間ずーと続くのでいい時もありますが、学校生活は、もう少し大きな集団の方が色々な意見が出て良いと思います
社会性の育成		小学校の子供の成長期には、ある程度友達との交わり等が必要だと思います。将来の人間関係の下地になると思います、現代は「ITの時代」ですが人と会話をする事が大切です。
社会性の育成		集団生活により、人に対する思い遣りや労りの心を養う事が出来るのでは、と、思います。
社会性の育成		集団のもので気づかされたり学ぶ事があると思います。
社会性の育成		集団のねで学び、生活することが社会生活の基になると考えるから。
社会性の育成		社会性を育む為に1学年3クラスが理想だから。
社会性の育成		子供時代に多様な人々と交流、協力することは必要なことだと思うから。協調性が身に付くと考えられるから。
社会性の育成		参考資料にも有ります様に、豊かな人間関係多様な集団形成が必要だと思います、小家族世帯が多い昨今でするので集団生活は、子供達にとって、良い勉強だと思います。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
社会性の育成		義務教育の社会性、子供の社会空間への順応性の取得
社会性の育成		クラス替えが出来る人数は、必要だと思います。新しい担任、新しい友達、その中で色々と教わり、鍛えられていくような気がします。ただ、私のような初老の意見より、子供たち、父兄の意見の方が重要かと。
社会性の育成		ある程度の集団は必要だと思うから。
教員	負担軽減	小規模な学校では、生徒数に合わせて先生の人数も少なくなってしまう。教員一人一人の負担が増えてしまったり、学校自体の運営さえ難しくなってしまうリスクもあるので、生徒数が極端に少ない教育現場は減らすべきと思う。
教員	負担軽減	教師の負担軽減
教員	負担軽減	これを横に、教員の働き方改革を進め、真にゆとりある学校教育を実現して欲しい。時間・人材・体力の余裕が子供の成長のリソースになると思う。
教員 先生の日	負担軽減	・クラスが多い場合眼が行き届かない・教師の負担
教員	質の向上	きめ細やかな指導教育が必要であり、教職員の質の向上が最も大事。
教員	数の不足	児童数に適した教職員の配置がより可能になるものと思います。
教員 人間関係の流動化	数の不足	教職員数の適正化や合理化適度なクラス替などが行いやすい
教員 時代に合わせた教育環境の整備	負担軽減	○児童、生徒数が減少傾向であり、バランスのとれた教職員の配置が行いやすい。○多様な学習・指導形態をとりやすい。
教員 平等・公平	負担軽減	先生方の負荷、均等な学習、を考えて。
教員 教育格差	負担軽減	小規模校と大規模校とでは先生方の業務量に違いがありそうで、ひいては子どもたちひとりひとりへの教育の質に差が出てくるのではないかと。学校規模を均一にして先生方の負担を減らすことができればひとりひとりに行き届いた質の高い教育ができそう。
教員 先生の日	負担軽減	教員の負担軽減ときめ細かい教育の充実の為
教員 教育格差 平等・公平	質の向上	子供がかなり前ですが通っていた小学校は子供が多くプレハブの建物の教室がありました。楽器がこわれていて使えなくそのままの状態でした。格差がありすぎます、駅に近い学校はとの差が大きいです。先生もヒステリーの先生がいて小1の頃イスを倒したりとおどろく様な状況でした
教員 通学 保護者の負担 クラス数	質の向上 通学の安全性 PTA	学校規模によるメリットを見たが、大規模学校でも大石小学校のような1000人の学校にもなると、メリットになるような所があまりなくなる。多様な考え方にふれ切磋琢磨とあるが人が多すぎて落ちつかず孤独感が増す。小学6年間で見たことない子がいるくらい人数多くて豊かな人間関係は構築できない。教職員も子供に対して友達感覚の対応をする職員がいて雑な扱いを受けた→陰キャの○○と先生から授業中に暴言をいわれた。子供はひどくきずついた。PTA活動は、ひとつの委員会の人数が多いため委員長になると負担がとて大きい。他にも色々あるがなんといっても藤波3丁目から大石小までの通学は、1年生だと片道1時間かかり、真夏など生命にかかわるほど大変。しかも朝のパトロールも、人が少ないため手薄、冬はゴルフ場の所が闇。
財政		子供の数が減っています。統廃合して無駄な人件費等がかからないようにすべきです。
財政		財政無駄なく新しい教育環境を作る
財政		財政負担の軽減施設の効率運用
財政		効率の悪い学校を減らすため。
財政		教育を受ける側の利便性と公金を使うのであるから効率性とのバランスを取るべき、と思います。
財政		学校運営費用削減の為。
財政 その他	検討の進め方	人口減少、財源不足という背景を考えると学校の統廃合は、※少子化必要であると考えます。老朽化した校舎を無意味に保持する事は費用の不推も大きいと考えます。少子化を背景に、しっかりとした教育目標、学校経営方針を打ち立て新しい学校再編を一刻も早く実現して欲しいと願います。
財政 平等・公平		学校施設の老朽化による建替え問題による経費の削減及び規模の大小による、教育内容の均等化、平等性を考え、学校再編が必要と考える。
財政 教育格差		・経費の見直し、削減 ・教育レベルのバラッキ解消
財政 教育格差 社会性の育成 部活や学校行事への懸念		学校規模の偏りは学業面やスポーツ面において公平性が失われ、人格形成においても多少なりとも影響を及ぼすと思います。また再編することにより設備面においても、無駄がなくなる。
教育格差		中学校に上がり、地域による偏差値格差が、大きいことを知りました。学校の規模から、偏りをなくしていくべきと考えます。
教育格差		中学校でも大規模、小規模で比べると明らかに学力、体力差が出て高校受験に大事な内申点に影響があり、子供の進学において大問題である。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
教育格差		参考資料3ページの学校規模のメリットを見ると、小規模化と大規模化にはそれぞれメリットがあることがわかった。しかし、学校規模に偏りが生じていることで、それぞれのメリットを享受できる子どもたちとできない子どもたちが出てしまう。この格差を解消させるためにも、学校規模の適正化が必要であると考えられる。
教育格差		規模の偏りにより、児童の学習生活の機会の偏りが生じることを避けることは必要と考えられるため。
教育格差		学校規模の偏りが解消されれば全ての児童生徒に行き届いた教育ができるのではないかと
教育格差 先生の間		職員(教員)と児童の対比が豊かになれば、何となく周囲に合わせ過ぎているけれど、実は分かっている子などが、減らしていけると良いと思うから。学校ごとに児童に対する手厚さが違ってはいけないと思うので。
教育格差 部活や学校行事への懸念		学校規模に偏りがあると、学校行事やクラブ活動などで、同じ条件で学べないのではないかと。思う。
先生の間		先生の間が行き届かない。(生徒数が多いと…)公平な教育を望みます。
先生の間		小規模校と大規模校の差が5倍であり、児童が目が届きにくく、指導等が、出来にくいと思われる為。
先生の間		一人一人の子供に目が届きやすい
先生の間		・能力に合わせた各授業の区別その授業におけるクラスをわけて子供の能力を引き上げる、おちこぼれがない学校を目指す
先生の間 通学	その他	・子どもの数が多すぎて、教師の目がいきとどかない・通学路に面してるのでけっこう迷惑
先生の間 人間関係の流動化		小規模な学校の良いところは目のいき届くところかもしれないが、クラス替えがない分、友達の輪が広がったりしないと思う。
先生の間 人間関係の流動化 保護者の負担	届かない トラブル・いじめ 回避	小規模すぎでは、クラスになじめない、いじめなどの問題が生じた場合、逃げ場がなくなってしまう。保護者の負担が大きい。または保護者と教師・学校との関係が片寄ってしまう。大規模では教師の負担が増し、目が届かない、個人の能力の差が大きい時期なので、能力に合った指導ができない。
多様な価値観の形成		勉強ができることは良いと思う。しかし「勉強ができる」「頭がよい」だけで「生活能力がない、臨機応変がきかない」などから、失敗をおそれ自己肯定感がひくく…自分に自信が持てずに死を選ぶ人が多いと感じる。だからこそ、心も身体もたくましく生きる子どもの育成が必要だと感じる
多様な価値観の形成		沢山のひとと触れあうことで広い視野をもてるようになると思う。
多様な価値観の形成		多くの生徒と交流することにより多様性が生まれると思うため。
多様な価値観の形成		人間は集団生活を抜きにして人生をおくる事は出来ない、多様な人間を見る力を付けるには、少人数より、多人数の方が良い。
多様な価値観の形成		小規模より、大規模の方が、多様性があり、刺激がある為、自分自身の置かれた環境や、孝之方を深く考える機会が、増すと。思う。
多様な価値観の形成 能力向上・刺激		集団生活での規則や多様な人々の存在を知ってほしい。勉強面でも競いあい学力向上出来れば良い。
多様な価値観の形成		社会も多様化しているので、それに対応していく能力が今後必要し、なるから
多様な価値観の形成		子供達ひとり一人が偏りのない多様な体験を通して各自の経験として積み重ねて欲しい。
多様な価値観の形成 部活や学校行事への懸念		・適正な規模の集団で活動する事で、様々な考えを知ってほしい。・部活動の活発化。
多様な価値観の形成 人間関係の流動化		子どもは多くの周囲の子ども達と接することで色々なことを学び身につけて自分というものを確立して成長していくと思う。先生方もそれぞれ価値感が違うので多くの先生から学ぶことも大きいと思う。
多様な価値観の形成 部活や学校行事への懸念 財政		学校行事の活動に活気が生ずる、多様な集団形成出来る、経費が少なくなると思う
能力向上・刺激		友達と協力することやクラス対抗などでクラスのみんなと協力することを学べると思うから。
能力向上・刺激		通学の距離の問題もありますが再編する事により子供達の相互啓発が見込める。勉強、スポーツ、人間関係
能力向上・刺激		多人数の方が様々な刺激を得られる。
能力向上・刺激		人として生きていく上で環境は大切であると思います人を敬う心いたわる心、競いあいより向上していく心、等、いろいろな考え方がある等、相子の気持ちを受け入れる又は、思いやる心、等、いろいろあります適正な人数で子供達が楽しく切磋琢磨できればよいと思います
能力向上・刺激		小規模校はなくし、最低2クラスがあった方が、子供達も勉強に運動に頑張れるのでは。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
能力向上・刺激		出生数が年々減っていて今後更に加速する事は周知の事実。30年後を見据えた…など、もはや悠長な事言っている段階ではなく、早急に統廃合に向け実行すべき段階。1学年1クラスの良さもあると思うが、競争無くして成長は無い。これからの社会情勢を見据えると大規模な環境で切磋琢磨することが望ましいと考える。
能力向上・刺激		子どもたちの心身・学力向上のために。
能力向上・刺激		学校規模を適正化し、子供の育成をはかることが何よりも大切
能力向上・刺激		1学年1クラスは協調性や競争心を養う上でも良くないと思う。又、教員のけんせい機能も働かなくなり良くないと思う。
能力向上・刺激 その他	検討の進め方	上記の説明の通り、一定規模の集団行動の中で切磋琢磨することで得るものは沢山あります。日本の未来にむけて、グローバル社会を生きぬく力を小さいときから育成することは大切です。それらの為にも必要であると思います。再編によりリスクが生じた時の対応をしっかりと検討、実行することも大切です。将来にむけて子供達が快適な学校生活をおくれますことを願っておりますと共に一層の学校教育の発展を心より希望しております。
部活や学校行事への懸念 通学	通学区域の見直し	・特に中学校では入部したい部活がなかったりする・通学区域の見直しはするべき。
部活や学校行事への懸念		生徒数が多くても少くてもよくないと思う。学校行事をするにしてもあまり少ないと思う様に出来ないと思う。
部活や学校行事への懸念		学年のクラスが多い方が運動会など行事が楽しいと思うので
部活や学校行事への懸念 教育格差 その他	地域事情への配慮	やはり人数が大幅に達うと、学力格差や部活動などの選択制限の問題が生じると思う。全てにおいて“平等に”とは難しいとは思いますが、時代や地域の戸数の変化などには対応していく必要があると考える。子どもたちの教育環境が少しでも良くなることを願うため。
クラスの人数 通学	通学区域の見直し	・今まではどうしても通学区域の区別けに無理が生じる場所もあったと思います。簡単ではないと思いますが見直してもよいと思います。・1クラス小人数。今でも昔より小人数だと思えますが教師の不足も考えないといけません理想はあります。
クラスの人数		人数が多いと、授業についていけない子供もいるので、先生が確実にみれる人数にした方がいいと思います。
クラスの人数		少数クラスの方が、クラスとして、まとまりやすいのでは又、父兄同志のコミュニケーションもできる。
クラスの人数		少人数クラスが必ずしも悪いとは思いませんが、集団生活の中での協調性や全体の意見のまとめ方、皆(大勢の)の前での発表等々、学ぶべき事や、経験はよりメリットがあるように思います。
クラスの人数		小規模化(少人数)1クラス30人。・生徒全員がチームワークを作りやすい。(目標など達成に向けた)・思いせりが深まりやすい、男女友に学べる・生徒全員の個性がわかりやすい。・親しみやすさが生まれる。思い出が深まる。
クラスの人数		小規模な環境でひとり、ひとり目が届くようにした方が良いと思うから
クラスの人数		子供達が、のびのび勉強するには、30人位のクラスが良いと思う。統廃合により、理想的な学校作りが必要と思う。
クラスの人数		教員も子供達もある程度一定した余裕の基での環境がよいと思う。ゆき届いた教育をめざす事に繋がるのではないかと思います。
クラスの人数		クラス人数を平均にして児童、学生の生活を考えてもらいたい。
クラスの人数		1クラスの人数を20名くらいにしてみても。
クラス数 その他	少子化	今後も生徒・児童数の大幅な増加は見込めない。その為、通学区域を見なおして統廃合を実施すべきである。小学校は6クラス、中学校は8クラス程度が妥当。小学校は2年に1回、中学校は毎年クラス替が必要。
クラス数 その他		1学年1クラスは少ない。(個人的に)尾山台小学校地に中学校を建ててほしい。
時代に合わせた教育環境の整備		社会の状況、子供達の環境が変わってきているのでそれに対応した学校の対応が必要だと思う。
時代に合わせた教育環境の整備		建物も老朽化しているし、小供の人数も減少しているし、インターネット時代だから未来ある技術を導入して活用し、学習してほしいです。
学校施設	利用頻度	小規模～適正規模校では教室を2つ使っている(図工など別教室)学校もあると聞いた事があります、娘は大石小・中学校だったため、9年間教室内に生徒がぎゅうぎゅうずめでプレハブ教室(中学)を利用したりと余裕がなかったため一をうらやましく思っていました。
学校施設 学校規模の平準化	使用頻度	規模(児童・生徒数、教員数)や施設内容(専門教室、体育施設、IT環境など)の面で上尾市の中に学校間格差を生じさせないことが望ましい。
その他 学校施設 通学	通学の安全性 空き教室	通学路のみなおし 少子問題で近年さわがっていますが、あいている教室の使い方、共働きの家族等地域のみなおしが必要。年配の人が元気をもらえる子供とのふれあいを。
クラス数		教師不足とか多忙で目配届かずにならない程度のクラス数。
その他	少子化	少子化問題で、学校再編は必須であろうと思う。
その他	少子化	子供の人数も少なくなっている、私の地域にも3校の小学校がある。学校を統廃校にするこも仕方のない事ではないか!!

必要である（市民アンケート）

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
その他	少子化	子供が少なくなっているから
その他	少子化	子をもつ女性が入りつつある現代。より、子を増やせる場所をつくるべき。
その他	少子化	今小規模になっている学校は今後更に子供は少なくなっていると思います。従って全ての学校を建替える＝無ダが多く統廃合は全体に必要と考えます。※「＝」:判読不明文字
その他	少子化	今後子供が少なくなっていくので大巾な手直しはしない方がよい。
その他	検討の進め方	日本の人口、GDPは、今後益々減少します。教育環境の最良な推進には、選択と集中が必要です、予算の裏付けのない理想論は意味ないと思います。選択と集中が大切です。
その他	検討の進め方	昔と今では、住宅が多いところと少なくなっている等で今の人口にあった、学校選択があつていいと思う
その他	検討の進め方	人口の動きの変化にあわせて、見直しをスピーディに進めるべきと思う。
その他	検討の進め方	何年か後に閉校したり、合同になったりするのなら予め令和〇年に再編しますと伝えてあげた方がよいと思うため。
その他	検討の進め方	・施設老朽化問題と少子化問題が根底にあつての議論と思うが、それ以前に、教育内容、教員の意識教育、など、本質的な問題、あり方論を議論すべき。・根本は、子供を増やす、次の人材を育てる政策が必要である。
その他	地域事情への配慮	子供のバランスを考えてやるべきと思う。
その他	地域事情への配慮	マンション等の建設により、一気に人口密度が変わる傾向にあり通学区域もある程度の期間で見直す必要もあるのでは、と思います。
その他	上尾の教育の魅力	自転車(ヘルメット着用)、保護者の通勤時送迎、マイクロバス(遠方の子供)、市内小・中学校へ交流して合同授業、合同行事など、あるものを工夫してフレキシブルな“上尾らしい”モデルを実行して全国から“さすが”“すごい”“すばらしい”と手本みせて下さい
その他	学校開放	学校と生徒や保護者との結びつきを高めるため、学校生活時間帯だけでなく放課後や休日の学校を開放する。開放はスポーツや文化活動ができる様にするとよいと思う。学校をコミュニティーの場所として活用できたらよい。そのためには教員だけでは足りないの上尾市の予算を組み運営できる体制にしてほしい。
その他	教育論	子供の数が減少し、余裕のある時代にふさわしい制度や施設等の教育環境作りをしてほしい。法律から、議論して、多くの人が、これからの「子供たちの学び」について考える場をもてるようになるとうい。個々を大切にするのであれば、年齢による学年制、そのものも変えてもよいと考える。5才の1年生15才の1年生が、いっしょに学べる自由まで、あつて良いと思う。ITなど新しい学問は全市民に開かれる姿もあつて良い。
その他	判断できない	年配者2人の生活で(子供達は遠くに住んでいるのでどのようになっているかわかりません申し訳ありません
その他		未来を背おう子供達を地域で育てるのが普通と感じるような教育と生活が必要だと思う。幼ない親が子供をぎゃくたいし死なせないためにも発達障害の増加も心配
その他		法律で地域別再編を考えるべきでは？
その他		生き辛さが有つてはならない。これに関しては、大人も子供達も同様である。大人の精神年齢低下による犯罪防止や、子供達に向けての教育のあり方である。ご両親の育児に問題がある。社会的教育をしない点
その他		参考資料だけで判断できないが、検討すべき時期にきていると思うから
その他		規模による、教育により、人格が、できあがる
その他		学ぶ所である
その他		家庭の都令で1人1人大事にそだていくのが＝い大変だと思う。※「＝」:判読不明文字
その他		1人多くても2人で通学している。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
通学	通学距離重視	尾山台小学校と平方北小学校を除く小規模校を廃止した場合、小学生の通学する距離が長くなり、負担が大きいと感じる。それについての対策を講じるのであれば統廃合を見直しても良いと思われます。
通学	通学距離重視	比較的大きな学校は指導が難しいのは自明であろうが(対人数比より)、通学そのものが困難な距離になるのは避けたい、見る限り、大きい中学から小さな中学は距離があり小学校も大きい学校同士が近くにある傾向があるので枠組みが難しそうです。
通学	通学距離重視	通学時間、距離
通学	通学距離重視	他の区域の学校が近くにあるのに遠い自分の区域の学校まで通うのは低学年には大変だと思います。
通学 部活や学校行事への懸念	通学距離重視	小規模、大規模とそれぞれメリットとデメリットがあると思いますが、小規模だとデメリットの方が多いと思います。市内の中学校でサッカー部がなく、仕方なくクラブチームに入ったということもきました。学校の再編は、必要であると思いますが、小学校(特に低学年)の通学時間が心配です。また保護者が学校に行く場合も遠いとたいへんです。
通学	通学距離重視	小学校は通学の距離を考慮する必要があると思う。中学校は大いに賛成。
通学	通学距離重視	再編により、通学距離によるデメリットがある可能性を考慮。
通学	通学距離重視	再編による通学距離が増大する1部の生徒をどうとらえるのか。
通学	通学距離重視	区域の見直しは、無理な通学を強いられる(遠くなる等)ことが無ければ良いなと思います。
通学	通学距離重視	均一化できれば一番良いが、通学距離が伸びたりデメリットも感じられる。実現させるのは困難なイメージ。
通学	通学距離重視	学校がすぐそばにあっても通学区域の関係で近くの学校に通えない。
通学	通学距離重視	あまりにも遠くならない程度に調整できるのなら、必要だと思う。
通学	通学距離重視	2の回答は、条件付のものである。その条件は、問2-4で1を回答しているのと同じものである。つまり小学校の低学年の子供の体力を考慮して通学時間、距離に無理のないように再編をすべきであり、これができない再編は賛成できないというものである。※「=」:判読不明文字
通学	通学距離重視 学校選択制	必要であると思うが、通学に用する時間が極端に増えることはどうかと思う。気象やコロナによる生活習慣等考えると過酷に思える点もあり、ある程度は選択できる様にした方がよいのではないかな。
通学	通学距離重視 通学の安全性	偏り解消する手段として、通学区域の見直し等の必要性はあると思うが、個々の通学距離の増加、それに伴う交通・防犯対策が難しい。
通学	通学の安全性	生徒数が減少しているため統廃合することで上記の内容が達成出来ると思う。課題は学校からの距離が遠くなった場合、より通学の安全をどのように確保するのでしょうか。通学方法は徒歩又は自転車に適していると思う。しかし、小学生はバランスが悪かったり注意力散漫なため事故のリスクが高まり危険だと考える。私の出身地では距離にバラ付きがあり小学1年生の徒歩で4～50分かけて登下校している人もいて登校時間に間に合うように上級生達が毎日大変そうでした。
通学	通学の安全性	学校規模に偏りが生じないことは必要だが、通学キョリなど安全性も十分に考慮して可能な範囲で行うことが必要だと思う。
通学	通学の安全性	なやむところですが。ただ狭い日本通学路の安全等しっかり考え、口で考える標準な規模も必要だと思う。
通学	通学の安全性	1学年1クラスは少ないと思いますが、通学の距離が遠くなる事は子供達の安全性と保護者の見守りの負担を考えると必要ではないと思うという答えになる。近年の不審者情報も増えている事、下校中での自然災害、交通事故などの不安解消が必要だと思う
通学	通学区域の見直し	通学区域は近くに学校があるのに区域が違う為、遠い学校に通っている子供がいると聞きます、区域の見直しは必要だと思います。ただ統廃合により遠くなる場合もあるのでしっかり考えて欲しい
通学	通学区域の見直し	通学区域の見直しは、地域・保護者の納得のもとに進めてよいと思うが、学校統廃合については、反対です。(小学校の22校、中学校の11校は、今後も維持してほしいです。)
通学	通学区域の見直し	通学区域がある為、学校までの距離が遠く。低学年の小学生などは大変な思いをして登校していると聞いた為
通学	通学区域の見直し	大谷中と南中のクラス数の差は区域の関係だと思う。
通学	子どもの負担軽減	私自身、中学校に通っていた頃1学年8クラス45名という大規模な学校でしたが楽しかったです。ただ通学区域が広く自転車で通っていた子もいて大変そうだったのを覚えています。
通学	子どもの負担軽減	子供の通学が大変にならないかなと思います。
通学	学校選択制	通学区域を、各家庭で選べるようになったらいいと思います。道路で分けられて遠い学校まで通学しなければならない事などがあるため。
通学	学校選択制	学校規模適正化の為希望する学校の選択制
通学	スクールバス	場所により、集団登校が必要又はスクールバスを出す
通学 人間関係の流動化	通学距離重視	多くの人と触れ合うのは大切だと思いますが、通学時間が長くなりすぎるのも大変かと思っています。
通学 能力向上・刺激	通学距離重視	・通学時間が、あまり長くない配慮は必要だが、一定規模の集団にする事が、育成には大切な事だと考えるから。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
通学 学校規模の平準化	通学の安全性	学校の再編が小規模学校の解決と思えないが、対策は必要と思ひ、2番にしました。ただ、通学路の安全面はどうしても問題になると思います。ある意味、都市部郊外の過疎化現象のように思いました。又、コロナによって色々変化もあり、一層難しいと思います、学校間での交流を多くするなど基本から見直し必要に思いました。
通学 その他	通学の安全性	小学校は通学路が長いのは、夏や冬体力的に、又、防犯上においても望ましくない。1クラスでも存続してほしいが、中学生になれば、体力的にも危険なことに対しても、思慮分別がつくと思う。小規模校の統合は止むを得ないと同時に生徒にしても、人生のステップアップととらえることが出来ると思う。
通学 廃校への懸念	通学の安全性	・通学区域の見直しで子どもたちの活動がより活発になるといいと考えます・ただし通学距離が遠くなる、キケンな所を通るなどが考えられればそれらを配慮した通学区を考えればよいと思う 反対する人が多ければ現状維持でいく。・現在の学校は廃校にせず、公共施設併設で残すべきです。尾山台小を瓦葺中にする案は無理かなと思う。
通学 その他	通学の安全性 検討の進め方	敵性規模があると思います。そのエビデンスをしっかりと導き出し、検討することは、有意義だと思います。ただし、通学路などの安全確保があつてこそと思います。バランスを大切に検討すべきと考えます。
通学 先生目	通学の安全性	先生が生徒を把握するには標準程度のクラス編成が必要、近年異常気象が多発しているので通学区域によって通学距離が長いお子様は心配。
通学 人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	通学距離重視	小規模だと子供同士の交流や学校での活動が少なくなってしまう。ただしあまりにも広範囲で再編してしまうと通学時間に懸念が残る。
通学 地域とのつながりが 必要 クラスの人数	通学距離重視	統廃合(原市南、尾山台、瓦葺)は考えてもいいが、平方地域は通学距離が長くなるので反対この地域は行事、運動会などを一緒に行つて活気が生じやすくなる、など、やり方があると思うから。※各学校、クラスをいくつにするかではなくて、今の子が健やかに密にならず生活できるよう1クラス30人以下にして教員の数とクラス数を増やす。その意味では1学年2〜3クラスにするのを乱暴に決めてはいけません。
通学 教員 人間関係の流動化	通学の安全性 負担軽減	とはいえ、通学距離や交通事情を吟味して子ども達への負担安心安全に十分配慮することが肝要だと思います。また1学級では子ども同士の交流が狭くなり、その分経験することも多学級の場合と比べ少なくなることも事実で考慮に値します。一方先生方の負担も大きな行事に取り組む際、個々の負担が大きいので、その点にも配慮が必要ではないかと思ひます。
通学 保護者の負担 学校規模の平準化 教員	通学距離重視 負担軽減	子供達への教育や設備の質を確保し、教職員や保護者の負担の減少には必要であると思う。しかし、通学距離や、登下校時の安全を考えると、無理な再編はできないと思う。
学校規模の平準化	中一ギャップ	・学校規模の格差が大きすぎると、小集団で慣れた子供達、大集団で慣れた子供達という枠組みが生まれてしまうと思う。私が小学生だった時は小規模で、中学生になった際にいきなりクラス数が増えたり、他の小学校からの生徒数の方が多かったので入学生所は居場所が見つかるか不安だった。
学校規模の平準化 先生目	中一ギャップ	実現できるのであればやるべきだと思う。人数多い学校は、教員1人に対する負荷が大きい上に、児童を見てもらえる時間も減って全員に目さむけることができなそう…人数少ない学校は、子ども達が小→中に上がりいきなり人数増えたら びっくりしてしまうと思うので、できるならやった方がよい。
学校規模の平準化		偏り解消のため
学校規模の平準化		偏りの解消の為には必要かと思う、通学の問題はあるが… 1クラスで6年間は厳しいと思う。子どもにとっては小規模も大規模もよくないのでは…適正規模がいいと感じる
学校規模の平準化		偏りがでるのはある程度仕方ないと思うが、その差が大きすぎる。
学校規模の平準化		偏りが、生じるのは、良くないと思うからです。
学校規模の平準化		平準化は必要です。
学校規模の平準化		平均が要と考えます
学校規模の平準化		東町小学校は子供の人数が多い為、プレハブ教室を使用していました。夏は暑く、冬は寒いと、人数の偏りを解消出来るなら、学校再編もいいと思ひます。
学校規模の平準化		大規模や小規模をそれぞれ経験した子どもたちはそれぞれに環境が違うため、社会適合力なども異なってくると思う。可能であればそれを少しでも緩和させてあげたい。
学校規模の平準化		少子化が進んでいるが、学区などの変更はされないまま、1970年代の頃のままのように思うため。近隣の市では小学校の統合がされているため。
学校規模の平準化		小規模校のよさは残しつつ、大規模校は分散化を検討する。
学校規模の平準化		小、中学校の規模を平均化した方がよい、大人数、小人数のかたよりは良くない。
学校規模の平準化		集団生活を学ぶ場としてかたよりをなくすほうがよい
学校規模の平準化		子供はさまざまな人間にあつて成長していくものなので、小規模な学校だとその地域の人しかわからなくなる。さりとて大きすぎるのも先生方が大変、ほどほどの規模が良い。
学校規模の平準化		個人的な感覚ですが、少なすぎるのも多すぎるのもあまり良い事ではないと思ひている1クラスの人数は多すぎず、各学年最低2クラス以上必要かな?なので、どの学校もその範囲に調整出来たら理想的だと感じたからです。
学校規模の平準化		記載通りの適正化のため

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
学校規模の平準化		規模がある程度平均化している方がいいのではないか。
学校規模の平準化		学校規模に偏りが生じているのは、現実なので環境を整えたり、見直すことは、大切だと思います。
学校規模の平準化		学校を再編してもらい子ども達も楽しく過ごしてほしい。
学校規模の平準化		何年も前から、それぞれの地域に学校があったと思いますが、現在は住宅が増え、均等に増えているわけではなく、生徒の人数も、増えている学校、又、そうでない学校も、あると思います。線引きするのは、むずかしいと思いますが、生徒数の大小の差が、ない方が良いと思います。
学校規模の平準化		一定規模の児童数が保たれることによって、子どもたちの健全な学校生活を支えられると思ったから。
学校規模の平準化		一学年の生徒数が多過ぎると、同じ学年でも名前も顔も覚えられない人が自然と出てくると思うので、適度な人数に合わせることで、生徒感の友好も深まりやすく、全体的な一体感も生まれやすいのではないかと思います。いじめ問題の減少にもつながるのではないかと思います。
学校規模の平準化		どの学校も平均して同じ人数が良いと思う
学校規模の平準化		それぞれの区域によって子供達の数の違いや環境も異なり、考えて行かなければならないし、各学年のクラスの数も自と差異を生ずる。少子化は現実としてあるので、学校の数をへらして、クラスの数はある程度確保して行く。
学校規模の平準化		クラス編成数に偏りが大きい。クラス替えの件など子供にとっての成長期間でもある為見直す必要があると思う
学校規模の平準化		ある程度、標準程度にすることにより、小規模、大規模学校の良さが取り入れられると思う。
学校規模の平準化		○通学区域の適正を計り、統廃合をされたい。
学校規模の平準化 通学	通学の安全性	参考資料2ページを見た限りでは、学校再編という判断は妥当のように感じましたが、同封されている上尾市通学区域図を参照したところ安易な統廃合は通学時間の長時間化、ひいては交通事故又は事件に巻き込まれるリスクが高まるため、慎重な協議が必要であると考えたためです。
学校規模の平準化 通学	通学距離重視	規模に偏りがでないことは理想だが通学キョリが長くなるのは良くない
学校規模の平準化 通学	中学校のみ 通学距離重視 通学の安全性	少子化の現在小学校、中学校の生徒数が益々減少するのは避けられないと思う。従って、学校の再編は必要と思う。但し、①、通学範囲(距離、時間)を優先に再編を検討すべきと思う例えば、小学1年生が通学が出来る距離、時間内で再編する②、安全で安心できる通学路を設定できる範囲で設定する③、中学校は、文武の向上が必要であり、対外交流を含めた競い合いの学習からのレベルアップも必要であり適正規模校程度への再編が必要と思う
学校規模の平準化 子どもの負担軽減		極端に偏った学校規模には見直しが必要だと考えるが、費用等を考えるとどこまで大規模に見直すのが心配だと思っている。また、再編される年に在籍している子どもと保護者の負担を考慮しなければいけない。
学校規模の平準化 地域とのつながりが 必要		児童数の減少、教員の不足等の課題があり、ある程度の統廃合は必要と思う。地域の歴史や、文化を大切にしてほしい、大規模校は必要ないと思う。
学校規模の平準化 保護者の負担		小規模学級を経験したことがないので正直わかりませんが、適正な人数に調整することは必要だと思う。ただこれにより通学区域に偏りが出るので、メリットとして挙げられているが保護者の負担が分散されるのではなく、負担が偏ると思う。よって必要とは思いますが、もう少し議論が必要と感じた。
学校規模の平準化 教員 財政	負担軽減	学校規模を適正化していく事は、学校の維持費や教職員の過度や仕事量を減らす事につながると思うのでやった方がいいと思います。ただ、解体するにも新たな建物を建てるにしても出費はあると思うので、どちらかといえば※に○をしました。子供っ事を思っても、学校規模の適正化には賛成です。似たような環境の元で勉強した上で、中学、高校に進学できれば、極端は変化がなくていいと思います。その他、PTAや見守りなども、親の負担が均等になると思うので、統廃合には賛成です。
学校規模の平準化 通学 その他	通学の安全性 地域事情への配 慮	子供の数が減少している今後、ある程度の統廃合は仕方のない事だとは思いますが、その際、最も重要なのは通学の安全確保であると考えます。上尾市の学校規模の定義により、市全体を均一になる様、無理に数合わせする事は必要ないと思う。人数に地域差があってもそれが特性であると考えます
学校規模の平準化 先生目 教員 その他	負担軽減 検討の進め方	どの地区に住んでいる児童にも差が出ることなく一定規模での集団のもとでの学習・交流は必要であると思う。しかしその為に小規模ならではの細やかなケアが失われたり、教師への負担が増えてしまうことにならぬかと懸念がある。また、建材通学している学生はこの事についてどう思っているのかも気になる所。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	友人関係の構築、気が合わない人と別のクラスになる機会が得られることなどからクラス替えは必要であると感じるから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	子供は小学校2クラス中学3クラスで経験しています小2クラスで6年間たど全員が親も含めて、知り合いになります。その人のレッテルがずっとはがされません。小中の9年間を過ごします。もう少し大きな学校の方が良いと思いました。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	子供ながらに人間関係をリセットしたいというときクラス替えは非常に有効だと思います、人間関係が深まるメリットと相反して深まりすぎるとまた問題があるのでは、3～5クラス程度が望ましいと個人的には感じます
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	1学年1クラスだけでは、子供達の逃場がなくなり片寄った考え方があった場合のゆとりがとれない。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	「十人十色」のように多くの同世代の子との交流は、大切。1学年1クラスでは、その中で組織化が作られやすく、人間関係でのトラブルができた場合改善に時間がかかる。(見付ける事にも時間がかかる)

どちらかといえば必要である（市民アンケート）

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
人間関係の流動化		通学区の見直しで、子供達が通いづらくなるのは問題ですが、ある程度のクラス数があった方が、いろいろな人間関係も築けるし、良いと思うので。（クラス、部活）
人間関係の流動化		通学は難しくなるが、小学生・子供が集団で育つ為。行事等の、又色々経験ができる可能な人数等があるのではないのでしょうか……。
人間関係の流動化		多くの子と触れ合う機会を増やした方が良い。
人間関係の流動化		他小学校と同じ中学になることで様々な交友関係ができる。
人間関係の流動化		数多く友達がいそ方が良い。
人間関係の流動化		小規模だとクラス替えもなくたくさんのお友達と出会う機会がへる。
人間関係の流動化		社会性を養つためには、就学期間中により多くの子とも達と意見交換等をした方が良いと思われるため。
人間関係の流動化		規模の偏りは子供数の大小格差を明確にします。これにより子供たちが本来、出会うことができる人（先生や友達）に格差が生じ「多様な人々と協働しながら」の理念に反することになるから。
人間関係の流動化		規模が一定であることで、コミュニケーションなどの偏りも減らことができ、精神的なたくましさを養えると思うから。
人間関係の流動化		学生の意見が最優先だと思うが、学校規模に偏りがなくなり交流の機会が増えるのはよいと思うから。
人間関係の流動化		学級差に偏りがあると、小規模の学校では、学生生活を送る中で、クラス替えや、部活動等において子供同士の多様な人間関係やコミュニケーション能力の向上が図りにくくなり、必要に応じて通学区の見直しが必要かと思われます。
人間関係の流動化		可能であれば、クラス替えの出来る一定規模の人数が集まった方が、色々は意味で、メリットが多いように思うから。
人間関係の流動化		ある程度の人数のふれあいは必要（世の中とはいろんな人がいると知ってもらうため）
人間関係の流動化		1学年1クラスはクラスがえもなく、生徒同士のかかわりも少ないと思う、しかし、統廃合にかんたんには出来ないと思う。
人間関係の流動化		1学年1クラスの場合6年間同じクラスメートという事が = 良いのか?※「=」: 判読不明文字
人間関係の流動化		1学年1クラスの場合、子供達が仲良くなれば、深く濃い年月を過ごせると思うが、その反対の場合、同じメンバーで何年も過ごすのは、大変きついのではないかと思います。多様な人との出会いの機械も減ってしまうように感じますやはり、バランス良くクラス編成されるべきだと思います。せめて1学年1クラスというのは無くすべきではないでしょうか。
人間関係の流動化		1学年1クラスでクラスがえがないというのは、やはり、クラス替えがあり、いろいろな人間関係を作っていくということが、大人になった時にも、重要であると思う。
人間関係の流動化		1学年1クラスだとずっと一緒になるから。
人間関係の流動化		・小さな集団も大切だが、大きな集団で学ぶことも多くあると思うから、ある程度の人数確保は必要だと思う。
人間関係の流動化 通学	トラブル・いじめ回避 通学距離重視	自分自身は、準適正規模～大規模校で小・中を過ごしてきた為、1～2クラス(一学年)しかない自分と合わない子(極端に言えばイジメっ子)からはなれる機会が得られないのは辛いと思う。ただ、通学区見直しにより、通学が遠くになってしまう事は避けてほしい。小学生はとくに、遠い距離を一人で帰らなくてはいけないのは、体も辛いし、危ないと思う。
人間関係の流動化 能力向上・刺激	トラブル・いじめ回避	小規模校においては、子供にとって不都合な状況(いじめ、なじめない)が生じた場合、クラス替えによつての解決が難しい。学習においてもレベルが上がらない、切磋琢磨する機会が少ない等、ある程度の人数は必要だと思う。
人間関係の流動化 先生目	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスでは人間関係のトラブルやいじめ等マイナスの事柄があった時に逃げ場なくなる。小規模・大規模の学校では職員の配置にも不公平がでる。子供は出来るだけ多くの教師とかかわるべきだと思う。
人間関係の流動化 通学	通学距離重視	1学年1クラスというのは子ども達にとってもクラスがえがなくて、同じメンバーで毎年過ごしていくのは難しいと思います。しかし統廃合により、通学が遠くなるのも子どもにも負担となるのではないのでしょうか。
人間関係の流動化 通学	通学距離重視	・より多くの人(仲間)とふれ合う機会が必要再編で・通学距離が遠くなったりする子供は大変になってしまう
人間関係の流動化 学校施設	不足	一学年のクラス数があまりにも少ないと、人間関係が固定化してしまう心配がある。又人数が多い学校では教室が足りなくなるなど施設面での不安。
人間関係の流動化 能力向上・刺激		子供達には、多くの人との交流を必要とし、またある程度の競争心も必要と考えます。
人間関係の流動化 教育格差		クラスがえを行なうことによつて友達を増やすこともできるし、勉強に、かたよりができてしまうような気がするからです。
平等・公平		平等にする為
平等・公平		地域によって人口や教育環境が異なっており、今後増々地域差が広がっていくと思われます。子供たちの教育環境が整備され、安全、平等に教育が実施されることは、国の未来のために大切だと思います。
平等・公平		小規模、大規模それぞれメリットはあるが、小学校は自由に選べないため、どこも平等にするべきと思うため。
平等・公平		出来るだけ皆、平等な環境のもとで教育を受けられたら、と思います。

どちらかといえば必要である（市民アンケート）

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
平等・公平		児童数の偏りをなくすことにより、目がゆき届き(少人数)平均な教育を受けられるようになるのではないかと思います。
平等・公平		市内の学校ができるだけ色々な面で同じ状態でのぞましい。
平等・公平		子供達にとって、環境があまりにも違いすぎる事のないようにしてあげた方が良いのではないかと思います。
平等・公平		子どもには、平等な環境で、学んでほしいから。
平等・公平		公平さに欠ける
平等・公平		教育環境を平等にするため。
平等・公平		義務教育であり、できるだけ平等な条件を提供すべきと思う。
平等・公平		環境をできるだけ等しくし、教育に差が出ない様にするため。
平等・公平		学校規模が違えば不平等が起こる。子ども一人あたりの教員数、配当金、活躍の場など。費用などの面がクリアできるなら、大規模校を減らし、一人ひとりの児童、生徒をしっかりとみていくべきだと思う。クラスがえなどは必要なため、1クラスというのもよくないと思う。大規模校に通う(または通う予定)の子どもを小規模校に振り分けるのが理想的ではないか。
平等・公平		学校規模、クラス人員を適正化する事により、学童が平等な教育を受ける事が出来る。
平等・公平		学校によって差がありすぎる
平等・公平		学級数の多い、少いで子供たちや保護者が受けるメリットやデメリットは、なるべく平均化された方が良いと思う。
平等・公平		・同じ市内で受けられる教育に不公平感があるのはよくないから・今後も子供の人数が減っていく可能性が高いなら、いずれは必要になると思うから
平等・公平		「偏りを解消する」という意味では、良いと思う。たきたま住んでいる地域によって大規模だったり、小規模だったり環境が違うことは平等ではないと思うから。でも、大規模の方がいい子、小規模の方がいい子はいる。どちらにもメリット・デメリットがあるし、一概には言えないので「2」を選びました。
平等・公平 通学	子どもの負担軽減	○学校規模の偏りなく、同じような条件で学べた方がよいと思います。○ただし、単純な統廃合にさり、子どもたちの通学の負担が増大するのであれば、無理に再偏する必要はないと思います。
平等・公平 一長一短		小規模だと、皆と友達になれたり、物や場所を伸び伸び使うことが出来たり、大規模だも、沢山の人の中で刺激を受け、色々な人と関わりを持つことが出来たり、メリットはそれぞれにある。逆に、小規模だと保護者の活動で負担が偏ってしまったり、大規模だとひとりひとりの細かい部分にまでは目が届きにくいなど、デメリットもある、どちらの方が良いのかは分からないが、再編することで平等になるのなら、どちらかといえば必要であると思う。
平等・公平 先生が目		公平な施設・設備の提供と子供達の成長・学習面を考慮すればやむをえないと思います。しかし、そもそも適正な学級人数とは？教職員が誰一人見捨てない学習指導が出来るのが理想。
教員	負担軽減	学校規模に偏りがあると先生(教員)の負担も大きいと思う。ただ、全家庭がこの適正化に肯定するとは限らないと思う。
教員	負担軽減	・無理な通学区域にならないならば、生徒数の偏りが無い方が、教師の人数も均等になり、先生の負担も少し軽減される気がするから・クラス替えができる。
教員	負担軽減 質の向上	近年教職員の労働環境が問題となっている。学校規模の適正化を行うことにより、子どもたちへときめ細やかに対応して欲しい。
教員	数の不足	教職員の減少
教員 人間関係の流動化	負担軽減	職員の負担のかたよりをなくした方がよい。小学生、中学生のうちに沢山のひとと会える方がいい。
教員 先生が目	負担軽減	教師が生徒1人1人に向き合える。クラスを良く見渡せる為、取りこもぎれてしょう生徒を拾えて、更には教師の負担を少なくする上でも必要に感じる。教育現場は外で見て以上に、様々な子ども達が居て大変さぞと思う。
教員 平等・公平	質の向上	児童に対しての環境が平等になる事は良いことだと思うから。但し教育者のスキルも同レベルでないと意味が無いのでは?とも感じます。
教員 人間関係の流動化 保護者の負担	負担軽減	小規模のマイナス点。先生や親の校務、役員の負担が多い。・クラス替えができない(多くの友達を接してほしい)と思う
教育格差		人数の偏りは教育のし方、勉強の進み方が違う場合があり、状況によってはその後の生活で(高校等)価値観の違いから人間関係のトラブルになる事がある為(可能性)
教育格差		少人数になることでスクールメリットが損なわれ、学習や体験の機会が失われると思うから。
教育格差		子供達の競争力の底下になるかも知れない
教育格差		学力に差がでると思うから
教育格差		学校も小さな社会として、様々なことを学べる場なので、偏りなく、自分がやりたいこと、など選択肢が多いとより多くの経験ができると思うから。
教育格差		各学校に勉強や部活動など差が出るため
教育格差		どちらにもメリットデメリットはあるが、どの学校に行っても同じぐらいの規模の方が、教育内容・方針を一緒にしやすかったり、教職員の方たちの仕事がやりやすいのでは?と思うから。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
教育格差		ある程度的人数が揃わないとできない学習・体験があると思うから必要であると考えます。
教育格差 多様な価値観の形成		多くの人と接した方が視野が広がる、友達づくりも多い方がやさしい。教材や設備費なども、統合した方が充実すると思う。
教育格差 子どもの負担軽減 その他	検討の進め方	学校の規模の大小それぞれにメリット・デメリットがあるが、統合を考えると児童生徒及び学校間の格差が生じないことが大前提となる。また、統合によりイジメ等の問題が生じないように配慮する必要がある。何れにしろ、単なる数合わせを目指すのではなく、児童生徒及び通学区内の住民の実状や意向を十分に把握した上で方針を決定しなければならない。
社会性の育成		団体行動の重要性
社会性の育成		多くの人と接しながら、コミュニケーション能力を身につけることが必要。
社会性の育成		人との接点の偏りが無い環境にして、コミュニケーションを育むということにとって大切だと思う
社会性の育成		少子高齢化が進むなかでどこの国でも子供は国の宝です。最近中高年のモラルの欠落が目立ちます。子供な大人の行動を目でみて学びます。その子供を正しく導いてほしいです。学校と社会や地域で力をあわせて育てていきたいと思っています。
社会性の育成		社会志向性発達のためにもある程度の規模が学校には必要だと思うから。
社会性の育成		昨今、子供達の身体・精神の成長はとても速いと感じています。小学校は6年間と長に期間通いますので。基本は一定規模での集団のもとで、育成することにはとても共感しますが高学年ともなると、小規模ないし大規模での子供達自身の考えがあるように見つけられるので、尊重できる環境であってもよいのかとも思います。
社会性の育成		学校の規模という観点でみると一学年何クラスが適正かの問題再編と標準程度の範囲になると思います。集団での協働生活を育成すると考えますと、おのずとその規模は連動する考えます。
社会性の育成		1学年1クラスの小規模学級で6年間一緒というやはり生徒の顔ぶれがいつも一緒ということで社会性か、コミュニケーション力などが傾いてしまうと思う。人間関係の広がりが無い。
社会性の育成 時代に合わせた教育環境の整備	習熟度別	学校規模を適正化することで、人間関係の固定化を防ぎ、多様な集団の中で人と協調する力、困難な問題に対応する力を育む機会を増やしてほしい。いろんな人間関係の中で学んでいく社会的な適応能力、生きる力を身につけて欲しい。適正規模であれば習熟度に応じ子どもたちの状況にあわせてクラス分けを行い、きめ細やかな指導が可能であると考えます。
社会性の育成 能力向上・刺激		一定規模の集団の中で、お互いを認め合い、協力し合う人間関係を学んでほしい。切磋琢磨することによるどんなことにも向って行く強い力をつけてほしいと思う。
社会性の育成 部活や学校行事への懸念		①偏りが生まれるとコミュニケーションにも差が生まれる可能性も感じる②人数が少ないクラスは運動会やその他競争ごとにも関係が良くないと感じる。
先生が目		子供達に先生方の目が届く範囲を中心とした再編を検討された方が良いと思います。
先生が目		結局クラスの数が多くなり、人数が多くなり、先生たちも生徒もコミュニケーションが取れない。先生が1クラスの担当でも先生が他のクラスと兼業だとしても、生徒一人一人みることなんて出生ない。まして、今はデジタルの時代、「LINE」がコミュニケーションツールになっているので、より一層、一人一人の個性や性格を見る必要がある。
先生が目 通学	通学距離重視	・一人一人への目が届き易い方が望ましく思える為、ただし、登校距離は小学低学年の体力を基準に考えてほしい。
先生が目、人間関係の流動化		小中学校における人間関係が人と関わる事の楽しさを知るひとつの機会だと思うので多数クラスがある学校の方が色々な関わりが増え、経験値としていいと思う。その分、学年の人数が増えたり大規模なものになっていくといじめなどに繋がる小さなサインに気づきにくくなると思う。その場合に対応できる対策や目がいきとどく環境も必要と思う。
多様な価値観の形成		多様な人達との出会いの必要性。
多様な価値観の形成		多様な集団生活ができる。
多様な価値観の形成		多くの友達と交流をすることで、コミュニケーション能力がつくと思う。また、1人1人が違うということも分かることができる。
多様な価値観の形成		一定規模の集団生活の中で、コミュニケーション能力の向上は大切。多様な考え方に触れることや、たくさん友達が出来ることは良い事。
多様な価値観の形成		ネットの世界だけでなく現実の世界にも、いろいろな考えの人がいることを知ってほしい
多様な価値観の形成		あまりにも人数が少ないと変な結果ができそう。中学にあがってもその仲間だけで過ごしそう。
多様な価値観の形成		1学年1クラスで16人は些か少ないように思う。多様な考え方に触れる機会を、得るためにも、もう少し、人数がいた方が良いのでは？
多様な価値観の形成 通学	通学距離重視	一定規模のコミュニティで多様な考え方に触れることは子どもの成長に必要なだと考える。一方で学校再編によって通学時の負担が大きくなる(通学距離が長くなる)ことは望ましくない。
能力向上・刺激		多くの学生と交流した方が成長の機会が増えると思うから。
能力向上・刺激		出来れば同じ人数での協働・考えを発表しなおかつその中からメリットのある意見が望まれます。
能力向上・刺激		たくましく生きる子供を育成するためには、学校再編が必要。

どちらかといえば必要である（市民アンケート）

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
能力向上・刺激		1人1人伸ばす実力が出来る
能力向上・刺激		・たくましく生きる子供の育成するための一定の基準の配置は必要と思う。
能力向上・刺激 通学	通学距離重視	学年1クラスは将来の生活の訓練の場としては、不都合だと思う、ある程度の競争社会が、必要だろうと思う、只小学校低学年のお子様には、通学時間等で不便を供うが…。
一長一短		小人数だと人間関係にかたよりが出る途中から学校が変わって制服など買うための費用がかかるから絶対にした方が良いとは思わない
一長一短		小規模だと1人々の生徒に目がゆきとどくが大規模すぎると目だたない生徒は忘れられがちになる。少ない人数だと、クラス分けしても同じような人ばかりといっしょになってそこで合わない悲惨になる。
一長一短		どちら(小規模、大規模)にもメリット、デメリットはあると思うが比較すると小規模のメリットの方がやや勝るのかなと思ひ②を選んだ
一長一短		あまりクラスが多すぎでは まとまりがつきにくい 少なすぎても他との協調や比較がしにくい
一長一短 教員 通学	負担軽減 子どもの負担軽減	ある程度学校規模をそろえないと、子供達に対する大人の側のマンパワーの適正化が行えないと思う。その一方で、規模をそろえる為に子供達又は親の通学の負担が増加する様ではやはりまずい、ある程度までは、規模の多少の多様性を(あえて)作りつつそれぞれ違った規模の条件のもと多様な学校環境の内でもより良い状態をそれぞれの規模で目指すべき。
一長一短 教員 多様な価値観の形成	質の向上	児童、生徒の人数は、少なすぎても多すぎても良くないと思います、少なければ、細やかな学習指導が受けられそうですが、教員の同学生の指導連携ができないので、独裁的にならないか…?縦割りの友達作りは出来やすいが、1クラスしか同級生がいなければ井の中の蛙にならないか…?人数が多すぎても、取りこぼされた学習は見つけにくく、理解できないまま進級してどんどん分からなくなっていくか…?
部活や学校行事への懸念		人数が片寄る事で行事の内容や、力の入れ方が変わってしまう場合があると思うので。
部活や学校行事への懸念		住民数等による学校規模の偏りは仕方ないとは思いますが、子供たちが多く中で経験する事はとても大切だと思います。運動会や合唱コンクール、遠足や修学旅行、部活動、これらの喜びも規模の小さい学校より大きい学校の方が大きい様気がします。もちろん規模が小さいからこそその経験もあるでしょうか…
部活や学校行事への懸念		1学年1クラスだと運動会等の行事でライバル意識がなく団結力が薄れると思います。
部活や学校行事への懸念 人間関係の流動化		多くの友達をつくるため、行事をやりやすくするため
部活や学校行事への懸念 通学		学年1クラスだと運動会の団体演技や音楽発表などよいものが作れなくなると思う。2クラス以上になることで、子ども同士の協力、協調や競いは小学生生活において必要であると思います。ただし、通学面に関しては慎重に検討が必要だと思います。
クラス数		1学年1クラスの学校は見直しも必要だと思うが1学年2クラス以上の学校は見直しは必要ないと思う。
クラス数		1クラスは少なすぎる。
クラス数 通学	通学区域の見直し	・ある程度の1学年のクラスは必要と思う。・小学校では、通学距離に配慮が必要と思う。このため、学校の統廃合を見直さず、通学区域を見直すことに重点を置いた方がよいと思う。
クラスの人数		というより子供たちのために1クラス30人以内が良いと思いますですから見直しは必要だと思います。クラス数より1クラスの人数が大事。もしそのためにクラス数が増えてもそれは仕方ないと思います。
偏りを許容		小規模の学校で統廃合は必要だと思うが、上尾市全体が住宅街ではないので ある程度の偏りはしょうがない。
子どもの負担軽減		再編は、必要であると思うが、準備をして、子供たちに負担がかからないようにしてほしい。
子どもの負担軽減 通学	交友関係 通学距離重視	必要ではあると思うが、学校統廃合により通学距離がながくなり時間がかかると子供達に負担がかかる。統廃合により今までいっしょに学んでいた友達と違う学校になるのはかわいそう。小学も中学も卒業までは一緒に学校が望ましい。
時代に合わせた教育環境の整備		時代の変化に添った教育環境を整える必要があると思う
学校施設 教員 その他 廃校への懸念 人間関係の流動化	利用頻度 負担軽減 避難所	・1クラスだと学校の設備がもったいない・少ない児童に対し、教員配置が大変。・児童が少ないと、友達関係、先輩後輩の関係が作りづらい。・クラスが多いと児童・生徒に回が届きづらい。・クラスが増えれば施設を有効に活用できる。・クラスが増えることで、教員を効率よく配置が可能。・クラス数が適性(児童・生徒数が適性)であれば人間関係、上下関係、交流が発生しやすい。・廃校となると、卒業生はさびしくなる。・災害時の地域の避難場所が無くなってしまう。
学校運営		小規模では効率的な学校運営は困難ではないか。
財政		学校の老朽化により建て直すには費用がかかるので
財政 教育格差		・学校施設の老朽化による費用の軽減 ・学習面、財政面、運営面においてメリットがある
その他	検討の進め方	偏りがあるとすればしかたないが 以下の問2-4の中の子供たち(本位)目線をもって考える
その他	検討の進め方	必要ではあると思うが、それによって、あらたな問題が起きるようであれば、再考ありと考える。

どちらかといえば必要である（市民アンケート）

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
その他	検討の進め方	行政が一方向的に学校再編するのではなく、地域住民の意見を聞きながら、進めることがベターである。 ※地域住民とは、一部の住民ではなく、公聴会的なもの指す。
その他	検討の進め方	学校の再編だけでなく、学区内の居住者の年齢構成による割合もつける。例えば小中学生がいる世帯は××世帯までこの地域に居住できるといった上限を設ける。教育委員会だけでなく行政といっしょに対応していく必要がある。
その他	検討の進め方	1.中長期的な改革に於いては前回の学校創設や学区割設定の現状分析の上検証の必要あり。(大石南小、平方北小、上平北小)2.将来の姿を統計学に推移して慎重実行すべし。※市政の構想30年～50年のあるべき姿、(市民の構成実態と予測)(大型団地誘致、既存の団地行末etc)
その他	少子化	少子化により児童数が減少すると思わにるのでやむを得ないことだと思う。
その他	少子化	少子化なので見直しが必要
その他	少子化	少子化で必要
その他	少子化	子供の減少に歯止めがかからない以上、再編はやむを得ない。
その他	少子化	埼玉県も2021年から人口減少、少子高齢化が加速度的に進む県となり、上尾市もその例外ではいられません。学校規模の適正化は、規模のメリット・デメリットが指摘されている事象の極少化に業する取組だと考えます。
その他	地域事情への配慮	地域によって今後も増減が偏ると思うため。
その他	地域事情への配慮	少子高令下の進捗が早く、開発地図など絶えず見直す必要がある。
その他	特別支援学校	特別支援後から支援学校へ通ってました。少人数の方がまわりの理解がよくなる気がします
その他	説明不足	法律で定める「標準程度」がとれ程現状に寄り添ったものであるか、わからないため。
その他		物的(ハード)環境と人的(ソフト)環境を共に整えることがよい・フィフティフィフティでもよいが、地域の実態に即して柔軟に行う。
その他		特になし
その他		参考資料にて 小規模校 大規模校 スクールバス
その他		10年以上前からいわれていたこと。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
通学	通学距離重視	無理に通学しにくい場所になるとかわいそうだから。
通学	通学距離重視	平方地区は学校まで遠い＝がいっぱあります部格など帰りおそいとかわそうです ※「＝」:判読不明文字
通学	通学距離重視	登下校に対する時間。
通学	通学距離重視	通学時間が多くかかると、児童生徒の負担になるから。
通学	通学距離重視	通学区域を広げると、遠くて通るのが大変など、他の問題が出てきてしまうため
通学	通学距離重視	通学区域の見直しにより、子どもの通学時間が長くなったりするのは良くないと思う。（事件などの危険性）
通学	通学距離重視	通学に時間がかかる
通学	通学距離重視	小学生は遠くまで通うのは大変下校後友達と遊ぶのも大変な為
通学	通学距離重視	再編による、通学時間が多くなるのでは。児童にとって負担
通学	通学距離重視	再編する事により、子供達が遠く通学する事(今よりは)、あまり良いとは思えません。大規模で、分ける場合は、自宅から学校の通学は、それほど長くはならないかも知れませんが、小規模で合併となると、中には、かなり遠くなる子も出て来るのではないかと思います。
通学	子どもの負担軽減	通学が大変です。かわいそう
通学	子どもの負担軽減	・子どもの通学の負担を考慮・学校外でも多様な人々と協働することは可能である
通学	夏場の通学の安全性	通学に時間がかかり夏の暑い時かわいそうです。自宅から近い所が良いと思います。
通学	通学区域の見直し	学校統合通学区域見直すこと
通学	スクールバス	・通学距離(バス等)の問題さえ解決できれば…。
通学 その他	通学距離重視 検討の進め方	可能な事からやるべきだが学校までの距離や子供の意見を聞いた上でみなを考えるたくましい人間作りを行っていくべきだと思います
通学 地域事情への配慮	通学距離重視	・再編により学校までの通学にかかる時間が増えるのが気がかりなため。・生徒数の偏りを解消するため、再編ではなく、人が少ない地域には人が住みたくなるような町作りをしていただきたいです。
通学 その他	子どもの負担軽減 通学の安全性 検討の進め方	・通学距離が長くなることによる子供たちの負担増・通学路が整備(危険ではない)されているか疑問・どのように決めたとしても、賛成、反対は必ずいると思います。たとえ決めの方が少数派であっても、おし進めて下さい。
通学 偏りを許容	通学の安全性	子供たちにとってより多くの子供たちと関わりながら育てていくことはとても大切な時間だとは思いますが、小学校低学年の子がランドセルを背負って毎日通える距離には、やはり限度があり、通路の安全確保の面からも配慮が必要だと思います。今の子供たちは学校生活がすべてではなく、習い事などでもいろいろな子と交流があり学校の生徒数だけを見て再編というのは時期尚早かなと思います。
通学 その他	通学の安全性 少子化	学校から遠い生徒の事を考える。・安全で体力的に対応可能なきより※現行で良い 対策は別に行う人口を増す事
通学 クラスの人数	夏場の通学の安全性 教室のゆとり	再編により通学時間が長くなってしまふと昔と違い朝から30℃前後の気温になる中での通学は大きな負担になる。また1クラスの人数も今より増えることを考えると教室内の密度も上がり動きの多い小学生はきゅうくつに感じるだろうし、中学生になれば周りの子供達が色々な面で気になる頃なので室内空間にはよゆうがあつていいと思う。
通学 地域とのつながりが 必要	通学区域の見直し	通学区の見直しで、小規模校の解消を。統廃合の場合①遠距離になる②安全面で問題③せつかくの地域とのつながりがなくなる。見守り活動も活気がなくなる。
通学 先生が目	通学区域の見直し 通学距離重視	通学区域の見直しは必要であるが、それと学校統廃合は別問題。統廃合による併害は大きすぎるので反対です。→マンモス校となり、児童ひとりひとりに目がいきとどかなくなる。通学距離が長くなる。同級生の家が遠くなる。大規模化のメリットは、大人の都合ばかりではないですか？
小規模校の良さを 生かす		少人数だから多様性がないとはあまり思わない為、学校統廃合などがあると、通学に時間がかかる子供なども増え、負担が増えるのではと心配。
小規模校の良さを 生かす		小規模での学校生活も望む生徒やご家族がいると思うので。小規模でのんびり成長できるのも1つの良さだと思うのでそのまま良いと考えます。
小規模校の良さを 生かす		自分語りです。1クラスだからと言って競争心が劣っているという事もなく、それでいてその学校出身の子達との友情は深く、中学で出会った子達ともすぐに仲良くなれる友達と中学で出会いました。「競争心」はクラスが多い、という点ではあまり関係ない、と考えます。
小規模校の良さを 生かす		個性のある、地域性のある子供で良いと思う。小人数にも良い所がある。
小規模校の良さを 生かす		一定規模の集団のもとでなくても小規模の中でも人々と協働しながらたくましく生きる子供を育成する事は出来ると思います。
小規模校の良さを 生かす		・学業の充実を思うのであれば小規模な学校(クラス)になるのも一クラス少人数もありではないでしょうか。

どちらかといえば必要ではない（市民アンケート）

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
小規模校の良さを生かす 通学 地域事情への配慮	通学距離重視 検討の進め方	公立小中学校の適正規模化のため学校再編を行うということも理解できますが、その前に遠距離通学や地域コミュニティの核としての機能にも配慮した弾力的運用があるのではないのでしょうか。もし、そのような検討をされているのであれば地域住民にも検討経緯を詳しく説明すべきだと思います。特に小規模校の場合、小規模校のメリットを最大化させる取組の積極的に実施してから統廃合を検討すべきだと思います。
偏りを許容		法律の標準は原則的な事。1学年1～2クラスが維持される例外はあっても良い。地域社会は、長い年、月の成い立ちから出来ていると考えるべき。
偏りを許容		偏っていることに大きな問題を感じない。それぞれの学校に適した生徒数。それに応じた特性があるのではないかと思う。
偏りを許容		子供達の受ける教育を生徒の数だけで決める事は良くない事と思っております。
偏りを許容		はるか昔のことになりますが、私は父の転勤で小学校を4度転校し、息子三人はそれぞれに2度ずつ転校を重ね楽しく6年間を過ごしました。富山・仙台・山形・群馬…と地域の環境、言葉（方言）、学校規模etc様々に異なるなか、常に心がけていたのは、今与えられた場所（環境）を素直に受け入れることでした。子供は柔軟です。画一的な平等や標準も大切ですが、偏りをなくすことの弊害も大きいとなれば、多少の違いを容認する寛容さも必要ではないのでしょうか？もちろん教育上、一定の最低ラインは見極めつつ、不足の多様性という部分はたてよこの円滑な交流ができるよう環境の整備は整える必要があるかと思いますが…。考えようによっては”30人”も（毎日の”核”として）立派なコミュニティの形成に成り得るのではないのでしょうか？
偏りを許容 通学	子どもの負担軽減	一定規模の集団という形にこだわらなくていいと思う これからの時代、それぞれが工夫しているんな形があつていいのではないかと統廃合が進んで通学困難になるの方が子供や家族にはデメリットでは
偏りを許容 財政		学校の規模感は運営側に関わる問題であり、子供にとって大きな障壁にはならないと考えます。どの様な状況にあつても柔軟に対応するでしょう、ですので、再編は、財政と人的配置の観点をもう少し盛り込んで考えてもよいかと思います。
地域事情への配慮		小学校が廃止となった地域は、若い人の流入が減り、流出が増える可能性有、地域の活性が下がってしまう
地域事情への配慮		それぞれの地域事情が無理天理に変更するのは？
地域事情への配慮		その地域にあった教育で良いのでは!!
一長一短 小規模校の良さを生かす		我が家の子ども達は小規模の小中学校に通っていました。人数が少ないと、子ども同士の関係も密になり交流も深まるため、気心が知れる。また親同士も顔見知りが増え、親しみやすい。大にも小にもそれなりの利点があるのではないかと思う。
一長一短		小規模校では、生徒児童に目が行き届いて良いと思います。大規模校では、部活動、学校行事などに、活気が見られると思います。学校それぞれに特徴があつていいと思います。
一長一短		小規模、大規模それぞれの利点特典を積極的に活かす試みもあるのではないかと思った。
一長一短		1クラスにも満たないのであれば適正化は必要と思うが、小規模にも大規模にもメリットデメリットがある。選択肢はあつたほうがいい。
クラスの人数		少人数学級(30人)を達成が優先と考える。
現状維持		資料によりますと、上尾市内の学校規模は、大規模校、小規模校は、それほど多くないと思います「適正」かと思います。
現状維持		現状クラスでのちょうど良い区域の小中学校の統廃合は難しく、今、バランスのとれた学校の子どもたちに負担をかけてしまうのはあまり好きくないため。
地域とのつながりが必要 偏りを許容 通学	通学距離重視	地域とのむすびつき、その地域に存在する価値、通学距離等を考えると、必ずしも学校規模の偏りはしなかったかと思う。
廃校への懸念		統廃合して、自分や子どもが通った学校がなくなってしまうのは複雑な心境。
廃校への懸念 地域事情への配慮		地域格差で駅に近い場所はやはり人口が多く遠くなると、若い人達があまりいない。高齢の方が多い＝子供の数が少ない＝その地域の児童数が少なくなる。わかつてはおりますが成人した息子娘は、自分たちが通学していた学校がなくなると伝えたらとてもショックを受けておりました。
クラス数		クラスの数は問題ではないのではないかと。
先生の目		大規模化によって生徒の目が届きにくくなる困る
学校規模の平準化 通学	夏場の通学の安全性	学校規模の偏りは解消できた方がよいと思う。しかし、年に暑い日が多くなっているため、徒歩で登下校する小中学生の熱中症等のリスクが通学時間が長くなることで、増えてしまう。
子どもの負担軽減		学校再編する事で通学の負担が子供にかかるかもしれないから。
平等・公平 時代に合わせた教育環境の整備	小中一貫校	そこにあつて、そこで暮らしたい人がいるのなら、平等に機会がなければ不公平であるし、効率を求めるなら教育こそ非効率な類のものなので、今あるものをつぶして公正な場所に配置する等しないと、難しいような気がする。余剰があるなら市立の中高一貫校を作るなど、新しい機軸を生み出さないと厳しいのでは？
その他	少子化	児童数が減少していく見込みなので今より学級数が増加する心配はないと思うから
その他	検討の進め方	数合せには良いと思うがより子供のためを第一に適正化としたい一戸へ家庭と話すべし。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
通学	通学距離重視	登校時間が、再編することにより、倍になってしまう可能性があるため。
通学	通学距離重視	通学時間が長いのは良くない。
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなるのは良くない
通学	通学距離重視	通学が遠くなる。通学バスの利用などがあれば良いが。
通学	通学距離重視	子供にとって「通学時間」は大きなカベと言える。学校が遠いという理由も不登校の一因となりうる
通学	通学距離重視	今はまだ必要でない。学校統廃合ならば、小学生(1～3年)の通学方法を考えるべき、現在でも、中学生は自転車通学もあり、通学が大変になることもあり、下校後の帰宅方法もあわせて考えるべきことなので※2※1を考えると同時に考えてほしい。
通学	通学距離重視	学校まで遠くなる子もいるのでは？小学生特に低学年は大変そう
通学	通学距離重視	とくに小学生の登下校が遠距離となることは避けたい。
通学	通学距離重視 通学の安全性	統合による遠くなったりする事、安全等に問題有ると思います。
通学	通学の安全性	通学距離が極端に遠くなる子供が出てくる。事故や事件に巻きこまれる可能性が増える。
通学	通学の安全性	子どもたちの通学に要する時間、距離が増えることは、安全・安心の面から望ましくない。
通学	学校選択制	住所で学校が決まるのが問題(学区)多少遠くても希望があれば、通学できるように、はじめなどで、学校をかわりたくても引越したくないとぎめだったり、立ちのきなど、少し住所がかわっても学区の関係で転校したいとだめだったり、今後、住居もフリーアドレスの時代になったときの対応も考える必要があると感じる
通学	子どもの負担軽減	統廃合により、通学距離が遠くなるのが予想されるためです。自転車通学が許可される中学生はまだしも、小学生を長距離歩かせて通学させるのは無理があると思います。現在の学生は平成時よりも学習要領も増えて帰宅時間が遅くなっているの、通学に時間をかけることは本人たちにとっても負担でしょうし、保護者にとっては心配が尽きないかと思ひます。スクールバスを導入すると、そこでまた経費がかさんでしまいます。
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	自宅から一番近いところに通えるのが親としても安心だと思うので。(まだ子供はいませんが…)学年の途中で廃校されたら、子供達が統合された先の学校で遅れるまで大変そう。
通学 その他	通学距離重視 人口	小学1年生等の通学距離があまり長くなるのは、望ましくないと思うため、学校再編はあまり必要ない、また、上尾市の人口は、これから増える可能性もあるため。
偏りを許容		土地柄、偏りに問題なし。
偏りを許容		地域によって異なる為やる必要はないと思う。
偏りを許容		人口の数により同じにはならない地方と東京でも異なる同じにする必要はない
偏りを許容		少ないクラスの学校出身だが、特に支障なくすごせていたため。
偏りを許容		小学校の内は、必要ないと思います。中学になると、クラブ活動が、したいため、クラスのお＝い学校に行くそうです。※「＝」:判読不明文字
偏りを許容		小、中学校とも1学年1～2クラスの小規模な学校でしたが、くに不都合はなかったため。
偏りを許容 通学	通学の安全性	地区によって世代の偏りがあるの、から学校によって偏りがあるのは仕方ない事。逆に問います。通学区域は学年の人数によって毎年変えるのですか？それと、今の時代通学時間が多い程、事故、事件に遭いやすくなるので、やめた方が良いのではと考へます。
クラスの人数		学年の総数より、1クラス20人の目のいきとどく人数でクラスを作るほうが良い
クラスの人数		学校の規模よりも1学級の人数を今よりも少なくすることの方が子供の教育をよりよいものにするために必要と思う。
現状維持		必要性を感じない。
現状維持		今まで通りで良いと思う
現状維持		瓦葺地区は各学年3クラスある為
小規模校の良さを生かす		市内の小学校同士が近隣に建っている訳ではないので、学校統廃合によって子供の安全性が損なわれると思いますし、一定規模の集団のもので、多様な人々と協働しながらたくましく生きる子供を育成できると考へるのは、違うのではなかつたと思います。小規模な学校でも先生方との関わり方や、皆を協力して行う大切さと達成感等、育成する事は出来るかと思ひます。
小規模校の良さを生かす		子どもたち1人1人が人間として成長することを育むことが、現在の教育では欠けている。学校の統廃合よりも、教職員の配置を手厚くして、子供1人1人に手の行き届く対応ができるようにすべきである。「多様な1＝と協働しながらたくましく生きる子供を育成」することは、学校という狭い場だけを考へるのではなく、学校外も含めて考へることが大切である。そのためには、現行のカリキュラムを見直して、もっと「ゆとり」のあるものにし、＝だけにとられることなく幅広い活動を考へる必要がある。現在、市が行おうとしている学校等再編成は、21世紀の子どもを育てる方向とは、逆の方向に行っていると思われる。※「＝」:判読不明文字
小規模校の良さを生かす 通学	子どもの負担軽減	学校規模の標準に合わせて子供の数を確保したところで多くの多様な人と過ごせるわけではないから、小規模の学校を増やし、通学の負担が少なく、先生の目が届きやすい環境を作ったほうが良いと思ひます。
学校規模への懸念		標準程度がのぞましいとは考へられません。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
学校規模への懸念 クラスの人数		①国の基準は生徒数の上限を示すもので、それより少人数学級を否定するものではない。②欧米諸国では小人数学級が一般的である。
学校規模の平準化		児童がいないのだから当然統合する。又教員も減で対応する。
居住地選択理由 通学	学校選択制	学校をふまえて自宅を選んだり、学校選択区域等で対応できるため無理に偏りを解消する必要はないと思います。
教員	質の向上	1学年のクラスの数より、クラスの中でどの様に教育するかが重要と考える
地域とのつながりが 必要	学校	地いきに子ども達の声が聞こえるといいですね少人数になると困ることもあると思うが地域から学校がなくなると本当にさみしくなります。
廃校への懸念 通学	通学の安全性	学校の歴史をなくしてほしくない。延統廃合して、通学するキョリがびたら、通学の安全性に不安を感じる。→余計に子供らが上尾から出ていってしまうのではないのか??
その他	地域事情への配慮	地域の偏りはでてしまうが、いづれ終りがくる、(土地開発が終ってしまえば建売住宅もそこまで。伸びなくなると思う。
その他	地域事情への配慮	それぞれの学校には、地域の歴史や成り立ち、それぞれがちがう形で続いてきているので、学校規模の偏りを「標準程度」や統廃合による再編で解決するのではなく、その地域、例えば、平方地区とか、大谷地区とかのかたまりで住民がよく協議をし、こういう方向なら、最大公約数が納得できるものを作ってほしいと思います。経済効率優先の大人の目線でなく、大切な尊い存在である。子どもの利益を優先した学校づくりをするのが私たち大人の責任であります。
その他	検討の進め方	①右記事のように①「何らかの対策」②「統合など」であり即再編・統廃合ではないと考えます、上尾方式が考えられませんか②今ある学校の数を減らして教育環境を整えようとせず行政として子どもの権利・利益・科学的成長発達の根拠等にもとづいて政策を出して下さい③大規模校は児童・生徒の成長にとって望ましくないと考えます。早急に改善を望みます。④小規模校について統廃合の対称にすべきかは地域で育ち学ぶ事を考えると疑問です。まして特別支援学級は除くです。(クラス人数とカウントされない支援学級の子ども数という考えは承知)⑤上尾市は国の政策に添った教育行政を進めるのでなく国に教育予算の増額を求める事を望みます。
その他		状況に応じて対応すれば良いことであり、こちらからすり寄ることで無いと思います。

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
偏りを許容		偏りがある事がどう良いのか悪いのかわからない先生が大変とか子供が多い事と少ない事で子供はどうなるのか、とか、考える事が多すぎる。
偏りを許容		地域は団地などや大型マンションがあればどうしてもへだたりは発生するのでは。
偏りを許容		少子化の問題昔から児童数多い学校(クラスも)昔から児童数少ない学校はあった。
偏りを許容		この先人口が減少していく事を考えるとわかりません、色々な学校の形態があってもいいのかなと思います。
通学	通学距離重視	小さい子がいないので今の様子が分かりませんが通学するのに小学生は近い方が好ましいとは思いますが
通学	通学距離重視	バランスをとるのも大切だと思いますがそれによって通学距離など子供への負担は???
通学	通学距離重視	・学校規模の適正化は理想的だと思いますが、子供の学校までの通学時間(自宅から学校まで所要時間)特に低学年(小学生)は考りよして欲しいと思います。
通学	学校選択制	通学区域を自由にし、小規模な学校でも興味がわくような、特別授業があるなどすれば、学校統廃合もよいのかもしれないが、そうなると通学距離、時間など問題が起こる。スクールバス使用にならなければ安全・安心ができない。
通学 財政	子どもの負担軽減	通学区域が広くなり過ぎると、子どもへの負担が増すと思うが。(学校が遠くなる児童が出るのでは…)校舎の建替え等を考えた時、児童数減少が予想される学校を維持し続けるのは負担が大き過ぎるように思う。
学校規模への懸念		学校再編することと子供の教育・育成することは、別の問題だと思います。なので、「問2-1」質問の意図がわかりません
学校規模への懸念		コミュニティ、スクールや適正規模の説明がわからない。
学校規模の平準化 廃校への懸念		1クラスで学ぶよりはたくさんのクラスで学ぶほうが良いと思う面再編されたら学んだ学校が無くなるという卒業生のさみしさもあります、良い結果が出来るようになると良いですね
クラスの人数		学校再編は必要なかもしれませんが偏りがあるのも大変かとは思いますが。ただ〇〇小学校でなくなり、〇〇小学校に行かなければ、ならないと、いうのも大変かと思えます。1クラスの人数は少ない方が、先生の目が届いていいのではと思います。この問題は、なかなかむずかしいです。
能力向上・刺激 通学	通学の安全性	通学区域を見直す統廃合する事によって学習面など良いと思いますが、通学時間(距離)が長くなり安全に登校できるか心配です。
その他	判断できない	問題が大きすぎて、答えられません。
その他	判断できない	分からない。
その他	判断できない	通学区域の見直しは必要と思うがクラス数を考えるに当たり、教職員数を考慮する必要があると思うが、現状数が分からない(資料データがない)ので判出来ない。
その他	判断できない	自身の子育てからだいたい年月が経っているため、この件に関して問題視した事がなかったの、申し訳ありません、分からないと回答いたしました。
その他	判断できない	再編によって学校まで遠くなる場合もあるので本当に区域見直しが必要かどうかはわからないまた実施になった場合、時期をいつにするかを決めるのがむずかしいように思う。
その他	判断できない	学校規模の偏りを見ていると確かに再編が必要だと思いますが…又その結果によって色々な問題(距離の問題とか、それぞれの思い、不満とか…)が出るだろうと思うと答えるのが難しいです
その他	判断できない	この地域出身でもないですし、子どもは未就学児なので再編によるメリット・デメリットがよくわかりません。
その他	判断できない	〇数字だけで判断出来ないの、〇地域・子供達の現象をよく知らないの、〇地域の方々意見を良く聞いていただきたいと思えます。
その他	地域事情への配慮	地域により統一していくのは、別々の考えかと思えます。
その他	地域事情への配慮	小中学生が多い地域と少ない地域がありますが、その原因となっている事を改善していかなければならないと思います。私の自宅や近くにある実家は市街化調整区域にあり、子供が増えにくい状況にあります。父が亡くなり相続するにも困ると思えます。こういった地域の問題を考慮していく事が大事であると思えます。地域ごとの子供の数は、バランスが悪くなる一方ではないかと思えます。急ぎ解決して欲しいと思えます。
その他	地域事情への配慮	小規模学校区の地域の理由・原因を考えることが必要です。他の地区と比べて、子育てが若いファミリー層にとって便利で住みやすいでしょうか交通・買物、病院、公園などは身近にあるでしょうか。今のままでは、数年後、数十年後にまた学校再編の問題がおこります。将来を見据えて、もっと根本的な対策を考えるべきだと思います。上尾市がますます各年代の人々にとって住み良いところになることを期待しています。
その他	説明不足	①学校再編とはどういうことか?昨年度一度凍結(〇ベースに)された施設更新計画をもういちどやるというのか、違うのかわからない。②法律で定めた標準程度の説明・解説を付けてないので答えられかい。※2小学校は1学年2〜3クラス、中学校は1学年4〜6クラスとあるがそれ未満は廃校にして、統合することになるのでは?具体的な学校の統廃合の計画を示してもらわないと答えられない。③学校規模の偏りについて、今まで市はどのような対策をしてきたを後で聞きたい。
その他		私は子供がおられません。自分自身の子供時代に感じたことをアンケートに記載しております。
その他		私には子供がいませんので、参考になるかわかりませんが、一応記入しました。
その他		子供がいないので分からない
その他		各家庭の希望する内容が異なるので様々な意見があると思えます。

分からない（市民アンケート）

大項目	中項目	問2-2「問2-1」の理由を教えてください。（自由記述）
その他		4年前に上尾に引ってして来たので事情がわからない
その他		特になし
その他		なし

2. 未就学児保護者アンケート 問 6-2 学校再編理由

(1) 「必要」「どちらかといえば必要」と回答された方の主な理由

①通学に関すること

自宅により近い学校へ通学することへの期待する意見や、学校選択制により自宅の近所や子供の特性に合った学校へ通学することへの期待する意見が出されている。

②学校規模の適正化（平準化）

学校規模に偏りがあるため学校規模の適正化（平準化）を求める声や、公立学校として全ての学校で平等・公平な教育を受けられる環境とすべき、教育内容や部活動、学校行事において学校間の格差があるべきでないとの意見が出されている。

③クラス替えできる学校規模（単学級による人間関係の固定化）

クラス替えができる程度の児童生徒が在籍することで、人間関係の流動化によるトラブル・いじめ回避への期待などが出されている。

④社会性の形成や多様な価値観の形成

社会性の育成のために一定の集団は必要、多くの児童生徒と交流することにより多様な価値観が形成されるといった意見が出されている。

(2) 「どちらかといえば必要ではない」「必要ではない」と回答された方の主な理由

①通学に関すること

学校再編により現在入学が予定されている学校よりも通学距離が遠くなるのではないかと不安な声が出されている。距離が遠くなることにより、子供の通学の安全性への懸念や子供の負担の増加を心配する声が出されている。

②地域事情への配慮

学校規模が地域により偏りがあるのは地域事情もあり仕方がない、問題はないといった意見や、小規模校の良さを生かすべきとの意見が出されている。

(3) 学校再編の是非【単数回答】(n=660) (上段：実数、下段：%) ※報告書本編より

全 体	問6-1 学校再編の是非					
	必要である と思う	どちらかとい えば、必要 であると思う	どちらかとい えば、必要 ではないと思 う	必要ではな いと思う	分からない	不 明
660	204	274	66	49	57	10
100.0	30.9	41.5	10.0	7.4	8.6	1.5

(4) 学校再編の是非の理由まとめ (注：Nは出された意見の数)

①「未就学児保護者」学校再編
「必要」理由(N=256)

意見項目	単位：%
通学	16.0
学校規模の平準化	13.7
人間関係の流動化	10.5
平等・公平	9.8
教育格差	9.4
先生の日	7.4
教員	5.9
社会性の育成	5.1
多様な価値観の育成	4.3
部活や学校行事への懸念	4.3
その他	10.5

※3%以下は、その他に計上

②「未就学児保護者」学校再編
「どちらかといえば必要」理由(N=277)

意見項目	単位：%
通学	27.4
学校規模の平準化	14.1
人間関係の流動化	10.8
教育格差	8.3
社会性の育成	5.8
平等・公平	5.4
先生の日	4.7
多様な価値観の形成	4.7
教員	3.6
その他	15.2

※3%以下は、その他に計上

通学に関することが最も多く(①16.0%、②27.4%)、次いで学校規模の平準化に関すること(①13.7%、②14.1%)、や平等・公平に関すること(①9.8%、②4.7%)、人間関係の流動化に関すること(①10.5%、②10.8%)、社会性の育成(①5.1%、②5.8%)や多様な価値観の形成(①4.3%、②4.7%)が多くなっている。

③「未就学児保護者」学校再編
「どちらかといえば不要」理由(N=63)

意見項目	単位：%
通学	50.8
偏りを許容	17.5
現状維持	4.8
一長一短	3.2
教員	3.2
廃校への懸念	3.2
クラスの人数	1.6
クラス数	1.6
子どもの負担軽減	1.6
先生の日	1.6
地域とのつながりが必要	1.6
その他	9.5

④「未就学児保護者」学校再編
「不要」理由(N=56)

意見項目	単位：%
通学	41.1
偏りを許容	12.5
説明不足	7.1
地域事情への配慮	7.1
検討の進め方	3.6
一長一短	3.6
居住地選択理由	3.6
現状維持	3.6
子どもの負担軽減	3.6
コロナ	1.8
学外で補完	1.8
学校規模の平準化	1.8
教員	1.8
小規模校の良さを生かす	1.8
地域とのつながりが必要	1.8
能力向上・刺激	1.8
その他	1.8

通学に関することが最も多く(③50.8%、④41.1%)、次いで偏りを許容に関すること(③17.5%、④12.5%)が多くなっている。

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
通学	通学距離重視	通学区域が広がる事で通学時間が長くなり事故や事件にまき込まれる可能性が増える。
通学	通学距離重視	通学距離が長くなる可能性がある為
通学	通学距離重視	学校までの通学など遠くなることからその地域ごとに作ったほうが良い
通学	通学距離重視 夏場の通学の 安全性	とても遠い所から通学している子供がいた。「学校に着く頃には疲れてしまう」と言っているのに、学区の見直しをして、全ての子供が、学校生活を満足に送れる様にさせてあげて欲しい。又、安全面からも、通学距離は、短くあるべきだと思う。防犯上はもらろん、夏場は、早朝でも熱中症の危険もあるので、その点も考慮して欲しい。
通学	学校選択制	どこに通うか選べるとよいと思います。保育園が遠いため、小学校同じ子が1人もいません。
通学	学校選択制	通学区域を柔軟にすることはかなり重要だと思っています。通学区ライン0m以内は自由選択できるような通学しやすい見直しや改善を求めます。
通学	学校選択制	周辺の小学校で自分に合う学校を選べるようにしたい。明らかに家から近いのに学区が違ったり。家庭の都合で(祖父母宅から通う等)通いやすい学校を選べる方が良い。
通学	学校選択制	区域に関係なく、ないし、市を越えて、通学できることを望みます。上尾市→桶川市の小学校に通うなど。
通学	学校選択制 スクールバス	・通学区域があると行きたい学校に行けない・スクールバスがある程度出して欲しい
通学	学校選択制 通学距離重視	家から学校までの距離が、近い方に通えずわざわざ遠い学校へ通う意味がわからない。(学区があるのはわかるが)
通学	通学の安全性	家から近い小学校ではなく、少し遠い学校に行く為。通学距離が遠いので、交通事故や事件に巻き込まれるリスクが高い。
通学	通学区域の見直し	市内の小・中学校それぞれで学区の広さがバラバラであるため。
通学	通学方法の検討	必要であると思うが、通学距離が遠く長くなってしまいうため、通学方法について、徒歩では無理になります、通学方法について考慮していただきたく思います。
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	学区を見直すことで生徒によっては通学時間が短縮されたり、クラスの規模の偏りを解消する以外にもメリットがあると思うから。
通学 平等・公平	通学距離重視	通学の距離もそうですが、学習や体力面などの平均化
通学 平等・公平	通学距離重視	最近の気象等を考えると、通学距離が伸びるのは望ましくないが、1学年1クラスの学校と5クラスの学校が同じ市内で混在するのは不平等である。
通学 教育格差	通学距離重視	子供たちの通学距離の適正化のため 教育機会、質の均等化
通学 学校規模の平準化	通学区域の見直し	自分自身上尾小学校の登校していたが、栄町の方から登校している児童も多数いたりして、東町小の方が近い、中央小の方が近いというのがあり、現在でも生徒数に差が生じているようなので、細かくというのは難しいと思うが、均等になるよう、割り振った方が良いと思う。(小学校低学年が30分以上歩いて登校は酷すぎないか?)
通学 教員	通学距離 負担軽減	・通学の利便性の向上 ・教員の負担減
通学 その他	通学の安全性	・地域のボランティアの力を貸り安心、安全な通学道の確保・あまり大人が=すぎでも小人が調子に乗って、保護者も、それに便乗する。それを阻止出来る教育体制が整えば、まともな教育が出来ると思います。※「=」:判読不明文字
通学 その他	スクールバス 少子化	廃校にすることによる不平等は解消しなければならないが、スクールバスやオンラインによる方法を検討する必要がある、今後の学校運営を考えると少子化の影響を受けるので廃校も至し方ないと思う。
学校規模の平準化		学校ごとに差があまりない方が良くと思う
学校規模の平準化		偏りが学校側に出ることことで心配なことも増えそうなので。
学校規模の平準化		学校間格差をなくす為
学校規模の平準化		学校規模の偏りは問題であると思う為
学校規模の平準化		人口の変化における教育の制限をなくすため
学校規模の平準化		資料をみても、市中心部の学校は規模が大きく、クラスも多いため、小規模な学校への分散が必要と思ったため。
学校規模の平準化		人数が少なすぎても多すぎても問題が起きそうだから。
学校規模の平準化		自分の子供が通学予定の学校が1クラスしかなく驚いた。東京近郊の都市としてクラス替えはあって当然だと考えていたが、子供の数が思った以上に少ないようでこの資料を見て困惑している。最低でも1学年後数クラスを用意できるくらいまで学校再編または地球の人口増加政策が必要である。
学校規模の平準化		自分が子供の時、小学生は4クラス、中学生は6クラスあり、全員とのコミュニケーションがとれないのが嫌だった。少規模小学校から来た友人は、2クラスだったので学年全体が仲良く、大人になっても仲良く、深い関係でうらやましく思うから。
学校規模の平準化		学級数が多いと、クラス替え等で深い交友関係が築きにくいと考えるから。また学級数が少なくても、視野が狭くなってしまったり、トラブルなどで通うのが難しくなった時にも対応が適切に行なわれにくいように思うから。
学校規模の平準化		参考資料3ページのメリットが標準程度になることでどちらも得ることが出来ると思ったため

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。(自由記述)
学校規模の平準化		問いに書いてある通り、標準が望ましいと思うから。
学校規模の平準化		子どもの学習環境を考えると学校規模の適正化は不可避と考えるため
学校規模の平準化		均等化にした方がよいと思ったから
学校規模の平準化		偏りの程度にもよるが、どこかでは適正化が必要である。明らかな偏りは当人の学びの機会を妨げるだろうし、(市の)財源を考えた時に(多すぎる場合も少なすぎる場合も)、最適化されるべきだ。※ただし、小中一貫を除く。
学校規模の平準化 通学	通学距離重視	近くに小学校がかたまっていて、小規模になってしまっている場合がある為。ただ通学距離が心配です。
学校規模の平準化 能力向上・刺激	中一ギャップ	人数が少ない学校、多い学校で成長に差が出る可能性がある、(中学校に入学した時のなじみやすさなど)
学校規模の平準化 平等・公平	中一ギャップ	中学へ進学した際、規模の違いで、生徒間で優劣のようなものができてしまうと感じた。例えば、規模の大きいA校、小さいB校があるとすると、自動的にA>Bのような関係性が生まれる可能性が高い。上記の理由で、家庭のトラブルは=だが、生まれ育った地域に劣等感を持つ事が何より残念。その旨を無す為、学ニの見直しに必要。※「=」:判読不明文字
学校規模の平準化 人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	大石小、大石中が多すぎるので学区を見直した方がいいと思います。小規模クラスは不登校の原因になると思う毎年クラス替えは必要
学校規模の平準化 教員	数の不足	人数の偏りがあれば教育の偏りは勿論、教員の配置数も考慮しなければならない状況下が続くのは効率的ではない。老朽化に伴い建て直しをするくらいなら思い切って廃校にして一つの学校に入る生徒数の均一化を図るのは決して悪い案であるとは思わない
学校規模の平準化 教育格差		1学年のクラス教に偏りが無いように学校の廃止、新設をするべきだと思う。学ぶ上では、ある程度(標準程度)の人数で集団生活をするのが有効だと思う。
学校規模の平準化 先生目		学校によつての学級数にばらつきがありすぎる。人数が多すぎる場合、生徒1人1人に目が届かず心配な面が増えそう。
学校規模の平準化 人間関係の流動化		・偏りをなくして、必要だと思う。・友達関係を築く為にも、2〜3クラス(小学校)、4〜6クラス(中学校)はあった方が良く思う。
学校規模の平準化 人間関係の流動化		私自身も、小中を“法の定める標準”範囲の規模で育った。体感で、学年ごとにクラス対向も満足できたと思う。学年内で、全員の名前を覚えられる、ちょうどよい規模だと思う。
学校規模の平準化 教育格差 通学	通学距離重視	地域により世代の違いが生じてしまうのは、仕方のない事だと思う。子供が通える範囲内で区域の見直しを行い生徒数のバランスを調整できると良い。
学校規模の平準化 クラス数 通学	通学距離重視	国の法律で定められているクラス数に合わせるべき。小規模、大規模ともにデメリットがあると思う。ただ、学区編成により、通学距離がとても良くなるのは子供にとってはつらいと思う。
学校規模の平準化 通学 部活や学校行事への懸念	中一ギャップ 通学距離重視	自分自身、小学生時代5クラスある大きい小学校であった対象に主人は2クラスギリギリある程の小さい学校であつて中学で他の学校と合わさる際、やはりグループがすでに出来ているや、生徒により通学距離がかなりすぎるなど不平等や部活動での強さ格差が出ると感じるため。
学校規模の平準化 通学 その他	スクールバス	学校の数を小児化の時代にあわせた適正な数に減らし偏りが無いように生徒を分散した方が良く思います。使わなくてもいい学校をなくす事でかかるコストを減らしての分浮いたコストで少し遠い場所から通う生徒などにはスクールバスなどを導入するなどいいと思います。スクールバスにする事で生まれる安心感もあると思う。親の負担も減らして仕事のない方の雇用にもつながる。
学校規模の平準化 通学 その他	学校選択制 在校生への配慮	偏りがあるから。ただし、現在通学している生徒・児童がある程度納得できるような説明やシステムは必要。在学中の生徒児童については、強制ではなく、選択できたり、状況に応じて(特例になるので、手間は増えるが…)そのまま在籍できるなどの案があつてもいいのでは…新入生については、再編後学校でいいと思う。
学校規模の平準化 教育格差 平等・公平		同じ環境のもと生活することで、子供たちの協調性や学習能力も高まると思う為。何事も偏りがあるのは良くないと思います。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模クラス校の場合 目新しい変化が少なく、最大6年間、同クラスメイトと共にするため、問題がある(かもしれない)時に孤立や不登校になりかねないため。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスはトラブルがあつたときその団体から逃げ場がないのがつらいと思った。平方北小も1クラスでいじめとかなないと聞いたがずっとそうとも限らないし、2クラスはほしい。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスの学校では1クラスのまま6年間過ごす事になり、トラブルがあつた時にクラス替えで対応ができない為
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスですと、全員と仲良しであれば良いですが、やはり気が合わない友達もいると思います、それが6年間ずっと一緒というのは先生も子供も大変だと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1〜2クラスしかないような場合、もしいじめに合つたりしたら、その人間関係が6年(または9年)も続くのは耐えられない。クラス替えで人間関係をリフレッシュし、新しい友達を作れた方が良く。また、教師との相性が悪い場合も、学年が変わることで新しい教師との出会いが期待できるが、もしクラス数が少ないと、また何年か後に同じ担任になつたりするのはつらい。クラス数は多い方が、人間関係に行き詰まつた時のリスクは回避しやすい。

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	・子どもには多種多様な生徒、先生に出会い、「色々な人がいる」ことを肌で感じ、広い心を持つよう育てて欲しい。（小規模→中規模への希望）・自分自身、1990年代に大規模校で行き過ぎた管理主義教育を受けた。先生方は大勢の子供を意図した通りに動かそうとして、クラスで感情的になって怒る先生、部活で体罰をする先生がいた。生徒は管理されるばかりでエネルギーを発散する場もなく、ストレスのはげ口としての陰湿ないじめは深刻化した。大規模校は中規模化するなどして多少生徒が自由がきくように小回りのきく集団にしてほしい。
人間関係の流動化		学区により規模が違くと、触れ合える友だちの数にも差が出てしまうため。
人間関係の流動化		できるだけ多くの人と交流を持つ体験をしたほうが良いから。
人間関係の流動化		1学年に1クラスしかない中では、クラス対抗などの行事が行なえない。クラス替えなどの新しい友達との出会いの機会や楽しみがないのはかわいそう。
人間関係の流動化		多くの人と接してほしいから
人間関係の流動化 通学	トラブル・いじめ回避 通学区域の見直し	・小学校6年間、単学級で過ごすことになった場合、人間関係が固定してしまったり、友人関係がうまくいかなくなった時に逃げ場がなくなってしまう。・尾山台小学校は、団地の高齢化で児童数が少なくなっている。また団地以外から通っている子供の中には、原市南小学校の方が自宅から近い場合も多い。よって、学区割が地域の実態・ニーズと合っておらず、学校再編は喫緊の課題と考える。
人間関係の流動化 先生の目	トラブル・いじめ回避	小規模すぎると人間関係がうまくいかなくなったときにリカバリーができないから。大規模すぎると教員の目が行き届かないと思うから。
人間関係の流動化 通学	スクールバス	1クラスだと6年間クラス替えがなく、人間関係が深まりやすいとは思いますが、様々な人と触れ合うことによって将来の人間関係に良いと思うから。統配合して、バス通学にした方が良いと思う。
人間関係の流動化 財政		・小規模校では、人間関係が硬直化し、幅広い人間性が育たない。・施設維持にかかる予算を削減する必要がある。
平等・公平		同じ市に住んでいながら平等の教育ができていないとどうも思いきれないので。
平等・公平		教育の密度が学校によって異なるというのは、公平・公正が原則の公共サービスを提供するうえで適正とはいえないため。
平等・公平		公平性を重視します。
平等・公平		公平になるから
平等・公平		・公立学校において、教育・スポーツの水準を平準化するためにも、学校規模の適正化は必要なことだと思います。・また、学校によって教育・スポーツの水準やタイヒ活動に差が生じてはならないと思います。試験でなく、住んでいる所により、学校は指定されるため。子どもたちや学ぶ環境は平等であってほしいと願います
平等・公平		学校によって差はない方がよい。
平等・公平		小規模な学校では出来ない事、大規模な学校では希薄になってしまう事があるので偏りを無くす為にも必要であると思う
平等・公平		子供たちを同じ条件にするため
平等・公平		平等な環境での教育が必要
平等・公平		適正な学校規模における教育の機械均等化のため。
平等・公平		住んでる場所にかかわらず、平等な教育などを提供するため。
平等・公平		義務教育で公立であるため、できるだけ平等な教育をしてほしいため。
平等・公平		規模によるメリット、デメリットをなくし、適正な規模とすることで適切な教育を子供たちにしてあげられるため
平等・公平		住んでいる地域によって有利・不利にならないような機会を与えてあげてほしい。
平等・公平		予算や人員など偏りがある状態では不公平であるため
平等・公平		クラス数による不平等感をなくすため。
平等・公平 先生の目		地域のバランスがとれる様にする必要があると思う。平等は教育の場、先生の目が届く範囲のクラス。
平等・公平 人間関係の流動化		同級生の人数により、受ける影響も変わると思うから。同じ市内で偏りがあるのはおかしいと思う。一方で、徒歩通学に困難が生じるもの良くないとは思いますが…
教育格差 教員	負担軽減	学校の規模に大きな差ができると子ども達の教育にも差がでると思う。また、教員の方々への負担の差も均一化できるのではないかと。
教育格差		偏りは学力に差がつくと思う為。
教育格差		学力に差が生じてしまうと思うので
教育格差		学習内容の習得に関して学校により差がでてくるのではないかとと思うため(大規模だと、学習に限らず、人間関係なども先生の目がとどききらない等)
教育格差		学区により教育環境に大きな差異があるのは教育に偏りが生まれてしまう為。
教育格差		クラス数の違いで教育に差が出る 特に教員質にのバラツキがでる
教育格差		同じ教育を受けていても、環境によって子供の学びに影響があると思うから。
教育格差		もうすでにそのせいで学力や体力に差がついているため。

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
教育格差		1学年1クラスの学校で育った子どもと、1学年5クラスの学校で育った子どもで、環境の違いが大きすぎて、教員の子ども一人ひとりに目を配る割合もちがうため、差が大きくなってしまおうと思うから。
教育格差		地域や学区による差は学力への影響もあると思うので偏りは無くすべきだと思う。
教育格差 教員	負担軽減	生徒数の偏りは学校生活において学習の充実や経験、設備など多くのことに影響があると思います。また、先生方の負担も違うため再編できるのであれば見直すことは必要だと思います。
教育格差 人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	偏りから勉学の力の入れ方、いじめ問題などより生まれやすくなってしまおうのかなと感じます。
教育格差 通学	通学距離重視	学校間の偏りを無くす事は必要と考える。しかしながら通学時間、距離は重要である為配慮が必要
教育格差 人間関係の流動化		・どの学校でも、均等な教育の実施が必要かと。・小規模と大規模だと、人との関わり方、共存心などに違いが出てくる恐れがあるため。
教育格差 先生の日		・地域差によるダイバシティ格差・教員の目が行き届く人数
教育格差 多様な価値観の育成		規模に偏りがあると教育にも偏りがでるのでは。また社会にでる前に学校で様々な人(先生、クラスメイト、友人、コメディカル)と関わった方が色々な考えの人がいると理解でき想像力が育つのではないかと。
教育格差 多様な価値観の育成		小クラスでは集団行動、集団教育は名ばかりになってしまう。一定規模以上の人数、組織があつて初めて、教育として成り立つのではないかと考える。
教育格差 部活や学校行事への懸念 人間関係の流動化		1学年のクラス数が多すぎると行事や学習活動に影響がありそうだし、単級だと人間関係が固定されてしまいうから。
先生の日	大規模校	クラスが多すぎると先生が大変先生のみえないところで悪さすることができてしまおうかもしれない
先生の日		人数が多いと先生が子供達に目が行き届かなくいじめがあつても気づいてくれなさうから。
先生の日		大規模な学校は先生の負担も多く、生徒一人ひとりに目が届きにくいと思います。
先生の日		規模が大きすぎると生徒一人ひとりに目が届きにくくなるのが懸念されるため。
先生の日		わけ隔てなくクラス編成を行い行き届いた生徒指導を行ってほしいから。
先生の日 教員		児童数が多いと先生の日も行き届かなそう。また、先生自身もなまけそう。
先生の日 社会性の育成 平等・公平 通学	大規模校 学校選択制	学校事に人数差がある場合、大規模の場合は日が行き届かないのではないかと。それに対し、小規模の場合は多人数とのコミュニケーションに不安がある、そのため、全てを平準化する事でその差を減らして欲しい。また、住んでいる地域によって強制的に行き先が決められると上記の理由が心配でも決まった学校に行かなくてはならず、選択権が無いのはおかしい。
教員	数の不足	限られた教員を効率よく配置することが大局的に見た場合に大事だから
教員	負担軽減	教員の方の仕事が増えすぎても問題だと思うので小規模の人数で教育現場の環境も整えてもらいたい
教員 人間関係の流動化	数	・ある程度のクラスがあることで、教員の教も増える。・人間関係が広がる
教員 部活や学校行事への懸念	数	学校規模により専門教員の配置や学校行事の活気、クラブ活動の機会損失になりかねないため。
教員 教育格差	数	・教員の配置・学習のスピードに差がでると思うので必要。
教員 先生の日	負担軽減	教員の負担を平準化することにもつながり、一人一人の児童に目が届きやすくなると思う、そのためには既存の在り方にとらわれた学区の見直しを図るべきだと思う。
教員 通学	負担軽減 通学の安全性	学校によって偏りがあることで教員に負担がかかると思う。また通学距離については子どもの安全の為に検討が必要である。
教員 先生の日	負担軽減	・規模の縮小化で、児童へ目が行き届きやすくなる・教諭の負担減
社会性の育成		人数の偏りがあるということは人間関係に偏りが生じる。社会性も学校によって差が出てしまおう。
社会性の育成		人はコミュニティの中で生きていくので早目に集団生活を体験していった方がその後の人生にいかせると思う。また、職員の負担も分散できるのできめこまかく指導ができる余裕が生まれると思う。
社会性の育成		人とのつながりのみつどを学んでほしい
社会性の育成		新しい社会生活が学べない為
社会性の育成		学校規模の偏りによって、社会性やコミュニケーションの身に付き方が変わってきて中学や高校に進学した際になじめるかどうかにつながると思うので偏りが少ない方が良いと思うから
社会性の育成		これはとても必要、協調性や多くの人と接し、関わることで感じるもの、経験することは、成長へのステップ。社会へ巣立っていく上でとても大切と感じます。小・中学校時代の経験は、やはり基本となります。口で説明して分かるものではなく、肌で感じ、自分の中で考え身に付くものは、学校教育の上で重要と考えます。

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。(自由記述)
社会性の育成		クラスメイトの多少により、コミュニケーション能力の伸張が関係すると考えるため
社会性の育成		多様な人々との交流が社会に出た時の礎になると思います。
社会性の育成		勉強のみでなく他者との協調等を学ぶ場と考えます。
社会性の育成 財政 教員 通学	数 スクールバス	・子どもに集団生活を通して学ばせるため・施設維持費の削減のため(古い学校は廃校にする)・教職員の 人件費の削減のため重要通学距離に関して子どもに影響が出ないよう、市がスクールバス等を無償 で提供する対策が必要
多様な価値観の育 成		人数の多さの違いで必ず様々な考え方の違いが出てくるから
多様な価値観の育 成		小規模の場合、意見や友人、多様性の発生に影響が出そう、集団でこを得られることが多いと思う。
多様な価値観の育 成		小さいうちから、たくさんの友達や先生と関れることは子どもにとって、大きな意味(いろいろな考えなどに ふれる)を持つと思うから。
多様な価値観の育 成		行事や学業向上など多方面で考えた時 1クラス小規模な学校では多様性にかけてしまうため。向上す る上で必要だと思う。
多様な価値観の育 成		1学年1クラスだと関わる友人が少なすぎる為、多数性を学ぶことが必要。クラス替えなど環境の変化も 子どもの成長に必要なと思うから。
多様な価値観の育 成		先の未来を担っていく子供達には、広く豊かな感性と柔軟な考え方と持つことが必要だと思います。狭 いテリトリーの中だけでなく少しでも、広く行動範囲で学ぶことが将来の糧になると思います。
多様な価値観の育 成 人間関係の流動化		私自身学校統廃合を受けました。それにより通学距離はのびましたが、友達や先生もそれを考慮して対 応してくれました。狭い学校小ない友達より、広い所で様々な人々と接することができる方が、小さな学 校の生徒にはいいのかと思います。
部活や学校行事へ の懸念		人数が少ない学校は、部活動での活潑さが不足してしまうような気がする。強いチームが部員数が多い ように。
部活や学校行事へ の懸念 多様な価値観の育 成		小規模には小規模なりのメリットはありますが(個人に対しての接する濃さが違う)学校行事における盛り 上がり、部活動クラブ活動の種類や練習内容等小規模であるがゆえのデメリットはやはり大きいと感じま す。色々な考えを持った人々と多く交流することは、子供たちにとってこれからの多様性の時代を生きて いくのに大事なことだと思います。
部活や学校行事へ の懸念 通学 先生の目	学校選択制	・児童、生徒数の偏りにより、イベント・部活動・集団行動などに制限が生じるため。・通学区域を見直し、 すべての地域で複数の選択肢を与えることで様々な可能性が生まれるため。・規模が大きくなりすぎるこ とでいじめや子どもたちの中で起こる問題に大人が気づけない。また子どもたちも訴えることが困難にな る。(そういう児童もいる)
部活や学校行事へ の懸念 学校施設 先生の目		学習や運動、学校行事などある程度の人数が居る(在校生)ことで活気がある生活になると思います。た だし、小規模でも学校施設の充実や先生方の教育の隔たりが無いのであればむしろ今の時代、一人一 人に目を向けてあげられる教育ができるような気がします。
部活や学校行事へ の懸念 社会性の育成 財政		どの地域に住んでいても学校規模に偏りが無い方が良いと思います。例えば、運動会等の子供が体験 する行事はクラス対抗ができる方が良いと思います。できるだけ多くの友達と関わりを持って社会性や協 調性を学んで欲しいと思います。また学校再編である程度的人数で1つの学校に集約する事で適確な 資金運用ができるのではないかと思います。
能力向上・刺激		中長期で見た時の競争力(学門も、スポーツも)の強化のためにも、バランス良くできるのが望ましいとは 思う。
能力向上・刺激		児童の刺激や経験に差が生まれる。
能力向上・刺激 人間関係の流動化		・活動の幅が広がる ・豊かな人間関係の構築
能力向上・刺激 多様な価値観の育 成	競争力	・競争する環境がないと、学力や運動能力が成長し辛いと感じるため。 ・多感な時期に様々な考え方 に触れることで心の成長が見込めるのでクラス替えができる規模の集団生活はできたほうが良いと考 えるため。
能力向上・刺激 通学	通学距離	学校規模が適正化した方が学力面、精神面において均衡のとれた伸び率を望めるのではないかと 思う。ただし、その影響で通学距離が大きくなることは保護者として懸念せざるを得ない。通学距離が大き く変わらないのであれば取り入れてほしい。
財政		節税
財政		旧町、村を単位として、標準程度に適正化し、限られた予算を有効に使うことは、当然なことと考える。
財政		・児童・生徒数が現実に減っているため、施設の更新のタイミングで見直さなければ、費用対効果が悪 くなってしまふ。
財政 人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	○様々なコストの問題○1クラスではコミュニティが小さく、協調性を学ぶのには偏りが生ずる○クラス内 で人間関係が上手いかわかなくとも次年度のクラス替えでやりなおしが効く事があるから
財政 廃校への懸念		今後、児童数が減少していくにも関わらず、学校施設の更新費用は増加していくのであれば、学校の統 廃合を進めるべきと考えます。廃校となった学校の土地については、他の公共施設として活用するな ど、地域のニーズや時代に合った施設とするべきだと思います。
クラス数		1学年1クラスは少なすぎる

必要である（未就学児保護者アンケート）

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
クラス数 クラスの数 人間関係の流動化		クラスが標準程度なら小学校は3～4クラス、中学校は5～6クラスあって良いと思う。子ども同士・教員あ るていど合う合わないあると思うので。ただ、一クラスの人数はギリギリよりも少ない方がいいと思う。
クラスの数 教員 先生の目	負担軽減	法律で定める標準程度にはそれになった様々な理由があると思う。難しいことではあるが、クラス数が少 ないことよりも、1クラスの人数が少ないことの方が大切に思う。先生方の負担や、子どもたちも配慮を必 要とする子が増えていると思う。
クラスの数 先生の目		小学生は特に、クラスの数と共に各クラスの児童数も偏りなく調整してほしい。1クラス20名と30名で は、目の届き方も違うと思うので。
学校施設	新しい教育に あった施設	学校施設の老朽化が進むなかで、充実した設備で適切な教育を実施するために、古く、校区内の学生 数の少ない学校を、大きく新しい(あるいは集中した資金によるリフォームを施した)学校と統合することが 必要だと考えます。
学校施設		児童・生徒の数は減少している為、学校統廃合に必要(仕方のないこと)と感ずるため。統廃合により より良い施設、学校になればよいと思う。
学校規模の平準 クラスの数化		一定の統廃合が必要適正なクラス人数で教育する必要が有る為
学校運営		学校運営の効率化
その他	地域間格差	地域格差につながるため是正すべき
その他		今後一層の少子化が見込まれるので、いずれ再編するならどの時期に行っても変わらないと思うから。
その他		時代と共に住環境や人工分布の変化に合わせた再編をする必要があると思う
		問6-1の質問に記載のとおり。

どちらかといえば必要である（未就学児保護者アンケート）

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。(自由記述)
通学	通学距離重視	適正化、標準化自体には賛成だが、再編により、例えば小学校1年生の子供が遠い学校へ歩いて行かなければならない状況などは良くないと思う。(防犯面や異常気象等による健康面などから)
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなると、児童、生徒の負担が増える。(特に小学校低学年の児童)
通学	通学距離重視	大規模な学校であるほど、通学時間が長く遠い距離を歩いて登校せざるを得なくなり放課後の時間が削られてしまうため。
通学	通学距離重視	現在、今後の子どもの存在場所に合わせた学校再編は必要だと思う。しかし、ただ現存している学校を統廃合するだけでは、また新たな通学の偏りが生じるだけではないか。わざわざ家から近い学校ではなく、遠い学校へ行くメリットを感じない。通学の見直しは必要。
通学	通学距離重視	現在、家の近くの小学校には通えず、遠い小学校に通うことになっているので、区域を見直すことによって近くの学校に通えるようになってほしい。しかし、見直しても、偏りがよくなるのか疑問です。
通学	通学距離重視	学校規模の偏りをなくすのは良いと思うが、それによって通学にかかる時間が増えてしまうのは学生の負担になるし、保護者としても心配です。まだ街灯がなく、日が落ちる時間にまっ暗になる通学路が多数見受けられる。
通学	通学距離重視	学校規模の適正化の必要性は感じるが、通学区域の見直しにより通学距離がどの程度変わるのかが懸念。現在は、区域の小学校が最寄りの小学校よりも倍以上遠い。
通学	通学距離重視	学区を見直すことにより、通学距離が長くなってしまふ家庭が出てくるのではないかと心配。そういう事が起こらないよう配慮し、逆に現在学校まで遠い家は近くなるよう配慮できるなら再編もアリかなと思う。
通学	通学距離重視 自転車通学	※1の通学区域見直しや少ない学校廃合はいいと思うが通学距離が遠くなったりするのは安全面的によくはない気がする。自転車通学の子を増やすなど対策してほしい。
通学	通学距離重視 通学の安全性	必要ではあるが、通学距離が長くなったり、防犯の面で少し不安がある。
通学	通学距離重視 通学の安全性	小規模な学校はデメリットが多い気がするが、再編することで通学路が長くなったり、大きな道路をわたったりしなければならぬことになるのは心配。熱中症や、事故、ゆうかいなど。保母も共働き世帯が多く、みまもりなどはできないと思う。
通学	通学距離重視 通学の安全性	クラスを増やすことは良いことだが、通学の距離、時間がのびる可能性がある。また、経路の安全性の見直しが必要。そのため、通学区の選択などの検討が必要
通学	スクールバス	必要であると思うが、人口のかたよりによるものもあると思うので統廃合により、通学距離が長くなってしまふ地区に関しては市営バス等何らかの対策があってほしい。そうなると大きな額のお金が必要となる為、(1)とは思えない為。
通学	スクールバス	通学しやすさが制限されるのであればそこは改善策が必要だと思うから。(バス通学など)
通学	スクールバス	私の家が上尾の端っこにあるため、スクールバスで通うのは便利だと思ったが、現実的に実現できるかわからないから。
通学	スクールバス	・通学に無理のない程で検討・スクールバスによる通学要
通学	通学方法の検討	・規模に偏りがあるのは承知しているが、通学距離には限界があると思う。徒歩以外の方法も検討した方が良くと思う。(特に小学校)
通学	自転車通学 通学の安全性	少子化が進むにつれ、ある程度の統合に必要であるとは思いますが、学校が家から遠くなってしまった場合安全に登下校できるサポートや仕組みをつくって欲しいです。
通学	通学の安全性	再編することで通学距離に差が出てくると思うので、再編と共にどの子ども安全に通学できるような方法も考えていただけると幸いです。
通学	通学の安全性	1学年の人数と通学時間危険な道路などさけてほしいを重視しながらだったら必要だと思う。
通学	通学の安全性	・通学がより安全で、通いやすくなるなら賛同・近所、同じマンション内で、通う学校がバラバラになることで、通学の見守りがおろそかになるのではないかと、心配に、感じる。
通学	学校選択制	必要と思うが、学区によって自宅より遠くなるなら、他の学区で近い学校が選べるようになるなら、良いと思う。
通学	学校選択制	通学区域を見直すことで児童数の偏りを減らすことができるから。学区調整区域を増うことで、選択肢を増しより子供に合った学校を選ぶことができるから。
通学	学校選択制	学校を選べるようにする
通学	学校選択制 通学距離重視	私の子どもは来年度小学校に入学しますが、通学距離が片道2kmくらいと遠く、不安に思っています。大規模、小規模はそれぞれに良さがあると思うので、通学をもう少し柔軟にして何校かの中から合った学校を選べるようになると良いと思います。
通学	通学区域の見直し	通学区域の見直しをすることは良いことだと思うから。
通学	通学区域の見直し	学区は見直した方が良くと思う
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	再編により、通学距離が極端に長くなる地域がある場合は再編に反対ですが、学校規模を適正化する、という目的については賛成です。
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	学校再編によって、通学時間が他の子よりもかかってしまう問題がでてくると思いますが、極端に人数が少ないのもどうか、と思ってしまふ。
通学 平等・公平	通学距離重視	学校規模が局端に異なると、設備や人員の整備等、どうしても大きな学校が有先される恐れがある。各学校の平等性を作るためにも、規模はなるべくそろっていた方が良く。ただ、それにより通学が困難になるほど遠くから通う子が出てしまう可能性があるのでは、どちらかといえば、にしました。

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。(自由記述)
通学 学校規模の平準化	通学距離重視 スクールバス 通学の安全性	便利なところに人が集まり、不便なところは人が減るので、偏りが生じるのは仕方ないと思います。再編も仕方ないと思います。ただ通学距離が長くなり、それによって子どもたちの身体への負担が増え過ぎたり、危険にさらされるのでは。再編の意味が無いと思います。遠くなるならスクールバスを運行して下さい。(冬限定、家が遠い子限定など)通学距離が長くて大変苦労した経験があります。体力がつく?とんでもない!!睡眠時間は減るし、勉強時間は減るし、危険だし、いいことないです。
通学 学校規模の平準化 通学	通学距離重視 学校選択制	学校再編による登下校における時間が延びるのは良いことではないと感じる。小規模、大規模どちらにも利点があると感じており、すみません…意見が変わってしまって…。改めて資料を読み、ある程度傾りがなくすることは必要に感じる。知識がなく分からないのですが、かよえる学校を選択できるようにする(希望者には)のは良いと思う。
通学 その他	通学距離重視 学校選択制 検討の進め方	小規模なりに、大規模なりに良し悪しがあるので、良い所を見るとどの学校も同じような人数に…というのははなくていいのではと思う。家から遠くなってしまったら困る子もいるだろうし、昔それで大変な思いをした友人がいるので、まずそこを思いました。が、学校をえらべるのは良いと思います。どちらにせよ大変と思いますが、色んなことをためて見つけていってほしいです。(話がそれてすみません)
通学 その他	通学距離重視 検討の進め方	規模が少ない所より、大きい所の方が問題であると思う。しかし再編する事により学校までの距離が遠くなる家が出てきてしまうとそこも不安である。自分達が子供の頃の持物量や気温も違うので遠くなると子供に負担がかかる。再編する事により規模が大きくなる事が出てくると思うので慎重に考えていただきたい。
通学 多様な価値観の形成	通学距離重視 通学の安全性	統廃合により通学に時間が掛かる恐れがあり、事故等に遭う可能性が高まる、しかし多様性を学ぶにはある程度の人的交流は必要かと、
通学 平等・公平	通学距離重視 通学の安全性	住むエリアによって教育環境が違うのは不平等だと思うので、再編は必要だと思うが、まずは通学時間や安全性など、土台が、しっかりしてからでないと不安。
通学 教育格差	学校選択制	通学区域の見直しにより、遠くの学校になってしまったりする場合はとなりあう学校と選べるようにする等の工夫が必要だと思う。また再編により、教育レベルが落ちる等の問題が起きないよう、教職員を充てるなど、対策が必要。
通学 子どもの負担軽減 学校規模の平準化 通学	通学距離重視 学校選択制	通学時間が長くなったり、友達が別々になってしまうなど希望しない所へ行くのは、困りますが、できる限り人数が均等になってほしいので見直すことは必要だと思います。あえて学校の特色を強くして、選べるようになれば良いのです。
学校規模の平準化	中一ギャップ	中学校に進学した時に、人数が多い学校と少ない学校の子たちが交流するとともにコミュニティが人数の多い学校の方が強い。少ない学校の子たちが、そのできあがったコミュニティに入りにくいと思った。
学校規模の平準化		理想はどの学校も平均に児童、生徒の数にするのがよいと思いますが、居住場所など、通学時間で不加能なので、多い児童、生徒の学校から少ない学校へ移して生徒を増やすよりは、一学年1クラスしかない学校から多い学校へ行かせ、先生の充実が理想的だと考えます。
学校規模の平準化		偏りを解消することは、良いと思うが通学区域は考慮する必要はあると思う。
学校規模の平準化		標準程度のクラスがメリット、デメリットも同等程度に過ごせる環境になると思うから。
学校規模の平準化		大規模校と小規模校の児童数差が大きすぎる。学区を見直していくことで、その差は減少するように考えます。
学校規模の平準化		小中学校が整備された当時と比べ、人口分頻が変化している為、時代に則していない。小人数のまま学校運営するのは効率的ではない。
学校規模の平準化		小規模校よりも適正規模校の方が子供に良いと思う為
学校規模の平準化		自身は小学校1学年4クラス中学校1学年5クラスそれが「適正」(に近い)というならば、その通りだと思う。
学校規模の平準化		子供の人数で学校ごとに同じくらいがいいと思う
学校規模の平準化		教育的にも施設的にも適正な人数が良い。
学校規模の平準化		教育に偏りがでると考える為人数が多いと目が届かない、少ないと濃い関わりができる
学校規模の平準化		規模の大小によって、メリット・デメリットがあると考え、偏りをなくすことで、市内の小学校・中学校の標準化を図るため。
学校規模の平準化		規模が大きいこと、小さいことそれぞれにメリットとデメリットがあり、どちらかを選ぶのは難しいため。
学校規模の平準化		学校の再編は必要だが、法律に規定された“標準”が全ての児童生徒にとって適正とは限らないので、小規模校は学区外の児童生徒を受け入れる等の柔軟な対応が望まれると思うので。
学校規模の平準化		学校の規模に偏りが出ると、小規模は学校は、大丈夫なのかと思ってしまう。
学校規模の平準化		学校によるかたよりが無い方が良い
学校規模の平準化		ある程度の人数が揃わないとできない学習、体験があると思うから必要であると考えます。
学校規模の平準化		1学年1クラスと5クラスでは、人間育成の時期に環境が大きく異なるので、ある程度標準に近づけた方が、差が生じなくなると思うから。
学校規模の平準化 通学	通学距離重視	学校規模を平均的にするのは良いと思うが、それによって通学時間などに負担がかかるようになってはいけないと思う。
学校規模の平準化 通学	通学距離重視	学校規模の適正化は理想的ですが、通学距離や、規模の持続性との兼ね合いもあり、とても複雑な難しさがあるのでは?と考えるため。

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。(自由記述)
学校規模の平準化 通学	通学距離重視	偏りがない方が良くからだだし、通学距離が長すぎたりしないようにすべき
学校規模の平準化 通学	通学距離重視	可能であれば偏りは無い方が良い、ただし、通学の距離で負担になる事がないようにもして頂きたい。
学校規模の平準化 通学	通学の安全性	どちらかといえば必要の意味に小規模学校を廃校にせず、通学区域を見直して偏りを解消して欲しいという意味です。(※小規模学校に1学年2～3クラスになるように)例えば大規模学校から小規模学校へ分散するなど…。通学距離が長くなると安全の確保も難しくなると思います
学校規模の平準化 その他	検討の進め方	環境が大きく異なるという状況は好ましくないと考えるから(ただし区域の見直しや統廃合は住環境や通学の観点から慎重に検討すべきだと思う)
学校規模の平準化 教員	負担軽減	学校規模の適正化により、教員の負担も減るし、子供たちも小規模校・大規模校のそれぞれのメリットを合わせた教育が受けられるのではないかと思うため。
学校規模の平準化 通学	維持管理 少子化	偏りをなくすことは賛同しますが、それにより通学距離に影響が出ることが懸念されます。
学校規模の平準化 クラスの人数		学校規模を適正化することは必要だと思うが無理に学校の数を減らす必要はないと思う。教学区の見直しと1クラスの人数を減らす等して規模の偏りを減少させる。必ずしも適正規模である必要はないと思う。その後、統廃合も一部必要になると思う。
学校規模の平準化 子どもの負担軽減		今後も児童、生徒数の減少が見込まれているため、規模を適正化する必要があるただし、児童・生徒の負担や安全性を考慮も必要。
学校規模の平準化 先生の目		私自身が1学年1クラスの小学校でしたが、異学年との交流や先生たちの関わりも密で、全校生徒と友達という感じで充実していたと思います。クラス数が多すぎることで、個々に目がとどかなかつたり。デメリットが大きくなるように思います。そのため、クラス数が多すぎるところは、標準程度になるよう再編が必要だと思います
学校規模の平準化 平等・公平		市内の教育施設で環境にあまりに偏重があるのは、税 = の公平性からしても好ましくない。また、集団は過大であっても過少でわっても = しない。※「 = 」:判読不明文字
学校規模の平準化 平等・公平		居住地域による偏りをなくし、学校側の負担も減らした方がよし、子供たちにとっても適度な環境の中で育った方がよいと思うので
学校規模の平準化 教育格差		小規模校と大規模校では教育充実度のみならず学校そのものの雰囲気も大いに異なる部分がある。私立とちがひ、公立は通う学校を任意で決められないからこそ、市内におけるある程度の普遍化(適正化)は必要であると思われる。
学校規模の平準化 通学 その他	スクールバス 地域事情への配慮	上尾駅前に次々にマンションが建設されている事もあり、今後も学校規模に偏りが出てくると思います。我が家の学区は中央小学校である為、そこまで不安はありませんが、6年間1クラスの学校規模だと不安を感じていたかもしれません。近年は猛暑が続いているので、通学の距離が遠くなりすぎる場合はスクールバスなどを導入してもいいのではと感じました。
学校規模の平準化 教員 社会性の育成 先生の目	数の不足	偏りを解消するために、また、教員不足などの諸問題に対応するには、学校再編は必要かと思います。クラス替えを行うことで、多くの学友と交流し、社交性などを身につけ易くなると思います。一方、人数が増えることによって、きめ細かい指導であったり、不登校、いじめなどの問題に対処できなくなるのなどという危惧があります。そのあたりの問題にも対応できて、多人数でも、1人1人にしっかり目を向けられるならいいと思います。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	複数クラスがある事でクラス替えが出来る為。1クラスしかないと、そこが全くなってしまう、とても閉鎖的だと思う。(いじめ、社会性を育む等)
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	上平北小の場合、クラスでいじめがおきても6年間変わらないクラスで非常に悩んだときいているので
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	私自身が小・中と小規模で、生徒の距離がとても近く相手の良いところ、そうではないところが細かく見えすぎてしまった。小規模の為、嫌なことがあっても距離を取ることが出来ず辛い思いをした。大規模のメリット・デメリットもあると思うが、居場所は増えていくのではないかと思う。
人間関係の流動化	子どもの負担軽減	極端に多い、少ない人数では、生徒同士の交流・教員とのコミュニケーションに偏りが出るので、しかし、現在までに慣れた環境から急な見直しが行われることは生徒への負担となる可能性があり、段階的実施を望みます。
人間関係の流動化		多くの友人と交流できる機会を増やさない
人間関係の流動化		多くの交流があった方が良く
人間関係の流動化		新しい人との出会いは多い方が良く。
人間関係の流動化		社会に出れば、様々な考えもった人達と出会うため、出来るだけ小学生、中学生のうちから広いコミュニティを経験しておいた方が良くと思うから。
人間関係の流動化		自分が中学生の時、別の小学校から来た子が、「同じ小学校出身の子が少なく友達がおぼえない、浮いてるよ感じる」という様な事を話していたので。
人間関係の流動化		自分が育った環境がクラスが多い所で、クラス替えや、クラブ部活などで友達や先輩、後輩が幅広く出来たので、通学区域を見直したりする事で、少規模を少しでも多い学校に出来れば良いなと思います。
人間関係の流動化		私が学生の頃は最低で学年3クラスはありました。毎年クラス替えがあることに意義を感じています。
人間関係の流動化		今後、社会へ出た時多様な人々と協働しながら生きて行くためには一定規模の人数の元で学ぶのは大切だと思う
人間関係の流動化		交友関係を平等

どちらかといえば必要である（未就学児保護者アンケート）

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。(自由記述)
人間関係の流動化		学校は教科を学ぶだけの場ではなく、多様な人との人間関係や、上手に人と付き合う上で、どのように行動したら良いかを学ぶ場であると考えられるため。そのためには一定数以上の人数がいることが望ましいと考えています。
人間関係の流動化		より多くの人との関わりがある方が良く思っているため、極端に数が少ないよりは多い方が良いと思う。
人間関係の流動化		1クラスで6年間過ごすよりは毎年メンバーの入れ替えがあった方が良い気がする。
人間関係の流動化		1クラスだと友達の数が少なくなる。(うちの子供が通う予定の鴨川小学校については、人数が適正のため再編は希望しない。)
人間関係の流動化		1クラスしかないという良い意味でも悪い意味でも関係性が固定化しやすく、複数クラスあった方が改善したり、新しい環境を構築する機会が与えられると思うから。
人間関係の流動化		・接するクラスメイトの人数が多いと友人関係が広がる。・色々な刺激、考え方を吸収できる。
人間関係の流動化 教育格差	トラブル・いじめ 回避	・小規模な学校だと人間関係が密になりすぎて何かあった時、自分の居場所・ココロの寄りどころが心配・学習面でも、クラス数が多い・少ないで差が出てきそう
人間関係の流動化 通学	トラブル・いじめ 回避 自転車通学	少子化が進んでしまう中、その子供達が標準程度で生活出来れば、人として向上する幅が大きくなると思う。しかし、人数が多くなる為、(成長)イジメ問題も気になるし、学校が遠くなる子供は、自転車通学にするか、徒歩でも安全の通学ルートを確認した方が良いと思う。
人間関係の流動化 通学	トラブル・いじめ 回避 通学距離重視	ある程度人数多い方がいじめ等がおこった際に対応できそうだと思うが通学時間が長くなったり(外での危険もふえるため)するなら無理にでもしてほしいというわけではない。
人間関係の流動化 通学	通学距離重視	人数の違いで人との関わり方が変わってくる事もある為、どの学校でも偏りない方がいいとは思っている。逆に再編する事で、通学時間に差があまりにも出てしまったらと思うところもある。
人間関係の流動化 通学	夏場の通学の 安全性	児童、生徒数が多い方が人との関わり方も良い方へ変化があると思うので必要かと思う。しかし一方で通学に20分以上かかる様だと心配。防犯、夏の暑さ。一昔前とは気温が全くちがらぬので。
人間関係の流動化 通学	子どもの負担 軽減	より多くの他人と交流する機会を得るべきであるし。それは大人が用意するべきだと思う。一方、通学が負担になってしまう心配もある。
教育格差		同じ市内の学校でクラスの数に偏りがあるのは良くない、人数が多いと教育が薄まる。
教育格差		人数に偏りがあることで、教育の質に差が出ると思うため。
教育格差		教育のかたよりをなくす為
教育格差		学力の差などがでやすいのかなと思うため
教育格差		学校単位でクラス数の偏りがあると、実際に“できること”“できないこと”に差がうまれて 市内の小学校・中学校で方針がまとまらないと思うから
教育格差		一定規模での学習などへの取組が必要と考える為
教育格差		一人ひとりに応じた教育活動が小規模、大規模で異なると感じる為。
教育格差 通学	通学距離重視	教育的な観点からすると再編を行なった方がよいが、学校までの通学距離が遠すぎてしまうのもよくないため、適切に再編できることが望ましいと思います。
教育格差 通学	スクールバス	同じ市内に住んでいるのに、学べる機会に差が出るのは不公平なように思う為。一方、学校数が減って通学時間が長くなるのは問題、(スクールバスがあるといいですね)
教育格差 通学	スクールバス	学校再編は学力の差が出ないように思うので良いと思う(人数が多いと指導が行き届かない為)ただ、通学距離が遠くなってしまうと安全性が心配なのでスクールバスの導入なども一緒に考えないといけないのでは?と思う
教育格差 通学	通学の安全性	・クラス数は個性のようなもので気にはならないが、人数の偏りは学校間の競争力の差につながってしまうため・無理な再編により通学リスク(交通事故等)が増えるようなら、やる必要はない。
教育格差 教員	質の向上	学校規模の偏りを適正化することで、教職員や設備の質も偏りがなくなっていくと思うから
教育格差 その他	検討の進め方	地域によりクラス編成が異なることは、教育等に問題が生じ、影響がでると思われる、そのために、学校再編することは、将来的に地域の発展に支障がないか、十分に検討が必要と思われる。地域の将来を見据えた上で再編を必要であると思う。
教育格差 多様な価値観の 形成		全ての子供が適正な教育を受けられることは最重要であるが、一方で“偏り”があることも必要だと思っている。偏りを全て解消しようとする別の偏りが生じてしまうため、表面上の“平等”を目指すのではなく個々人が求めるものを選択できるようにすることが重要ではないか。
教育格差 先生の目		小規模で学校生活を送った場合と大規模で学校生活を送った場合とでは、一人一人のルールや価値観への影響が出てくる気がする。偏見になってしまうかもしれないが、大規模で生活した場合、小規模の子に比べて教員等の配慮が行き届かなくなりそう。それにより、他の子もやってるから自分もやってみよう!のような感じで良くも悪くも周りに影響されてしまう。小規模の場合は、主体的に何事にも取り組む責任感も強くなりそう。
教育格差 人間関係の流動化		家から学校までの距離や、友達関係etc 色々考えると難しいかもしれないが、偏りはない方が、授業や人間関係作りが良いと思ったから。
教育格差 社会性の育成		・小規模、大規模共にメリット・デメリットが生じてしまう事自体で、市内で学力差や、社会性習得に差が生じるのでは?

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。(自由記述)
教育格差 子どもの負担軽減 部活や学校行事への懸念 通学	通学距離重視	小規模な学校と大規模な学校では、教員数・生徒数の大きな違いから、学力・運動能力・学校行事などへの意欲の低下が懸念されるため、必要性を感じます。(特に競争意識など) ですが、安易に統廃合を行ってしまうのは通学距離の延長などの負担がかかることや新しい環境への適応に時間がかかることも考えられるため、慎重に検討してほしいと考えます。
社会性の育成		多様な人々と協働しながらの子供育成はとても良い事だと思う。
社会性の育成		人数が多すぎると、関係が希薄になりそうだし、人数が少なすぎると、深い関係が築けるが、そこを出た時に上手に対応できるかどうか、不安もある。
社会性の育成		社会性に差が出てしまう感じがする。又、大人の心ない言葉で、子供達が差別されてしまう気がする。
社会性の育成		社会性が必要と思うため。
社会性の育成		社会に出た時に差が出ないよう
社会性の育成		一定規模の集団の中で色々な人と生活することで学ぶこともあると思うため。
社会性の育成		「大人数で共に学習生活する事を学ぶ」という事が、学校での学習のポイントだと思っているので、少人数や少クラス過ぎない様にするのは良いと思います。
社会性の育成 通学	通学距離重視	多様な人々と協働し、人との関わり方・社会性を身に付けてほしいとは思いますが、そのために遠くの学校に歩いて行くことになってしまうなどが起こると別の問題が出てくると思ったため。
社会性の育成 通学	通学距離重視	多様な人々と協働し、一定人数の集団の中で育成することは重要であると思うが、通学距離が法律で定める標準程度であっても子供の負担にならないかがとても心配。そのため、「必要であると思う」ではなく「どちらかといえば、必要」を選択しました。
社会性の育成 通学	通学の安全性	1年生の人数は社会性や協調性を学ぶ場として考えると、少ないより多い方が学ぶことが多く思います、ので、必要だと思いますが、通学距離が長くなってはうと通学時の事件や重いランドセル(かばん)の負荷が気になります。
社会性の育成 部活や学校行事への懸念		人間関係を深め、学校行事が活発に行われてほしい。
社会性の育成 部活や学校行事への懸念		・特定の人々との交流よりも、様々な人々との交流により、社会性が育まれていくと考えているため。・クラス対抗でのスポーツ、出し物(作品等の作成)等、一定の団結力、競争力を目途とした教育は、小中学生には学びとして必要と考えているため。
社会性の育成 財政 その他	検討の進め方	一定規模の集団の中でないで得られないことがあると思うし、小規模な学校を維持するコストを考えると必要と思うから。老朽化による建替えが必要な学校が多いと思うが、そのタイミングで再編を行うのか。入学する小学校の地区を考慮して住宅を購入している家庭もあると思うので、情報提供は年単位で早めに行い、十分に説明を行った方がいいと思う。
平等・公平		住んでいる地域によって不平等が生じる為。
平等・公平		市内どこに住んでいても平等にするため。
平等・公平		環境の偏りはなるべくない方がいいと思う。(先生1人あたりの生徒数など)
平等・公平		To become fair for all parents, student and also to those who thinks their is a bias.
平等・公平 通学	通学距離重視	法律で定める標準程度の学校規模にすることは地域毎の学びの環境を整える上で重要だが、再編によって学校まで遠くなってしまうのは問題。なので、上記のバランスが大事だと思う。
平等・公平 人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	・規模の差が大きいと、教育内容にも差が生じると思う。それぞれの良さがあるとは思いますが、公教育なので可能ならば差は小さくした方がいい。・1学年1クラスで、6年間を過ごすということは、子ども達にとって良いとは思えない。クラス替えをすることで救われる子はいるだろうし、できるだけ多くの人と関わりをもつことで学ぶことがあると思う。
平等・公平 その他	検討の進め方	・地域住民の考えに対して偏りなく意見を汲み取るため ・バランスの取れた学校教育の実現のため。
平等・公平 教育格差		小中学校は自由に選択できないのでなるべく偏りのないようにしたいと思ったためです。規模の違いは、授業内容、施設の充実にも差が出ると考えられます。
平等・公平 人間関係の流動化		ある一定の水準の下、全ての児童生徒がバランス良くかつ、平等に教育や子ども達同士での人間関係を築いていく為にも、一定規模における集団授業や活動が望ましいと考える
平等・公平 先生の目		・バランスのとれた教育や指導を可能にする為。・先生の目が届く範囲が必要と思う。
平等・公平 部活や学校行事への懸念		学校規模の偏りによる教育の質の差、スポーツ活動等の差が生じているならば規模を適正化し、子どもたちが平等な教育、スポーツ活動の場が提供されることが好ましいと考えるため。
先生の目		大規模学校では1人1人に見が届かず、いじめなどのトラブルに気づくのが遅くなる可能性があり心配。
先生の目		多いクラス数だと指導が行き届かない可能性もある。
先生の目		生徒の人数がおおいと 1人1人をしっかり見ることができなく、いじめなどに発展していってしまうと思うため。
先生の目		人数は均等の方が先生の目が行き届くのかなと思う。
先生の目		児童数が多いと、一人一人の生徒をしっかり見てくれなさそうだから。

どちらかといえば必要である（未就学児保護者アンケート）

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。(自由記述)
先生の目		クラス数が多すぎると一人ひとりに回を向けられないと考える為
先生の目		1クラスにまとめて、人数が多過ぎると1人1人の生徒に目が行き届かなくなりやすいと思うからです。
先生の目 教員	負担軽減	小規模な学校より大規模な学校だと生徒達へ目がいきとどかなかったりするのではないかと不安がある。生徒が何かあった時の相談しやすい環境と先生方の負担の軽減にも繋がればと思う。
多様な価値観の形成		様々な人と多く関わりを持つことで、その人の考え方を学ばせ成長へとつなげることが出来ると思うため。
多様な価値観の形成		様々な子供と学校生活をする上で自身の子供の成長が十分に考えられるため、ある程度の均一化は必要を考えているため。
多様な価値観の形成		様々な価値観と接することは必要だと思う。
多様な価値観の形成		集団や環境が変化することは、大なり小なり経験していくこと。小学生から変化に順応していければ、広い視野を持つことができるようになる。
多様な価値観の形成		固定的な人間環境より、多くの人の中で育てほしい多くの人と関わる事で様々な意見に触れ、自分と違う考え方の人もいてほしい
多様な価値観の形成		できるだけ大人数の中で学び、多様性と共に成長して欲しいと思う為。
多様な価値観の形成		クラスの少ない子供と、多い子供とは、「接する人数」に差が開き、社会性等の面においてハンディキャップになりかねない(半面、少ないクラスの子供には、よりファミリー感が生まれるので、それはそれでメリットだが)。子供のうちに、多くの友達と接した方が、「あんな人もいれば、こんな人もいる」といったように、子供なりに「人を見て」、それに対してどう対応すべきか等の思考・判断力の醸成にも繋がるのではないかと考えられるため。
多様な価値観の形成		1学年1クラスは少なすぎると思う。多様性を学びづらい。
多様な価値観の形成 通学	通学距離重視	小規模な学校の子供は多様性を学ぶ機会が少なくなるので可能であれば再編した方が良いが、通学時間が長くなるならそのままでも良いと思う。
多様な価値観の形成 通学	スクールバス	色々な考えに触れるのは大切だと思う。でも、学校統廃合によって学校までの通学時間が長くなってしまふのは心配。スクールバスとかあると嬉しい
多様な価値観の形成 先生の目		1学年1クラスしかない場合、クラスがえもなく、多様な集団の形成が出来ないため。反対に、大規模の場合、1人1人に目が届かないことが心配されるため。
教員	負担軽減	一校の生徒数が多いことで教師の方を始め、学校関係者の業務負担が増え、それが教育指導の妨げになるならばクラス数の多い学校は再編すべきかと思う。(少ない分には問題ない)
教員	数の不足	1学年1クラスの小学校、1学年2クラスの中学校の統廃合は少子化なので仕方ないと思う。教育者不足であるとも聞いているので、学校数を減らすことも検討した方が良い。
教員 その他	負担軽減 検討の進め方	・教職員の方々の負担の平準化などの観点から、偏りをできるだけ解消していくことは重要であると考えています。一方で、各区域の人口や生徒数の差など動かしたい要因も存在し得るので、完全解消よりも現実的な線をはかることが肝要だと思うためです。※「=」:判読不明文字
教員 教育格差	負担軽減	クラスの数や人数によって教師の負担が違ったり、授業の進み具合に影響がありそう
教員 子どもの負担軽減	負担軽減	学校規模をそろえる事で教員の負担も減るのではないかと。大規模だと、子供1人1人を見てくれないイメージがある。けど、区域を見直すことで、仲のいい友達などと離れることがあると、子供も不安等出てくるかも?
クラスの人数		人数の適正化
クラスの人数 人間関係の流動化		・基礎的な知識・支能の定着させる為小人数制は必要・人間関係の構築にはある程度の人数は必要
能力向上・刺激 人間関係の流動化 学校運営		平方エリアで特に小規模校が目立っていますね これからの時代、ICT教育や道徳(心の教育)教育等、ツール活用や人間関係についてより考える必要があると思います。再編によって、学校運営もしやすく、子ども達にとっても得られるメリット(スクール)が多いと思います。
クラス数		1クラスの人数が多すぎても多すぎても子どもの成長において心配な点があるので、2~3クラスだといいかと思います。
部活や学校行事への懸念		家から近い学校があるけどクラスが少なく、運動会などがつまらなそう。少し遠いけど、そっちの方がクラスが多く楽しそう。
部活や学校行事への懸念 社会性の育成 教員 子どもの負担軽減	負担軽減	1学年1クラスと5クラスでは、学校行事などに差が出てしまう(例:運動会のクラス対抗に影響)や人間関係への差(1クラスではクラス替えができず新しい友達との接し方が学べない)他にも教職員の仕事量が平等ではなさそうなど偏りがあるとマイナス面が多々あると思うため、2にしました。再編には、子ども達を再優先を前提として。
時代に合わせた教育環境の整備 通学	スクールバス	学校規模を統一することで、市全体として教育改革や更なる推進につながるのであれば行ってほしい。一方で通学路が長くなる等の課題が確実に解消される(スクールバスの導入etc)ようにする必要があると感じる。

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
学校施設 その他	安全性 検討の進め方	時代やニーズに合った形へ、見直すこと自体は賛成です。そもそも、今回のように、校舎等の建屋が、既に安全基準を満たしていない点があれば、それ自体は対応必須と考えています。“安全”にかかれることですので。ただ、再編に関しては、学校増設当時と、状況がちがいますので、“再編案”が出てくるのはわかります。説明会のときも感じたのですが、全体的に、「再編」もっていこうとするような資料の流れになっていると思います。老朽化→再編の流れ、プロセスが、なんでいきなりそうなった?というかんじがします。コスト面、先生の配置等人的資源…など、複数の案別に比較検討されたものも見てみたいです。
学校施設 その他	維持管理 少子化	通学が不便となる人が一定数見込まれるが、施設の維持管理、教員数・児童数の減少を考えるとやむを得ないと感じるため。
学校設備		今後児童数が減少する中で、統廃合を実施することにより、設備の充実をした方が良いと思うから
居住地選択理由		必要であるが、統合されるのであれば、小学校、(中学校)の近くに家を建てる、購入する際に知らせてほしかった。平方小の近くに引っ越したが、まさか、統合されるとは知らなかった。引っ越した時に“小学校が近い”からと、決めた部分もあったので…
地域とのつながりが 必要 その他	検討の進め方	クラス数を標準可する事自体は良いと思いますが、学校統廃合による、強制的な平準化はどうかと思う。既に通っている子供達に影響するし、地域の交流が無くなってしまう。
その他	少子化	少子化は今後更に進んでいくと思われるので、いずれは学校統廃合は行われると思うので。そうであれば少数精鋭の学校教育を行ってほしい。
その他	少子化	少子化に伴う小規模化は免れないと思うので統合も必要だと思う。
その他	少子化	通学地域の見直しは賛成ですが、統廃合は反対です。財政的に難しいのは理解できますが、少子化のあおりが子供たちだけになるのは反対です。社会全対(特に大人)が犠牲になるべきです。
その他	検討の進め方	時代によって変化するので、柔軟な対応をしてほしい。
その他		必要ではあると思うが、仕方がない所がある為
その他		他県ですが、おいが通う予定だった小学校(入学前に転居した)は1学年7～8クラスあり、授業を外部の施設を使ったり、運動会もグラウンドは児童だけ。保護者は教室の窓から交たいして見学など不便だったそうです(おいの友達の冗談)ただ、マンション密集地なので急に児童が増えたせいなので数年後には解消される為、「どちらかといえば」という意見でした。上尾も家が増えているので、どうなのかなあ…と。

どちらかといえば必要ではない（未就学児保護者アンケート）

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
通学	通学距離重視	通学時間が長くなるなど他の弊害が生じるため。
通学	通学距離重視	通学時間が長いほど心配になる。
通学	通学距離重視	通学区域を見直すと、通学が遠なる場合もあり子どもに負担がかかってしまうため。
通学	通学距離重視	通学区域は現実的な距離であるべき。
通学	通学距離重視	通学距離を考えると改善は必要だと思う。だからと言ってクラス数をそろえる為に統合したりしてしまうと上記のようなことが起きるのではないかと考える。
通学	通学距離重視	通学距離の拡大が課題となる。
通学	通学距離重視	通学距離などある為
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなる可能性がある
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなるため。
通学	通学距離重視	小学生なので通学距離が長くなるのが心配
通学	通学距離重視	区域見直しにより通学時間が長くなる心配
通学	通学距離重視	距離の問題
通学	通学距離重視	学区がその範囲だから通うのであって、近くに学校があるにも関わらず、法律だからと言ってわざわざ遠い学校に通わせる必要があるのかどうか。
通学	通学距離重視	何よりも、毎日の通い易さが大事、通学時間、距離を長くしてまでする必要はない。
通学	通学距離重視	一定規模の集団も大切だと思うが、通学に距離的な負担が児童や家族にかかるのでは意味がないと考える。
通学	通学距離重視	クラスがふえるのは良いが、その反面統廃合により、通学キョリが長くなることに反対です
通学	通学距離重視	○通学距離が遠くなってしまふ子供もいるため。
通学	子どもの負担軽減	通学に無理が出ると、親にも子にも負担だから。
通学	子どもの負担軽減	通学が苦になる子がでてきてほしくない。
通学	子どもの負担軽減	上尾市の端に住んでいるので、通学区域の見直しがあっても、現在入学予定の小学校より遠くなる。学校再編に反対ではないが、今のまま(真夏の気温、ランドセルや持ち物の重さ、不信者情報などがある中で、徒歩通学というルール)の状態で、通学距離が遠くなることに不安がある。
通学	子どもの負担軽減	子どもたちの一通学時間が負担になるのではないかと心配です。
通学	子どもの負担軽減	バランス的に必要とも思えるが、登下校等、本来の学び以外の時間の活用に大きく差が生じては、意味がないと思う。
通学	子どもの負担軽減 通学の安全性	子供の足での通学が長距離になることに安全面、時間の有効活用ができないなどの不安を感じる。
通学	学校選択制	小規模な学校、大規模な学校を選べることはいい等だと思います。
通学	学校選択制	希望すれば、他の学校へ行けるなど、選択できればよい。
通学	通学の安全性	区域によって人数にバラつきがあるのは仕方がない事だと思う。通う学校までの距離が遠くなる生徒は、防犯上危険な目に合うことも多くなり、保護者の不安要素が増すだけ。
通学 廃校への懸念	通学距離重視	再編することで通学距離が長くなると親としても心配だから、また卒業生たちの思い出の場がなくなるのはさみしいのではないかと。
通学 偏りを許容	通学の安全性	通学区域を見直しても良いと思いますが……あまり遠くなってしまっても、子供の安全面や負担になってしまうのではないかと考えてしまいます。クラス数は標準内であれば多少差があってもいいと思います。
通学 地域とのつながりが必要	通学の安全性	通学距離が長くなることでの安全性の低下、保護者や地域社会との連携に滞りが生じる可能性
偏りを許容		労力に対して、得られるメリットが少ない、小規模な学校も大規模な学校も良し悪しはあるだろうが、ダメだとは思えない。
偏りを許容		統一にしなくてもそれぞれのよさがあるのでは
偏りを許容		地域により子供の数はちがうと思うので、通学区域の見直しで、遠くなってしまふ子供たちがでてくるよりも今のままでいいと思う。
偏りを許容		地域によって、差異があるのは当然で、その差異を受け入れること、認めることが大事、その為には、全てが一樣というのは、ある意味異常と考える。標準化、平準化が全てにおいて、正しいことではない。
偏りを許容		大人になって自分が生まれ育った環境を友人と話すときに、みんなが同じである必要はないように思う。「そんなにたくさんのクラスがある学校があるんだー」逆に「えっ、そんなにクラス少ないの?」違う世界、知らない世界があることに想像力を膨らませることは良いと思うから。

どちらかといえば必要ではない（未就学児保護者アンケート）

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
偏りを許容		人数のために遠方の学校に行く必要性を感じない。
偏りを許容		人数が少なすぎるのはよくないが、気にしすぎても仕方ない。
偏りを許容		自然なことなので無理に偏りを解消する必要が無いと思う
偏りを許容		学校再編による過渡期の子供や親、学校側への影響や対応労力が心配される。均等にすることよりも、規模に応じた、適切な環境、教育体制が整っていることか大事、充実した教育カリキュラムや友達との成長を促すように子供への投資をお願いします。
偏りを許容		学校規模の遠いによって、子どもたちが将来嫌な思いをしないように、多様な価値観や周りの人々を認める。受け入れるような教育を行うことを優先したらよいと思う。
現状維持		ほとんどの学校ではそのままが良いと思いますが、一部顕著な影響のある学校については、モデルケースとして実施することが必要と考えております。
現状維持		1学年1クラスのメリットデメリット、5クラスのメリットデメリットは人それぞれ。再編は大変だろうけど、必要な時に必要な学校でやるべきで、まとめてやろうとするからややこしくなる。1クラスも保てない時にやればよい。
現状維持 その他	説明不足	規模の特色を活かした教育をすればよく、それが個性・特色となるから。市が何を目標として(目的をもって)規模の標準化をしたいのが、説明できればよいが、平に「法律に書いてあるから」だけでは不足している
一長一短		学校の規模よりもその中身が重要と考える為。小規模なら小規模なりの良さが活かされれば良いのではないかと。
一長一短 通学 その他	自転車通学 説明不足	学校規模に偏りがあることで不利益を被っているのは誰かが明確に示されておらず、適正化が本当に必要なかが判断できない。学校の統廃合により子どもたちの通学時間や距離が伸びることによる負担、事故のリスクが高まるといった点が明らかに見えているので現状では反対の立場をとっている。あるいは子どもたちの自転車通学を認めるなど、代替案があればよいがそれが無いのであれば、具体的なメリットを示す必要がある。小規模校、大規模校にそれぞれメリットがあるという表現をするのであれば、それぞれのメリットを生かした教育を各校で実践頂ければよいと考えます。
教員	数の不足	多様な人々と協働できる点は良いただし、教員の人数もそれに見合う割合増やす必要がある。→人数を増やさないと止めるべきだと思う
教員	数の不足	職員の雇用が確保されるのか不安。
廃校への懸念		通っていた学校がなくなってしまうのはやはりさみしいものだから、また、見直して学校を統合したばあい、学校名をどちらか一方だけ残こすのはやめてほしいと思う。
クラスの人数		1クラスの子供の人数を20人ぐらいにへうして、クラスをふやしてほしい。
クラス数		小中学校の目的が果たせれば、クラス数に拘る必要はないと思います。
子どもの負担軽減		偏りの解消という意味での考えは納得できるが、元々ある学校も大事にしていきたい、途中から変わってしまうのはちょっとかわいそう。
先生の目 通学 その他	子どもの負担軽減 避難所	・廃校になってしまったら、災害時避難所が無くなってしまう。・1クラスを定員ほどの人数になってしまうのであれば反対、担任一人では全員へ目が行き届かない。・突然統合したら、派閥が出来たりいじめなどのきっかけになってしまいそうなので反対既に通っている子は卒業までそのまま、新入学生から新しい学校へ通うことになるのであれば賛成
その他	説明不足	学校再編の目的が他にもあるのではないかとと思う為。(金銭面、職員不足など)
その他	説明不足	1学年のクラスの数は枠組みの話なので重要性はさほど高くないと思います。1学年のクラスを調整することにより質の高い教育につながる(人材的にも)のであれば必要性は高くなると思います。
その他	地域の活性化	まだまだ人口へ増やせるそじを失くしてしまう。

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
通学	通学距離重視	通学時間への懸念がある為
通学	通学距離重視	通学距離を踏まえると、現実的でないと考えられるため。
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなってしまったため
通学	通学距離重視	上記の事は大切だとは思いますが、それより通学距離がのびるデメリットの方が大きい。
通学	通学距離重視	近くの学校が廃校になったことにより遠くの学校へ通うことになる。子供への負担を思うと必要ないと思います。
通学	通学距離重視	距離が遠くなるデメリットの方が大きいと思うから。
通学	通学距離重視	学校統廃合で、しっかりした説明や案内、遠くなってしまい、徒歩で通うのが困難な方への対応がされず、困っている方の話を聞いた事があり、不安だから。
通学	通学距離重視 子どもの負担軽減	夏の暑さが年々厳しくなる中で、学校再編により、通学キョリが長くなる児童が増えることを懸念します。置き勉強や教科書の電子化(タブレット利用)、スクールバスの導入など、子供の通学に対しての対策とセットでの再編であれば指示します。
通学	通学の安全性	集団を学ぶという事も大事だとは思いますが、登下校の時間が子供や親の負担になると思う(見守り等)。あまり遠いと学校が終わったあとの時間も天気などもあるが心配です。
通学	通学の安全性	集団の規模調整の為に遠い学校に通う子どもが出ることのデメリットが大きいと感じる為です。
通学	通学の安全性	再編により通学距離の増加となる家庭が多く発生する。通学時の事件や事故が増えている昨今の状況で再編により子供の安全が確保できなくなることは問題である。
通学	通学の安全性	家からの距離の方が重要。共働きの多いので、登下校の時間が長くなる=親・大人の目が届かない移動時間が増えるため、少しでも近い方がよい。(しかし、学校を運営するのも多いではないので、やむをえない場合もあるとは思いますが)
通学	学校選択制	各家庭による選択制を設け、行きたい小中学校を自ら選ぶことにより 個人(各家庭)の裁量に委ねるのが良いと考えた為。(少数人数での学習を希望する人は人数の少ない学校を、多人数の児童・生徒との交流をもちたい人は人数の多い学校を、それぞれ選択させることが可能。)
通学	子どもの負担軽減	学校統廃合で進学距離が増えると、児童の負担(ただでさせ重いランドセル・バッグをもたされる)が増し、事故や事件にまきこまれるリスクが上がるため。
通学 偏りを許容	通学距離重視	・学校統廃合し、通学しづらい子どもが多くなるのであれば必要ないと考える ・自身の経験から小規模な学校(小学校)と大規模な学校(小学校)が中学校で一緒になる事でクラスの関係を深いものとしてくれた。ただし教育に偏りはしないものとする。
通学 コロナ	通学距離重視	・人によっては通学時間が長くなるなど、偏りが起きるため(道の危険性、時間(他のことに使える)など、不利が起きてしまう人も出てくる)・感染症の感染確率が高まる。(人が集まって、その分密度が高まるため)
通学 検討の進め方	通学距離重視	通学と安全確保が物理的にむずかしくなるから。合併になりうる区直や地区の保護者にしぼって具体的なアンケートを行ったほうが良いと思う。
通学 説明不足	通学距離重視	・通学距離が長くなり子供への負担が大きい。(統廃合により)・上尾市の人口規模において、統廃合を進めていく合理的な理由は教育的予算の削減以外に見当たらない。・教育に予算が生み出せない自治体は衰退していく。・既存の小学校をうまく活用すべきである。クラス数は関係ない。
通学 地域事情への配慮	通学距離重視	・通学が遠くなったりする。入れる学校が限られてくる。共働きの増え、人口もこれか増えていくため、人数が多い場所には小中学校を増やす等行った方が良いと思う。
通学 居住地選択理由	スクールバス	通学区域を見直すなら、バスなど必要だと思う。小規模や大規模、それぞれ好みで通学しているのではないだろうか?選んで住んでいる人もいます。
通学 子どもの負担軽減	親の負担 通学の安全性	通学の距離が遠くなると、車の交通量の多い所を通ったりと事故に合わないか心配。心配で送り迎えするようになったら仕事も出来なくなる。統廃合などの理由で、急に転校になると子供がうまくやっつけられるのか心配。
偏りを許容		地域ごとに子どもの人数が違うのは当然、それを変えてしまうと、学校が遠くなってしまう。
偏りを許容		積極的に解消する必要がある程の偏りだとは思わない。人数の大小も地域性として受け入れてもいいと思う。
偏りを許容		子供には協調性を学んで欲しいと思っているが、ある程度生徒数がいえばよいと思っている為、無理に標準化する必要性をかんじないから。
偏りを許容		差に感じる事が無い。
偏りを許容		・登校する為の距離が伸びてしまうこと・全てを標準化する必要がないと思うので
説明不足		再編の必要ありません。反対です。検討している根拠も理解できませんので、税金のために子供たちを利用しないで欲しいです。
説明不足		マンモス校にする必要があるのか?それによって、学力低下は否めない。学校が統合されると通学時間が長くなり、誘拐等のリスクが高くなる、行政は責任を取れるの = GPS等配布(支給)してくれるの = もっと子育て世代を増やす仕組みを作ったらどうですか?無駄に多い市議会議員を減らして、少しでも子育て世代の為になることをしてほしい、上尾市は広いのにバスの本数が少ない、必然的に駅に近い物件に住む人が多くなり参考資料2のような過疎化が進んでいるのも原因の一つだと思う。※「=」:判読不明文字
説明不足		※1の記載より、このアンケートは「学校規模の適正化」を隠れ蓑に学校の射廃合の方向性を探っているようにも思えるため、資料からは統廃合=学校数を減らす根拠が不明です。
地域事情への配慮		小規模校の統廃合は、教育へのアクセスしやすさへの地域格差を生む。その結果、閉校を予定される地域に子供がいる世帯が住まなくなると考えられる。これにより、生活の多様性、環境の多様性が損なわれることになると思われ、市政がこれを推し進めてはいけないと考えます。

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
地域事情への配慮		市内の人口にばらつきが原因であるため、それを解消する方法を考えることが先決である。交通の充実、工場や会社の誘致等。
地域事情への配慮		もっと田舎の地域では町や村に学校が1つであったり、1学年1人のところもある、上尾市は広いのですべて同じようにするのはむずかしいし、そこまで重要性を感じない。学校を減らしてしまったら、その地域がどんどん子供が少なくなってしまう、逆に活性化させるべきだと思います。
検討の進め方		この考え方だと、まずはインフラを整備する必要があるが、そこまで考えているのだろうか、と思う。インフラ整備が可能であれば、学校規模をさらに拡大させる方針を取ったほうが良いと思う。多様な人々と協働するならば、上尾市に人(家族)を誘致できるような市政を行い、世帯数を増やし、児童数も増やす。参考資料P.1のデータは理解できる。だからこそ、どう児童数を増やすか、そこを真剣に考えたほうが良い
一長一短		小規模校、大規模校それぞれに良さがあり、標準化の必要はない。
一長一短		その規模なりのメリットがあると思われる
居住地選択理由		現状の通学環境を考慮して住宅を購入している為
現状維持		小規模なら小規模なりの良い所がある。
現状維持		今のままで、良いと思います。私は、上平北小を卒業しましたが、1クラスしかなく、友達との友情もふかまりました。中学に上がり、上平中へ行き、沢山の友達に出会い、中学に上がっても、楽しかったです。
子どもの負担軽減		不登校のきっかけになったり、友達との関係が難しくなる可能性がある。
学外で補完		居住地がある中で小中学校の統廃合が難しいと考えるため、学校以外で交流を持てる場を作れば良いと考える。
学校規模の平準化		・学区再編を行いクラス数の平準化をすればよい・畠山市政の学校行政の改悪に反対・通学時分を減らし、ゆとりある生活を送る
小規模校の良さを生かす 教員		私自身、1学年1クラスの小学校と5クラスの小学校を転校により経験しています。1クラスの学校では、他学年の生徒、先生との交流が多くあり、多少のケンカ等があっても、上の学年の生徒が割って入ったりして、イジメのようなものが、ほぼなかったが、5クラスの学校では、それがなく、イジメ等の問題も多かった。・小規模の学校と大規模の学校では、教師のメンタルにも影響があるのか解からないが、大規模の学校の教師の方が、おかしな教師が多かった。
地域とのつながりが 必要		学校統廃合により、地元の小学校が廃校になりそうだから、地元の小学校は地域文化の拠点であり、それを廃校にするのは地域を崩壊させることになるため。
能力向上・刺激		生徒1人ひとりが校内の様々な人と関われる事、大人数に理もれずに個性を伸ばせる事が必要と思うので。
その他		公立小学校は

大項目	中項目	問6-2「問6-1」の理由を教えてください。（自由記述）
通学	通学距離重視	再編する事でクラスの偏りは解消したとしても、通学区域によっては学校が遠くなったりと不公平が生じる可能性もある
通学	通学距離重視	学校統廃合により通学時間が長くなることは良いとは思えない。（災害、健康、はんざいのかんてんから）
通学	通学距離重視	再編する際は通学距離が遠くなり過ぎないように配慮してほしい。
通学	通学距離重視	1学年のクラス数よりも、“通学のしやすさ”を重点項目として区域見直しを図っていただきたいです。
通学	通学距離重視	一定規模は必要だと思うが、通学区域を見直すことで子どもの通学距離が長くなるのは心配。
通学	通学距離重視	通学するのに、遠くなりすぎないか心配です。国の基準よりも、子供たちにとって、通いやすい環境が一番大切。
通学	通学距離重視	学校再編により通学路が遠くなったり、環境も大きく変わるため。
通学	通学距離重視	それぞれ環境が違うのは社会でも当たり前だと思うが、通学があまりにも遠くなると危険性が増すため、適正化より距離を優先した方が良いのでは。
通学	通学の安全性	学校再編も標準程度に準ずる事も大事だとは思いますが、その為に通常距離が遠くなってしまふのは問題だと思う。今の時代、変質者なども多く子供の通学が遠くなればなる程、大人の目が届かず危険な目に合う子が増えるかもしれない。そうになってしまう位なら学校再編は本末転倒だと思う。一番大事なのは安全であること!!
通学	学校選択制 通学の安全性	上尾市では学区を超えて学校を選べると聞いたことがあります、全ての学校が同規模ではなく、自分が学びたいと思える規模の学校を選べばよいのではないのでしょうか。統廃合により、通学経路に危険が増えたり、目が行き届かなくなったり、距離が伸びたりする方が不安です。
通学 その他	通学の安全性 判断できない	参考資料3ページから学校の規模がどちらに振れてもメリットがあることが理解できた。逆に問題点が不明確なので、必要性の判断が難しいと感じた。個人的には、通学時の安全性が心配なこと1つなので、学校規模の適正化を優先させた結果、通学時の安全面が損なわれるようなら必要性を感じない。一方で、通学時の安全性を上回る問題点があるのであれば、必要性を検討すべきと考える。
クラス数 部活や学校行事への懸念		小学校1学年3クラスが理想。小規模なら学習面では、てあつい指導ができる。3クラスくらいあれば、クラス替えができたり、行事なども楽しくできそう。
クラスの人数		偏りがあることは望ましくないと思うが、1クラスに人数(生徒数)を増やすとイジメ問題等、多くなると思う。
教育格差		学校規模によって子ども達の学ぶものに差があるのであれば必要だと思います。
子どもの負担軽減		1クラスしかないと、多い所に比べコミュニケーション能力の向上等が乏しくなりそうだが、適正化ばかり気にして転移制とかになると、子供達が大変そうなの。
居住地選択理由 子どもの負担軽減		クラス人数の偏りをなくすのは重要だと思うが、学校が遠くなったり、開始時期によっては転校により子供に負担がでたり、保護者も学区を考えた上で引っ越ししてきた人もいると思うので問題が色々あると思う。
廃校への懸念		学校の再編が必要なのもわかりますが、そうなる我が子が通う予定の小学校は廃校予定です。幼い頃から、「ここに来るんだよね」と楽しみにしている様子、主人の出身校でもあるので、そこに我が子が入学できる喜び等…親としての感情がついていけない部分もあります。
その他	説明不足	規模に偏りができることで生じているデメリットが再編により解消するのか資料を読むだけでは分かりませんでした。
その他	説明不足	学校でもクラス規模が異なる根本的理由が明示されていないため、なんでも言えないです。参考資料の2Pをずっと見る感じだと、①学区の広さ、②人口動態が関係する問題なのかなと…②に関しては所得に上る居住地の差などの問題もあると思います。なので、色々な観点からもっと分析が必要かなと…
その他	地域事情への配慮 説明不足	学級規模や学年学級数の多少が、児童の学力などにどのような影響を及ぼすかについて、上尾市教育委員会としての分析が示されておらず、また、その分析に基づいて、今後の市内小中学校の学校規模、学年学級数のシミュレーションを前提として方向性が示されていないため判断ができませんでした。小規模校であることのメリットもあるはずであり、一方で、学校規模が小さくなることにより部活動の持続可能性が失われることもあるでしょう。市全体として“適正化”の方針とそろえるのでなくて、地域ごとの判断が必要ではないかと感じます。
その他	判断できない	私個人としては、平均クラス数のある学校で色々な刺激をうけながら成長して欲しいと思うが家庭によっては、1人1人に合わせた教育、目の届く環境を求めているところもあるだろうと感じます。
その他	判断できない	学区により学校規模を選ばなくてはならないものの、小規模、大規模のどちらにメリットや通わせたいかは個人により考えが異なると思う為
その他	判断できない	やってみないと分からない為
その他	判断できない	子供がまだ小さいので小学校のことはわかりません
その他	判断できない	やってみないとわからない。
その他	判断できない	偏りの解消の大切さは理解できるが、小学生があまりに遠くの学校に通学する事にも不安感があり、まだそのバランスのとり方への考えが定まらないため。

3. 保護者アンケート 問 25 学校再編理由

(1) 「必要」「どちらかといえば必要」と回答された方の主な理由

①通学に関すること

通学区域は見直した方が良いという意見がある一方で、学校再編により通学距離（時間）が遠くなることへの懸念や現在通っているの学校よりも近い近所の学校に通えるとの期待が出されていた。また、学校選択制の導入を求める意見が出されている。

②クラス替えができる学校規模（単学級による人間関係の固定化）

単学級による人間関係の固定化を懸念する意見、トラブル・いじめ回避や交友関係の拡大、コミュニケーションスキルの向上を目的として、子供同士の間人間関係が偏らない、クラス替えができるクラス数が望ましいという理由が挙げられている。

また、児童生徒数が一定程度ある方が、児童生徒の交流により多様な価値観や社会性の育成や、切磋琢磨による能力向上ができるとの意見が出されている。

③学校規模の適正化（平準化）、機会の平等や格差の是正

偏りある学校規模は平準化した方が良いといった学校規模の適正化を望む意見が出されている。また、公立学校の教育は平等・公平であるべきという視点や、規模に差があることによる不公平感や教育格差、部活動や行事に対する格差の是正、小規模校から適正規模校、大規模校等に進学する際のギャップの軽減を望む意見が出されている。

④その他

教員の目が行き届く学校規模を求める意見、学校再編により教員や保護者の負担軽減が図れるなどの意見が出されている。

(2) 「どちらかといえば必要ではない」「必要ではない」と回答された方の主な理由

①通学区域への懸念

学校再編により通学距離（時間）が遠くなることへの懸念、通学距離の延長や通学路の変更による通学の安全性への懸念も出されている。

②学校規模の偏りの許容や現状維持

地域性などを踏まえた学校規模の偏りを許容する意見や、学校規模が異なることが問題とは感じられないという意見が出されている。

③その他

地域とのつながりを重視する意見、学校再編により教員の目が行き届かなくなることや、子供に負担がかかるといった懸念も出されている。

(3) 学校再編の是非【単数回答】(n=10299) (上段：実数、下段：%) ※報告書本編より

全 体	問24 学校再編の是非					
	必要である と思う	どちらか といえ ば、必要 である と思う	どちらか といえ ば、必要 ではない と思う	必要では ないと思 う	分からな い	不 明
10299	2531	4344	824	481	1299	820
100.0	24.6	42.2	8.0	4.7	12.6	8.0

(4) 学校再編の是非の理由まとめ (注：Nは出された意見の数)

①「保護者」学校再編
「必要」理由(N=907)

意見項目	単位：%
人間関係の流動化	18.7
通学	14.1
学校規模の平準化	11.2
先生の日	10.1
部活や学校行事への懸念	8.0
教育格差	7.7
社会性の育成	3.6
教員	3.2
その他	23.2

※3%以下は、その他に計上

②「保護者」学校再編
「どちらかといえば必要」理由(N=1128)

意見項目	単位：%
通学	25.4
人間関係の流動化	13.7
学校規模の平準化	11.4
部活や学校行事への懸念	6.9
先生の日	6.8
教育格差	6.6
平等・公平	3.8
クラスの人気	3.3
教員	3.3
社会性の育成	2.7
その他	16.0

※2.5%以下は、その他に計上

通学に関することが最も多く(①14.1%、②25.4%)、次いで人間関係の流動化に関すること(①18.7%、②13.7%)、学校規模の平準化に関すること(①11.2%、②11.4%)、部活や学校行事への懸念(①8.0%、②6.9%)や教育格差(①7.7%、②6.6%)が多くなっている。

③「保護者」学校再編
「どちらかといえば不要」理由(N=405)

意見項目	単位：%
通学	58.3
偏りを許容	13.1
現状維持	4.4
子どもの負担軽減	3.7
クラスの人気	2.0
先生の日	2.0
その他	16.5

※2%以下は、その他に計上

④「保護者」学校再編
「不要」理由(N=371)

意見項目	単位：%
通学	51.2
偏りを許容	10.5
現状維持	5.7
先生の日	4.9
子どもの負担軽減	2.4
地域とのつながりが必要	2.4
教員	2.2
クラスの人気	1.9
学校規模への懸念	1.9
居住地選定理由	1.9
その他	15.1

※1.5%以下は、その他に計上

通学に関することが最も多く(③58.3%、④51.2%)、次いで偏りを許容に関すること(③13.1%、④10.5%)が多くなっている。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	6年間同じメンバーだと、少人数の場合、いじめからなかなか抜け出せない
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年に1クラスだと、クラス替えも出来ず、友達関係をトラブルなくやっていくのはかなり難しいと思う。学習も大事だが、友達関係や先生との相性など、子供にとっては、元気に通う為には、かなり重要だと思うので。ただ、教師の教など、現実的には無理だと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年5～6クラスまでで多いのは良いが、1学年1クラスはイジメや生徒教師の固定化、保護者負担につながり良く無い
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスより、3クラスぐらいあって方が、そのクラスでうまくいかなかった時例えば、先生と、イジメなどで生徒と、その時にクラスが変えられて良いと思うので。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスは固定的な人間関係の中で様々な問題を解消しづらい環境であると考えため
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスではクラス内で問題があった時に孤立しやすい。 沢山の友達と交流をもって欲しい
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスだと人間関係が狭くなり、人間関係が悪化した時に不登校やいじめが発生しそうだから。クラス替えなどでメンバーが変わるのは良いと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスだと、 友達関係で問題が起きた時(いじめなど) クラス替えがないため、逃げ場がなく、つらい。親も同様。 友人関係も、狭い。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラス内で問題が起きた場合、子どもの環境が変えられずかわいそう。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラス学級だと友だちと不仲になった時逃げ場がない。不登校に、つながる。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスは少なすぎる 交友関係が同じでいじめの原因になる
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスとなると、人間関係などでこじれた時に、逃げ場がなくなる。 クラス替えによって、前向きになれる方法もある。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスでは虐めなどの問題が起きり何かあった場合子どもの逃げ場がない為。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスだとイジメなどの問題が生じた場合、なかなか解決しにくい
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスしかない学校の保護者の話では、イジメや揉め事があった友達と離したくても、クラス替えがないから困ってる話を耳にします。 逆にクラスが多い学校の保護者の話では、親友が出来てもすぐクラス替えで、なかなか同じクラスになれず、浅く広い友達作りしか出来ないという話を耳にします。 少なくとも、多過ぎても、ダメだと昔から思っていました。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	・1学年1クラスだとイジメなどが発生した場合にクラス替えなどで対応ができないので。 ・様々な性格の人がいることを学ぶため。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	現在ひと1クラスの立場からすると、PTAだったり、人間関係のトラブルが懸念されるから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	単学級は逃げ場がなく馴染めない子供が辛いから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	単学級ではクラス替えなくてどうしても合わなくて嫌な子がいて、不登校と言う事もありえるかなと思うので。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	沢山の友達と出会える事、クラス替えが毎年ある事によりイジメ防止にもなり、競走関係、クラス対抗など団結力があがり必要だと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	先生と友達とうまくいかなかった時に、クラス替えができる点から、3クラスあってほうが良いと思うので。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	少人数にも良い部分はあると思うが、いじめ等があった際に逃げ場がないように思う。 色々な人との関わりの中で、自分を見つけていくのだと思うから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	少ないといじめから逃げられない
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模の1学年1クラスの学校で、いじめが起きた場合、被害者に多大な悪影響が生ずる。担任も偏る。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模クラスだと、長く続くトラブルやいじめなどあった場合にもクラス替えが出来ないから
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	子供にとっては学校での世界や人間関係が全てだと思いがちだと思います。 ある程度のクラス数、人数を確保しないと 、何かきっかけで友達と仲違いになったとき、逃げ場がなくなると思います。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	苦手な子がいた場合、クラス替えが出来ない環境は辛いと思います。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	学年1クラスは、どうしても合わないお友達がいる場合、対処が難しいのともっとたくさんのお友達と関わった方が、たくさん学べて自分に合うお友達と、楽しい学校生活を送って欲しい。 実際、小学校のお友達よりも、中学校で統合した他の小学校のお友達がたくさん来て、元からその小学校にいたんじゃないか位仲良くなった。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	学校教育に置いて、一学年一クラスだと小学校の場合、6年間クラス替え無しになりますよね？そうすると、人間関係が悪くなったとき、クラス替えができなければ誰かが我慢をするか、不登校になるか、もしくは命を絶ってしまう事態にもなりかねません。やはり、少なくとも3クラス位はないと。逃げ道は必要と考えます。なので、上尾市、今のままで大丈夫です。人としての基本が何故か出来ていません。親もそうです。自分が良ければ人を傷付けることもいとわない。人の痛みがわからない。言葉が暴力だと気づかない。先生もそうです。見てみぬ先生、悪いことをしている子の見方をして、正しいことをしている子を叱る先生、もちろん子供の立場に立って考えてくれる先生もいますが。なので、今回見直すチャンスなら、子供達が大人になるために必要な学校生活を、思いやりや助け合い等見直して新たな学区で進んでいてもらいたいと思いました。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	一学年一クラスは、トラブルがあった際に子どもの逃げ場がないため。単学級は親も子どもも色々な意味で慎重になる。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	一学年一クラスしかない学校はそのクラスに馴染めなければ6年間辛く、逆に多い学校は同じ学年で知らない子がいるということは寂しいことだと思う。均等に適したクラス数にできるのならば調整したほうがいい。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	せめて2クラスはないと子どもがいじめに遭った時がずっとそのクラスのまま学校生活が続くと思うと辛いと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	クラス替えがないと何かあった時に逃げ場がないし、6年間ずっと同じメンバーなんて、集団生活の良さが欠けると思います。この時期に、たくさんの人と関わり合いを持つ事で、人間関係を学ぶんだと思います。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	クラスが一クラスだと、生徒同士で合わない場合、クラス替えもできず、6年間きつい為
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	クラス・友達に合う合わないがあるので、クラス替えは必要だと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	いじめの問題などあるので、クラス替えが出来ない環境は不登校を増やす要因になる
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	いじめなど何か問題があった場合、1クラスだと逃げ道がないので。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	いじめなどの問題から学区の見直しも必要ですし、クラスがえがないと子供の逃げ道がない、代わりばえがない
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	いじめなどあった場合、6年間同じクラスでは嫌になる子はそのうち学校へ通えなくなる。クラス替えにより、新しいお友達を作ること大切だと思う。
人間関係の流動化	偏りの是正	1学年1クラスでは、人間関係が固定されてしまい窮屈だと思うから。
人間関係の流動化	偏りの是正	1クラスでは人間関係が固定されてしまうと考える為解消した方が良くと思う
人間関係の流動化	偏りの是正	1クラスでは固定化してしまい、多様な刺激をうけないと思うから。
人間関係の流動化	偏りの是正	1クラスだと変化もなく子供がかわいそうだと思う
人間関係の流動化	偏りの是正	友達の偏りをなくす
人間関係の流動化	偏りの是正	友達との付き合い方や、学習のしかたにも影響が出ると思うので、どの学校でもある程度同じような環境作りは必要だと思うから。
人間関係の流動化	偏りの是正	友人関係の適正化
人間関係の流動化	偏りの是正	偏りがあると人間関係など学ぶことに対して差が大きくなると思います。平均したクラス数を維持できるといいと思います。
人間関係の流動化	偏りの是正	統合出来るならした方がいいと思う。学年1クラスは少ないし交友関係が偏る。最低でも3クラスはあったほうが良いと思う。
人間関係の流動化	偏りの是正	地域によって人数の違いがあり、人間関係が偏ってしまうと思います。イジメも対象になってしまった場合逃げ場が無くなると思い、少人数だと困ると考えます。中学に行き大人数になっても環境に慣れず苦勞がありそうだと思います。
人間関係の流動化	偏りの是正	人数の偏りを解消して、人間関係を平等に学ぶべき。
人間関係の流動化	偏りの是正	人数により、人間関係も変わってくる。偏りが、できるだけない方が望ましい。
人間関係の流動化	偏りの是正	人間関係にも偏りがあり、世界が狭くなると思うので必要だと思います。
人間関係の流動化	偏りの是正	人間関係が固定されたままずっと過ごすよりも良いと思うので。
人間関係の流動化	偏りの是正	少ないクラスだと、友達が固定化されてしまいがち。クラスが増えれば自分と合う友達を見つけられると思ったからです。
人間関係の流動化	偏りの是正	小規模学校ではたくさんの人との関わりができないので良くないと思う。人間関係に問題ができた時にかわいそうだから。
人間関係の流動化	偏りの是正	小規模の地域だと人間関係に限られる
人間関係の流動化	偏りの是正	今、子どもの学年は単学級だが、クラス替えがないことで6年間人間関係が変わらず、変化に乏しいため。交友関係が固定化されることによる問題も多く出てくる。
人間関係の流動化	偏りの是正	関係性が固定しない方が望ましいのではなかとと思う
人間関係の流動化	偏りの是正	クラス替えがなくて、友達も変わらないのはどうかなと思います。
人間関係の流動化	交友関係拡大	1学年人クラスしかないなどは6年間全く変わらない人間関係の中で過ごさなければならないのは他の学校との差がありすぎる
人間関係の流動化	交友関係拡大	1学年1クラスだと人間関係の構築などの多様化に適さないから
人間関係の流動化	交友関係拡大	1クラスや2クラスだと交友関係が狭くなるので見直しは必要
人間関係の流動化	交友関係拡大	様々な多数の友人との交流が成長期に必要なと思います。
人間関係の流動化	交友関係拡大	友達関係を広げるため。
人間関係の流動化	交友関係拡大	友達が多いと良いと思うから。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
人間関係の流動化	交友関係拡大	低学年のうちに学区を越えての交友関係を広げるため
人間関係の流動化	交友関係拡大	中学に入学したときに複数の小学校からきますが、私の子供の通う学校では、中規模と小規模が集まります。 小規模からきた場合、親も子も、6年間の絆が固いため、他校を寄せ付けない団結力があって、中に入れないと散ったことが生じるため規模は同じくらいに統一するべきだと考えます。
人間関係の流動化	交友関係拡大	色々な人と関わりを持てるから。
人間関係の流動化	交友関係拡大	小学校と中学校でメンバーが増えることもなく同じなため、それが嫌で中学受験をした子を知っている ので、あまりにも少ないところは見直すべき。 嫌な状況に変化がないため、不登校やいじめなどが改善しにくいと思う。
人間関係の流動化	交友関係拡大	自分が小学生の時、学区の固い決まりのせいで近くの小学校ではなく3キロもある遠くの学校へ行きざるを得ず、その学校は1クラスしかなく沢山の友達と交流出来なかったため。
人間関係の流動化	交友関係拡大	現在ほどの場でも孤立化しているの、年齢の上下の関係 同い年の幅広い交流ができ 人間関係を 気付けるチャンスがあるから
人間関係の流動化	交友関係拡大	狭すぎる人間関係ではなく、友人を選べる選択肢を与えてあげたい。
人間関係の流動化	交友関係拡大	学年で1クラスは、クラス替えもできず、多数の人との交流ができないから
人間関係の流動化	交友関係拡大	学校での友達づくりなど。ある程度人数が必要なにも、それが学校毎に差が出てできる地 域、できない地域と格差ができてしまっている。既に今の時点でも。
人間関係の流動化	交友関係拡大	学区を越えての交友関係が広がるため
人間関係の流動化	交友関係拡大	一学年1クラスだと友達がいないのと同じになってしまう
人間関係の流動化	交友関係拡大	たくさんの色々な友達と関わって欲しい。
人間関係の流動化	交友関係拡大	たくさんのお友達と交流して欲しいから
人間関係の流動化	交友関係拡大	さまざまな人と関われる
人間関係の流動化	交友関係拡大	さまざまな子とコミュニケーションを取れた方がよいから
人間関係の流動化	交友関係拡大	クラス数が少なく、クラス替えもさほど友達の変更がない。
人間関係の流動化	交友関係拡大	いろいろな友達と交流してほしい。
人間関係の流動化	交友関係拡大	いろいろな人と交流できて、経験が出来そうだから
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	様々な人とコミュニケーションを取れた方がよいから
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	様々な交友関係学んだ方がよいと思う。
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	普通クラスだと 1クラスで6年間同じだとこれからの成長に支障がでるのでは？とってしまいます。 コミュニケーション能力 他者との比較(良い意味で) 競争心、向上心 等
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	大規模な学校との多様性の考え方やコミュニケーション等の差を感じる
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	人と人との繋がり手法は時代によって変化しても、社会に出たら必ず必要なものであるから。
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	少人数の小中学校の場合、中高に進学した際に、周りとコミュニケーションの差が生じてしまうため。
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	少人数だと本来の集団行動を学べない為
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	現在、姉妹ともに1クラスの学級で、少人数で良い面もあるが、クラス替えがないことなどにより新たに友 人関係を作る、など社会性を学ぶ機会が少ないことは将来心配。
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	学校が小規模すぎて人間関係がいつも同じメンバーばかりで飽きてつまらなさそう。 大規模なら知らない子にも声をかけて友達になる良い経験になると思う。
人間関係の流動化	多すぎず、少なすぎず	一学年一クラスの学校は視野や社会性などを培う機会が失われていると思う。 また多クラスの学校は個人単位で目が届かない上に、中学進学時や中学生になった際でもよくも悪くも 同調するメンバーで固まるのではないかとと思う。
人間関係の流動化	多すぎず、少なすぎず	クラスが少ないと活動にも支障があるし、人間関係も狭くなってしまふから。 逆に多過ぎては色々大変そうです。
人間関係の流動化	多すぎず、少なすぎず	あまり小規模だと、人間関係に悩んだ時に逃げ場が見つけられない。また、沢山の人中での協調性等 は子供の頃から学ぶべきだと思うため、多すぎず、少なすぎず、小学校一学年80～100人程度 の学校が適切だと思うから。
人間関係の流動化	多すぎず、少なすぎず	大規模な学校の方が人生の友に会いやすく、利点が多いが、小規模な学校では固着しやすくい じめなどの逃げ場がないため全体的に平均化した方がいいと思う。
人間関係の流動化	大規模校のデメリット	いわゆるジャンボ学校は、下手したら6年間 一回も同じクラスにならないという事になるから 親同士も多過ぎて 知らない人が多くなる
人間関係の流動化	大規模校のデメリット	クラスが多いと人間的な関わりが薄いように感じている
人間関係の流動化		1クラスだと横の交友関係や先生同士の指導に対する意見交換等比べるところがないから。
人間関係の流動化		沢山の人の関わりで成長していく時期だからです。
人間関係の流動化		少なすぎるのはつまらないから
人間関係の流動化		少ない人数ではさみしい

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
人間関係の流動化		現在一学年一学級のため 代わり映えのないまま クラス替え、進級の実感や喜びがないため 新しい風を味わうのも良い
人間関係の流動化		六年間クラス替えのない学校と、沢山人数がある学校では交流の仕方に差が出るから。
人間関係の流動化		同学年の子供が増えてほしいから。
人間関係の流動化		通う予定の中学校で10クラス程度クラスがあると聞き、大事な時期にしっかりと交友関係を築けるのか疑問だから。
人間関係の流動化		中学校に進学した際の交友関係
人間関係の流動化		多様な人々と協働という点に共感できるため。
人間関係の流動化		人数が少ない学校で仲間との繋がりは強くなりそうですが、逆にもっといろんな性格の人と出会いそこで絆を強くするのもいいと思います。
人間関係の流動化		教育や生活をするうえで、適切な規模のコミュニティである必要があると思うため。
人間関係の流動化		学年全体での交流が出来るから
人間関係の流動化		学校側や上尾市は目を瞑りたいと思うが実際にいじめは多い学校のせいでも子供たちのせいでもなくシステムのせいであると考え 人間関係を修復するより逃げ道を作ってあげる方が良い場合 ひとクラスしかないのではどうにもならない また学年の途中でクラス移動が可能であってほしい 固定クラス、固定の学校、固定の先生、そして友情は修復可能という概念をもっと変えていけたらいいと思う
人間関係の流動化		一定の児童数があった方がいい
人間関係の流動化		クラス数によって子供達の今後の人間関係にも影響があるため
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスは6年間同じ仲間と過ごすことになる、やはり友達と合う、合わないもあると思うので逃げ道としても複数クラスがあると良いのではと思う。 中学校においては部活動もあるので人数がある程度いた方が活動しやすいのではと思う。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	トラブル・いじめ回避	1クラスより 統合した 複数クラスの方が行事やら 楽しめると思う 1クラスだといじめがあった時に クラス替えできず辛いと聞いたことがある
人間関係の流動化 財政	トラブル・いじめ回避	単学級は人間関係が固定化し、一度つまづくとずっと辛い思いをしなければならないので、各学年が2学級以上必要だと思う。 また、小規模校でも学校の維持管理は中規模校並みに必要であると思うので、統廃合する事で、費用面も削減できると思う。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	トラブル・いじめ回避	人数が少なすぎるとイジメがあったときなどにクラス替えができない。人数が少ないと、部活が少ない。
人間関係の流動化 先生の日	トラブル・いじめ回避	1クラスの場合、人間関係でトラブルがあった時に、逃げ道がなくなり不登校にも繋がってしまう可能性もある。 また1クラス最大人数だと先生の日も届きにくくなる可能性もあるので見直した方が良くと思います。
人間関係の流動化 先生の日	トラブル・いじめ回避	1クラスでは逃げ場がない。得られる経験も減ってしまうのが残念。逆に多すぎると教師も学年全体に目が行き届かず、気づける事も気づいてあげられなくなる。また埋もれてしまう子どもも出てきてしまう。
人間関係の流動化 先生の日	トラブル・いじめ回避	1クラスだと イジメ等の問題が出た時に クラス替えがないままだと更に不登校に繋がりがやすい 学年の人数が多すぎると 前学年から持ち上りの先生でも知らない生徒ばかりなので、 生徒の個性等把握しにくい
人間関係の流動化 先生の日	トラブル・いじめ回避	大規模校だと先生方の目が届きにくいのと、生徒同士も毎年のクラス替えで新たな人間関係を築くのが大変そうだと思います。小規模校ではほぼ全員と知り合えるメリットはありますが、人間関係で躓いた時に回復しづらいと思います。
人間関係の流動化 先生の日	偏りの是正	子どもたちのコミュニティが偏ったり、先生の指導の目が行き届かないなどの問題が起きると思う。なので、 クラス数が少なすぎたり多すぎたりするのは良くないと思う。
人間関係の流動化 能力向上・刺激	偏りの是正	小規模な学校だとクラス替えもなく同じ環境でだんだん子どもの中でも自分の立ち位置が決まってしまう向上心が芽生えにくい。 それが中学まで続くとなると学力だけではなくいろんな事に影響があり、地域差がでてしまうのは良くない事だと思う。 学区の見直しや統廃合は必要だと思う。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	偏りの是正	中学が準小規模校で、部活の選択肢が少ない。 小学校のクラス数が少なく、人間関係の偏りを感じる。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	偏りの是正	小規模校ではクラス替えもなく、人間関係も偏りがち。学校行事も盛り上がりに欠け、内輪なものになりがちだと思う。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	偏りの是正	小規模校、大規模校、それぞれメリットデメリットはあると思いますが、小規模校で学年1クラスだと、クラス替えもなく、6年間同じメンバーでいろいろな人との交流も少なく、運動会などの行事も規模が小さくダイナミックなものができない。持久走なども、人数が少なくていつも同じような感じであり、学年1クラスは寂しいといつも感じる。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	偏りの是正	小規模、大規模それぞれ良い点も悪い点もあると思いますが、小規模だと、運動会やいろいろな行事が少し寂しい感じがしたり、ずっとクラス替えがないため、決まった人間関係で6年間過ごすので、もう少し多様な人間関係を築けるようにしてあげたいと思う。
人間関係の流動化 先生の目	交友関係拡大	友人を作るためにも少なすぎるのは良くないと思う。 またひとクラスの人数が多いところがあると、先生の目が行き届かないのが心配なため。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	交友関係拡大	1学年3～4クラスある方がいい。運動会などの行事が充実したものになるし、色んな友達と触れ合う機会が多くあって欲しい。
人間関係の流動化 能力向上・刺激	交友関係拡大	友達の数が少ないからクラス替えできない。 学力の比べができない。
人間関係の流動化 不公平感の是正	交友関係拡大	小学校でクラスが少なく、中学校で別れる場合に仲の良い子が居ない等の事がある為、親も不安。 給食に関しても、同じ市内なのに偏りがあるのもおかしいと思う。
人間関係の流動化 先生の目	コミュニケーションスキルの向上	生徒数が、多い。 性格もあり、上の子では、感じなかったが、下の子では、友達との交流の浅さや先生の目の行き届きにくさを、感じる。
人間関係の流動化 教育格差	コミュニケーションスキルの向上	前から個人面談などで相談していたが、少人数学校は人との関わりが苦手でありおとなしく少し変わった子が多い。中学になるとそのギャップが大きくなってしまい多人数校にばかりにされやすい。少人数の学校がいやで相談したが引越したくないとダメだと言われた。少人数の学校に6年間通うことは苦痛だった。少人数は勉強の面倒見てくれるという頭が良い学校と思えなかった。
人間関係の流動化 先生の目	多すぎず、少なすぎず	あまりに人数が多すぎると、人間関係や、教師の目が行き届かないなどの不安が生じるから、偏りがないようにしたほうがいい。
人間関係の流動化 学校規模の平準化	交友関係拡大 トラブル・いじめ回避	もっと柔軟に学区を変更して、適正な学校規模やクラスにした方が、子どもたちにとっても良いと思います。 小規模すぎて毎年クラス替えが無いと友達が偏ってしまい、交友範囲が広がらない。 ウマの合わない児童を別のクラスにすることで、子ども達にとってストレス軽減、先生にとってもクラス運営がしやすかったりするのかなと思いました。
人間関係の流動化 平等・公平	交友関係拡大	共に育つ児童・生徒の人数は多すぎても少なすぎても良くないと思う。 適正な人数の中で、様々な出会いを経て育ち合って欲しい。 また、学習指導の浸透度も平等であるべきと思う。
人間関係の流動化 能力向上・刺激	偏りの是正	ある程度の人数がいなければ 成り立たないスポーツや、体験がある一方で、多すぎることにより、生徒ひとりひとりが活躍出来ない 決まった子が、決まった位置付けている事になり、苦手なことへ向かおうとする向上心がなくなる。
人間関係の流動化 その他		1クラスしかない学年では、人間関係が固定化してしまうので、そういった学校では少人数の方が落ち着いて勉強できる生徒を積極的に受け入れる制度を設けたり、反対に人数の多い学校は、校舎事態を増築したり、新校舎を建てるなどして、教室事態を増やすしかありません。近くに敷地がないことが想定されますが、それこそ新たな取組として、例えば3年生までの校舎、4年生以上の校舎など分離して、新しい教育のモデルとして革新的な取組を埼玉県として行ってほしいです。
人間関係の流動化 先生の目		規模が小さすぎると人間関係が広がらないし、大きすぎても友達関係が深まらないし、先生もこどもの把握がしにくいと思うから。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念		特に小学校は6年間1クラスになると、新鮮味がなくなつまらぬと思う。 運動会やイベントなども同様。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念		学年クラスは多い方がクラス替えなどの楽しみが増えるし、体育祭などの行事もクラスが多い方が思い出になると思います。 時間は全ての、人に平等にくるものです。 その時間を沢山の思い出を作してほしいと、思うからです。
人間関係の流動化 先生の目 部活や学校行事への懸念	偏りの是正	子供の通っている中学校は1学年2クラスです。先生の目が行き届く教育が出来るというメリットはあるでしょうが、部活の弱小化や、部数の少なさから子供の選択肢が少なくなっています。また、狭い人間関係から深く付き合うことが出来るというメリットはあるでしょうが、一方で逃げ道がない状況でもあると思います。
人間関係の流動化 保護者の負担 部活や学校行事への懸念	偏りの是正	小規模の学校では、運動会がクラス対抗にできない、友達が固定化される、PTA活動の負担が大きいなど様々な弊害が生じると思います。
人間関係の流動化 能力向上・刺激 先生の目	大規模校のデメリット 大規模校	人数が多い事のデメリットとして、発表の場や教材などに触れる機会が少なかったり、目が届きにくいのはもちろん、クラス替えのたびに初めましての人が多く、慣れて仲良くなったところで毎年リセットされて、深いつながりが築きにくい。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
人間関係の流動化 能力向上・刺激 保護者の負担 先生の目 部活や学校行事への懸念	トラブル・いじめ 回避	小規模の小学校へ子供が通っています。コロナ対策としては最適かもしれないが、子供の学びの機会がかなり失われていると感じる。 クラス替えが出来ず人間関係が密になりすぎる。問題が出てクラスを分けられないのは不登校に繋がる。 人数が足りず出来ないスポーツが多々ある。 先生も足りず、掃除も行き渡っていない。 保護者の人数も足りず、役員の負担が大きい。不正があっても見てみるふり。 資料を見て、現在小学校1年生の子が中学生になったときに中学校も1クラスになることに気付き、愕然とした。
通学	通学区域の見直し	当時10年前になりますが、近所に住んでる子供達と同じ地域なのに学校が選べると言う理由で少し遠い場所にあるマンモスの小学校に行きました。本来なら近くにある小学校に行く決まりがあったのに、卒業後の中学校に不安があるとの事で近所の子供達と別々の小学校と中学校に行く事になりました。近くにある小学校は少人数の学校なので、この子供達が来てくれたら人数も増えたんだらうなと今でも思います。 当時から、同じ地域なのに選べると言う曖昧な感じに疑問を感じ、きちんと決めてくれたら学校の子供も増え、近所の子供達と仲良くできたかもしれません。今は地域の家も増えて新しい人が入ってきたので少し改善されましたが。 通学区域はぜひ見直して頂きたい。
通学	通学区域の見直し	選択学区がいつまでも存在することで再編が進まない要因になるので、市側で学区を見直し指定していく必要がある。
通学	通学区域の見直し	人数に偏りがあるとどうしても差ができてしまうような気がします。 何年かに1度、学区の見直しをしてもいいと思います。
通学	通学区域の見直し	自宅から近い学校があるのに、なぜか路を一本挟んで遠い学校になっているのが疑問。だから人数の差が出てしまうと思う。
通学	通学区域の見直し	区域の見直しはすべきかと思います。
通学	通学区域の見直し	近頃個人の都合で 学区を越境されている方をよくお聞きします 見直す時かもと感じます
通学	通学区域の見直し	近くに小学校があるのに、遠くの小学校まで通わなくてはいけなくなっている。見直しをしてほしい。
通学	通学区域の見直し	近くに学校があるのに、区域じゃないので通えない。などは見直してほしい。
通学	通学区域の見直し	近くにあるのに学区のせいでわざわざ遠くの学校に通わなければいけない子供が多いのでクラスと言うよりも学区の見直しをした方がいい
通学	通学区域の見直し	近い小学校があるが、通学区域外である為 遠い学校に通わなければいけなく見直してほしい。
通学	通学区域の見直し	学区は昔からの範囲だけでなく、人口が激増激減したりした場合は柔軟に対処するほうが良い
通学	通学区域の見直し	学区選択地区でもなかなか小規模校への流入がないので。
通学	通学区域の見直し	学区の設定が昔から変わっていないと聞く。 北上尾駅設立、住宅地の変化による市民の分布を鑑みて見直ししてほしい
通学	通学区域の見直し	学区の見直しをすることで生徒数の偏りを軽減できるなら良いと思う。また学区見直しに際して自転車登校なども視野に入れてほしい。
通学	通学区域の見直し	学区の見直しはしたほうがいい。 いつ決めたのか、現状とあっていないと思う。
通学	通学区域の見直し	学区が設定されているので学校により生徒数の違いが生じているので、学区の見直しは絶対必要。 自宅から近い学校に通う事が出来る選択制を設ける事も必要
通学	通学区域の見直し	学区が昔ながらのおかしな形になっていて通学時間が向かいの家の子の倍になるおうちがあったりするのをおかしい。
通学	通学区域の見直し	1クラス分の人数しかいないのに、学区があるために近い小学校では遠く通っているし、係などの親の負担も大きい
通学	通学区域の見直し	通学区域を見直すことは良いと思う。ほんにんの選択肢が増える事にも繋がる為
通学	通学区域の見直し	同じ市内で学校規模に偏りがありすぎるのは良くないと思う。通学区域は早々に見直してほしいし、通学班や下校班が本当に必要なのかも考えてほしい。
通学	通学区域の見直し	通学区域を見直す。
通学	通学区域の見直し	通学区域を見直す
通学	通学区域の見直し	通学区域の再編成を行って、学校統廃合してほしい。
通学	通学区域の見直し	通学区域の見直しは必要だとも思います。 あきらかにA小学校のほうが近いのにわざわざB小学校に通わなければならないのはどうかなと思います
通学	通学区域の見直し	通学区域の見直しは必要かと思う。

必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
通学	通学区域の見直し	通学区域の見直しは定期的に行った方がいいと思う。
通学	通学区域の見直し	通学区域の見直しは数年に一度は実施するのが望ましい
通学	通学区域の見直し	通学区域が今の現状にあっていないと思う。
通学	通学区域の見直し	住宅街が増え、その区域の生徒数だけ増えていくので、通学区域を見直す案はいいと思います。
通学	通学区域の見直し	居住環境もそこに住む人達の年齢層も変わってきているにも関わらず昔のままの学区割では、児童生徒の数も通いやすさも考慮されていない場合が多く感じます。（団地・踏切での区切りなど）
通学	通学区域の見直し	学校規模の偏りはないほうがいいかと思いますが、通学に負担が大きくなってしまふことは避けるべきです。しかし、通学路の見直し、区域の見直しはすべきかと思ひます。
通学	通学区域の見直し	仮設教室になってしまふくらいなら通学地区の見直しで調整した方がよい。仮設教室の子が不憫。冷暖房など
通学	通学区域の見直し	通学区域を見直さないと規模の大小差に偏ってしまう
通学	通学区域の見直し	通学区域は常に考え、その時の住まいに寄って全小、中がある程度生徒数が均等になるべき。
通学	通学区域の見直し	通学区域の学校によって偏ってしまうからです。
通学	通学区域の見直し	通学区域での偏りは見直すべきだと思います。
通学	通学区域の見直し	通学距離が長くなっても、生徒数の偏りは良く無いと考えるため
通学	通学区域の見直し	地区や道路で決めるのではなくバランス良く分ければ良いと思う、
通学	通学区域の見直し	地区によっては子供の人数が少なく苦勞されてるところもあるため、見直しをぜひしていただきたい。
通学	通学距離重視	通学距離による学区の見直しも必要
通学	通学距離重視	少子高齢化が進んでいるため、辞退にあつたニーズにそつてもらえればとおもう。ただし、学区によっては、遠く危険な地域もあるため、対策は必要。
通学	通学距離重視	学区が広すぎて、通学に時間がかかりすぎる。
通学	通学距離重視	学区がきつちり別れていすぎて、近くに有る小学校に通えず、決められた、とても遠い小学校へ通わなくてはならない。 低学年のうち片道、30分～40分以上かかってしまふ。（特に下校時間）
通学	通学距離重視	例えば春日に住んでいる富士見小の児童が西中まで通学となるとかなりの距離がある。大石中の方が近くなる。 小学校の学区と中学の学区は別物として通学時間を考えるべきであると思ふ。
通学	通学距離重視	必要であると思ひますが、統合した場合に通学する距離が大幅に増える児童もいると思ひます。中学生なら自転車で行かれますが、小学生低学年の場合には何かしらの対策が必要です。最近のように40℃近くの猛暑の中、重いランドセルと荷物を持って30分歩かせる事になるなら統合は反対です。
通学	通学距離重視	登下校の距離があまりにも遠くなる為
通学	通学距離重視	人数が多いと学区が広く学校までが遠い
通学	通学距離重視	小学校でも徒歩で30分以上かかる子もいると聞くので、学区は見直ししてあげてほしい
通学	通学距離重視	出来るだけ登校の負担がなくなる学校へ、市外でも行けるといいと思ふ。
通学	通学距離重視	在籍児童数の偏りや、通学距離が極端に長いなどを解消する必要があると思つたため
通学	通学距離重視	最寄りの学校が学区外になっていて、家から遠い学校へ通学している可能性がある地域がいくつか見受けられる為。
通学	通学距離重視	気候の変化、温暖化など、歩く距離、荷物の重さなど、考慮してほしい。
通学	通学距離重視	学校が遠い子の負担は大さいので、通学距離による見直しは必要かと思ひます。
通学	通学距離重視	通学区域の範囲にバラつきがあると感じました。
通学	学校選択制	必要であるというより、当たり前である。学校再編など必要なく校区を流動的にすれば済む話かと。
通学	学校選択制	選択学区をなくせば良いと思ひます。
通学	学校選択制	選べる時代だから
通学	学校選択制	自宅の近くに学校があるのに区域が違うと遠い学校まで通学するのはおかしいと思ふので選べるようにして欲しい。
通学	学校選択制	公立小学校にもかかわらず、学校により特殊な校風なところもあるので、自分の子にあつた学校を選びたいので 区域を廃止し選択出来るようにしてほしい。 公立であるなら、カラーを出さず 市内統一して教育してほしい。
通学	学校選択制	原市地区の学区を検討して欲しい。 原市小と東町小は選べる学区があるのに原市小と原市南小には選べる学区がないのは不公平だと思ふ。 国道16号北側を原市小の選べる学区にして欲しい。
通学	学校選択制	学区通りに通つているが、周りの家は学区ではない近くの学校に通つている。 ご近所は皆違う学区です。
通学	学校選択制	学区を大きくとつてもらい、2～3校くらいから選択できると良いと思つたので。
通学	学校選択制	学区を振り分けたの何十年も前。最近新しく区画整備され、家も建ち、見直すのは適当と考える。また昔と違い『選べる時代』というもあると思ふ。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
通学	学校選択制	学区よりも近くに別の小中学校があるのに選択区域でないから行けないと市役所で言われた。登下校の心配もあるので、家から近い学校に通わせたい。特に富士見小、今小、西小は学校間の距離が近いので、三校の周辺は選択区域にしてほしい。
通学	学校選択制	学区は距離や人間関係も含め選んで登校するべきです。
通学	学校選択制	学区に関係なく学校を選べるようにしたい。
通学	学校選択制	学区によっては、近くの他校の方がいい場合もあるのに、選べなくて決められた中学にいけないう人もいます。どちらでも通える学区に関しては選べるなどにしてバランスをとるのもいいと思います
通学	学校選択制	学区にこだわると、近くに学校があるのにかなり遠くから長時間かけて登下校する子います。防犯の為に各家庭が近いと判断した学校への進学がいいと思います。イジメの対策としても無理に学区の学校に進学せず選べるとよいと思います。
通学	学校選択制	学区とかではなく、通う学校が選択できるというなと思う。
通学	学校選択制	学区ではなく、行きたい学校を選べたら良いと思います。
通学	学校選択制	うちは富士見小学校の方が一番近いのに、遠い大谷小学校に通っている。地域の問題もあるので、通学区を変えるのは大変だと思う。選択移行期間があっても近所で子供はそれぞれ違う学校に通っている。
通学	学校選択制	AやBの学校が近くても学区の関係でCやDの学校になっていたりします。徒歩で行きやすい(安全な道、距離)学校への自由度を増す必要はあると思います。
通学	学校選択制	中学校進学時に、いくつかの選択肢がほしいから。
通学	学校選択制	自由な学校選びができたほうがいいから
通学	学校選択制	合わせて学校も指定せず近隣との選択ができれば良い
通学	学校選択制	通学区の見直しを考えてほしい。今更なるので、子供たちはこのままで行くしかないのかなあ。とも思います。今後は家から近い学校に通えるように検討していただきたい。
通学	学校選択制	通学距離や、時間等同じであれば、選択できてても良いかと思えます。
通学	学校選択制	大石中は人数が多すぎる。また大石北小は自宅からかなり遠く、近い学校を選ぶなど選択制があると良い。
通学	学校選択制	住んでいる場所によっては自由に学校を選択できるのは必要だと思います。極端に遠い学校に通う事は児童はもちろん保護者も大変だと思います。
通学	スクールバス	通学班もあるので、どこかで、この地区はこの小学校に行くという決断をした方がいいと思います。小学校を減らすなら、遠いところの子は、スクールバスというのもありかな？と思います。
通学	スクールバス	少子化の影響で生徒数にバラツキがあるため学区編成は必要であるが、それに伴い、学校が遠くなってしまいうちも出てくるので、スクールバスなどの導入も一緒に考える必要があると思う。
通学	スクールバス	子供の数は減っていくと思うので学校の数も減らして大規模校に集約し、スクールバス等の学校内容を充実してほしい。
通学	通学路の安全	通学路が遠く民家通行が少なく、親が迎えに行かざるを得ないような遠い所への毎日の通学は、親にも子供にも負担が大きすぎる。不審者も度々見聞きするため、区域の見直しや、地域と学校の交流の場であれば、親以外の大人の目でも子供たちを守るのではないかと考えております。
通学	通学路の安全	通学路が遠いほど人目がなく危ないから
通学	通学路の安全	通学路が遠いほど人目がないところまであるから
通学	自転車通学	通学地区を見直すのは勿論、中学校は地域の外れにある学区の子の自転車通学を可能にしてほしい。部活などで荷物がある場合の事を配慮せずただ、駐輪場が狭い理由で強制的に自転車通学廃止にした西小学校等は遺憾で仕方ない。学校判断に任せている教育委員会もどういう大人な人格がいるのか分からない。今年もますますの猛暑の中55分かけて中学校に行くのに熱中症で途中死ねば良いのかと思ってしまう対応に遺憾極まりない
通学	自転車通学	通学時間の長い場所は自転車の許可の範囲を増やして欲しい。
通学	自転車通学	規模の偏りがあるなら編成すべきだと思う。それととおいになるのであれば、自転車通学や車送迎を認めてほしい。バスを学校で用意するのもいいと思う。
通学 保護者の負担	通学区域の見直し	自宅を購入する際に住所で学区内が区切られていることを知り、近くの小学校まで徒歩7分くらいで行けると、隣の学校の学区ということで20分以上かかって登校しなければならないことを知りその地域を断念したことがありました。当時小6の上の子は上尾市内からの引っ越しだったので、そのままの小学校で良いと言われましたが、これから入学するしたの子は隣の小学校に行ってくださいと言われました。親としては同じ学校に行かせたいですし、PTAの役員なども免除にならないなどの不便さなどもありました。偏りなどの地域の学区区域の見直しということで少し観点が違うかもしれませんが、そういった点も偏りの原因なのかなと思いました。
通学 クラスの人数	通学区域の見直し	クラス編成の人数は統一した方がいいと思います。少子化に伴い通学地域の見直しが必要となってくる時代と思っています。
通学 部活や学校行事への懸念	通学区域の見直し	統廃合は必要ないと思うが、通学区域の見直しは行った方が良く思う。近い学校へ通えた方が子供にとってはいいと思う。中学校の人数の偏りによって、部活の部の人数が少なく、部活動が上手く行えなかったりしているのが偏りはなくなったほうが良い。
通学 平等・公平	通学区域の見直し	なるべく同じような環境や教育を受けさせてあげたほうが偏りが少ないような感じがするため。ただ通学区域を見直しして通いずらくなるのも大変だとも思います。
通学 クラスの人数	通学区域の見直し	昔と子供の人数が変わってきていると思います。偏りが多いので、通学区域の見直しは必要だと思います。クラスの数よりはクラスの人数が大切だと思います。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
通学 人間関係の流動化	通学区域の見直し 交友関係拡大	近くに学校があるのに、通学区域により遠くの学校へ通ってる子もいるので、通学区域の見直しをした方がよい。また、学年1クラスしかない学校もあるので、統合して色々な友達と交流が持てるようにした方がよい。
通学 学校規模の平準化	通学区域の見直し 中一ギャップ	多少の偏りは仕方ないがあまりにも違いすぎると小学生が中学生になるときに馴染むのに時間がかかりそう。 荷物が多く重くなってるのに家から遠いと身体を壊す心配があるので再編したほうがよいと思います。
通学 保護者の負担	通学距離重視	現在の学区では、遠い学校に行く事になる生徒がいるので、小中一貫校にして出来るだけ、通学距離が短い学校に通える方がよいと思います。あと、朝の旗振りも月に2回も保護者が行っており、保護者への負担がかなり多くなっているため、その事も考慮して学区の見直しもして頂きたい。
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 トラブル・いじめ 回避	人数を均等化する事で、クラス替え等実施する事が出来るようになり、偏った人間関係の緩和の促進が出来るようになる為。 ただ、 通学に時間がかかるのは反対。
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 交友関係拡大	お友達との幅広い交流は必要だと思います。 学区によって近くより少し離れた学校へ通っている児童もいるため、通学区域の見直しは良いと思います。 ただ、小学校から中学校へ上がる子どもは、皆んなで一緒に同じ中学校へ行きたいと感じるものなので、難しいところでもあると思います。
通学 その他	通学距離重視 地域間格差	中心街に人口が集中するのは仕方ないが、通学区域が都市開発とリンクして柔軟に変更されたり、自由選択制にしないと、近くの学校に通えず通学時間が長くなってしまふなど子どもへの負担が発生してしまうため。
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 偏りの是正	一クラスしかない学校では交流も閉塞的になってしまうし、クラスで何か問題があってもクラスを変えるなどで対処ができない。 ただ通学区域を見直すことは良いと思うが、あまりにも距離がある学校に通わなくてはいけないのは良くないと思う。
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	住んでる地域で行く学校が決まる以上、 適正な生徒数、クラスの人数は、優先して最適化してほしい。 ただ、通学距離が遠くなる方への配慮は必要なので、今までのルールを思い切って見直していかなければ、 すでに仕事量の多い教師職も、 保護者にも無理がいくので、 早朝からの図書館登校を許可したり、 根元から見直すような、 柔軟な対応をしてほしい。
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	適正な人数と 適正な通学距離を保ってほしい
通学 部活や学校行事への懸念	学校選択制	大石南小学校へ通っていますがこの後は大石南中学校です。小学校から中学校へ行くのにクラスや人数が増えない。隣の大石小学校、大石中学校は人数が多い。大石南に近いのに大石小学校へ通っている学区割に理解ができません。 ここ10年近くこのような状況が続いていて自分の子が通う頃には変わっていると他人事のように思っていましたけどほとんど変化がない。市の職員さん、市議さんなどは問題意識が無いのか理解に苦しみます。 小規模校、大規模校と市の方が理解して子供達を通わせているのなら、隣にある学校へは保護者に選択させるべきではないでしょうか？ 人数が多い、少ないはどちらが良いのかは分かりませんが、小学校から中学校へ進学するのに同じ数のクラスはやめて頂きたい。義務教育が終わり、高校へ入学するにあたり大石南中学校の子供達に聞くと人数の多さに驚いたと言う子が多かったです。 部活動では大石南、大石中とも活動ができないと意見があり、大石南は人数が少なく部活自体ができない、大石は人数が多くて場所の確保ができないと隣同士の学校で理解不能の学区割だと思いませんか？ 学力、運動力と差があり過ぎます。教員の差もあると噂では流れてきています。問題があると大石南へ流されるなどバスケ関係で聞きました。
通学 その他	スクールバス	学校の統廃合によって、運営費が減らせる。綺麗な設備が良いので、大きめな新規の学校を作る等して、統合するとうい。 ただし、通学の負担にならないよう、距離等に応じて、徒歩、自転車、スクールバス、公共交通機関等、選択出来て、交通費も援助する。学区は、最高5キロ以内が良いと思う。 また、スクールバス等を使う場合、遅刻、早退等の対応も問題で、保護者が送迎に行けない事もある。そこが解決出来るとうい。
通学 不公平感の是正	スクールバス	大規模、小規模で競争に差がありすぎる。 ある程度統合し、大規模施設とし、通学もバス運行等にすべきと思う
通学 その他	スクールバス 伝統校への配慮	児童生徒数の減少より、各学年一クラスが三年以上継続する場合は、スクールバスの配置など通学手段の確保、また伝統校など地域や卒業生の思いの強い学校には特別な配慮(学校跡地に地域に根差した公共施設を建設するなどの計画を発表するなど)をした上で、統廃合するべきだと考えます。
通学 人間関係の流動化	スクールバス 交友関係拡大	個人的には一学年1クラスというのは窮屈に思うので、そういったエリアは再編して様々な人と触れ合いながら成長していける環境を作りたいと感じる。 ただし、長距離や危ない通学路は論外なので、その場合スクールバスを導入が前提。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
通学 先生の目	スクールバス	先生が足りないと言学校が多いので、生徒が少ない学校は合体し、先生の数を増やすと少ない学校は生徒も友達が増えよい。 多い学校は、少ない学校にうつし、先生の目が行き届きやすくとよい。 ただ、学校が遠くなるの子達が出てくるので、スクールバスなど検討が必要になるのではないのでしょうか。
通学 その他	通学路の安全	通学地区の見直し→ランドセル問題(身体の変形、不安や不満に繋がるメンタル面)の緩和や解消、熱中症の心配、下校の際に1人になる確率が高い
通学 先生の目	通学路の安全	授業では先生方の負担が大きい。登下校は距離が極端に長い子どもたちも多く、道も歩道とわかれていない場所も多い集合住宅地は、特に危険が伴う為、目が行き届きにくい。見直し検討を是非お願いします。
通学 不公平感の是正	通学路の安全	子どもの人数に地域差があり、不公平。 昔の学区のままですら遠かったり危険な通学路を通らないと行けなかったりする。
通学 学校規模の平準化	夏場の通学の安全性	少ない小学校は多い小学校に合併することにより、より人数が増えてしまっ教育が行き届くのか心配。また小学生の多感な時期に統合することにより、いじめなどの問題が起きた場合、目が届かないはず。 「少ない小学校は廃校だ！」とする前に、学区をきちんと編成し直し、選択学区などせずに強制的に変えていけばいいのでは。 知り合いは西小と大石小でみんな大石小選んでますし、マンモス校はどんどんマンモス校になるだけです。 また合併によって、何十分も通学路を歩く子供たちのことも考えた方がいいです。自分たちが子供の頃と違って重いランドセル背負って水筒持って、40度近い気温の中、大人でも倒れます。将来ある子供を守る立場である大人がそれを考えないということはありませんよね。 机上の空論にしか思えません。合併するなら、1度大人が歩いてみたらいいと思います。日傘があれば良いというものではありません。
通学 人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	通学距離重視 トラブル・いじめ 回避	以前に住んでいた所の小学校は26人程度の2クラス編成でした。 クラス替えは毎年あるものの、いじめや気の合わない友達とはずっと顔を合わせないといけない状況で、何かあった時に私も子供も、対処する自信がありませんでした。 転校して40人近くの4クラスの学校に引っ越した時、運動会や音楽会などの迫力に感動したり、クラス替えをするごとに友達との交流も増えて、子供にとって良かったと思いました。 統廃合によって通学時間が長くなってしまったり、親にとっても子供にとっても負担が多くなってしまいかもかもしれませんが、色々な友達との交流によって培うことも多くなると思います。
通学 人間関係の流動化 その他	通学距離重視 偏りの是正	偏りがあると少ない人数だと多い学校に進学した時にとけ込みにくい子ができたり各学校が集まり人数が多いと学校までの距離があり部活後の下校が遅く夏は荷物も重く熱中症になりやすく帰宅後の体調不良や試験に向けて学校も休めないのも疲労がたまりやすく友達との時間も持たないのでストレスもたまる。日曜日は疲れ切って家でゆっくり過ごすスタイルが増えている。
通学 教育格差 先生の目	学校選択制	あまりに多い生徒の学校は、先生の目が行き届かないと思う。 同じ市内で学力の差がつきすぎるのも良くないと思う。 区域で分けると、すぐ近くに学校があっても、わざわざ遠くの学校に通わなくてはならないのは本当におかしい。
通学 人間関係の流動化 保護者の負担	学校選択制 通学距離重視 トラブル・いじめ 回避	我が子の学区は町内一律で通学する小学校が決まっており、居住場所によって通学時間や通学班の集合時間に大きく偏りが出ているのと、旗振り当番についても居住地区の人数で回ってくる頻度にばらつきがあり、一部に不公平だとの声が出ているとも聞きます。また、進学予定の中学校についても町内一律で進学先が定まっており、学力的な希望や人間関係のトラブルなどが原因で異なる学校へ進学したい場合、伊奈学園中学か私立中学を受験しなければならないため、人間関係に偏りが出来たり、塾の過熱化が加速してしまうリスクがあるかと思ます。したがって、東京23区や大阪市のような学校選択制の導入を強く希望いたします。
通学 人間関係の流動化 財政	スクールバス コミュニケーション スキルの向上	昔の人数に合わせたまま学校を運営することで、費用も掛かりますし、何より子供にとって、新しい環境に移る際、少ないクラスの学校生徒は、交友関係が大変だと思う。ただし、交通の便もあると思うので、スクールバス制度を取り入れるなどの対策が必要になるのでは。学校を減らすことで、削減できる費用に比べれば、受け入れられる変化だと思う。
通学 人間関係の流動化 クラス数	スクールバス 交友関係拡大	クラスの数が減るといことは子ども達の人間関係の幅が狭くなってしまうため、2クラス以上の人数確保が必要だと思います。クラス数が少ないということは学校の教員数も減るため、クラス数の維持は必要と考える。そのため、学区の拡大は必須であると思う。しかし、長距離の通学による熱中症のリスクやランドセル症候群のリスクを考えると学区を拡大するならば、学校バスなどの新しい通学形式を取り入れることも必要だと考えます。
通学 人間関係の流動化 その他	送迎負担の軽減 交友関係拡大 高齢者の活用	とても難しいと思うのですが、 1学年数クラスは、人間関係の固定化の回避にもなるので、必要だと思います。 児童数の変化(減少)は、これからも続くので、再編も必要かと思いますが、学校を新しく作る、建てるだけでなく、今ある物を大切に使う方向で、考えて欲しいです。 新設せずに遠くなるのであれば、送迎などの保護者の協力も必要と思いますが、学校側も、働く両親のために、早い時間からの図書館開放の許可など、(騒がないなどルールは必要ですが)柔軟な変化をして欲しいです。(高齢退職教員の再雇用や、地域ボランティアなど、朝から活動したい方は一定数いるので、大きな費用をかけずに実現できると思ます。)

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
通学 教員 クラスの数 通学 学校規模の平準化	スクールバス 負担軽減 教室のゆとり 通学路の安全	スクールバスを導入しちょっと遠くても通いやすくしてほしい。 あと強く願うのは、事故の危険性の違いの観点からです、歩いている小学生と走る車の衝突より車とスクールバスの衝突の方が助かる命があるはずです。 登下校の悲しい事件も多い幼稚園で園バスがあるようにスクールバスもはやく導入してほしい
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	大規模、小規模どちらにも各々利点、欠点がある。ある点では欠点だとしても、別の面から見たらそれは利点でもあるから。 例 大人数だと人間関係が希薄になるという意見があるが、人数が多ければ多様性に富んだ人間が集まる。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	大規模、小規模それぞれメリットデメリットはありますが、実際自分が1学年1クラス、クラスの人数も20人に満たない様な学校に通ってました。 他校は数クラスあり、他校と比べると確かに劣っていた部分がたくさんありました。 学校の規模のせいなのか、カリキュラムのせいなのかは不明ですが、自分がそのような経験をしてきたので、自分の子供にはどちらかと言うと適正化された規模の学校に通わせたいです。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	多少クラス、お互い良し悪しあると思います。子の活動・保護者の活動・先生の活動が良き方向に行くのであれば必要ではないでしょうか。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	多すぎても少なすぎてもよくないと思うので。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	多すぎても少なすぎてもトラブルの元になりそうだから。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	多くても少なくてもよくないと考えるため
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	生徒数の多い学校と少ない学校だと、そもそも出来ることが違うため、上尾市の子供を育てるといふ面では統合しても良いのではないかと思う。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	人数が多いのも少ないのも長所があれば短所もある。平等にするため統一したほうが良いと思うから。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	人数が少な過ぎても多過ぎても良くないと思う。 通っている学校によって、環境が違いすぎるのは良くないのではないかと思う。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	少ないクラスの学校の生徒を多いクラスの学校と統合するだけではなく、多いクラスの学校の生徒を少ないクラスの学校に分散させることも必要だと思います。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	小規模校は小規模校の良い所があり、大規模校は大規模校の良い所があるが 親子はそれを選べるわけではない為。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	小規模校、大規模校双方の弱点を減らすため
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	規模が小さいことも大きいことも、デメリットがあると思うから、適正化が良いと思います。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	住んでいる地域によってもものすごい人数の差を解消させるため。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	児童数は、少な過ぎても多過ぎても、良くないと思う。 ちょうど良い人数があると思うので、 偏りをなくして欲しい。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	人数が多い学校と少ない学校で出来ることや先生、友だちとの関わりなど差ができてしまうため。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	大規模校小規模校のそれぞれよい点悪い点がある。そのためそれぞれの学年の人数の標準化を図ることが必要かと思う。
学校規模の平準化	多すぎず、少なすぎず	大規模過ぎる、小規模過ぎる。何事においても過ぎるは良くないと思います。
学校規模の平準化	中一ギャップ	小規模小学校の1クラスしかない学校から、規模が大きくなった中学へ行った時のギャップが大きく、小学校では何かあった時のクラス替えもなく、中学に行くとき知り合いも少ないなど、デメリットが多いと感じるから。
学校規模の平準化	中一ギャップ	小学校も4クラスで多い方でしたが、中学校は更に8クラスと多く、同じ小学校から上がった友達ともクラスが同じにならず、もう片方の小学校から上がった子達と仲良くなれずじまいで進級してしまいます。 中学校は3年しかないので、あまり人数の多い学校だと新しく友達を作れずに卒業する形になりそうです。
学校規模の平準化	中一ギャップ	小学校が、少なすぎるクラスであった場合とクラス数が多かった学校の児童では意識や文化が違いすぎて、中学で一緒になった場合にお互いがなじまない。
学校規模の平準化	中一ギャップ	小学6年間ずっと1クラスで過ごしてきた学校と3クラスあり毎年クラス替えある学校では、人格形成や社会性の成長に大きく差が出てしまうと思う。
学校規模の平準化	中一ギャップ	自身の子供が6年間1クラスで、中学校に上がった際に新しい友達に慣れるのに苦労したため。
学校規模の平準化	中一ギャップ	あまりにもクラスが少ないと人との交流も限られてしまい、中学や高校ギャップにつながると思う。 また大石中のパンク状態は解消されず、もっと増えそうなので、強制的な見直しも必要なのではないかと思う。
学校規模の平準化	中一ギャップ	規模に偏りがあると 進学した際の 交友関係を主とした 周りの環境へのギャップが出てくる為
学校規模の平準化	中一ギャップ	中学に入って、出身小学校の規模で少数派の小学出身だと中1のスタートからつまづく。小学の規模が大体統一されることは大事。

必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
学校規模の平準化	できない	現在、1クラス、2クラスの学校に通っています。今のクラス数で不満はないです。他のクラス数が多い学校の事を考えると、バラつきがないようにどこの学校も平均的なクラス配置で同じような環境にはできないかと考えます。
学校規模の平準化		人数の差がありすぎるので画期的な編成が必要だと思う
学校規模の平準化		人数の均一
学校規模の平準化		上尾市は学校によって、教育方針が様々で、生徒数の多い学校は、コロナの影響もあり、なにかと行事がはぶかれる事が多いと感じる。生徒数を平等にすれば、どの学校でも偏りなく学校生活ができるのでは無いかと思います。
学校規模の平準化		小規模校には小規模校のメリットもデメリットもあるが、市内全体で考えても、もう少し偏りをなくす事でバランスのとれた教育が受けられるのではと思うからです。
学校規模の平準化		限られたリソースを分配するために効率化は避けられないと思う
学校規模の平準化		孤立化(小規模化、例えば島に一人いる子供のために教職員が赴任したり建物の維持に費用をかけた)りしないことが大事だと思うのである程度、是正してバランスをとることが必要に思います。
学校規模の平準化		生徒数の多い少ないで明らかに環境が違うから。
学校規模の平準化		時代や地域によって変化があることは当然で、一定のモデルを想定し、学校間で調整していくべき
学校規模の平準化		規模が違うと出来ることも変わり、差が出てしまう為
学校規模の平準化		学校の規模は均等にしていながら、さらに1クラスの人数も少人数制を導入して、生徒それぞれに応じた教育をしてください。
学校規模の平準化		学校による偏りは非効率を生み出すため、平準化が必要。
学校規模の平準化		学校ごとのクラス数が、あまり差がない方が良いと思います。
学校規模の平準化		ある一定の基準は必要だし見直していくことは必要だと思う。
学校規模の平準化		偏りをなくしたほうがいいから
学校規模の平準化		偏りを、無くす為
学校規模の平準化		偏りを、無くすため
学校規模の平準化		偏りの見直しは早急に必要。 小規模、老朽化の学校は統合した方がよい。
学校規模の平準化		偏りのない教育が必要だと思うから
学校規模の平準化		偏りなく、全員が平等な条件の中で過ごせるために
学校規模の平準化		偏りすぎてから
学校規模の平準化		偏りすぎているから
学校規模の平準化		偏りが無いようどの学校もバランスの良い生徒数にすべきだと思います。
学校規模の平準化		偏りが生じてしまうから
学校規模の平準化		偏りが出来る限り無くなった方が良いと思います。
学校規模の平準化		偏りがみられるため
学校規模の平準化		偏りが無いようバランスよく振り分けた方が良いと思うので
学校規模の平準化		偏りが無いよう、見直すべき問題だと思うからです。
学校規模の平準化		偏りが無いほうが子供達の教育環境が公平になるのではと思うからです。
学校規模の平準化		学校に偏りがあるよりは、同じような人数配分で過不足なくできることが良い。 あまりにひとクラスの人数が増えるような状況は望ましくない。
学校規模の平準化		どの学校でも大体同じくらいのクラス編成の方が良いと思うため
学校規模の平準化		偏りを無くした方がいと思うから。
学校規模の平準化		偏りがあることで目が行き届かなくなるなら、是正は必要だと感じる
学校規模の平準化		偏りがあり、もう少し均等に編成した方が良いのではないかと思います。
学校規模の平準化		偏りがあってはいけないと思うので。
学校規模の平準化		偏らない方がよい
学校規模の平準化		道が1本違う隣同士の学校というだけ、まったくかけ離れた規模により、学校環境に大きな違いが生まれてしまっている様に思うので。
学校規模の平準化		同じ市内で偏りが出てしまうのは良くないから。
学校規模の平準化		同じ市内で偏りがあるのはあまり良いとは思えないから
学校規模の平準化		同じ市内でクラス数の偏りが無い方が良いと思う。
学校規模の平準化		統合して学校間の格差を是正する
学校規模の平準化		適切な子供の数があると思うため
学校規模の平準化		人数の偏り方が半端じゃないから。
学校規模の平準化		人数の偏りを無くした方が良い。
学校規模の平準化		人数の偏りは無い方がいと思います。
学校規模の平準化		人数の差があり過ぎるから。
学校規模の平準化		人数にばらつきがありすぎるので改善が必要
学校規模の平準化		市内で学校の規模、クラスの数の差が大きくて別の学区に引っ越しする人もいる
学校規模の平準化		市内でも極端に差があるのは問題だと思います。
学校規模の平準化		子供の人数の偏りがある為
学校規模の平準化		近隣の学校なのに、偏りがありすぎると感じているから。
学校規模の平準化		均等にすべき
学校規模の平準化		均一にしたほうがいい
学校規模の平準化		学校によって生徒数の偏りがありすぎると思うから。
学校規模の平準化		学校によって人数に違いが多すぎる
学校規模の平準化		学校によってクラスの偏りをなくすため、必要だと思います。
学校規模の平準化		学校という場所は、同じ市内で規模に大きな差があるのは良くないと思う。です
学校規模の平準化		マンモス校と廃校になりそうな学校が市内に混在しているのはおかしいと思います

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
学校規模の平準化		できれば学校規模の偏りがないようにしてほしい
学校規模の平準化		すべての小中学校が中規模である方が良いと思う
学校規模の平準化		クラス数に偏りは無い方が良いと思う
学校規模の平準化		かたよりをなくすため
学校規模の平準化		ウチの学校生徒少なすぎ
学校規模の平準化		あまりにも偏りすぎているから
学校規模の平準化		隣の学校と比べると、生徒数が圧倒的に差が生じているのはおかしい。かなり前から危惧されていた問題なのに、学区の見直しもせず、学校の統廃合ということで片付けるのはおかしい。学校が無くなることで、かなり遠い学校に毎日通学することになる子供の安全と健康を考えたら不安しかない。
学校規模の平準化		学校によって偏りがありすぎる。 東小は近隣に新居が多くできて、クラスが多い。かたや中央小は2クラスしかなく教室が余っている。 早急に学区の再編成をしていただきたい！ 状況は年々変わっているのに対応が遅すぎる。
学校規模の平準化 部活や学校行事への懸念		人数が少ない学校と多い学校では、部活動や行事などの差が大きい。人数が少ない学校は部活動の数自体少なかったり、人数不足で廃部になったりと選択の幅が狭くなる。逆に多すぎれば、がんばっても補欠のまま3年間過ごしたり報われない子供が増えるなどの問題があると思う。 同じ市内なのに学区で進学先は決められているので、選択は出来ない状態で人数差が大きすぎて環境が違うのはよくないと思う。 どの学校も生徒数やクラス数が均等に近くなるように統廃合して調整するべきだと思う。
学校規模の平準化 教育格差		学校の敷地面積に対して、児童の数が多すぎる為。また児童数が少ない学校では、普段少人数クラス対応なのに、補習授業があったり、算数の授業には、出来る子のクラス、そうでないクラスと分かれ授業が行われていると聞いたので同じ市内の児童なのに待遇が違うのはどうなのかと思います。
学校規模の平準化 教育格差 部活や学校行事への懸念		学区による偏りは 学業や、部活動、行事にも影響するので 均一化してほしい。 地区によっては、学校を選べる学区もあるが そこは個人に任せるのではなく、市町村などで調整するべきだと思う。
先生の目		クラスが多すぎると先生が見ることでできない。管理不足が足り前の毎日の場所には行かせたくない。少なすぎると、いじめなど起きた場合、逃げ道が減る。6年間も少なすぎる人数の学校には保護者として不安がある。
先生の目		目が届く
先生の目		大谷小3年生のクラス編成に偏りがあります。3クラスはあまりに窮屈です。 担任の先生も目が行き届かず、生徒もかなり密です。 何のためでしょうか？ 少子化なのに学びの場が快適に過ごせないなんて本末転倒です。 一度見に来ていただきたいです。
先生の目		大石中学校はいわゆるマンモス校にあたると思うのですが、学習面においても生活面においても先生の目がしっかり細部まで行き届いているとは思えません。これは先生方に非があるのではなく、生徒数が多い故だと考えています。 大石中学校は大石南中学との統合が計画されていると聞きますが、さらに生徒数が増えるとなるとより一層先生の目は届かなくなりまして、ハード面の不足も明らかで不安しかありません。 早急に学校規模の適正化を進めていただきたいと強く願っています。
先生の目		大石小学校に通っていますが、人数が多すぎると思います。 生徒1人1人に、沢山の機会が与えられ、きめ細やかな指導を受けられるようになるには、もう少し人数編成が必要かと感じています。
先生の目		大石小のエリアが広く児童数も多い。 中学校で一緒になるため 多すぎて教師の目が行き届いてない感じが否めない。 噂なので定かではないが中学校が荒れているという噂も聞くため 中学校に進学するのが怖い。
先生の目		大人数の学校は、1クラスに対しての人数が多すぎて、十分な目が届かないなど、先生の負担も子供の不安なども大きくなる気がしています。
先生の目		大規模学校に子どもが通っており、教育面、生活面において、一人ひとりに十分な指導が行き届くようにしてもらいたいため、必要であると考えます。
先生の目		多様な家庭環境が増え、当たり前でできない児童が増えている気がしており、大人数では、その子達のケアが行き届かない。 また、そういうお子さんに手を出されてしまい怪我などが発生する事態になってほしくない。 ので、先生やサポーターの目の届く人数にした方がよい。
先生の目		多すぎるのも少なすぎるのもよくないと思うし、教員の目の届きやすさに不公平感が出る。
先生の目		多すぎると先生が見切れない
先生の目		全ての先生が全校生徒を覚えてくだされば、子供は安心感があると思うから。
先生の目		先生の目が行き届くから。
先生の目		先生の目が行き届くから
先生の目		多い学校へ通学しているが人数が多すぎて生徒へ目が届いているのか不安を感じる為
先生の目		先生の目が行き届きやすい環境にしてほしい。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
先生の目		生徒数が多く個々の生徒に合った指導ができないのではないかな。
先生の目		生徒数が多いと先生の目が行き届かないと思います。多くて3クラス。
先生の目		生徒人数が多いと、教師→生徒への目が行き届かない。
先生の目		生徒の多い少ないで、指導がかたよらないでほしいため。
先生の目		生徒に必要な支援が出来るように
先生の目		人数が多すぎると行き届かない点もあると思うので。
先生の目		人数が多ければ多いほど、先生の目が行き届かず、授業について行けなくなる子が増える
先生の目		人数が多い所は、どうしても目が行き届いていない所があると思うので、学校規模を見直す必要がある。
先生の目		人数が多いので先生の目が行き届いているか心配なので。
先生の目		人数が多いと行き届かないように感じる為。
先生の目		人数が多いと、目立ちにくい生徒や主張が少ない生徒に目が行き届かなかつたりするから。
先生の目		上尾中在学。本人は慣れていますが、7クラスは多すぎます。さらに、1クラスに35名以上も多すぎる。先生の目がきちんと届いているか親としては不安です。
先生の目		少人数の学校事情を知らないので答えにくいですが、生徒数が多い学校は、教員数も多く教員同士の連携も良く取れていて対応も早いと思う 大切なのは学校が子どもにとって安全に過ごせる場所であると言うことで、クラスの数では決してないと思う 少クラスでも1クラスが40人もいたら教員が対応しきれないし、多クラスでも1クラスが30人程なら教員の目が届きやすい クラス数ではなく人数で考えたほうがいいのではないかなと思う
先生の目		小規模校の情報(教員の質、児童生徒の雰囲気、役員サイクルの早さ)を見開きして現在の学校に通うことを決めたが、実際通っている大規模校は大規模であることを理由に個別の配慮、対応が難しいと直接教頭から言われ、十分な対応が行われなかった経験があるため。
先生の目		小規模の方が先生の目が届きやすく、一人一人に目を配ってくれる様な気がする。やはり、大規模になってしまうと、子供から先生には相談をし難い様な気がします。
先生の目		小規模と大規模でクラスの人数によって先生が手をかける時間が異なり、学習や生活指導面に大きな偏りがでるから。クラスが増えてもいいから、先生の負担や、偏りを減らすために大規模は1クラスの上限人数を減らしたりして工夫してほしい。
先生の目		小学校は少ないクラスの方が他クラスの子の顔を覚えやすくなり、先生だけではなく、保護者と一緒に子供達を見ていけるのではないかと思います。
先生の目		児童数の差があると、少ない方が当然目が届き、1人1人に関わる時間ができて、勉強も見てもらえると思う。学区の見直しは良いと思う。
先生の目		子供の人数が多すぎるので、細かく見てくれているのか不安
先生の目		子ども1人に対する教育指導の質の確保
先生の目		今の中学はクラスが多すぎて、目が行き届いているか心配だから。
先生の目		教師の目が生徒ひとりひとりに行き届かないので。マンモス校は教師の負担も大きいと思います。
先生の目		教員の目が届くようにしてほしい！
先生の目		教員の数などを考慮。そこそこの数のいる環境で教育を受けた方が子供にとっても良いと思ったから。
先生の目		教員が目の届く人数にしてもらいたい。
先生の目		居住地や学区にもよりますが、学校によってクラスの数の偏りがあると先生の目が行き届かないのではないかと思います。
先生の目		学力の差が出る。生徒が少ない学校は一人ひとり見てもらえるが、多い学校は普通より少し下の子が見逃されがち。
先生の目		学校規模はそれぞれ住んでいる地域がバラバラなのだから(駅近の富士見小などは人が多くなり、平方北小などは人が少ない)クラス数に偏りが出てくる事は仕方ないと思う。大切なことはクラスの数ではなくひとクラスの人数だと思う。特に低学年で1クラス35人前後居ると担任一人では大変そうだし目が届きにくく学力など差が出やすい。 中学に上がりマンモス小から上がった子は先生の目が届いていなかったのか一部の子は荒れていたりイジメをする子が多い様思う。
先生の目		学校の規模で、子どもへの対応に差が出てほしくないから
先生の目		学校の規模が大き過ぎ、きちんと一人一人を見ていない気がする為。
先生の目		学校によって人数に偏りがあり、大人数の学校は先生も大変そうで、生徒に目が行き届いてない面もあるので改善してもらった方がよいと思います。
先生の目		学校によって1学年のクラス人数が違くと、先生が1人で見える人数がかわってくるので、1人1人にかかる支援、指導に違いが出てくるので。
先生の目		学校によって、人数が多く荒れている学校があるとお話を聞いているので、学校で管理しやすいクラス数、児童数になると安心かなと思います。
先生の目		なるべく少人数で職員の方々の目が行き届く環境を目指して欲しいから。
先生の目		クラス数が学校によって偏ってしまうことで、きめ細やかな指導の差がでてしまうため。
先生の目		クラスの人数に偏りがあると、先生の目の行き届きも変わってくるので、平等にした方が良いと思うから。
先生の目		クラスの人数が多すぎて先生の指導が行き渡らないため。
先生の目		クラスの人数が多すぎて、先生の指導も正直行き届いていない。特に低学年はフォローが必要だと感じるが、先生の負担が多すぎるようで、よほど大きな問題が起きるまではこちらからは言いづらい状況にある。
先生の目		クラスの人数が多く、教育が手薄になっている

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
先生が目		クラスが少ない方が目がいきとどく。 仲が良い子が必ず何人かはいる。
先生が目		1クラス当たりの生徒数が増えることは、教員の目が届かなくなる事を示しており、いじめや学級崩壊などの原因になりかねないとするため。
先生が目		1クラスの人数が多いと、担任が一人一人しっかり見られない
先生が目		1クラスの人数が多いと、指導が行き届きにくくなるため。
先生が目		1クラスの人数が増えたり、クラス数が増えることによって個人への注目が減るため。
先生が目		1クラスご大人数と少人数での学習面を含め先生の管理の違いがあると思うから
先生が目 部活や学校行事への懸念		通う学校に寄って、運動会の規模や先生の人数に違いが出ない方が良いと思うから。 ただ、クラスの数より、1クラスの人数が多いことの方が大きな問題だと思う。30人を超えると担任が全ての生徒に対応できてない。全てのクラスの人数をせめて30人以下とするべきだと思う。
部活や学校行事への懸念	大規模校	・大規模で人数が多すぎると、友人関係で問題が起こる可能性も高くなる。 ・運動会で子供達が見えづらい。
部活や学校行事への懸念	大規模校	運動会など、全校生徒で実施する行事の時間が、大人数の学校では長くなってしまい、生徒や先生、親にも負担がかかるから。
部活や学校行事への懸念		同じ市内の公立学校であるのに学校イベントに偏りが見られる(スキー教室の実施など)
部活や学校行事への懸念		大規模校では知らない子や先生が多く、子供の学校生活が地域として身近に感じられない。 また行事等の観覧も非常に難しい(人数が多すぎて我が子を探せない)。もう少し近隣の学校に振り分けてもよいのではないかなと思う。選択区域を設けるのであれば、徐々に移行して学区を指定してよいのではないかなと思う。
部活や学校行事への懸念		多すぎても運動会など場所が狭くなり、参加競技も減る。
部活や学校行事への懸念		小規模校にも良い点はあるが、行事の盛り上がりに欠けたり、部活動が少な過ぎて自由に選べなかったり、また部員数が少ないので活気が無かったりする。これらにより学校生活の充実感に大規模校と差が出てしまうのはいけないと思う。
部活や学校行事への懸念		集団行動が学校の生徒数で変わってくる行事があるから。例えば運動会のお昼ご飯は親子別など。生徒数の少ない学校より多い方へ通学させるという意見も聞いたことがあるから。
部活や学校行事への懸念		経験談ですが、1学年1クラスでは学校行事が楽しくないです。特に運動会はやる前から勝ち負けがわかかってしまいます。あと、中学から他の学校と合流すると、環境変化が大きく大変になります。逆に中学は10クラスの大規模校でしたが、中学ぐらいになると家から遠くても、人数が多い方が部活に多様性がでて良いと思います。
部活や学校行事への懸念		学年で一体となって取り組む行事(修学旅行や運動会など)では、多すぎる人数または少なすぎる人数では、達成できない目標があるように感じるため。
部活や学校行事への懸念		メリットとデメリット両方あるが、今後は現状維持が難しい社会構成となるので、昭和時代の考えだけでは行事も出来なくなると考えたため。
部活や学校行事への懸念		ひとクラスしかないので運動会で、クラスを半分に分ける、こんな悲しいことはない
部活や学校行事への懸念		クラスが少ないと、教職員数も少なくなり、学校行事や部活動の活動幅が狭くなるため、通う中学によって受ける環境に差が出るから。
部活や学校行事への懸念		1~2クラスは何をするにも少ないとおもう。 最低3クラスはあったほうが、行事・クラス替え等バランスがとれる
部活や学校行事への懸念		人数が少ない学校だと行事も学習内容も限られてしまうと思うので、均等にできるならした方が良く思う。
部活や学校行事への懸念		人数が少ないと活動も制限があり、部活や行事にもマンモス校との差がありすぎるため
部活や学校行事への懸念		部活動・委員会等の選択肢が少な過ぎて、所属したい部がないということが多々あります。やりたい部がないというのはその子のやる気・可能性を削いでいることと変わらないと思います。
部活や学校行事への懸念		部活の都合で大石中等に行く子が多いから。
部活や学校行事への懸念		同じ上尾市なのに、規模の差で経験の差が生じているのは問題。小規模校は部活など選択肢が無い。山間部でもないのですから市内で差がないようにしてほしい。
部活や学校行事への懸念		中学校でクラスが少ない学校は部活動も少ない印象がある。子供の部活動の選択肢が減ってしまうのは子供の可能性をなくしてしまっていると思う。
部活や学校行事への懸念		中学校が人数少なく、部活動が選べない又は廃部や、他中学との実力差が大きい。 地域格差を無くすためにある程度の見直しは必要だと思う。
部活や学校行事への懸念		大石中学校への入学する子が多いと思う。分散させて欲しい。大石南中学校は少なすぎて部活も少ないつまらない
部活や学校行事への懸念		人数が少ないと部活が少なく多いと個人の活躍が減る
部活や学校行事への懸念		少人数の学校では部活動の選択肢が少ないため、やりたいことができない。 多様性を持った学校運営を希望します。
部活や学校行事への懸念		小規模中学校では部活動の継続が困難になってしまう。同じ規模で部活動を選べる方が良いから。
部活や学校行事への懸念		小規模校ですが部活動が少なく 自分がやりたい部活がない場合など困ります。すぐ近くの中学はマンモス校で色々な部活があり不公平だと思います。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
部活や学校行事への懸念		公立校なのに部活動の種類に差があるのでなくしてほしい
教育格差	大規模校	大規模な方が色々な幅や可能性が増えると思います。
教育格差		偏りがあると学力面でも偏りが生じる可能性があると思うから。
教育格差		偏りがあることで、学業もスポーツも学校によって差が出ているように感じるからです。
教育格差		同じように教育を受けられる環境を整える努力はすべきだと思うため。 (必ずしも実現せずとも検討・努力はすべき)
教育格差		中学校では小規模校と大規模購入で内申書の査定が違うから
教育格差		地域によって教育格差が発生することはあまり良くないと思います。
教育格差		地域によって学ぶ環境が違くと、教育の質にもばらつきが出てしまうと思うので。
教育格差		人数の偏りによって、教育の格差が生まれやすいのではないかと思う。
教育格差		人数が多すぎても少なすぎても教育に偏りが出てしまうと思うから。
教育格差		上尾市内で学力格差がかなり進んでいるので。
教育格差		小規模校と大規模校で学力の差が出てきてしまうから
教育格差		授業でわからない事があつたりした時に差がでるから。
教育格差		市内で運動能力・学力に偏りが出てしまうのは避けてほしい
教育格差		均等でなくてはならない。 偏りがでる。少人数の方が確実に伸びる。
教育格差		学力の偏りなどが気になるから
教育格差		学力の偏りが出ないよう人数編成は同じくらいにできた方が良くと思う。
教育格差		学力が片寄らないように
教育格差		学力が違いすぎている。
教育格差		学校によって偏りがありすぎると教育にも差が出てきてしまう。 学校統廃合により市内で統一化した教育がしやすくなると思う。
教育格差		学校によって生徒数に大差があると、生徒の教育環境が異なり平等ではないと思います。
教育格差		学校ごとに進み具合が違い学力に差が出るから
教育格差		学校が小規模過ぎて交友関係が限られてしまうし、地域によって学力の差がありすぎると思う
教育格差		我が家の子供が通う予定の中学校は部活数が少なく、活発では無いため、学校によって差が生じるのは子供の教育に差が生じることだと思うから
教育格差		一つの学校の人数に偏りがあると、平等な教育を受けられない恐れがあるから。
教育格差		できるだけ教育環境の格差をなくした方がよいと考えるため。
教育格差		生徒の人数、学校の規模で体験できる内容、経験が偏ったりしてはならないため
教育格差		少人数の学校だと、料金の偏りや出来ない事が多々あるため。
教育格差		少人数で学習すると、大人数とでは、個人差があると思います。
教育格差		小規模学校、大規模学校と、環境が違いすぎると思います。
教育格差		教育格差。学校生徒数によっての評定の差。
教育格差		教育の偏りをなくす為には必要であると考えます。
教育格差		義務教育で差が出ないようにすべき
教育格差		環境に差が出る
教育格差		学校の人数により、出来ることが違い差がでると思うため
教育格差		学校によって人数のバラツキがあると1人あたりの活動の差が出てしまう
教育格差		学校によって質の違いがある。 地域差があつてはならないと思う。
教育格差		人数の偏りは学業、運動能力格差に繋がる恐れがある為。
教育格差		人数が多いほうがいろんな経験ができると思うから。
教育格差		市内で児童数を均一化することで、みんなが同じ経験がしやすいのではないかと思います。
教育格差 社会性の育成		統一しないと学力や協調性など偏りが生じそう
教育格差 部活や学校行事への懸念		地域によって学習の偏りや、運動会など行事の規模の偏りが出るため
教育格差 部活や学校行事への懸念		大規模校だと学力の差に個人差などを大きく感じるし、委員会や部活動などで活躍できる場を子供たちには平等に与えてもらいたいから。
教育格差 部活や学校行事への懸念		生徒数を平等にすると教育や部活動の選択肢も平等になると思うから。
教育格差 部活や学校行事への懸念		住んでいる地域によって、入部できる部活動の差や教育面の差が出ないようにした方がいいと思う
教育格差 部活や学校行事への懸念		子供の学力や体力の差がある。 →小規模<大規模 中学の小規模では部活動の選択肢も少なく、活動の差もある。 →小規模より大規模の方が活発 先生のヤル気の有無なのかもしれません…
教育格差 部活や学校行事への懸念		教育や部活動への格差をなくすため。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
教育格差 社会性の育成		学力向上や生活習慣の育成に差が出てしまうと思うから。
教育格差 部活や学校行事への懸念		学力やスポーツにおいて、平均の偏りを招きやすい。
教育格差 部活や学校行事への懸念		学校の規模の違いで生徒の学力、部活動の力の差などが生じやすいと考えるため
教育格差 部活や学校行事への懸念		学校により、あまりにも人数の偏りが見られ、学力面や体力面の評価が不平等のように感じるため。
教育格差 部活や学校行事への懸念		学校によつての学力や体力の差が出てると思うから
教育格差 部活や学校行事への懸念		運動会などの発表の場や、学力や体力の学校単位での基準値 中学校での部活の種類
教育格差 先生の目		生徒への指導や学力に差が出ると思うから
教育格差 先生の目		人数の偏りによって教員の目の届き方、学習の進捗などの偏りが出る可能性がある。
教育格差 先生の目		学習面でも差が出てしまうと思う 先生の目が行き届かない
教育格差 先生の目		学校規模の偏りが学力向上や生徒指導の偏りへと繋がってしまうと感じる為。
教育格差 先生の目		1クラス20人が望ましいと感じています。 教員の目が行き届きやすく、生徒も授業を受けやすく快適に過ごせます。
教育格差 人間関係の流動化		規模によって、学力や人間関係などの違いが出過ぎるため。
教育格差 財政 その他		過疎地であるなら、通学を考慮し単学級でもやむを得ないが、上尾市程度の市域、地理的環境下において、単学級は、教育的にも行政経営的にもデメリットしかない。不公平である。 時代が変わる中、既得権益のように、学校の形もそのままが良い訳はなく、人口構成が大きく変わった中、将来の予測をしながら、新しい形に学校再編すべきであるし、耐用年数を迎えようとする今こそ、取り組みなければならない重要課題である。
教育格差 人間関係の流動化 その他		施設の、子供の教育的な面、友人との関わり等、含めて必要かと思えます。
社会性の育成		適正な競争心を醸成するために、学校によって偏りがあることは公平性に欠けると思えます。
社会性の育成		成長期の人との交流は大切だと思っています。協力したり反発したり、競争心だったり多くの友達の中で過ごすことで人間性も養われると思います。なので、クラス数はある程度必要です。
社会性の育成		小規模校だと、子供の社会性を身につける機会が少なくなると思うから。 また、現状の規模のまま全ての学校を維持していくことは困難だと思うから。
社会性の育成		集団行動の大切さを学ぶため。
社会性の育成		社会性を育む経験と、ある程度の個別対応のバランスから、適切な人数調整は必要だと思うため。多すぎても少なすぎてもよろしくない。
社会性の育成		社会に出ると沢山の色々な人と関わるため、大人数の中での生活に慣れるため。 イベント等も大人数の方が楽しいしできることの幅が広がるのではないかなと思うため。
社会性の育成		社会に出るためには少しずつ規模の大きな集団での経験が必要となるのではないかと考えるため。ただ大規模すぎる環境では、子どもたち同士の人間関係を作っていくのは大変だと思うので中規模くらいで抑えられるといいのではないかと思います。
社会性の育成		子どもの心を集団生活の中で切磋琢磨に育むには、人数は少なくない要因と言えらると思うからです。
社会性の育成		子どもが減っているのだから、学校数も減るのは仕方ないことで、多少遠くになってもたくさん子ども達がいる学校の方がいろいろな友達と出会う機会もあり、社会性が養われると思います
社会性の育成		学校で集団生活を過ごす事によりマナールールなどを学べるから。 一定の適正規模のほうがより効果がある気がする
社会性の育成		一定規模の集団のもとで、多様な人々と協働しながら、たくましく生きる子供を育成すること。に賛同。
社会性の育成		やはり1学年1クラスでは、小中学校でしか体験できないことが減ってしまう気がします。 仲間がいるから学べる事、色々なクラスがあるから学べる事がある気がします。
社会性の育成		バランスの良い生徒数で学習することで協調性や多様性を身につけられるため
社会性の育成		たくさん生徒、先生たちと関わる中で自己をみつけていけるため。
社会性の育成		たくさんの人との関わりを平等に持てるようにしてあげたい
社会性の育成		これからの社会を生き抜くためには、ある程度いろんな経験をさせた方がよいから。
社会性の育成		クラスが複数あることで、クラスの特徴を作ったり、多少の競争力を体験する事によって協調性や団結力が生まれ友達との関わりが深化するのではないかと感じたため。
社会性の育成		いろいろな人と交流することで、いろいろな経験につながる
社会性の育成		ある程度、大人数と関わらないと社会に出てからのトレーニングにならないと思います
社会性の育成		1学年が1クラスではクラス替えもなく、社会性や協調性が身につかないと思う。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
社会性の育成		1学年1クラスは、環境の変化への対応力、多様性などの面からも適していないと思う。
社会性の育成		1学年1クラスの学校から転校して来ました。 少ないのでもいい事もあるし、みんな仲良くできるからいいと思うのですが 大きな集団の中での自分の役割とか、沢山の色々な人と触れ合うことで自分と他人の違いがわかったり、色々な考えがあるということが分かるようになると思うので、 1学年1クラスより、もう少し大きな規模で学校生活を送れる方が良いかなと思います。
社会性の育成		1クラスだけのクラス替えなしは人間関係を養うのにデメリットだと思う。
社会性の育成		1クラスしかない学校の子供達の活動が小規模になってしまう。 多くの人がいる方が、広く浅い人間関係でいられて、コミュニケーション苦手な子供でも過ごしやすいのではないのでは？と思う。 今、成人の長女や長男は、人間関係がうまくいかない子供だったが、高校が伊奈学園総合だったので、知らない人や話さない人がいて当たり前という安心感からか楽しく学校に行っていた。イジメもなかった。中途半端に人数少ないと(狭いコミュニティ)イジメのターゲットになりやすい人があるような気がします。
社会性の育成		少ないクラスもメリットはありますがデメリットもあり人間育成の為に色々な人と関わり、たくましく、多くのコミュニティを作るのも大事なかなと思います。
社会性の育成		学年1クラスしかないようでは社会性の取得に限りがあると思う
社会性の育成		今の子供全体数が昔と大幅に減少しているなか、昔のままの学校数はいらぬ。1学年1クラスでは集団生活を学ぶ上でも狭くなってしまいうので学校編成に賛成です。
社会性の育成 部活や学校行事への懸念		クラスが少ないと、 ①行事等の盛り上がり欠ける ②コミュニケーション能力の低下
社会性の育成 部活や学校行事への懸念		あまりにも人数の少ない学校は運動会などの行事もクラス対抗などでできず、かわいそう。子ども時代にある程度の集団の中で生活することで、社会性など身につけられると思うから。
社会性の育成 先生方の目		1学年2クラスしかない学校では人間関係の学びが少ないのではないかと思います。 また、1学年が5クラス以上になると先生方に目が届かないところが出てきて負担になるかと思われま
教員	負担軽減	人数が多く偏ってる場合、教員の負担になりかねない。 教員の心の余裕や視野の広さがあるのはじめて、子供たちの変化に迅速に対応出来るのでは。
教員	負担軽減	児童が多すぎても教員の負担が増えると思うので
教員	負担軽減	児童・生徒が多いと教員の負担も増えると思うので
教員	負担軽減	子供のためだけではなく、教員の負担も偏ることのないようにするため。
教員	負担軽減	子供のことばかりではなく、教員の負担軽減にもなると思う。小規模校と大規模校では大人の目の行き届き方が違うと思うので。
教員	負担軽減	教員の負担軽減に繋がると思う。
教員	負担軽減	学校によって先生方のご負担に偏りがあり過ぎると不都合が起きやすくなると思うからです。
教員	負担軽減	学校によって、職員数が大きく差があると、職員一人への負担にも差が出てしまうから。
教員	負担軽減	以前よりは改善したようだが、まだまだ公立校の先生の負担は大きいように感じる。 中学校では先生が生徒を怒鳴ったりということが現在でも普通に行われていると聞いた。来年子供が中学に上がるが不安しかない。 上の子は私立中学に進学したので、余計に差を感じてしまう。 先生のワークライフバランスを整え、生徒一人ひとりと向き合える環境を作って欲しい。
教員	負担軽減	リソースの有効活用と教員の業務量の平準化が図られるのであれば、いいと思います。
教員 クラスの人数	負担軽減 教室のゆとり	全体の人数が多いと、特別支援学級の人数や通常学級の中の特性のある子供も増えるので、先生の負担が大きくなる。 また、授業参観で拝見したが、人数が多いととにかく教室が狭く圧迫感を感じる。
教員	数の不足	学校数を減らし、その分教員配置を充実させて欲しい。
教員	数の不足	学校によっては生徒数に対し教師の数が足りない、加配の先生がいぬなどの差が出ているため適正化が必要。
教員	質の向上	クラスを多くすれば、同学年の担任も増えるため、考えが偏った教員の暴走を押さえられるのではないかと？と思うため。
教員 社会性の育成	負担軽減	集団で生活することを強いることは、問題もたくさんあるが、人格育成として必要だと思うから。特に低年齢であればあるほどだと思います。そのかわり、社会的責任を問われるような14、5歳になれば、子供が環境を、もっと自由に選べる進学制度も必要だとも思います。 また、低学年の時は、教員の数を増やさないと、お互いの負担が大きすぎると感じています。
教員 教育格差	負担軽減	教員の仕事を減らせる事と子供達の学習の為
教員 その他	負担軽減	まず子供。そして先生。負担にならない生徒数。統廃合賛成です。
教員 能力向上・刺激	負担軽減	1クラス40人は、先生の負担も大きいと思いますし、子供達も、充実した学習をしづらいと思うからです。
教員 クラスの人数	負担軽減 教室のゆとり	うちは1クラス33人ぐらいなので、教室も狭く感じ、公開授業の時など保護者が半数でも多いくらいなので、せめて25人、そしてクラス数も3クラスに減れば先生達の負担も減るのではないのでしょうか。目も届きやすくなるでしょうし。
教員 能力向上・刺激	数の不足	教員数が足りない原因はそこにもあると思う。単学級の良さもあるとは思いますが、ある程度的人数の中で、切磋琢磨ができる環境は必要。あとは、1クラスあたりの人数を減らすことも重要だと感じている。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
教員 人間関係の流動化	数の不足 トラブル・いじめ 回避	1学年1クラスだと友人関係が固定化してしまい逃げ場なくなるため。 人数が少ない学校を統合することで教員不足が少しは解消されると思うため。
教員 通学	数の不足 自転車通学	教員確保の為に、合併させるなど必要だと思う。 中学ならある程度の距離は、自転車通学か市内バスなど気軽に通学できるといいと思う。
教員 人間関係の流動化	不足 コミュニケーション スキルの向上	同じ市内でありながら、学校ごとに差が有りすぎるのは良くないと思う。 1つの学校を運営するのに、たくさんの教員が必要である。昨今の教員不足を解消するためにも、1クラスしかないような学校はできる限り統合した方がいいように思う。 統合によって人数が増えてしまうのは、仕方ないことで、人数が増えた分だけ社会性が身に付くと思う。
教員 人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	負担軽減	小規模だとクラス替えがなかったり、行事も小規模になったりするし、大規模すぎると逆に先生方は大変かなと思うから。
教員 人間関係の流動化 先生の目	負担軽減 トラブル・いじめ 回避	ある程度人数がいた方がどうしても合わない子がいた時に逃げやすい。 クラスの人数は減らし教師の目がいき届きやすくして欲しい。 また、教師が平日も休みやすい環境を作りフレッシュさせてあげて欲しい。不在時もカバー出来るようにして欲しい。 授業参観などで、先生の授業内容にいつも感心させられています。授業の他に授業を教える勉強など本当に沢山の時間を拘束しているのではないかと思います。
教員 人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	負担軽減 トラブル・いじめ 回避	2クラス以下になると、部活の数が少ない、体育祭、合唱祭での盛り上がり欠ける、先生方の負担が増える、イジメがあった場合に逃げ場がない、 何よりも中学に通う生徒のことを一番に考えて頂きたい。学校の格差なく、生徒が十分な学び、経験、活動ができるということが1番大事であると思います。地域の拠点が無くなる、卒業した学校を残したい、という今の子どもを考慮していない意見には疑問しかない。 せめて3クラス以上になるように中学の再編を希望します。
教員 人間関係の流動化 その他	負担軽減 偏りの是正	教員不足や施設維持の観点から、小規模校は統廃合がよいと思う。 また、単学級だと6年間同じメンバーなため、児童の役割等が固定され、新しい発見や可能性を見出しにくい。
教員 通学 多様な価値観の形成 部活や学校行事への懸念	数の不足 スクールバス	ある程度人数(2~5クラス)がいたほうがクラス替えもあり、様々な価値観にも触れ刺激し合えることができる。部活動も張り合いが生まれる。また、いじめやトラブルがあった場合に弱い立場の子が辛い思いをする時間を減らせたり、解決できることもあると思います。 また、昨今のニュース等で小規模校でも中~大規模校でも教員数が充分なのか？サポート体制は整っているのか？など気になることは多々あります。統廃合したら1校1校にもう少し手厚く教員の配置ができるのではないのでしょうか。通学時間が長くなる児童にはスクールバス等を考えても良いかも知れません
クラスの人数	教室のゆとり	人数だけで言うなら、通っている中学校は1教室の広さに対して、人数が多過ぎる。とても少子化とは思えない。かと思えば学校によってはクラスが少なかったり、不公平感はある。 再編し、統廃合は仕方ないと思うが、もう少し自分達の体裁だけではなく、子供達や先生たちがどうすることが最もベストなのかを是非真剣に考えてから、再編に入ってほしい。
クラスの人数	教室のゆとり	人数が多いとあつみから
クラスの人数	教室のゆとり	教室の広さにたいしての子どもの人数が多過ぎる。いくら換気をして密が避けられないため。
クラスの人数	教室のゆとり	学校によって人数の差がある。我が子のクラスは41人。とても多い。ゆとりのある人数にしてほしい。
クラスの人数	教室のゆとり	学区編成をして、生徒数を均一にすることで、1クラスの人数を減らし、ゆとりを持って学校生活を送る事が大切だと考えます。
クラスの人数	教室のゆとり	1,2クラスだけでは教室がぎゅうぎゅうすぎて子供が辛そう。 特に暑い夏の教室は熱射病にもなりそうもう少しゆとりのある編成にして欲しい
クラスの人数 先生の目	教室のゆとり	大規模な学校に所属していますが、やはり学級内の人数が多く、このコロナ禍においても机の配置など苦慮されていると思います。先生の目の届く人数にも限界があると思いますので、適正な人数に調整していくことは必須だと思います。
クラスの人数 先生の目	教室のゆとり	生徒数の多い学校は近隣の他の学校に生徒を分散させて、1クラスの人数を30人未満にしたほうがいい。中学生には机が小さ過ぎるし、クラスの人数を減らしてもう少し大きい机を入れ、前後左右もつとゆとりがある教室が必要。1クラスの人数が多いと先生の目も行き届かない。
クラスの人数 先生の目	教室のゆとり	生徒が多すぎて息苦しい。授業参観へ行っても子どもが発表したり発言できていない。先生の目が届いていない。
クラスの人数 先生の目	教室のゆとり	現在1000人近い小学校に通っているが、正直職員の目が行き届いているようには思えない また、人数が多過ぎて常にザワザワしている感じがおり雰囲気落ち着きがない
クラスの人数 先生の目	教室のゆとり	兄弟でクラス構成は違いますが、教室の広さが一定なので密度にも明らかな差があります。 と、言うことは授業の在り方や先生との関わり方もそれだけ違うことが予想されるので、適切なクラス割であることが重要と考えます。
クラスの人数	少人数	一クラス20人制度を推奨します。
クラスの人数	少人数	学級数が多い学校は、1クラスの辺りの生徒の人数も多い傾向にある。なかなか難しいと思うが、ゆとりがあった方が教育環境、コミュニケーション等、先生や生徒にもプラスになりそうのため。
クラスの人数 通学	少人数 通学距離重視	一クラスの人数が多すぎず、学年のクラスも多すぎず通学距離も考える必要があると思う。
クラスの人数 通学	少人数 通学区域の見直し	少ないところを好んでその地域を選ぶことがあっていいので、極端に少ないところと多いところは見直してもいいのではないかと思います。また、現在、地域編成が入り組んでいたり、疑問に感じるところがあるので、見直しは必要かと思えます。 ただ、一クラスあたりの人数を減らしてクラスを増やした方がいいようにも感じます。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
クラスの人数 通学	少人数 通学路の安全	大規模小学校に通わせているが、クラスの数に関して多くて困ることはない。1クラスの人数に関してはもう少し少ない方が良く感じる。 通学は遠くてかわいそうだと思っている。習い事など間に合わなかったり、登下校が長いとためトラブルも起きやすい。
クラスの人数	多い	クラス人数が多すぎる！30人学級を目指しているのに、我が校は逆行している
クラスの人数		何クラスあるかではなく、ひとクラスの人数が今はめいめいいっぱい教室が狭く感じる。人数が増えてくれることでクラスが増え解消すると思います。
クラスの人数		児童数により 小規模と大規模の学校での先生や学校との関わり方が違って来るため、 人数やクラス数は、なるべく統一したほうが良いと思う。
平等・公平		子どもたちにとって、平等な環境を整えることが大切である。
平等・公平		公立学校であるのならば、平等でなければならぬと思うから。
平等・公平		生徒数は一定であって欲しい
平等・公平		人数も学習環境も平等にした方が良く思うから。
平等・公平		人数の偏りで学力や活動の範囲に差が出てしまうため。みんなが平等に学んで活躍する機会を得てほしい
平等・公平		公平にするため
平等・公平		教育環境の標準化。不公平感をなくす。
平等・公平		人数を平等にすることで、教育も平等に受けることができると思うから。
平等・公平		学力、体力のきんえい化
平等・公平		マンモス、少数といったアンバランスでは、子どもたちに共通の指導ができない。環境に左右される(多すぎて教員が見きれない、把握できないというのは困るし、そのギャグで、教員の負担に差が出るのは困る)
平等・公平		なるべく偏りがなく平等に学べる場が必要だと思うからです。
平等・公平		すべての児童が平等に教育を受ける権利があるから。
平等・公平		すべての児童が平等な環境で教育を受けられる権利があるから。
平等・公平		子供たち全てに平等の学びを。
平等・公平		子供たちに平等の学びを。
平等・公平		全ての子供達が勉強も遊びも平等に学習出来る環境を整えていただきたいです。
平等・公平		マンモス校と小規模校で教育の質に違いが出たり、地域によって不公平感がでたりすると思うので。
平等・公平 部活や学校行事への懸念		子どもに平等で、公平な教育環境(人的、物的環境含む)を提供するには 必要。学校によって、マンモスだから、少数だからと工夫してやることも、必要かもしれないけど、工夫しきれず、子どもにしわ寄せがいくのはどうかと思う。(あまりに多くて見きれないから、行事を簡素化など)
平等・公平 財政		どの地域でも同じような環境を平等に与えることを考えるなら、 社会性を学べる環境として、人数に隔りがあるべきではないと考えるため。 また、経費等にも無駄が生じない。1人辺りにいくらかけているのかを学校から算出すれば、それが分かるはずだと思う。
時代に合わせた教育環境の整備	小中一貫校	小学校の統廃合ではなく、小、中一貫校の方がよいのでは？私立とかには、幼稚園から中学までの一貫校があるのに対して、公立は遅れていると思う。
時代に合わせた教育環境の整備		時代の流れと共に、よりよく替えていく必要は常にあるから。
時代に合わせた教育環境の整備		時代の変化に柔軟に対応していただきたいあ
時代に合わせた教育環境の整備		時代に合わせた環境は必要だと思います。
時代に合わせた教育環境の整備		時代と共に子どもの人数や、環境、子どもの質、親の質が変わってきています。 時代と共に、その都度見直していくことが良いのではないかと思います。
時代に合わせた教育環境の整備		昔に決めた事を今もずっと同じにやる必要はないから。今の環境、時代に合ったやり方に変えていくべき。
時代に合わせた教育環境の整備		少子化など時代に適した対応が必要であると考えため
時代に合わせた教育環境の整備		少子化で変わってきているので 時代にあった やり方にした方が良く思う
多様な価値観の形成		学年1クラスしかない、多様性を学べないから
多様な価値観の形成		一定以上の人数と交流したほうが、色々なきっかけの可能性が広がると思うので
多様な価値観の形成		いいアイデアからみんなの力
多様な価値観の形成		1学年1クラスなどは子供同士の交流が狭くなってしまいます。多様性も求められる時代なので、 学校再編は必要だと思います。
多様な価値観の形成		1学級1クラスは友達関係や学力、性格や態度が先生や生徒の間で、できる子、できない子の評価が6年間固定化されてしまいそうです。多様な子ども同士が出会い、多様性が認められるような学校になって欲しいと思います。
多様な価値観の形成		沢山の人と関わる事で、いろんな考え方にふれて欲しいので、小学校、中学校は2クラス以上が必要だと思います。 小学生、中学生には、問題、課題解決できるようにたくましく成長してもらいたいです。

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
多様な価値観の形成		人数が少ない中で勉強や運動が出来ていると思って卒業し、その先になった時に他と比べたら一番下だったとかで、ギャップだったり心の問題で悩みそう。 様々な性格の子供達と触れ合うことが少ないと視野が狭くなる。 刺激が少ない
多様な価値観の形成		小学生時代の6年間の間、1クラスという少人数で過ごしていると、勉強でも運動でも、上には上がいるということを知れない。色々な考えを持った人間が同学年にはもっとたくさんいるんだということを小さいうちから知ってほしかった。そのために偏りの解消する対策は必要と考えます。
多様な価値観の形成		児童が少なすぎると多様な意見などに触れ合う機会が減ってしまうので、少ない学校には調整が必要だと思うから
多様な価値観の形成 教育格差 部活や学校行事への懸念		学力、部活のレベルの差が出来ている 広い視野をもてるようにもう少しクラスがあると良い
多様な価値観の形成 先生目		学年が小さいうちは、目が行き届くので小規模でもいいと思う。 ただ、人間関係が固定化してしまう、考え方が狭くなるなど、裸の王様状態になることもあるので、ある程度成長したら標準規模の学校へ通う方がいいと思う。
多様な価値観の形成 能力向上・刺激		マンモス校と小規模校では、子供が活躍出来る場面にかかなりの差が出ると思っている。また友達との関わりにおいてもみんなが友達という環境と片寄ったグループ内での友達とでは成長の過程での他者との関わりに対する考え方が大きく変わってくると思う。
多様な価値観の形成 部活や学校行事への懸念		児童や先生の人数が増えることで、考え方の多様性が身につく。 また、以前、陸上競技大会などの市の大会を観に行った際、学校の規模により、盛り上がり方、力の入り方にかかなり差を感じた。運動会やクラブ活動などもそうだが、人数でやれないことが増えてしまうのは可哀想。経験できることの差を市内で作らないで欲しい。
不公平感の是正		平等な環境を提供するため
不公平感の是正		平等ではない
不公平感の是正		不平等
不公平感の是正		不公平感を感じているため
不公平感の是正		生徒の人数の偏りがあると不公平感が出てくるので
不公平感の是正		市内格差がないのが望ましいと思う
不公平感の是正		市内で差があるのは不公平だと思うから。
不公平感の是正		現在が偏りすぎてそれによる地域差が出ているから。
不公平感の是正		学校によって、不公平が生じるのはおかしい。
不公平感の是正		格差を無くすため
不公平感の是正		育ってきた環境による子どもの成長は大きく変わるため。出来る限り偏りのない人数編成が必要であると思う。支援学級にも人数やクラス数の偏りを感じるため、支援学級についても公平に支援を受けられるよう、特に早急な対応が必要であると考えている。
不公平感の是正		「大規模校だから」という理由でいろいろな制限をされていて、子どもが可哀想。
不公平感の是正		様々なことに学校差がうまれてしまうため。
不公平感の是正		指導の差も出てきてしまう為公平性の為。 もっと選択区域なども増やしても良いかと思う。
不公平感の是正 教育格差		同じ市内でも、学校の規模による教育格差が生まれる。 市立の学校なので、自分の居住地により半ば選択肢なく学校は決まるので、不公平感がうまれるから。
クラス数	ちょうど良い	上記記載のクラス数が適当であると考えているため
クラス数	ちょうど良い	最低でも全部の学校が2クラスあると良いと思うので
クラス数	ちょうど良い	現在選択区域で実際に今泉小を選択していて、2クラスで丁度いいと思う。
クラス数	多い	中学校が6クラスで多いと思うから。
クラス数	多い	中学のクラスが多すぎる
クラス数	多い	大石中学は学年8クラスと多すぎます。もっとクラス少なくした方がいいです。
クラス数	多すぎる	今の学校がクラスが多すぎる
クラス数	少ない	一学年一クラスは少なすぎる為
クラス数 通学	少ない 通学距離重視	学級数が少ないのと通学時間が若干長いと感じる。
クラス数		小学校は2～3クラスが ちょうどいいと思います。
クラス数		1学年2クラスは少ないと思う
保護者の負担		通学に時間がかかる子が出てきてしまうかもしれないけど、無駄をなくせるし、PTAのなり手不足も解消できると思うので。
保護者の負担		人数により保護者の仕事量に偏りがでる
保護者の負担		少子化に伴い、見直すのは必要だと思います。保護者のPTA活動の負担や教員の運用負担の軽減にも繋がると思います。
保護者の負担		少子化に伴い、見直すのは必要だと思います。一定規模にする事により保護者のPTA活動や教員の運用負担も軽減出来るのではないかと。
保護者の負担		児童数が少ない学校では、役員の成り手がいないため。通っている学校ですすでに保護者の半分以上がPTA役員の経験者で、新入生も少ないため限界が見えている。

必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
保護者の負担		3クラス以下の学校だと、PTA役員などの父母の負担が辛そうだと話を聞きます。 昭和の時代の様に専業主婦率も少なく、働いているお母さんが多く、バザーなどのイベントなども無くてもいいようなと思ってしまいます。
保護者の負担 人間関係の流動化	小規模校	小規模の方が学校全体で交流出来ていいが、保護者の負担が大きい。
財政		財政の効率化 教育の機会均等
財政		せっかくそこそこ人数のいる上尾市にいるのに、1クラスでは人数が少なすぎると思うし、学校経営的にも大丈夫なのか心配になる。
財政		1学年1クラスで学校全体で6クラスしかない学校でも学校運営に係る税金は計り知れない。統廃合することによって効率的になると思う。
財政 教育格差 その他		将来の人口減、運用コストを意識した改革は必要です。一方で、ICTや少人数クラスなど教育環境の充実、公共施設として災害時の備え、いじめ問題や発達支援への積極的取組などへの対応が必要であり、選択と集中により財源の有効かつ計画的運用が求められていると考えます。
能力向上・刺激	競争力	1学年1クラスでは、いじめの問題の心配や運動会などで他のクラスと競うような活動ができず、子供の頃に体験してほしいことを経験できないと思うため。
能力向上・刺激 部活や学校行事への懸念	競争力	生徒数が少ないと部活が限られ、入りたいと思える部がない。 また競争率も下がり、学力向上も乏しくなる気がする。
能力向上・刺激		多様性や変化に対する順応能力を高めるため
能力向上・刺激		少子化にそなえ多様な変化は必要。どんな環境でもたくましく育つ力を子供たちにつけてたい。
能力向上・刺激		集団でなければ学べない事があるから。 これからの子供たちは、外国人とも競争し勝ち抜いていかなければならない世代です。逞しさ、勝負強さ、リーダーシップなどは、大きい集団での経験が必要だと思います。
学校施設	空き教室	使われていない教室などが多くなり活気のなさを感じるから
学校施設	空き教室	空き教室が多すぎて維持できてないから。 人数少なくエアコン入れないことが多いから。
学校施設 部活や学校行事への懸念	空き教室	人数少ないと運動会、部活も寂しく、空き教室が怖い
学校施設	安全性	地震などの自然災害も多発する中で、建物の安全を維持する事は重要だと考えます。学校の数を正しく見直して、かけるところにしっかり税金を使い、無駄なく安全に子供たちが学校生活を過ごせることを望みます。
学校施設 クラス数 先生の目	教室やロッカーの大きさの検討 多い	中学のクラスが8クラスあり多いと感じます。 先生が子ども達の把握ができないかと 教室も、ロッカーも狭い クラスを減らし教室やロッカーを広くした方がいい。
学校施設 教育格差	使用頻度	中学校の場合、内申点に大きく差がでます。 うちの子は大規模校で30～50位程度でしたが、小規模校の3位以内の子よりも偏差値は高かったです。 しかし、内申点は20点以上差がつかました。 部活動も大規模校では施設が満足に使えません。 トイレの数も人数二対して有り得ない位に少ないです。
学級運営		余裕のあるクラス作りができるから
学級運営		ある程度の人数は必要で少ない教室だと活気がなく生徒も楽しく過ごせるとは思わないから。
再配置		学区外の小学校の方が近い 適度な距離感で学校を再配置してもらいたい。
財政 その他	地域間格差	学校運営、維持に関わる費用が問題。また、これからの少子高齢化に対応する必要があると思う。昔通りの区割りではもう意味をなさなくなっていると思うし、まちづくりを含め、今後どうしていくのかも考えて区割りを検討する必要があるとおもいます。
その他	地域間格差	地域の偏りは子供のやる気にも繋がるから
その他	地域間格差	地域によって児童数にバラつきが大きいと、子供の成長に差が出そうだから
その他	地域間格差	平方東と平方北は距離が比較的近いのに両者単学級が多い。単学級であることをマイナスと捉えてその地域に家を構える家庭が減り、更に児童数が少なくなる負のスパイラルに陥るように感じる。住宅や商業施設の開発と併せて考えて欲しい。
その他	地域間格差	必要だとは思いますが、住宅の立地による問題ではないと思う。
その他	地域間格差	同じ上尾市内でも住んでいる地域での格差を感じるから。
その他	地域間格差	適正な基準という数値目標があるなら、市として全体で取り組んでいくべきだと思います。
その他	地域間格差	地域差を防ぐ為。
その他	地域間格差	地域や社会のニーズに合わせて見直す必要はあると思います
その他	地域間格差	地域に格差がうまれてしまうため
その他	地域間格差	地域による人口格差が大きすぎる為
その他	地域間格差	人口減は地域により顕著に現れてしまうので、やり方の模索は必要だと思われる。
その他	地域間格差	小学校の数が中学に比べて多すぎるが、あるし、その逆もあるため、地域に寄ってちゃんと、小中の数々を考えるべき

必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「1. 必要であると思う」と回答した理由
その他	家庭環境への配慮	何か不都合や問題があれば改善したほうが良いと思う。その際に家庭に選択の幅があれば、家庭環境にも配慮でき、無理やりではなく、納得率が高く、前向きに関わることができて、将来あるこれからの子供に、できる限り良い影響を与えられるのではないかと考えるため。
その他	我慢への耐性	理不尽な事はの耐性も必要
その他	大規模校	大規模校では、個が埋もれてしまうため。
その他	感染症へのリスク	教育の面からではなく、人数が多くなるとコロナに限らずインフルエンザ等、感染のリスクがあると、今回の件で学んだから。
その他	オンライン	移動など物理的な問題があるため、オンラインも取り入れるべき
その他	先進事例の導入	モデル校や、やり方が早いところは人気があり、古い考えの学校は地域も古く、モデル校に比べて生徒がすくなくないです。のんびりやらせたい考えの方は小規模学校ではよいとおもいます。統一をめざすなら、まずモデル校のような、考え方が必要かと思えます。中学生も、考えが古すぎると言っていたのをきいて、自分の時代からさほど進んでないのだな、と思いました。集団や地域などたくさん問題もありますが、率先して新しいことをやらないと、生徒数も伸びないとおもいました。
その他		必要であれば見直した方がよいと思います。
その他		人口の減少は避けて通れないと思う。
その他		人の少ない所が維持できなくなる
その他		同じ小学校の子どもは同じ中学校に行く方がよいと思います。現在は同じ小学校から別々の中学校に分かれてしまっているため、子どもが寂しがっています。
その他		ある程度人数がいて 学校は成り立ってきたため
その他		1学年1クラスは大人も子供もかわいそう。
その他		1クラスは少なすぎると感じる。
その他		1クラスの場合は、メリットとしては、クラス替えがないことで、ある程度子ども同士でも、その子の性格や特長など分かり合える部分はあると思います。デメリットとしては、同じメンバーで小中を過ごすことで、大人数になったときに、環境が変わりすぎて、今まで小さなかかわり合いで、永く過ごしてきたことで、人数が多くなったときに交流面で、上手く付き合う事が出来るのか心配がある。
その他		1クラスしかないような学校の地域に住んでいた場合、引越し可能な人はどんどんその地域から離れていってしまうため、より寂しい学校になってしまうのと、やはり子どもはある程度、何クラスかあるような環境で勉強させたいという思いがあるから。
その他		大人が決めたルールによって子どもたちの教育環境を悪くしてはいけないから。
その他		子供が少なくなるので
その他		施設の維持や教師の配置などを合理化させるため
その他		子どもの数が減る中で建物等が維持できないため。
その他		学校が多すぎる。減らして閉鎖した学校を違う施設に変えたほうがよいと思う 今後、何十年も前のように子供が増えることはないので、必要なことに活用すべき
その他		無駄に学校が多くても税金の無駄使いなので一学年一クラスなどの学校は統廃合するべき。
その他		全体的な向上の為
その他		平均的になることで減る負担があると思う
その他		税金削減
その他		閉校は悲しい
その他		必要だと思うから。
その他		新しくした方がよいから
その他		上尾市内の小学校に人気校があるようだが、小学校にそのような差が生じている以上、いくら再編をしても、同じことのように思う。
その他		少子化による統廃合は致し方ない。
その他		少子化による、編成は必要
その他		今後もっと少子化になるから
その他		学校がなくなってしまうため
その他		一定の方針が必要だが例外はある。
その他		なんとなくそう感じたから
その他		なし
その他		どちらもデメリットがあるから。
その他		とくになし

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
通学	通学距離重視	本当は近い学校に通いたいのに、学区外の為遠い学校に行かなければならないことがある為。
通学	通学距離重視	通学時間が長すぎると心配なので、近い学校を選べたらとおもいます。
通学	通学距離重視	通学区域を直線距離で測らないでほしい
通学	通学距離重視	通学区域の分け方が道路を境にしていたりする為、遠い距離の学校に通学しているため。天候の悪い日などは辛い。
通学	通学距離重視	通学区域の見直しは必要だと思うが、統廃合は求めていないため。
通学	通学距離重視	通学区域の見直しは、当の小中学生にとって良いものであれば良いが(通学距離や安全性など)、学校規模に重点を置いた場合に、子供たちの負担にならないか心配。
通学	通学距離重視	通学に無理のない範囲で再編が出来れば良いと思う。
通学	通学距離重視	上尾市の学区の分け方に疑問があります 家の近所に学校があるのに、学区が異なるため別の学校へ通っています 自宅から近く、子どもが通いやすい学区になるなら見直しは良いと思います ただし万が一統合で通学の距離が遠くなるならスクールバス運行などの対応が必要だと思います
通学	通学距離重視	小規模と大規模の学校が隣にあり 小規模の方が近いのに大規模に通っていたりするので 学区を見直した方がよいと思う。
通学	通学距離重視	住んでいる地区だけで画一的に分けるのはどうかと思う。お陰で近くに別の小学校があるのに遠くの小学校に通うなどは大変だとおもう。
通学	通学距離重視	市を跨いで実現が可能かは分からないが、遠い地域の中で隣の市の学校の方が近い場合がある。また、学校から近い住宅地への引越しを考えた時、学区が違っていたのでびっくりしました。
通学	通学距離重視	近くに小学校があるにも関わらず学区の都合で遠い小学校になったから。
通学	通学距離重視	近い学校に行きたいのに、学区外の為行く事が出来ない為
通学	通学距離重視	極端な少人数(10人以下など)のクラスについては、見直しは考えるべきであるが、統廃合によりクラス人数を見直すことよりも、大規模小規模の偏りがあつたとしても児童の通学距離が均等になるような見直しを検討してほしい。例えば、距離的にはA小学校が近いのに、学区のせいで、距離の遠いB小学校に行くことになるのは、合理的とは思えない。
通学	通学距離重視	距離に関係なく学区だからという理由で遠い学校に通う場合もあり、そこは改善されてもいいのではないかと思います。
通学	通学距離重視	学校の人数も重視しつつ、すぐ近くに学校があるのに、遠いところから通っていたりできるだけ近い学校に行けるといいと思う。
通学	通学距離重視	学校から2キロ圏内で行ける距離で学校編成をしてほしい。
通学	通学距離重視	学区内だけでとられず、家から近い所に通わせたいから
通学	通学距離重視	家が遠いのに、学区になってるからと近くにあるにもかかわらず、遠いほうの学校にいかなくてはならないこと。
通学	通学距離重視	偏り解消のために通学距離が遠くなったりするのは大変だと思うので。
通学	通学距離重視	偏りを無くすのは良いとは思いますが、編成することによって遠くなったりするのは反対
通学	通学距離重視	偏りを無くすのは良いと思うが、それにより通学距離に偏りが出てしまわないかと疑問に思う。
通学	通学距離重視	偏りを無くすことで、通学時間が長くやっしまったりする方がマイナスのような気がする。
通学	通学距離重視	偏りの解消は必要だと思うが、そのために学校までの距離ができて、通学に時間がかかるのは問題だと思う。(特に小学生)
通学	通学距離重視	偏りの解消は賛成ですが、実際問題、通学距離(特に小学生)の問題があると思います。スクールバスがあると助かる地域の方もいるのでは。
通学	通学距離重視	偏りが無いことは望ましいと思う反面、通学距離などを考えて編成するのは色々問題が生じそうな気もするため。
通学	通学距離重視	偏りがあるのは改善すべきだと思うが、そのために学区が広がり、通学距離が長くなるのも悩ましい。
通学	通学距離重視	偏りがあるのは解消した方が好ましい。 ただ、特に小学校に関しては通学時間も考慮するべきかと思えます。
通学	通学距離重視	必要とは思いますが、それにより通学区域が広がってしまうと、通学時間の延長等で子どもに負担が生じないか心配です。
通学	通学距離重視	必要であると思うが、通学距離の問題もあるため柔軟な対応も必要
通学	通学距離重視	年々子供の数も減少傾向であるのは仕方がないとは思っています。 ですが、統合したことにより、登校距離が遠くなり、通いづらい子供達がでてくるとなると親としては暑い夏の登下校などを考えるとすぐには答えを出しづらいです。 遠い子供達だけは送迎をいただいたり、何かしらの対策がないと難しいと思われまます。
通学	通学距離重視	統廃合は必要と考えるが、検討する際には通学距離の考慮が必要。
通学	通学距離重視	統廃合により、遠くまで通わないといけない人が出るのもそこは必要ではないと思う。 通学区域の見直しはしてもいいと思う。
通学	通学距離重視	統廃合で学校の規模を合わせるのはいいいと思うが、子供が自分の足で登下校すると思うときびしい地区もあると思うので。
通学	通学距離重視	統合して学校までの距離が延びる子供も出てくると思うから。
通学	通学距離重視	適正化により、通学の距離が伸びるのは問題だと思う。
通学	通学距離重視	程度問題。あまりに登校距離が遠くなる方が問題。一年生が30分以上重いランドセルを背負って登校するのが良いわけがない。授業の前に疲れてしまう。事故の可能性も増える。スクールバス手配や距離の問題を解決できるなら統合は良いと思う。
通学	通学距離重視	通学時間や距離が近くなってほしい
通学	通学距離重視	通学時間によると思う。人口が少ない地域があるからといって、通学区域を変更して通学距離を長くされてしまうのは子供は負担です。
通学	通学距離重視	通学時間が長くなるのは嫌です

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
通学	通学距離重視	通学時間が長い子は道中心配になるため
通学	通学距離重視	通学時間がかかりすぎるのは心配
通学	通学距離重視	通学区域の見直しにより、通学時間が長くなることへの不安がある。規模の問題もあるが、慎重に検討すべきだと思う
通学	通学距離重視	通学距離等もよく考えてほしい
通学	通学距離重視	通学距離は長くしたくないため。
通学	通学距離重視	通学距離が長くなるようであれば、現状維持のほうが良いのかもしれないと思ったからです。毎日のことなので、子どもにとって通いやすさも考慮していただけるとありがたいです。
通学	通学距離重視	通学距離が長くなるのは子供の負担になるから。
通学	通学距離重視	通学距離が長くなれば必要なことだと思う。
通学	通学距離重視	通学距離が長い程学校に行きたくなる。暑い日や部活動などで疲労が出やすく授業にも集中しづらくなるとおもうので、通学区域の見直しは必要だと思う。
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなる子がいたら可哀想だと思う。
通学	通学距離重視	通学距離があまりにも遠くなってしまう児童が出来るしまうのは気の毒な気がするため
通学	通学距離重視	通学が大変になるなら反対
通学	通学距離重視	大石小学校はこれからまだ増えることが予想されるため。ただ、あまり距離が遠くなるのは昨今の自然事象などを考えると心配もある。
通学	通学距離重視	大規模な学校だと、目が行き届かない 通学時間などの配慮をして、見直すならいいと思う
通学	通学距離重視	生徒数が少なくなることで統廃合はあるが、子どもたちが時間をかけて歩き、遠くの学校に通うのも大変だから。
通学	通学距離重視	人数の偏りが少ない方が好ましいが、通学距離が長くなるのも問題である為、どちらかといえば、必要を選択した。
通学	通学距離重視	人口の偏りが地域差で発生する事は致し方ないが、あまりに長い距離の登下校は児童にとって負担になるので、再編するなら登下校の距離も考慮してほしい。
通学	通学距離重視	小規模学校と大規模学校では人間関係の構築に違いがでると思います(どちらがいいかはわかりませんが…)が、それを均一化するために通学区域を変更するのは反対です。 通学時間が増えると子ども達にとっては大きな負担になるからです。
通学	通学距離重視	小学校まで遠い児童がいるため
通学	通学距離重視	住んでいる地域の問題なので、子供が少ない地域が1クラスになるのは仕方ないと思います。学校を無理に合併させて通学距離が長くなるのは重いランドセルをしょって通学している小学生にはきつい。中々みたいいに自転車通学出来るならまだしも、小学校は徒歩通学で毎日の事なので距離を1番に考えるべき。
通学	通学距離重視	児童数の変化により見直しは必要だと思いますが、通学距離もあり難しい問題と感じます。
通学	通学距離重視	児童数、通学距離に大きな偏りがあるため。
通学	通学距離重視	子供の負担(長距離登校)は、少なくさせたい
通学	通学距離重視	子供の通学距離、時間がうまくいけば大丈夫だと思う
通学	通学距離重視	子ども達の通学距離がさほど変わらないなど、無理のない範囲でクラス数など偏りがないように出来るのであれば見直しもよいかと思います。
通学	通学距離重視	再編はした方がいいが、小学生が通学できる距離は短い方がいいと思うので、絶対に必要とはいえない。
通学	通学距離重視	再編することにより、通学が遠くなる児童が存在する
通学	通学距離重視	再編した際に、小規模の学校に通うことになる、登校距離が長い児童も出てしまう恐れがあるので、ある程度の偏りは仕方ないのかなと思います。
通学	通学距離重視	再編したら、学校は、遠くなる可能性がある、そうした、心配します 再編しないと、学生数が少なくて、学校の方は大変です
通学	通学距離重視	今よりも子供たちが通学しやすくなるのなら必要な取り組みになると思います。
通学	通学距離重視	現在の学区で通学に時間がかかる子どももいるように思う。 学区の整理は必要に思う。
通学	通学距離重視	近年の暑さもあることから、通学の距離も大事だと思う
通学	通学距離重視	気候変動が激しい中、子供達の健康も考えるためには、登下校に要するに時間を確認し、適切な学区割り振りをお願いしたい。
通学	通学距離重視	学年人数をならすために学区が変わり、今より遠方校への通学になってしまうのは本末転倒。 毎日タブレットを持ち帰るのに、荷物が重すぎる。
通学	通学距離重視	学校統廃合は必要かもしれないが、通学が大変になる家庭もあるので、慎重に判断すべきだと思う。
通学	通学距離重視	学校再編で心配なことは、通学距離が長くなること。徒歩では不可能な距離になる場合が多くなると思う。スクールバスの話を詳しく知りたい。
通学	通学距離重視	学校規模を適正化することには賛成ですが、統廃合で通学距離の問題もでてくるのではないかと思います。
通学	通学距離重視	学校規模は同等にした方が良くと思いますが、学区が変わると、通学が大変(遠いなど)になることもあるのかな？ その点はどうするのか考えてほしいです。や
通学	通学距離重視	学校まで遠い、通学路が車等混み合っている、などを考慮すると学区の見直しは必要ではないかと思えます
通学	通学距離重視	学校の統廃合により、中には学校までの距離が遠くなり、
通学	通学距離重視	学校、活性化の為に再編の方が良いと思うが、見直しにより通学距離が負担になることも考えられる為。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
通学	通学距離重視	学区を広げると通学時間が長くなるのでそれはさせたい。上町から上尾中学校への徒歩は遠すぎる。
通学	通学距離重視	学区の見直しにより、今は近くに学校があっても遠くまで通っている子供達が適正な距離で通学できるようになると良いと思うから。
通学	通学距離重視	各学年、適正なクラス数になるようにすることは大切だと思いますが、学校からの距離が遠くなってしまふ子が出るのが心配です。
通学	通学距離重視	各学校の生徒数にあまりにもバラつきがないほうが良いと思うため。ただ、再編することにより、学校までの距離が遠くて子どもの負担が大きくなるのは避けてほしいです。
通学	通学距離重視	遠くなってしまふ子もいるから。
通学	通学距離重視	もちろん、1クラスしかない学校などは編成が必要ではあると思う。けれども今現在提案されている編成案が本当に正しいのかは、もう少し検討すべきだと思う。距離があまりにも遠くなる小学校は、必ずしも必要だとはおもいません。
通学	通学距離重視	マンモス校には反対だが、通学が苦にならない程度に見直しでも良いと思う。小学生に踏切を渡らせたりするのは危ないと思う。
通学	通学距離重視	バランス良くが理想的だが、登校にかかる時間など子供に係る負担も忘れて欲しい。
通学	通学距離重視	それをすることによって、通学時間が長くなり安全に登下校できないのであれば無理に統廃合をする必要はないと思う。
通学	通学距離重視	しかし通学距離や希望を考慮すべきである
通学	通学距離重視	クラス替えができたりある程度人数がいた方がいいとは思いますが、学校再編によって通学に時間がかかるなど問題も出てくると思う。
通学	通学距離重視	クラス数の偏りはなるべく是正して公平な状態がよい。しかし、特に小学生の通学距離が長くなりすぎないことのほうが重要と考える。
通学	通学距離重視	クラス人数を適正にするのは良いとは思いますが、統廃合で通学距離が長くなってしまふ児童が出るのであればやめたほうが良い
通学	通学距離重視	ある程度人数の調整は必要かもしれないが、通学時間が大幅にのびてしまふのであれば、しないほうが良いと思う
通学	通学距離重視 学校選択制	近くに学校があるのに学区で遠くの学校まで行かないとならないのは、重い荷物も背負ってだし大変だと思う。それに近所の友達と学区によって分かれてしまふ違う学校に行かなければならないのは寂しい。
通学	通学距離重視 学校選択制	統廃合の必要はないと思う。学校が遠くなるのは困る。ある程度、選択できるといい。
通学	学校選択制	自宅から近い学校を自由に選択できる方が良いから。今は近くに学校学校あっても、基本的には学区により分けられて、遠くの学校へ通っている子どもも多いから。
通学	学校選択制	学区の境に居住しており、現在の学校までの距離が遠いので登下校の距離が短くなると思う。ただ、学区を超えたとしても最寄りに学校はないので今のところ無意味ではある。学区の境なので、共に幼少期を過ごした近隣の友人達と学校は3つに分かれた。越境が柔軟にできたなら、別の学校も選択肢になり得たのかも。
通学	学校選択制	学区が決められていると、ギリギリの学区のお子さんが、遠い学校まで通わなくては行けない事があると思うので、そういうお子さんは選べるといいなと思います。ただ、スポーツが盛んな中学校に行きたいなどの理由になると、全ての学区が自由なのは良くないかなと思います。
通学	学校選択制	越境入学の幅を広げて解消するのも良いかと思えます。
通学	学校選択制	1クラスのみなどさすがに少ないと思うので、学区を選べるかなにかして通学区域を見直したほうが良いと思う。
通学	学校選択制	住んでいる場所が近いのに、学区により就学前に一緒だった友達と小学校が別々になることもあり、多少選べたり学区の見直しをしてもいいかと思ったから。
通学	学校選択制	偏りがあるのもあまり良くないと思うし、自分で通いたい学校を選べた方が良いと思うから。
通学	学校選択制	偏りがあるのは良くないかもしれないが、本人の意志は尊重して選べるべきだと思う
通学	学校選択制	通学区域の見直しは必要であると思います。選択できる区域をつくるなど、柔軟性をもたせながら、実施するべきだと思います。
通学	学校選択制	通学の距離もあるので、各家庭で選択制にする方が良いと思う。
通学	学校選択制	人口減少が見込まれる中、今後も就学児童の分布は変化してゆくことから、フレキシブルに学区を選べる特定のエリアあってもよいと思います。
通学	学校選択制	住んでるエリアによってどうしたって偏りは出てしまうと思うので仕方ないが極端に偏るようだったら行く学校を選択できるなど学区縛りを柔軟にしてはどうかと思ったため。
通学	学校選択制	差が出てしまふ。定員を決めて選択制でもいいと思う。
通学	学校選択制	現在行われている一部の学区を選択制にし、選べるようにするのが良いと思うから。
通学	学校選択制	現在学校を選べる地域がふえているがその地域をもう少し拡大してもいいとおもう。
通学	学校選択制	見直しするのは良いが、選択地区を設けてほしい。見直した事によって嫌な人も出てくるから、そういった地区の人は、通学学校を選択させてほしい
通学	学校選択制	近くに学校があっても違う学区で通えないということを見掛けるので選択できるようになれば通学が便利だと思う。
通学	学校選択制	極端な児童数の学校であれば、その境目辺りの学区の児童(家庭)が学校を選べるようにして調整するのはどうか？
通学	学校選択制	環境がかわっているのに、区分けを昔のまま引き継ぐ理由もない。学校選択地域を多少広げて、母校と同じが良い人のカバーをすればいいと思う。結局近さから選ぶ人が多いと思う。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
通学	学校選択制	学校を選択できる地域をもっと増やせばいいと思う
通学	学校選択制	学区はなくてもいいと思う
通学	学校選択制	学区に縛られずに自分に合った学校を選べるようになったらいいと思う
通学	学校選択制	我が家から、芝川小より近い小学校が何ヶ所かあります。通学路の関係で学区が選べないので、遠くても通う必要があります。家庭の責任で自由に選択できたらよかったです。
通学	学校選択制	3クラスほどが適正だと感じるので、学区を選べる地域やエリアを増やしても良いのでは。
通学	学校選択制	通学区域は、学校から近い児童と遠い児童の差が大きくなるため、バランスよく見直せば、児童数の差も補えるように思う。 何年かおきに見直したり、各家庭で子どもが歩いて通う範囲を考えて学校を選べる様にするなど考え方は色々あると思う。
通学	学校選択制 通学距離重視	継続的なものなのか、学区を広げて子どもが通えるのか、などよく考慮すべき。学校自由選択も検討すべき
通学	学校選択制 通学距離重視	安全性を重視した上で、長い通学時間の解消は必要だと思います。 ですが、通学予定だった学校が急に変わってしまうと考えるのは難しいと思いますので、対象と考えられる地域はある程度の期間、小中学校を選択可能にするなどの配慮が必要ではないかと思います。
通学	通学区域の見直し	通学区域を見直す事は簡単ではないと思うから
通学	通学区域の見直し	通学区域を見直す事は簡単でないと思うから
通学	通学区域の見直し	通学区域を見直すこと
通学	通学区域の見直し	通学区域を見直しが必要だと思うため
通学	通学区域の見直し	通学区域を改めれば今よりは偏りがなくなるから。
通学	通学区域の見直し	通学区域の見直しがあると良い
通学	通学区域の見直し	学区の見直し
通学	通学区域の見直し	街が新しくなっているのに学区は昔のままのため、区切り方が変な気がする。
通学	通学区域の見直し	ある程度の片寄りには仕方ないと思う。が、道路がたくさんできたり上尾も変わってきているので、学区の見直しも必要かと。
通学	通学区域の見直し	あまりにも遠い距離になる場合は、難しいと思いますが例えば平方北小と大石南小の学区の様に通学区が隣接している地区は、生徒数のバランスを保つため、通学区域を見直すのも良いかと思いました。
通学	通学区域の見直し	通学学区の範囲が昔のままで地区の偏りがあるため。
通学	通学区域の見直し	子供の通学範囲や負担などを考慮したうえで、より良い学校のありかたを考える必要がある時期にきていると思うから。
通学	通学区域の見直し	各学年で可能な通学距離内で通学区域の見直しを検討し、適正な児童数に近づけると良いと思います。
通学	通学区域の見直し	わざわざ遠い小学校行くよりは近い所に通わせたいから
通学	通学路の安全	偏りをなくす事以上に日々の子供の安全が大事だと思います。統廃合の結果、登下校時間が長くなるのは危険です。
通学	通学路の安全	登下校に時間がかかってしまう、近くに通学班がないといった場所に住んでいる児童達がいるようなので、そういう児童達が、もう少し安心して学校に通える学区に見直されたいと思う。
通学	通学路の安全	通学路の安全や距離に問題がなければ推進しても良いかと思われる
通学	通学路の安全	通学中の事故の防止の為
通学	通学路の安全	通学距離がちゃんと短くて、安全に通えるならばという条件で。もしくは、どうしても統合するならスクールバスは必要と思う。
通学	通学路の安全	人数がかたよらず、各校同じくらい的人数が良いと思うが、通学路の安全性、距離を考えると、、、どちらかと言えば必要
通学	通学路の安全	・通学が遠方だと、子ども達も通うのが大変になるし、行き帰りの間の危険場面も多くなり、安全が確保出来るかが心配。
通学	スクールバス	平均的になれるのであれば。 ただし、遠方の児童はバス通学も出来る対応が必要だと思う。
通学	スクールバス	小学校低学年や帰宅学年毎 遠すぎる場合はスクールバスなど利用出来ると良いと思う 各自宅ではなく、まとめて数か所づつなど。 夏の暑い日 雨の日 子供通しのトラブルを防ぐため

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
通学	スクールバス	将来的に必要な？とは思いますが、学校まで遠い子どもたちの安全確保も大切。 このご時世、不審者も心配ですが、登下校時の熱中症も心配。 保護者による送迎やスクールバスなどの導入なども検討してほしい。 また、発達障がいなどの子どもたちが増える中、支援級の該当とはならない子も教室にいるわけで、もっと1クラスの少人数の児童生徒数で手厚くサポートできる学校になれば理想的かなあ？と思う。 教員の確保も困難な状況の昨今、学校数を減らさなければならないのも事実だと思う。
通学	スクールバス	学校規模の偏り解消は、現在ある色々な意味での偏りを解消してくれると期待しますが、統廃合後の通学距離が心配されます。現在私の子供達は2km以上の距離を徒歩で通学しており、居住地域の自転車通学区への指定を求めて嘆願致しましたが、学校側から却下されました。理由の一つに駐輪場の不足を挙げていました。毎日通う子供達の事を一番に考えて頂き、統廃合にあたっては駐輪場の整備、スクールバス導入等も考えて頂きたいです。
通学	スクールバス	学校を統合することで、自宅から離れた学校に通わなければならないのが心配です。 スクールバスを整備するなど子ども達の登下校の問題を解消してから統合を進めて欲しいです。
通学	スクールバス	学校が遠くなることで、交通安全や防犯の観点から、徒歩ではなく通学バスの利用が必然となると思うから。
通学	スクールバス	学区の見直しは必要だが、統廃合は必要なし。廃校にすれば、必ず学校までの距離が長くなる児童が出てきて、登下校時の安全面と重たいランドセルやリュックを背負っての長距離登下校における体への負担が懸念される為。 統廃合するのであれば、スクールバスを用意すべき。
通学	スクールバス	概ね賛成ではあるが、現在より通学時間がかかってしまう事は反対。 (バスの運行などあればいいかと・・・)
通学	スクールバス	一定集団の中で、多様な人々と協働していくのは必要なことだとは思いますが、通学距離が長すぎる場合は、スクールバスを配備するなどが必要だと思う。今も炎天下の中、30分歩いて汗かく、へトへトになって授業を受けているだけでも、子供への負担は大きい。
通学	スクールバス	スクールバスが出来るなら良い。
通学	スクールバス	1学年の人数の偏りは適正にしたいが、自宅と学校の距離が遠くなるのは大変だと思う。 集団で歩く事も必要な事だとも思うので、スクールバスなどを利用しなくて済む範囲であれば、再編して良いと思う。
通学	スクールバス 通学距離重視	子供が無理なく、安心安全に子供一人でも通学出来る環境を整えば、区域の見直しは賛成です。 平方小、平方北小、平方東小の、統廃合は、通学区が広すぎる為反対です。 スクールバスなどが出れば賛成です。
通学	スクールバス 通学区域の見直し	大規模な学校から、小規模な学校に生徒を動かすことで、市内全体として適正なクラス数に近付けることが可能となると思う。 その方法は、区画だけではなく、大規模な地域から小規模な地域にスクールバスで送る方法もある。
通学	スクールバス 通学区域の見直し	鴨川小学校でもこれまで近くの地域で学区ではなかった地域が学区になったりしているの、昔のままの不自然な学区が改善されていくのはいいと思った。ただ、クラス数をただ平均的にするのが目的の学区調整となると、遠い所から通わなくては行けなくなる児童も発生するので、その場合はスクールバスなども考える必要がある。
通学	自転車通学 学校選択制	学区だからといってそこに通うことが前提ではなく、いじめの問題があるので学校は自由に選べるようにしてほしい。 その場合、自転車通学を可能にし、行ける範囲の距離で。
通学	自転車通学	統廃合はある程度仕方ないが、それにより登下校にかかる時間にかかなりの偏りが出来ないように配慮してほしい。 中学は自転車通学可能など。
通学	自転車通学	中学校の自転車通学の距離制限を緩和してほしい。
通学	地域との関係 通学距離重視	通学区域を見直すことで、通学距離が長くなってしまい通学路でなかったところの道路整備等が必要になってしまう。 更に、地域との連携も難しくしてしまうのではないかとと思う。
通学	地域との関係 通学距離重視	学校の統廃合はある程度必要であるかもしれないが、学校が遠くなる子供が居るし、地域の災害時における避難所などの役割もあるため、一気に減らしたりする事はしないで欲しい。 学校が近くに無いというのは、若い子育て世代がその土地に住む事を躊躇う要因にもなる。
通学		自宅の周りの子は違う小学校
通学		子育て世帯の多い地域・少ない地域がバランス良く分布していないため学区の調整が必要だと思う
通学		今、大石南中学区の子が、近隣の中学に流れているのを見るため
通学		今 コロナ禍の中で 具体的にクラス編成検討は難しいと思いますが、学区ごとに通いやすいように考慮しても良いと思います
通学		公平性の観点から通学区域の見直しが必要だと思います。統廃合は安易に行うべきではないと思います。
通学		現在の通学区も柔軟な変更が必要だと思うので
通学		何事も定期的な見直しは必要であるとは思いますが、もし我が子が通学区域が変わる事があれば嫌だと思う。
通学		偏りをなくすには仕方ないと思う。 通学の仕方を考えてほしい。
通学		偏りは少ない方がいいが、通学区域の見直しなどは変わる方の子ども達や保護者の意見をよく聞いて慎重にすべきだと思う。
通学		通学地域に差があるから

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
通学		少子化は避けられず、地域により児童数も変わるのであれば必要であると思うが、通学中の児童が影響を受けない方法で実施して欲しい
通学		自宅場所により、仕方ない部分はあると思う
通学		市内だけでも環境が違うことにより1つの問題に対して温度差があり、理解されないままスルーされてしまうことがあるので必要だとは思う。 けれども現在市であげられている少数校をまとめてしまおうみたいなやり方は通学、進学、安全などを考慮したやり方とは思えないのでもっと子供達目線で通学から下校まで何が問題なのかどうしたら解消されるかを考えて欲しい。
通学		子供が少なくなる。人が住む地域が偏りが出るのは仕方ないことだから通学できる範囲ならよいのではないかと思う
通学		いいと思う反面、 現実、子供達の登校距離等考えると微妙だとも思うので。
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	偏りがなくなれば、学力や運動など、さまざまな事が向上できるから必要だが、通学の距離などで、無理があると思う。
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	統廃合により、各学校バランスのとれた学級数にすることができる反面、学区の範囲が広くなり学校までの距離がかなり長くなってしまふ児童、生徒が出てくる可能性がある。これは課題ではないか。
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	生徒が多過ぎて埋もれる子もいるので、基本的には賛成ですが、通学の距離が遠すぎても、ゆっくり過ごす時間が減ったり可哀想かなと思います。
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	一定規模の集団のほうが教育にはバランス良さそう。通学距離などの負担が気になる
通学 教育格差	通学距離重視	大規模校と小規模校で、活動の差が大きく違ってしまうのであれば、必要だと思うが、昨今の急激な気象の変化を考慮すると通学時間が長くなるのは問題である バス通学などの必要もあると思う
通学 教育格差	通学距離重視	算数など学力に差が起きやすい授業で人数が多いと全ての生徒への確かな指導がいかないと思うので。 ただ、通学時間がとても長くなったりする極端な学校統合はやめてほしいです
通学 教育格差	通学距離重視	再編することで遠くなってしまふ子がいるのであればあまり良くないけれど、住んである場所によって教育環境が変わるのはあまり良くないので、バランスを取るべきだとも思う。
通学 財政	通学距離重視	再編したら、登校が遠くなる子がいる、不便利です。 再編しないと、学生人数が少ない、経費が大変です
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	最寄りの学校が遠くなる子どもが出てきたり、兄弟関係で学校が変わることや、住まいが希望学区から外れるなどの問題が出てくる可能性があるため、一概に変革を急に進めるのは難しいように感じるため
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	近くに学校があるのに学区が違うからと遠くに通っているのは子供の負担を考えていないから
通学 時代に合わせた教育環境の整備	通学距離重視	これからの新しい形を模索していかないといけない時期かもしれない。 しかし、小学生低学年の子どもが学校が遠くなってしまふのは反対。
通学 社会性の育成	通学距離重視	できるだけ人数がいた方が、競争能力等も向上すると考えるから。 ただし、学校までの距離が長くなりすぎるのが問題点である。
通学 社会性の育成 クラス数	通学距離重視	通学路の距離などの問題はありますが、少なくとも1学年2から3クラスで編成できる人数がいれば、理想だと思います。同じ学年で可能性を高め合えたり、結束力が生まれやすくなるのでは、ないでしょうか。
通学 先生の目	通学距離重視	生徒数のバランス＝先生の数のバランスだと思います。運営面でもバランスよくするのは必要とおもいます。一方、児童の通学距離が延びるなどの問題もあるとおもいます。上手くバランスよく再編できるのであれば、したほうが良いと思います。
通学 先生の目	通学距離重視	1学年が3クラスくらいになるのが理想だが、通学距離があまりにも遠くなるのは子供への負担があると思う。 統合して1クラスの人数が増えて、目が行き届かなくなるのは心配。
通学 多様な価値観の形成	通学距離重視	生徒、児童が少ないところでは、いろいろな意見や考え方に触れることが出来ないから。ただし、無理に再編することで、学校の登下校が遠くなってしまふ生徒、児童が出ないようにしたほうが良いと思います。
通学 能力向上・刺激	通学距離重視	学年2～3クラスの人数がいれば、様々なお友達との触れ合いがあったり、授業での意見出しも活発になると思うので、良いと思う。その反面、統合する事で通学距離が長くなるなどのデメリットもあると思う。
通学 その他	通学距離重視	クラスが偏りがあり過ぎるのは気になりますが、 兄弟がいて急に変わって、困惑しそうな所や、登下校が逆に遠くなったりしないかとか気になります。
通学 その他	通学距離重視 避難所	学校によってクラス数に大きな差があることは解消したいと考えるが、そのために遠い学校に通学しなければならない子供がいると考えると、一概に通学区の見直しが良いとは言えない。通学区の見直しにより廃校になる学校があるとすると、学校が地域の避難所などの役割はどのようになるのか心配である。
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 コミュニケーションスキルの向上	1クラスではその先に進学した際のギャップが大きくなるので、もっと人数がいることに慣れていくべきと思うが、再編成して学校まで遠くなる場合は子供の負担になるので避けるべきだと思う。
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 交友関係拡大	必要とは思いますが、 実行されるとなると、子どもたちの通学距離や人間関係が心配。 編成による転校は可哀想
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 交友関係拡大	同級生がある程度いた方が、交流やクラス替えも可能になって良いと思うが、通学区域の見直しで通学距離が長くなってしまふのは児童、生徒にとって負担が増えると思う。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 交友関係拡大	少人数のクラスが長年続くよりもクラス替え等がある方が子どもたちの出会いが増え、経験が増え、その分考え方や行動変化があるから考えるから ただし、通学の時間や距離が懸念される
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 交友関係拡大	クラス替えの有無など幅広い人間関係を育んでほしい。ひとクラスだと逃げ場がない。ただ学区を見直すと通学距離が長くなるなどの不安がある。
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 交友関係拡大	いろいろな人と交流した方が人との関わりかたの勉強になると思うが、小学生の通学の距離が長いのはあまり好ましくないと思う。
通学 人間関係の流動化	通学距離重視 交友関係拡大	1学年1クラスより複数クラスあった方が、さまざまな人と触れ合うことができるので良いのではないかなと思う。ただ、統廃合のため遠くの小学校に通わなければならないという懸念もある。
通学 部活や学校行事への懸念	通学距離重視	どの学校でも部活に活気(平等)がある状態にもっていくために必要を感じる。 こっちの学校の方が近いのに…という話を良く聞く。 地区で分けるのではなく、距離で分けたら、いいと思う。
通学 部活や学校行事への懸念	通学距離重視	児童数が少ない学校では、運動会や修学旅行などの集団活動を体験出来ないのではと考えます。ただ、通学区が広くなりすぎて通学が困難になってしまう懸念もあります。スクールバスなど運用されるのもありかと思えます。
通学 学校規模の平準化	学校選択制	小規模校、大規模校あっても居住地によって学区が決まっています生徒が選べないので、再編した方が良いと思う。 逆に、それぞれのメリットを比較して、自分の子供に合う学校を選ぶことができるなら再編しなくても良いのかもしれない。
通学 先生の日	学校選択制	少人数クラスの方が、教員の目が行き届ききめ細やかな指導が出来るから。 しかし、学校選択制の場合、家から学校までの距離が遠くなる場合は少人数の遠い学校は選ばないと思う。
通学 学校規模の平準化	学校選択制 通学距離重視	大規模にも小規模にも良し悪しはあると思う。でも、小中学校は選べないから、全ての子にできるだけ平等な教育環境を整えてほしいと思う。ただ、通学時間が長くなってしまったり、行きたくないところに行くのは逆効果なので、選択できるように柔軟に対応してほしい。
通学 特色のある学校づくり	学校選択制 通学距離重視	橋を渡るから…などの理由で越境となり、近い学校に通えないのは子供の負担になる。 何十年前に決めた学区より、今に寄り添った形で学校に通えた方がよいと思ったから。 また、不登校になっている子たちが再出発しやすいよう、全校生徒が転校転入を気軽にできるようにするといっています。 その為に、学校ごとに特に勉強に力を入れて。スポーツが活発だ。図書館が充実している。ネットワーク関係が充実している…など特色があるといい。入学後でも転編入のハードルが低ければ、自分に合う、または興味がある学校へ前向きな気持ちで通えるのでいいと思います。
通学 クラス数	通学区域の見直し	小規模なら、大規模校ではできない小規模ならではのクラスの使い方をしてみたり、工夫があれば、魅力を感じられると思うのですが、余りにも少ないようであれば、学区を変えて、人数調整を出来たらいいのではないのでしょうか？
通学 先生の日	通学区域の見直し	大石地区の小中学校は、在校生が多すぎます。 ゆとりが欲しいです。 他と比べると、全然、先生の目が行き渡っていないし、指導も行き届いていないです。 統廃合ではなく、バランスよく学区を見直す必要があるのでは。 学校の配置に偏りがありすぎだと思います。
通学 その他	通学区域の見直し	小規模だからといって廃校にして統合するのではなく、大規模学校から小規模へ流れるようにする統合なら必要と思う。母校を消し去る廃校という道は反対である。通学区域の調整が必要。
通学 その他	通学区域の見直し	住んでるところは大谷地区なのに、通っているのは平方地区 もとに戻してほしい 平方地区が合併するなら、人数が増えるので地頭方は大谷地区に戻してほしい。 できないなら、地頭方を平方地区に戻してほしい。 いまは地区が違い差別がある。自治会費は大谷地区に使われている。納得できない。
通学 部活や学校行事への懸念	通学区域の見直し	偏りの解消や適正化を望むことは良いとしても、統合や通学区域を見直す事は地域の環境や登校を考えると実際にはなかなか難しいと思う また、反面子供達が学習し学ぶ場所として5クラスは大規模すぎる事ではないとも思う
通学 教育格差	通学路の安全	ある程度仕方ないと思う。が、安全や子供の登下校の負担が少なくでき、将来につながるような教育を是非目指していただきたい。
通学 子どもの負担軽減	通学路の安全	必要とは思いますが、人数を合わせるためだけに、遠くの学校まで通うことになるのは安全面での不安や、子どもの負担になるため。
通学 教員	通学路の安全	通学区域の見直しは交通量が多い道が出来たりショッピングモールが出来た事で改善を望む。 クラス数を増やす事にも賛同するが教員が足りるだろうか
通学 人間関係の流動化	通学路の安全 偏りの是正	各学校の人数の偏りによって学校で学ぶ社会性や友人関係に影響がでるのでは… 統廃合による通学時間や通学路の安全性は絶対に確保しなければならないと思います
通学 人間関係の流動化	通学路の安全 偏りの是正	1学年のクラス数が少ないと人間関係が偏ってしまい子供の心の育成に影響すると思います。 統廃合は必要なのかもしれないが親の立場からすると通学の安全面が心配です。
通学 クラス数	スクールバス	一学年2クラスあれば統合の必要があるとは言いきれないが、1クラスの場合は考える必要があると思う。統合される場合、通学路の距離が遠くなってしまふなどの問題があるので、無料の通学バスが出すなど不安を解消しないと統合に賛成するのは難しいと思う。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
通学 学校規模の平準化	スクールバス	多すぎる故に出来ないこと、少なすぎ故にできないことそれぞれある。できれば同じくらいの人数でできればいいと思うが、マンションが多い地域では子供を分けることは難しいし、住宅が少ない地域では子供を集めるのが難しい。スクールバスなどで子供を安全に移動させることも必要になってくるかもしれない。
通学 時代に合わせた教育環境の整備	スクールバス	子供の数は減っていく傾向なので、いろいろなモデルケースを作って将来に備えた方が良くと思う。スクールバスも見当した方が良くのでは。
通学 先生の目	スクールバス	あまり多すぎるのは目が届かなそうなので、分散は賛成。しかし、生徒数の少ない学校同士を合併させる通学距離が長くなるのでそれは反対。スクールバスを運行するなら賛成。
通学 能力向上・刺激	スクールバス	ある程度の人数的中で切磋琢磨することがいいと思いますが、通学路があまりにも遠くなる場合はスクールバスを運行するなどして児童の安全に配慮してほしいです。
通学 財政	スクールバス 通学区域の見直し	単なる校区再編、経営効率化だけではなく、通学距離がのびる地域へのきちんとしたケア(通学バスなど)も入れながらの丁寧な再編化が求められると思う。
通学 その他	スクールバス	兄弟がいた場合、編成によって離れ離れになるような事は無いのか、元々の友達とも離れ離れになることは無いのか疑問。一気に一緒になって、遠方の場合は学校又は市でバス通学も検討するなど、通学時間、距離も考えて欲しい。過疎地ではすでに行われてることかもしれないが、少子化なので見直す事は必要だと思います。
通学 その他	スクールバス コロナ禍	統廃合で学校数を減らすのではなく現在のままの建物数で利用人数のみを調整し必要であればUSAの様にスクールバスを運行して昨今の暑さ対策として遠方から通学する児童に利用してもらおうとする。何故ならコロナ禍で密にならない様、活動が制限されているのなら1空間を使用する人数を減らす事で子どもたちの活動範囲を広げられるのではないかと？
通学 人間関係の流動化	スクールバス 交友関係拡大	いろんな人と関わる事は大切な事だと思います。統廃合した場合、学区がかなり広範囲になるので、遠くても小学校は歩いて30分以内。それ以上に遠い場合は、スクールバスもありかと思えます。
通学 人間関係の流動化	スクールバス 交友関係拡大	1クラスだけよりは最低でも2クラスあった方が良くとは思いますが、クラス替えが出来る環境の方が良くと思う。その場合、広範囲から生徒を集めることになるでしょうから、スクールバスも検討しないと通学が難しいと思う。クラスの数が複数あることで、先生の数も増え、色々な先生とも出会えることで、人間形成に良い影響があると思うから。
通学 人間関係の流動化	スクールバス 偏りの是正	人間関係の固定など、少人数の問題があるなか、再編は行うべきだとがえます。小学生には、通学距離は大きな問題のため、他市でも行っているバスの運用も具体的に考えるなど、安全対策の問題のフォローが必要と考えます。
通学 人間関係の流動化	スクールバス 偏りの是正	一学年一クラスで6年間ずっと一緒だと、良い面もあるが、悪い面も出てきてしまう。統合にあたっては、通学距離が長くなるいえるため 自転車通学などの検討も必要であると考えます。小学生は朝だけ 距離がある区間だけスクールバスを出すとか。
通学 人間関係の流動化	自転車通学 トラブル・いじめ回避	1クラスしかない学年だと、何かトラブルがあった時に卒業まで子どもの逃げ場がないため、2〜3クラスが適度なかなと感じます。一方で統廃合のために毎日の通学が遠くなるのも問題かと思えます。中学は、自転車通学もできるため、学区境がなくても良いように感じます。
通学 人間関係の流動化	子どもの負担軽減 通学路の安全 交友関係拡大	人数が少ないのは活動の場が広がらないので規模は見直すべきである。ただ、通学路が2キロ以上の場合は子供達の安全面、体調面、トイレ問題があると思う。
通学 部活や学校行事への懸念	子どもの負担軽減	生徒数かあまりにも少ないと、部活動の選択肢が狭くなり、自分に合う部活動を選ばなくなる。ただ、通学距離が長くなるのは、重い荷物を持つ中学生には負担が大きいので、それも重要だと思います。
通学 その他	リモート授業	一部在宅でも授業が受けられれば通学の問題がない
通学 保護者の負担	送迎負担の軽減	ベビーブームの時代に沢山作られた学校なので、少子化の今、同じなのは無理があると思う。だが、うちは、小学校まで30分のエリアだが、学校まで遠いからって、少し雨が降ると通学班の班長から、今日は車で送って下さい。とラインが来る。班全員が車で送っています。うちは歩いてほしいが、周りの親の目が怖くて従うしかありません。帰りも、車で子供を拾うなど、子供を長時間歩かせる事に抵抗があり、すぐに車で。。。という親が増えている。子供を車でということは、小さな子供が沢山歩いてくる学校に車が増える訳で、下手をすると車が子供をひいてしまう事故にもなりかねない。今の時代、夏は暑すぎるので親が車で子供を拾いたくなるのも批判は出来ず、学校の統廃合が進むとこの状況が加速すると思われる。今、旗当番が、3週間に一度来ている。今度の2学期には、6回も旗当番がある。旗当番の日は仕事に間に合わず、休まなければならない。通学が遠くなると、旗当番をすべき箇所がおそろしく増えるのでは?と怖い。
通学 平等・公平		市内の児童がみんな平等に学問、社会性などの勉強が出来るようにするためにはみんなが同じような環境下に居る状況が必要だとは思っています。どの学校でも同じような教育、学習が受けられる環境が整うのは良いことだと思います。かといってこの学校に通いたいからこの地区に住むという方もいるでしょう急に学区が変わるのも難しいなあという気持ちもあります。
通学 人間関係の流動化		生徒数の調整の為には必要かとおもいます。ただ学区を調整したことにより、通学や友達関係に影響してしまう心配もあります。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
通学 クラス数 その他	通学距離重視	学級数だけでなく、通学距離等も検討すべきだと思う。ただ、1学年1クラスではデメリットの方が多いように思うので、子供たちが通える範囲で統合し、学年2～3クラスは出来るようにした方がよいと思う。土地を購入した時に学区を意識した多くの人が後悔することのないよう、市民の財産形成等にも配慮する必要もあるかと思う。
通学 社会性の育成 クラス数	通学距離重視	偏りと思うのは何故か 地域の問題では教育環境にマイナスな事は無いと思う 5クラスが大規模だとは思わない 適正化するにあたり、登校などの距離色々な点で難しく思う ただ人数が多いことは触れ合いや行動範囲の違いがあるかも知れないので良いと思う前提です
通学 教育格差 社会性の育成	通学距離重視	統廃合による適正化は、よりよい人間関係の構築や、学習効率等のために必要だと思うが、通学距離が長すぎるのは問題があるので。
通学 人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	学校選択制 偏りの是正	行きたい中学を選択できるといいと思う。 生徒数が多い学校、少ない学校、それぞれのメリットとデメリットがあるし、中学校で周りの友人の環境を変えたい子もいる。学区の中学校には入りたい部活がない場合もある。 情報をしっかりとらって、選択できるようにすれば自主的に動けるか子が増えるし 各学校も生徒獲得に頑張ると思うし より良い効果が出るのではなかとと思います
通学 クラス数 その他	通学区域の見直し 検討の進め方	少人数より、適度な人数クラス編成で学べたほうが、親子ともに好ましいと思いますが、通学区域の切り替えは凄くデリケートな問題なので、住民の心理状態は複雑です。上尾市が独断で進めないで欲しい。 決定の前に地域での説明会を開いて、地元の意見も聞きつつ、住民が納得いくように進めてもらうことが必要だと思います。
通学 人間関係の流動化 クラスの人数	通学区域の見直し 偏りの是正	少ない人数で1クラスなのとそれなりの人数で1クラスなのは体質がかなり変わってくると思います。ですので後記の場合はクラス替えがあった方が人間関係が楽になると思います。学区の見直していただければ近くなる方もいると思います。
通学 人間関係の流動化 財政	スクールバス 交友関係拡大	人数が少ない学校は、一緒になることで学校の経費削減にもなり、友達も増えいいと思う。ただ学区が変わるのでスクールバスなどが必要。 人数が多い学校は、いま急にわけてしまうと友達が変わってしまうので新一年生からやるのもよいが兄弟で別れてしまうことがあるので問題はあるようにも思う。
通学 人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	距離 コミュニケーションスキルの向上	1学年1クラスと5クラスだと友人同士の交流や行事で得られること、全体の雰囲気なども大きく違うとは思いますが、それぞれの良さがあるとは思いますが統廃合の結果、遠すぎるという事態になるのはあまり良くないとは思いますが。
通学 人間関係の流動化 先生の目 部活や学校行事への懸念	通学距離重視 トラブル・いじめ回避	実際全学年1クラスの学校に通っているが、運動会とかでも対抗戦など張り合いもなく、やる方も見る方も微妙だと思ってます。それに、いいも悪いも1クラスだとずっと同じお友達だから万が一、イジメとかあったら逃げられない、クラス替えとかで心機一転とかも出来ない、相談出来る先生お友達も少ないのが万が一我が子ももしイジメにあったら…と思うと正直怖いですが、 でも、学校が合併になったらそれで、通学距離も遠くなるでしょうし、この夏のような炎天下で登下校するのが不安です。 なので、「どちらかといえば必要」だと思います。 1クラスでいい所ももちろんあります、なんせキメ細やかな対応をしてもらえます。先生方には本当感謝しかありません。
通学 クラスの人数 子どもの負担軽減 先生の目 多様な価値観の形成	通学距離重視 教室のゆとり	クラスを減らしても、1つのクラスが40人近いと、圧迫感もあり、また教師の目が行き届かない可能性が起こるのが不安。 また逆に1学年2.3クラスだと距離感が近くアットホームでよいが、将来の事を考えると色々な人間と交流した方がいとも思う。 難しいがバランスよく地区の見直しをする事はよいと思う。 しかし一番は子どもに負担がない事、通学が遠くなってしまふ事がないよう調節をしていただきたいです。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスでは、万が一子供同士でのトラブルがあった場合、次年度以降も絶対に同じクラスになってしまい、逃げ場が無い。 そういう不安を解消するためにも、最低2クラス以上は必要だと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	単クラスではなにか問題が起きた時に「学校に行きたくない」に直結しやすいから
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	性格や反りが合わない人と少人数はキツイと思う
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	少人数だといじめなどから逃れられない
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模学校でいじめ等がある際はクラスも変わらず、逃げ場がなく辛いと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模学校だと6年間ずっと同じ友達と一緒にいる中で合わない友達もいるかと思う クラス替えは色々な友達と交流し心身共に様々な成長過程に必要なだと思います
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模な学校でイジメにあつと、転校せざるを得なくなるので、ある程度の人数を割り振ったほうが良いと思うから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模だと、クラス替えがなくイジメ問題などの解決が難しそうだから

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小規模すぎるといじめやトラブルがあった時に八方塞がりになりやすいし、学年が変わっても、そのイメージから抜け出すのが困難。ある程度クラスが多ければ友達とも幅広く付き合えるので、中和されるような気がする。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	私は都内の小さな小学校で6年間クラス変更もなく同じ仲間と過ごしました。いじめはターゲットを変えながら常時行われてました。1クラスしかない学校には自分の子供には通わせたくないです。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	子供の世界は狭いので、少人数の環境に居てトラブルが起きた場合、ずっとその狭い小さい世界で過ごすのはストレスが大きいと思う。クラス替えなど、環境の変化が起きるチャンスがあった方が望ましいと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	学年に1クラスしかない学校では子ども同士の関係がむずかしくつらいとよく聞くことがある。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	学年1クラスしかないクラス替えもなく、人間関係に躓いた時に逃げ場がない
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	過去に、小規模校で狭い人間関係の中、クラスに馴染めず悩んでいた子が、1クラスだとクラス替えも出来ないかと悩んでいた為。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	一学年一クラスだと いじめがあったりした場合 学校に戻れなくなるから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	ひとクラスしかない地域では人間関係に問題が出たときに逃げ場がないので
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	ずっと1クラスで6年間はそれだけでものすごく保護者にとってプレッシャーです。児童であれ保護者であれひとつのささいなミスがいじめやハズシの標的になり得ます。上平小は2クラスなのでやっといじめっ子から逃げられました。よかったです。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	クラス替えのない環境で人間関係でトラブルがあると、転校しか環境をかえられないのは問題だと思うから
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	クラス数が少ないと子供同士のトラブルが発生しても、6年間ずっと問題を抱えながら過ごさなければならぬが、クラス数が多ければクラス替え等により、子供同士のトラブルが解消される可能性もあると考えるから
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	クラスが多い分にはいいと思います。ですが、1クラスのみだとイジメも含め、合わない子どもが卒業まで同じクラスになってしまう。不登校にもつながることがあるのではないのでしょうか。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	クラスが少ない学校で、いじめにあつて大変な学校生活を送っていたから。少ないと閉鎖的になる気がします。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	いじめがあった場合や、広い人間関係構築の意味でも、クラス替えの選択肢があった方がよいから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスでは、人間関係のトラブルや問題があった場合に、通学できなくなってしまう可能性があるため。 高校生活に備えるため。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスであると人間関係が固定化してしまうため、トラブルがあったときに回避しづらいから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスだと人間関係が固定されすぎてしまい、デメリットの方が大きいと思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1学年1クラスだとクラス替えがなくメンバーが同じため、一度決まってしまった雰囲気のまま過ごすことになってしまう。 例えばからかわれたり嫌がらせを受けた子はずっと続いてしまう可能性があるため、クラス替えができるようにクラスは複数あった方がいいと思います。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスでは、人間関係をこじらせた時に回復するのがなかなか難しいから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスだと、良くも悪くも変化がなく、嫌なことがあつても逃げ道がなくなってしまうと思うから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスしかない場合、クラスで何か不都合があつたりした場合、6年同じクラスだと逃げ場がないので辛いように思う。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスしかない学校の知り合いから聞いたが、人間関係でトラブルがあつた場合、転校するしかその子の逃げ道がないと聞いたため。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスしかないような学校の場合、団結力が上がる可能性もあるけれど、中には逃げ場が無いまま6年間を過ごすのは辛い可能性がある子供も居るかもしれないと思います。ある程度のクラスは必要だと思います。
人間関係の流動化	偏りの是正	偏りがある分、勉強面や友達との交流も変わってきそうだから。
人間関係の流動化	偏りの是正	友人関係など偏るから
人間関係の流動化	偏りの是正	単学級は人間関係が変わらない。
人間関係の流動化	偏りの是正	単学級の学年だと心配だから。
人間関係の流動化	偏りの是正	少人数の場合、友達が固定されてしまうため。
人間関係の流動化	偏りの是正	少ない方は、狭い人間関係に限られてくる。クラス替えもなく、リフレッシュ出来ず、ストレスとなる。
人間関係の流動化	偏りの是正	小規模校は人付き合いの問題もあるため
人間関係の流動化	偏りの是正	小規模の集団で人間関係が固定されるより多い方がいいと思う
人間関係の流動化	偏りの是正	小規模の学校だと、運動会などの行事など、異年齢との交流が少なかつたり、クラス替えなども出来ないため関わる人が固定されてしまうと思う為。
人間関係の流動化	偏りの是正	小規模な学校は、色々な面で偏ってしまうため、多様な人達との関わりはとても大切だと思う。
人間関係の流動化	偏りの是正	小規模な学校だと出会う人数も少なくなってしまうので、学校統合や、通学地域を見直しは人数が増えるのなら必要だと思います。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
人間関係の流動化	偏りの是正	小規模では、学校の活性化ができない。人間関係の固定化。社会性を身につけにくくなる。
人間関係の流動化	偏りの是正	教育の質にも偏りが生じないのであれば問題ないが小規模より多くの人との交流の持てる場が必要に思う。
人間関係の流動化	偏りの是正	学年で1クラスなどがあると構築できる交友関係に居住地域によって格差が生まれるのは不平等な感じがするから。
人間関係の流動化	偏りの是正	学校によってクラスに偏りがあり1クラスしかなくずっと同じ人間だったり何クラスもあり友人関係を沢山築けたりと同じ小学生でも経験が違くなるのが不満に思う。
人間関係の流動化	偏りの是正	運動会等は、かなり縮小されてしまい寂しさを感じる。1クラスしかない人間関係も難しくなってくるから
人間関係の流動化	偏りの是正	一クラスだと、同じ人ばかりでしか交流出来なくなり、人との関わりかたが学べないから。多くの人と接することで視野が広がる。
人間関係の流動化	偏りの是正	1学年に1クラスよりも、2～3クラス/学年が適当であると思うため。(人間関係の固定化を避けるため)
人間関係の流動化	偏りの是正	1学年1クラスとなると、子供達のいろんな意味での視野が狭くなるような気がする
人間関係の流動化	偏りの是正	1学年1クラスでは他者との関わり合いの輪が小さすぎて、他者から学ぶ事の機会が少なくなってしまう為。
人間関係の流動化	偏りの是正	1クラスだけだとクラス替えが無い為、閉鎖的人間関係になるかなと感じる。
人間関係の流動化	交友関係拡大	適正な人数との関わりを持つことは、必要だからと思うからです。極端に少ないクラス数の学校があることを最近知りました。色々な人や考え方を学ぶためにも、子供の頃から適正な人数との関わりを持つ方がより良いと思います。
人間関係の流動化	交友関係拡大	多感な時期に他者と多く関わりをもてるように、1学年3クラス程度がいいと思う毎年クラス替えを行うことで、たくさんの人と関われる
人間関係の流動化	交友関係拡大	先生方の負担を均等にする為義務教育期間に関わる友人の数を一定数 確保する為
人間関係の流動化	交友関係拡大	新しい友達作りが必要
人間関係の流動化	交友関係拡大	小規模だと他の人との交流が少なくなる
人間関係の流動化	交友関係拡大	子ども同士だけでなく、教師との関係も、様々な人と出会う中で気の合う(心を許せる)人を見つけれられるようクラス替えができ、6年間である程度全員と関われるクラス数かよい
人間関係の流動化	交友関係拡大	子どもはたくさんの人と交流して学んで行くことが大切だと思うため、なるべく多くの人と接してもらいたい
人間関係の流動化	交友関係拡大	交友関係が固定化しないようにするため。
人間関係の流動化	交友関係拡大	一学年一クラスだと人間関係が広がらない気がするから。
人間関係の流動化	交友関係拡大	たくさんの子供がいた方が色々な子と接する事が出来て良いと思います。人間関係も狭くならないと思います。
人間関係の流動化	交友関係拡大	ずっとクラス替えもなく1クラスでは、つまらないと思うから。なるべく多くの友達や先生と関わって学んでほしいです。
人間関係の流動化	交友関係拡大	クラス数が多い方がより多くの人と関わって良いと思う。
人間関係の流動化	交友関係拡大	クラス数が少ない学校ではコミュニティが限られてしまう
人間関係の流動化	交友関係拡大	クラスがえがあり、いろいろな環境、友人と交わる必要があるため
人間関係の流動化	交友関係拡大	おともだちは沢山いたほうがいいから。
人間関係の流動化	交友関係拡大	4～5クラスある学校は様々な人間関係を築ける一方で、1～2クラスの学校はそのような機会が自動的に失われているから。
人間関係の流動化	交友関係拡大	1学年1クラスだと交友関係が狭すぎると思う。
人間関係の流動化	交友関係拡大	1学年1クラスだとお友達が少ないしクラスが多すぎても全てのお友達と深く交流する時間が持てないから。
人間関係の流動化	交友関係拡大	1クラスですべて同じクラスだと新鮮な気持ちもなく、友達関係にも新しい変化もない。沢山のひとと触れ合う機会は大事だと思う。
人間関係の流動化	交友関係拡大	1クラスであると、交友関係が固定化されてしまい、今後、高校、社会に出た時に関係をつくるのに苦労してしまいそうだから。
人間関係の流動化	クラス替えがある方が良い	クラス替えが出来る方がいいと思う為
人間関係の流動化	クラス替えがある方が良い	クラス替えができるよう2クラス以上あったほうがよい
人間関係の流動化	クラス替えがある方が良い	1クラスしかない場合は、クラス替えもないので、せめて2クラスはあった方がいいと思うから。
人間関係の流動化	クラス替えがある方が良い	1クラスしかない学校だとクラス替えが出来ないので
人間関係の流動化	クラス替えがある方が良い	小学校でもクラス替えはあったほうがよい
人間関係の流動化	クラス替えがある方が良い	クラス替えを経験しておいた方がいいと思う。
人間関係の流動化	クラス替えがある方が良い	1学年1クラスはあまりにも悲しすぎる。クラス替えできる程度の児童を確保してあげるべき。

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	多くの友達と関わることで社会での対人関係にも役立つことから一学年5クラスがよい
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	少なすぎる人数では人間関係等の学びを得る機会が減るから
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	市内の子供達全て偏りないように、クラス替えをしながら人との関わりなどを学んでいってほしいから
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	一学年には数クラスあり、ある程度はクラス替えがあった方が子供達も刺激がありようと思う。反面、今の一年毎のクラス替えでは深く良くなる前に変わってしまい、2年毎の方が良いと思う。今の状況では、複数クラスあり毎年のクラス替えする学校と学年が一クラスの学校でかなり友達付き合いの環境が変わってしまうと思う。
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	ある程度的人数の中で、いろんな人と接しているんな体験をすることが成長期において必要だと思うため
人間関係の流動化	コミュニケーションスキルの向上	あまりに児童数が少ないのは、子供の人間関係形成や社会的スキルを得る機会が減ることにつながると思うから。
人間関係の流動化		様々なタイプの生徒との関わりは大切であるが、そこまで気にしていない。
人間関係の流動化		適度な人数での人間関係を築いてほしいから。
人間関係の流動化		どの学校に通う生徒も同規模の人とふれあうことが可能になってくると考えたから。
人間関係の流動化		1クラスではあまり子供にとって良くないと思うから
人間関係の流動化 教員	トラブル・いじめ回避	クラス編成ができない学校では、人間関係の構築がうまく行かない場合、どうすることもできず、子どもがかわいそう。またそれを解消するための教員の努力も大変なものとなる。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	トラブル・いじめ回避	1クラスしかない、問題が生じた時クラス替えの対応が出来ない。運動会がさびしい
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	トラブル・いじめ回避	やはり人数の少ない学校は、行事自体を回していくのに大変かと思えます。また、例えばクラス数が少ないと、児童の人間関係に何かあったときに、逃げ場がありません。逆にトラブル等何もなく、みんなが友好でアットホームでも、進学した中学校や高校で、例えばマンモス校だと、新しい関係を築くのにも苦労するかもしれません。ほどよく小さな社会が学校内にあればと、考えます。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	トラブル・いじめ回避	クラス数が少ないと交流関係が学べない事や体育祭等大勢でやる醍醐味が味わえない。人間関係がうまくいかなかったときクラス替え等の逃げ場所がなくなる。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	トラブル・いじめ回避	あまりクラスが少ないと体育祭や文化祭がつまらないから。6年間同じクラスや3年間クラス替えがないと万が一トラブルが起きたりグループが出来たり、学校へ通うのが嫌になったとき大変そうだからある程度人数はいたほうが良いと思う。
人間関係の流動化 学校規模の平準化	トラブル・いじめ回避	少ないクラスを経験したことがないから想像ではあるけれど、人間関係が密過ぎると人間関係の躰きで逃げ場がないように思う。逆に多いと十分な諸活動の時間や機会が得られにくいように思うから。
人間関係の流動化 教育格差	トラブル・いじめ回避	学校の規模を適正化することにより、生徒の人間関係の問題、学力のばらつき等が減少するのではないかと思ったから。
人間関係の流動化 子どもの負担軽減	トラブル・いじめ回避	あまりに偏りがあるのはクラス替えがないなどの問題が起きるので、ある程度は必要だと思う。ただ強制されるものである必要はないと思う。学校の老朽化や、あまり素行の良くない子が多いと言われる学校に行きたくなくて、その学校が嫌で家を購入する人もいると思うので。
人間関係の流動化 先生の目	トラブル・いじめ回避	先生の目が行き届く学習環境は理想的ですが、クラスが少ないことで、いじめや嫌がらせによる逃げ道が狭まることの懸念があります。
人間関係の流動化 先生の目	トラブル・いじめ回避	少なすぎても友人等のトラブル解消しづらく、多すぎても細かな指導が難しい。
人間関係の流動化 保護者の負担	トラブル・いじめ回避	下の子供の通う予定の学校が高学年以外すべて一クラスしかない。6年間一クラスですずっと同じメンバーで過ごすのは人間関係などやクラスでの役割などが変わらずリスクもらると思う。また係など親の負担も増えてしまう
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	偏りの是正	人数が少ない小中学校では人間関係にも偏りが出たり、クラブや部活動も限られてしまうため。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	偏りの是正	小規模な学校では子供が関わり合える人が少なかったり、行事等で他校との差ができてしまうのではないかとと思う為。
人間関係の流動化 クラス数	偏りの是正	各学年1クラスの小学校だと、クラス替えの機会もなく、様々なタイプの子どもたちの交流が難しいので近くの大規模校の学区を調整するなどして平準化を考えた方がよいと思います。小規模校でも2~3クラスはあったほうが良いと思います。
人間関係の流動化 クラス数	偏りの是正	1クラスや2クラスの小規模学校だと友達作りの場が極端に少なく、新しい環境になった時に慣れにくい。又 人間関係で何かあった時に逃げ場がなく、偏った考え方になってしまう為 クラス数は3クラスはあった方がよいと思います。
人間関係の流動化 学校規模の平準化	偏りの是正	今後の少子化を見据えて、学校規模を適正化し、一定規模の集団のもとで、子供たちを育成したほうが良いと思うからです。
人間関係の流動化 教育格差	偏りの是正	生徒数の偏りは友人関係や学力等、大なり小なり弊害があるように思えるからです。
人間関係の流動化 教育格差	偏りの是正	各小中学校の偏りがあるまま義務教育の終了まで通うのは人格形成や教育に偏りがでそうなので。
人間関係の流動化 教育格差	偏りの是正	かたよりがでしてしまうから。勉強も友達も。

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
人間関係の流動化 先生の目	偏りの是正	少ない方の学校は人数が少ないため出会う人数が少なくせまいコミュニティになりがち。 マンモス校も目が届きにくい
人間関係の流動化 先生の目	偏りの是正	1学年1クラスはとでも目が行き届いて良い一方、人間関係の偏りが見られる
人間関係の流動化 人間関係の流動化 多様な価値観の形成	偏りの是正 交友関係拡大	小学校6年間で、1クラスで過ごした場合、交流できる友達に限界がある。また、得意・不得意なことが固定化されやすく、教師も固定概念で児童に接してしまう可能性があるため。
人間関係の流動化 その他	交友関係拡大	私自身が小学校で統廃合した経験を持つが、やはり友達の数が増え、小学校の建て替え等により様々な経験が増えた。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	交友関係拡大	自分の子供が3クラスあり、年度ごとのクラス替えで毎年新しい友達が出来ている。音楽会や運動会の集団演技など、学年で100人ぐらいいると見ていて楽しいです。鼓笛をやっていて、1つの事に学年で取り組む為にオーディションをやったりするのも、人数がいるから活性化していると思います。3クラスぐらいがちょうど良く、クラブ活動や委員会活動も活発に機能すると思います。
人間関係の流動化 クラスの人数	交友関係拡大	教育活動しやすく、いろいろな児童や先生に触れられるため。 クラス数の適正化と、1クラスあたりの人数も適正化していただけるとありがたいです。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	交友関係拡大	現在学年人数が40人程しかいないため、交遊関係が広がらない。 行事がさみしい。
人間関係の流動化 財政	クラス替えがある 方が良い	クラス替えもできないくらいの小規模な学校は色々な意味で気の毒。設備や人件費も勿体ない。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念	コミュニケーション スキルの向上	どの学校にいてもバランスよく生徒数がいた方が、コミュニケーション能力が同じように伸びると思うし、学校行事なども同じようにできると思う
人間関係の流動化 先生の目	大規模校のデメリット	マンモス校は同学年でも知らない生徒が多く、交流出来ない。 目が行き届かない。
人間関係の流動化 特色のある学校づくり 部活や学校行事への懸念	交友関係拡大	色々な人との交流、運動会、部活動などは適正人数にて行わせてあげたいが、大規模校、小規模校にもそれぞれに良い点もあるので、全て一律にしてしまわず、多様な人を育てるのには全て適正化しなくてもいいのではとも思うため。
人間関係の流動化 能力向上・刺激 部活や学校行事への懸念	交友関係拡大	ある程度の規模の学校で教育を受けた方が、多様な人と交流がはかれる、学業、部活動においてもいい刺激を受けると思うからです。
人間関係の流動化 通学 その他	交友関係拡大 通学距離重視 通学区域の見直し 地域の活性化	子どもの数が少ない学校だと世間が狭くなってしまう懸念がある一方で、統廃合だと通学に時間のかかる子どもが増える心配もあります。また学校は地域の活性化にも大きな影響を与えるものなので、安易な統廃合は避け、まずは校区を見直すのがいいと思いました。
人間関係の流動化 部活や学校行事への懸念 その他	大規模校のデメリット	マンモス校でも問題が起きやすく、少人数だとコミュニケーション不足になる。何にでも、適切がどの程度なのか今は部活問題もある。 市内が広いから学校も多い印象。
学校規模の平準化	中一ギャップ	小規模生活になれて、進学した際に生活に対応できないかもしれないため
学校規模の平準化	中一ギャップ	偏りが無くなれば小学校から中学校にあがったときにも大きなギャップも無くスムーズな気がする。
学校規模の平準化	中一ギャップ	中学にあがったときに複数の小学校から入学するが、小学校の規模が大きい方の生徒のほうがお友達が多くて圧倒される懸念があるから。
学校規模の平準化	中一ギャップ	大規模な小学校に通っている保護者からは、常に何か問題が起きていくと聞くことが多々ある。中学に上がると、大規模な小学校の生徒が仕切ってしまうため、問題が起きることも変わらない。 親である私達の頃から全く変わっていない。
学校規模の平準化	中一ギャップ	人数に偏りがあると中学校に上がったときに、少人数の小学校から来た生徒は孤独感を感じるため。
学校規模の平準化	中一ギャップ	小学校が1クラスで、中学校に上がった時に急にクラス数が大幅に増えると、いわゆる中1ギャップによる弊害が起りやすいと思うから。 クラス数が多い小学校と少ない小学校が合わさった中学校の場合、少ない小学校から来た生徒が少数派の扱いになったり、急に同級生が増え、慣れるのに時間がかかったりして不利益だと思う。
学校規模の平準化	中一ギャップ	自分が通っていた小学校が1学年1クラスで、みんな仲良くのんびりしていたが、中学校に入ると大規模な小学校出身の子たちははじめが普通だったり仲間意識が強すぎていて驚いたから
学校規模の平準化	中一ギャップ	均等人数も大事だし、少人数の小学校は、中学生のクラスで一人にならないように配慮して欲しい。
学校規模の平準化	中一ギャップ	学校規模の偏りは、多いクラス(全学年が多い)だったら高校進学や社会にでてからも気持ちにゆとりができると思うが、小規模の学校から多人数のクラスになると慣れるのに時間が必要となると思う。
学校規模の平準化	中一ギャップ	一定規模の集団にしたほうが、中学校入学の際に生じるギャップが少ないと思うから。
学校規模の平準化	中一ギャップ	一学年1クラスは、偏りすぎだと思う。 小学校時代は良いが、 中学入ってから、同じクラスに小学校出身は数人だけになってしまう。 社交的な子なら良いが、そうではない子など、ツラくなる子もいるのではないかと思う。
学校規模の平準化	中一ギャップ	クラス数が少ない小学校からの中学校入学は、 中一ギャップが起りやすいと思うので。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
学校規模の平準化	中一ギャップ	いろいろな問題はあるかと思うが、例えば、少人数クラスで6年間を過ごし、中学から大規模校へ進学となった場合、全ての生徒がそのギャップに対応できるかは限らないと思う。小中一貫の環境ができれば、違和感なく9年過ごすことができると思うので。
学校規模の平準化	地域格差の縮小	地区により偏りがあるのは仕方ない
学校規模の平準化	地域格差の縮小	地域格差を減らすため
学校規模の平準化	地域格差の縮小	地域格差が出るため
学校規模の平準化	地域格差の縮小	地域による格差をなくすため。
学校規模の平準化	地域格差の縮小	地域による格差をなくすため
学校規模の平準化	地域格差の縮小	地域によりカラーの違いがありすぎるため。
学校規模の平準化	地域格差の縮小	地域によって年齢層が異なるので無理のない範囲で偏りがないように地域分けが必要なのかと思いました。
学校規模の平準化	地域格差の縮小	地域によっての子ども的人数も違いがあるので、統一は難しいかと思ったから
学校規模の平準化	地域格差の縮小	生徒人数の偏りを減らすことで、地域による学習格差が減ると思うから。
学校規模の平準化 通学	地域格差の縮小 学校選択制	地域差が大きい。選択可能にしてほしい
学校規模の平準化	高一ギャップ	自身が少人数の学校で育った為、高校、大学の大きなコミュニティに変化した際のギャップが激しく、慣れるまでに抵抗があった為。
学校規模の平準化	難しい	必要だとは思いますが、〇〇小学校に子供を通わせたいからという理由で家を準備したりといった家庭もあるのでは？ クラス編成の偏りがあるということですが、人気の地区に学校を増やすわけにもいかないでしょうし、なかなか難しいと思います。
学校規模の平準化		人数のばらつきを無くすことで、地域ごとでの、授業の進捗について同じにする。
学校規模の平準化		人数によって環境も成績も変わってくるので出来るだけ人数を分散すると良いと思います
学校規模の平準化		あまりにも偏りがあることは教育上いいとは思えない
学校規模の平準化		1クラスの小規模校では、手厚さがあるが、少人数なため、できることが限られるから。
学校規模の平準化		1クラスと5クラスでは競争心など色々なところで差が生じると思うため。
学校規模の平準化		通学区域を見直し、ひと学年の人数を調整することは必要だと思う。
学校規模の平準化		偏るのは仕方ないので、自分で住む場所を考えるべき。
学校規模の平準化		偏るから
学校規模の平準化		偏り解消
学校規模の平準化		偏りを無くすのはいいことだと思う
学校規模の平準化		偏りをなくす為
学校規模の平準化		偏りをなくすため
学校規模の平準化		偏りは良くない
学校規模の平準化		偏りが少なくなると思うので…
学校規模の平準化		偏りが出来てしまっているのであれば必要だと感じるから
学校規模の平準化		偏りがなければ、少人数の学校廃校とかも無くなるんじゃないかと思っています。
学校規模の平準化		偏りがあるのはよくないと思ったから。
学校規模の平準化		偏りがありすぎるため。
学校規模の平準化		定めた当初から時の経過により偏りが起こっているなら、それに合わせた見直しは必要だと思うから。
学校規模の平準化		選択地域でマンモス校の説明会に行った時、「行ける人はどんどん他の学校に行ってください」と言われた事がある為。
学校規模の平準化		昔と状況が異なるため偏り解消の為にも見直し、再編を定期的に検討したほうが良いと思う。
学校規模の平準化		生徒数が片寄らないのはいいと思います。
学校規模の平準化		人数に偏りがない方が良く思うから
学校規模の平準化		人数が少ない学校と多い学校の差が大き過ぎるため
学校規模の平準化		上尾中学校とあと1校の生徒数の多さ
学校規模の平準化		小規模な学校と大規模な学校では、生徒数の違いから色々問題があると思うから。
学校規模の平準化		住んでいるエリアによって、児童数に差があるので偏りがでるのは仕方ないと思う。学校再編は徐々に進めていくのは良いと思う。
学校規模の平準化		児童が多い学校と少ない学校の差が開きすぎてしまうため
学校規模の平準化		児童が少ない地域、又は減少が見込まれる学区がある以上、見直しをするしかないと思う。
学校規模の平準化		市内の学区わりに偏りがあるように思えるため。
学校規模の平準化		今後、さらに偏りが大きくなると思うため。
学校規模の平準化		今は少人数なので
学校規模の平準化		今は新しい建物や道路ができていし団地やマンション等 偏りの原因はあると思う、昔のままではなく今の状態で 見直した方がよいと思う

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
学校規模の平準化		極端なバラつきは解消した方がよいと考えるから
学校規模の平準化		学校によって偏りがあるのはどうかと思うので。
学校規模の平準化		学校によって、かたよりをなくす為
学校規模の平準化		学区を再変更する等して人数を均等にできれば良いと思います。
学校規模の平準化		バラつきがあつておかしい
学校規模の平準化		これまでどのような環境下で過ごしてきたのか？ということは、今後の人生において少なからず影響があると思うため、偏りは軽減した方がいい。
学校規模の平準化		1学年1クラスを数年間、1学年5クラスを数年間過ごすでは大きな違いがあり、ハンデに繋がることもあると思うから。
学校規模の平準化		1学年1クラスと5クラスでは、何かしらの差はあると思うから
学校規模の平準化		1つの学校に生徒が集中し過ぎるのは良くないと思うから
学校規模の平準化		1クラスと5クラスでは差が大きと思うので。
学校規模の平準化		多すぎるところと少ないところの差が激しいから
学校規模の平準化		中学校から合併をして学校数を減らす。
学校規模の平準化		身近で過ごす友だちや先生方(大人)が同じ位の環境で過ごして欲しい。
学校規模の平準化		学区の編成は、リスクがある箇所も考えられるが、少人数制のプラスな部分は大きいと思うので、児童生徒の一つ一つの問題解決には、クラスが多くない方が、児童生徒の学校生活を見渡せる環境作りにはいいことが増えそうに思います。
学校規模の平準化		クラス数の偏りは、子どもの成長において良くないという経験があるため、やはり標準のクラス数は必要だと考える。
学校規模の平準化		同じ市内の学校で、クラス数が違いすぎるのは。。
学校規模の平準化		明らかに通っている学校より近い学校があつたり、極端に児童、生徒数の少ない学校がある為。
学校規模の平準化		居住区で決められてしまう学校環境(大規模小規模、通学距離)の差を平均化するため
学校規模の平準化		地域による偏りをなくし 平等に子供達が関わりをもち 生活できるように。
学校規模の平準化		地域によって人数の偏りがあると、学校生活での経験や人との関わり方が変わってくると思うので。
学校規模の平準化		人との関わりが多すぎても少なすぎても、人間形成や学習に影響があると思うため。
学校規模の平準化		市内統一した教育を行い、協働や人との関わりを学ぶためには、ある程度の学級数は必要と考える。また、学校によって差が出てしまうため、再編は必要と考える。
学校規模の平準化		子供は小中共に大規模校です。 名前も知らない同級生がいるまま卒業してしまったので。
学校規模の平準化		全ての児童、生徒が同じ選択肢を持つ必要があるため。
学校規模の平準化		人数の多すぎ少なすぎは解消して、少なめと多めを同学区に配置して、個々の家庭での選択肢の、一つになればいいと思う。
学校規模の平準化		市内の学校はどれも同じ環境であるということが望ましいと思うから
学校規模の平準化		大規模校と小規模校の差がありすぎだと思うからです。ただし、減らしてまとめるのではなく、今ある学校はそのままで各校の規模を同程度にする方が良いと思います。
学校規模の平準化		多すぎても少なすぎても、どちらもデメリットはある。調整できるなら、ほどほどの人数がよいと思う
学校規模の平準化		多すぎ、少なすぎはデメリットの方が大きくなると思われるため。
学校規模の平準化		生徒数が均等化されることは指導の均一化につながるため。
学校規模の平準化		人数も統一させたほうがバランスが良いと思う。
学校規模の平準化		人数の偏りがない方が一貫教育の内容統一や連携がしやすいのではと思ったから。
学校規模の平準化		人数の差は、難しい問題だと思います。 新しい住宅ができる所もあれば、子供がいない所もあるので。 様々な問題はあるかと思いますが… 学区の境目の方は選べるそうなので、少ない方に行ってもらうように促す事ができればいいのではないのでしょうか。
学校規模の平準化		人数に偏りが出るので学区で仕切るのではなく、均等に人数を分けた方がいいと思う。
学校規模の平準化		少数の良さとデメリットと大人数の良さとデメリットのバランスを取るため。
学校規模の平準化		少なくとも多くても、問題な点が出てきた時は編成見直しが必要になると思うから
学校規模の平準化		少ない学校もあり、バラつきが気になる。 多すぎても少なすぎてもそれぞれ問題があり見直しが必要に感じる
学校規模の平準化		小規模校が多くなってしまうのは、効率が悪いと思うから。
学校規模の平準化		小規模の学校と大規模な学校の差を減らすため。
学校規模の平準化		住んでる場所によって、学校に偏りがあるのは、よくないと思うため
学校規模の平準化		住んでいる地域によって多少の隔りはやむを得ないと思いますが、なるべく出来れば均等に近い人数でとは思いますが。 ただ、具体的にどうすれば均等に近い形になるかというのは、難しいと思ったので上記の回答になりました。
学校規模の平準化		児童数の偏りにより、学習レベルの差や規模感を平常化できるといいと思いました(実際には生活圏の問題などで難しいと思いますが)
学校規模の平準化		子供にとって、クラスが多くても少なくても、それぞれに良いところがあるので、一概にどちらにするべきとは言えない。しかし、財政的な事や人員の数、職員の個々の負担を考えると、標準程度に寄せていくことは必要なのかなと思う。
学校規模の平準化		学校規模の適正化
学校規模の平準化		学校規模の極端な偏りは良くない
学校規模の平準化		学校の規模を統一した方が比較しやすいと思います
学校規模の平準化		学校の規模に差がありすぎると思うため。

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
学校規模の平準化		それぞれに良さがあるとは思いますが、全体的なバランスを考えると必要かと思えます。
学校規模の平準化		クラス数の小規模と大規模の差が大きいから。
学校規模の平準化		クラスが少なすぎたり、多すぎたりすると、様々なデメリットが出てくるので、法律で定める標準程度にするのが良いと思います。
学校規模の平準化		大規模も小規模もそれぞれ良さも悪さもあって、縁あって通った場所がそうだっただけ。ただ、改善するところがあるなら直すことは、やっていい
学校規模の平準化 先生の目 通学	中一ギャップ 通学路の安全	地元が上尾で自分が小学生だった頃 児童数に偏りがあることで、 小規模小学校を卒業した子どもたちが中学校で、友達関係に苦労していたのを見た。 また、クラスの人数が多すぎても上手く人と関われない先生と関係も気付けぬ。 (自分の子供だけじゃなく、ちゃんと子どもたち一人一人と先生が関わる余裕がない。) 逆に少なすぎてクラス替えがない場合には、喧嘩したあと修復できない人間関係に長い間悩まされてしまうので、やはり平等に分けてほしいが、 通学距離が遠くなり、交通事故などの心配がある距離を登校させることになるのは、 さけてほしい。
学校規模の平準化 通学	中一ギャップ 通学距離重視	小学校に関しては通学距離が長くなり過ぎるのは心配だが、あまりに小規模な小学校は中学校入学のギャップが大きいと思うため
学校規模の平準化 通学	地域格差の縮小 子どもの負担軽減	人数隔たりが無いことは望ましいが、上尾市は学校区域を整備するほど学校数がないため、編成は難しいのでは。編成したことにより学校が遠くなると40℃近い通学路を重い荷物を持ちながら通うのが大変になる。
学校規模の平準化 部活や学校行事への懸念		人数が多い場合と少ない場合で、勉強面でもスポーツ面でも成績が上位になり安かったり、難しかったりするなどの偏りがあるのではないかとと思うので。(中学校だと高校への進路に関わってくるのでは、と思います)
学校規模の平準化 特色のある学校づくり		学力など様々な偏りをなくすため必要な反面、人数が少なかったり多かったりは地域の個性として、その対応をしっかりとやらせてもらえれば、均一にする必要もないのかなとも、思います。
学校規模の平準化 平等・公平		上尾市に引越して来る際、通う小学校のクラス数や児童の規模について調べ、標準の学区から家を選びました。同じ市内なのに住む場所によって育つ環境が変わるのは不公平な部分があると思います。
学校規模の平準化 平等・公平		同じ教育を、同じくらいの人数で受けさせるべき 人数が多くなるといじめなど発生しやすい
学校規模の平準化 その他		人数の偏りは解消された方がよいが、たくましく生きるかどうかには決して繋がらない。学校でたくましさ身に付けるという考えは、あらゆることを我慢をするという、一昔前のもの。 それがいじめに気づきにくくしていることに、そろそろ気がついた方がよい。
学校規模の平準化 その他		人数の多い学校は良いが、少ない学校の衰退予防の為になれば。 学区が変わる事に対する、兄弟関係への配慮は必要。
学校規模の平準化 学校施設 クラスの人数 通学	中一ギャップ 使用頻度 少人数学級	中学で出身校で派閥(グループ)ができたりするときに、勢力(人数)が偏らないほうがよい。 だが、人数よりも通いやすさ、施設の余裕のほうが大事。 クラス数を増やして1クラスの人数を減らせるならクラス数にこだわる必要はない。
部活や学校行事への懸念		人数の少ない学校、多い学校それぞれの良さはあると思うが、人数が多いこそ盛り上がる運動会等は子供達には体験して欲しいイベントである。
部活や学校行事への懸念		少なすぎるのも行事が寂しいと思われます。 特に体育祭。
部活や学校行事への懸念		小規模校は上尾市でやる運動会とか絶対富士見小とか大規模校に負ける
部活や学校行事への懸念		修学旅行や遠足などで人数が多すぎることに弊害が見受けられるため。
部活や学校行事への懸念		現在通っている小学校は、全学年単級ですが、クラス替えもなく、少人数のため運動会や音楽会等の行事も寂しく思います。
部活や学校行事への懸念		学校別連合等の活動に、才能のある児童が埋もれてしまいそうだから。
部活や学校行事への懸念		学校対抗の大会が出来る
部活や学校行事への懸念		学校規模に違いがあると、行事や部活動にも差がでてしまうから。
部活や学校行事への懸念		学校によりクラスの数にばらつきがあると、行事なども変わってきてしまうため、極端にクラスの数が変わらない方が良く思います。
部活や学校行事への懸念		学校からの選出など、人数制限ある物は人数の多い学校は不利が生じる為。 他、場所によっては中学校からの大人数となり、ギャップが生まれる
部活や学校行事への懸念		クラス数が違うことで、行事やクラス活動などで経験できることに差が発生すると思うので、その差がないのが望ましいと考える為。
部活や学校行事への懸念		1学年総人数を揃えることで、学校行事の際の進行がスムーズになると思います。
部活や学校行事への懸念		1学年1クラスは今までしてきた行事が出来なくてかわいそう。
部活や学校行事への懸念		1クラスのみだと、関わる人数が少なすぎるし、運動会もリレーなど出来ない種目があるため。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
部活や学校行事への懸念		娘の学年がクラスが少ないので安定したクラス数が欲しいと思ったため
部活や学校行事への懸念		クラス替えはあったほうが良いと思うし、同学年でクラス対抗(スポーツや読書大会など文化系も)があったほうが楽しいと思うので。
部活や学校行事への懸念		連合運動会、部活動の市大会等の団体戦で有利不利があると思う。
部活や学校行事への懸念		陸上競技大会や部活の大会などでも大規模校は人数が多く、強い学校が多い為大会などでも偏りが大きい。
部活や学校行事への懸念		部活動のかたより
部活や学校行事への懸念		中学校は部活動もあるので、ある程度人数が揃うことの方がメリットが多いと思う。
部活や学校行事への懸念		大会とかあっても、人数の多い、少ないでなんとなく平等ではないと思っていたから。
部活や学校行事への懸念		生徒数の偏りは、部活動の選択にもひびく。
部活や学校行事への懸念		生徒数が少なすぎると、部活動なども制限されてしまうと思うので、ある程度人数の確保は必要だと思います。
部活や学校行事への懸念		人数の多い少ないの差があると思います。バスケや、陸上大会など、素晴らしい交流があるので、差がなければ、より楽しめるのでは?と思います。
部活や学校行事への懸念		人数が少ない学校では、部活動の種類が少なかったり、廃部になってしまう部があったりするので、上手く人数を均等にできれば良いと思います。
部活や学校行事への懸念		少人数校では、部活が少なく、子供達の選択肢が狭まってしまうので。
部活や学校行事への懸念		少ない生徒の学校だと部活動が出来ないなど、子供のやりたい事を制限してしまうかもしれないので必要と思いました。
部活や学校行事への懸念		小規模校ならではの良さもあると思うが、中学校では部活動の規模、選択肢の狭さは残念に感じる。
部活や学校行事への懸念		小学校は小規模であっても、不自由さは、感じないけれど、中学校は小規模だと部活の面で入りたい部活に入れない、部活の数が少なくて入りたい部活がないなど、小規模中学校区が理由で選択肢が少ないのは残念と感じます。
部活や学校行事への懸念		子供の人数が少ないと部活の数が減っているため入りたい部活がないので。
部活や学校行事への懸念 教育格差		同じ市内でもクラス数に差がありすぎて、学習内容や行事等に偏りがあるから。
部活や学校行事への懸念 教育格差		生徒数を全ての市内で平等にすれば、教育や部活動なども必然的に平等になると思うから。
部活や学校行事への懸念 教育格差		学力のレベルやスポーツのレベルが偏るため
部活や学校行事への懸念 平等・公平		可能であれば、クラス数に差が無い方が行事や学習なども平等に行えるような気がします。
部活や学校行事への懸念 保護者の負担		少人数のところは保護者の役員決めなど大変だと思う。あとスポ少など、人数を集めるのに差が出てくる。
先生の目		統廃合は残念だと思いますが必要だと思います。先生も少なくなってきましたし、マンモス校になって先生の目が届きにくくなる事も心配です。また、ひとクラスの人数が多くなりすぎて、ひとりひとりの勉強の理解度をしっかり見れなくなるのも心配です。
先生の目		小規模学校は教員の目が行き届くというメリットがあり、それは子供たちにとって安心出来るひとつの材料であり、見られてるという意識がどこかにあれば、目立った行動は減るのではないかと思います。目が行き届かないほどの生徒数だと学校の成績のことや生活指導などその時その場でしか注意ができず、逆効果になることもあるのではと思います。
先生の目		手が掛かる掛けなくてはいけない時期の学年には手厚い教育が必要だと思う。
先生の目		クラスが多い学校では先生が生徒を見切れれないと言った事がなくなると思う。逆にクラスが少ない学校においては色々な先生との交流が出来るのではないかと。
先生の目		偏りが無い環境と不登校児のケアが行き届くと思います。
先生の目		適正な人数で学校活動をする事で、学校にゆとりが生まれ、一人一人の生徒に向き合う事が出来ると思うから。大規模校では、行き届かない点が出てしまう懸念がある為。
先生の目		大規模では保護者、職員では一人ひとりの把握対応が、どうしても行き届かない事があるかと思っています
先生の目		多人数クラスだと指導が行き届いているのか、生徒ひとりひとり把握できているのか。
先生の目		多過ぎるクラスは目が行き届かないから
先生の目		多すぎて目が届かなかったり、疎外感を感じたりすることがあると思うので。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
先生の目		先生の目の行き届く範囲が改善される。人数が多いと同じ学校なのに知らない子がいる。
先生の目		先生の目が届く人数がいいのかなと思います。
先生の目		先生の人数と子供の人数がそれぞれで同じ様に見合っているならばいいと思いますが、一方では先生の目が行き届かないような状況になるのであれば、見直す必要が必ずあると思います。
先生の目		先生1人あたりの生徒数が違うと生徒への指導量に差が出てしまう。
先生の目		生徒全員に目が行き届く人数にすべき。
先生の目		生徒数が多いと、細やかな指導が届かないと感じる
先生の目		生徒数が少ない方が先生の目が届きやすいと思うので、多い学校にはその分先生や職員さんの数も必要となるのかな、と思いますので。
先生の目		人数が多すぎる学校だとみんなに先生の目が回るのか心配
先生の目		人数が多すぎると先生の目が行き届かないような気がしてしまうし、少ないと少ないで窮屈な気がします。
先生の目		人数が多すぎて、先生が一人ひとり見ていられないと思うので。
先生の目		人数が多くなるとそれだけ大人の目が行き届かなくなるという懸念があるため。
先生の目		人数が多いと先生の目が行き届かないと思う。
先生の目		少ない地域は先生の目が行き届くと思うけど多いと見れもらえない子がいる
先生の目		小規模、大規模で生徒に対する先生の目の行き届きが違うと思うから。
先生の目		児童数が多いと先生の目が行き届かずにいじめや子ども達のヘルプサインに気づきにくくなると思うから。
先生の目		指導や学習の面で、先生の目の届き方に 差が出るような気がするため。
先生の目		規模が大きすぎると先生の目が行き届きにくいと思うから。
先生の目		学校規模が大きすぎると目が届かないから。
先生の目		マンモス校過ぎると、生徒に目が届くのか心配になる
先生の目		クラス数が多い学校、少ない学校で生徒個々に対する対応は違ってくると思うから
先生の目		クラス数が増える→児童の数が増えると、小規模の学校に比べて教師の目が一人一人の生徒に届きにくくなるのではないかなと思う。
先生の目		クラス人数が多いと、様々な子供が集まりすぎてしまい、統率がとりにくいため。
先生の目		クラスを増やす事で少人数での授業で先生も一人一人に目を向けやすくする為。
先生の目		クラスが多すぎると、子どもたち一人一人に目が行き届かなくなる。
先生の目		1つのクラスの人数が極端に多くなりすぎず、できる限り一人一人の子供たちに目が行き届くようにしてほしい。「偏り」よりもそちらを重視してほしい。
先生の目 部活や学校行事への懸念		市内で行われるスポーツ等の大会で、人数の多い学校と少ない学校では不平等であると感じる。人数が多過ぎると、教員の目が届き難く心配な為。
先生の目 部活や学校行事への懸念		現在の小学校が小規模校ですが、一人一人に目が行き届き親身に指導していたけるのが良いと思いますが、中学生になると入りたい部活がなかったり、充実した活動ができないのが残念に思います。
先生の目 部活や学校行事への懸念		大規模校と小規模校との差が大きすぎる。行事、林間学校、修学旅行など大規模校だと大移動になるし、人数が多いと先生方の目も届きにくくなる、先生方の負担も大きいと思う。
教育格差		偏りがあると学びの場が平等でなくなってしまう気がしました。
教育格差		偏りがあると、教育に差が出る
教育格差		中学の規模によって内申点に差が出て不利に感じるから
教育格差		地域によって、教育環境の格差があっはいけないと思う為
教育格差		人数の偏りを見直す必要はあると考える。 学校によって教育内容に偏りがあるのはよろしくない。しかし、それが一貫校にすることが良いとはいえないと考える。
教育格差		人数の偏りによって、学校ごとに学力や体力に差がついてしまうから。
教育格差		人数に偏りがあると、教育が公平ではないから
教育格差		人数にばらつきがあることで、学校によって教育の質の差異が起こると思うから。
教育格差		人数が多いか少ないかによって、学習に差が出てしまうかわいそうだから。
教育格差		場所によって、学校の規模が違くと、学習面でも差がつきやすくなりそうのため。
教育格差		小規模な学校と大規模な学校とでの 子供に対しての学力に差が出てしまう気がする為
教育格差		授業の進め方に片寄りが出てしまうと思うから、学区の見直し等が必要だと思う
教育格差		児童生徒が多すぎても大変だと思うが、ある程度の人数がいた方が教育活動の幅が広がり、充実すると思うから。
教育格差		市内の学力水準に偏りが生じないため
教育格差		教育格差を無くすため
教育格差		教育格差を防ぐため。
教育格差		教育に差が出そう
教育格差		規模の違いで学力にも差が生じる可能性があると思う
教育格差		規模の違いが学力の違いに繋がるかもしれないから。教育の行き届き方に差が出ると思う。
教育格差		学力の偏りを無くすため
教育格差		学年クラス数の偏りが、学べる事の偏りにも繋がると考えるため
教育格差		学習のレベルの統一
教育格差		学校規模を適正化した方が子供たちにとって教育環境が改善されると思うから。
教育格差		学校の規模に差があると学力や体力に差が出て来るのではないかな

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
教育格差		学校、学校でクラスの数がバラつきがあると学習等でもバラつきが出てしまうと思います クラス数が少ないとふれあいも偏るから ある程度均等になる様に振り分けしてあげた方が
教育格差		学業に偏りが出るため
教育格差		バランス取れた教育をして、欲しいから
教育格差		できる限り児童数の偏りをなくしていった方が、学習意欲の向上にも繋がると思うから。
教育格差		クラス編成の差を無くすことで、学校教育の質の差を少なく出来るのでは無いかと思います。
教育格差		上尾市立の小中学校で、教育環境が学校によって大きく異なる方が良いと考えるため
教育格差		学校、地域的に学力差があるため
教育格差		学校の規模の違いで活動に制限があったりするので、編成しあまりムラが出来ない方がいいと思う
教育格差		体験できることに差が出る
教育格差		小規模、大規模どちらにもメリットとデメリットがあると思います。 多感で難しい年頃の子たちなので、一律化というよりは理想的な環境をそれぞれで整えていくことが重要と考えます。
教育格差		小学校ごとに教育の偏りがないようにクラス数は揃えた方が良いと思う。が、年度ごとに入学者の人数も異なるので大幅な偏りがあるならば揃えた方が良いと思うが頻繁な編成も良くないとは思いますが
教育格差		学校間の格差を解消するため
教育格差		学校格差が生まれるため
教育格差		学校格差ができてしまうから
教育格差		小規模の学校より、中規模や大規模の学校のメリットの方が魅力を感じるため
教育格差		クラス数が少な過ぎるデメリット、多過ぎるデメリットがあるならそれを解消した方が良いと思うから。
教育格差		1クラスはない方がいいが、合併してまでやる事ではない。 むしろマンモス校にする方が問題
教育格差		子供たちが色々な人と接する中で、小規模と大規模な小学校とではいろいろな面で差が開いてしまうのでは、と思う為。
教育格差		学校交流において差が出てしまっているため
教育格差		あまり偏りがあるよりは、同じ規模での学習や体験が必要であると思うため
通学		1学年1クラスは少ないから
教育格差 その他	慎重に	小規模校は、大・中規模校と比べるとどうしても様々な刺激が少なくなり、学力や意識の低下に繋がると考える為。 しかし刺激の種類によっては悪影響の方が多く出る可能性も多大にある為、慎重に進めて行くべき。
教育格差 社会性の育成		地域によって、人間関係や学習に差が出てしまいう。
教育格差 社会性の育成		小規模と大規模では、学習や対人的な能力の習熟度に差が出ると思う。
教育格差 社会性の育成		協調性や学力の向上へ繋がるように
教育格差 部活や学校行事への懸念		人数にばらつきがあると 学年順位や部活動などに影響し 本人のモチベーションに関わりそう。
教育格差 部活や学校行事への懸念		学力や部活の活動などに差が生じると思う。
教育格差 部活や学校行事への懸念		学力やスポーツ面などで、学校によって差出してしまうかもしれないから。
教育格差 部活や学校行事への懸念		学習の差が出てしまい、競争心がなくなってしまう。また部活などの編成が出来ていないのでないか考えます
教育格差 部活や学校行事への懸念		学校の規模で学習、部活、行事などの格差が市内に存在しないほうが良いかと思うから
教育格差 部活や学校行事への懸念		バランスよく人数を調整した方が学力や体力の平均もとりやすい、向上しやすい。 イベント時も張り合いがあって楽しさが違う気がします。
教育格差 社会性の育成 先生の目		少ないクラスの学校は、人間関係が固定され、社会性を学びづらい。 多いクラスの学校は、教師の目が行き届かない。 これらのバランスの悪さは、人数が多い学校のほうが多方面で優秀な生徒の絶対数が多くなるので、学校のレベルの差ができてしまう。
教育格差 社会性の育成 部活や学校行事への懸念		小規模校、大規模校で学力、体力、交遊関係、行事など、子供たちが経験する事に差がでてしまわないようにするため。
教育格差 先生の目 平等・公平		小規模校であると色々な面で目が行き届きやすいが少々競争心にかけて人数が少ないがためにやりたいことが出来なかつたりということがあがる。(大規模校ではその逆) 公立の学校なので子供には同じ環境で公平性を持って学ばせたい。
平等・公平		市内での教育環境は可能な限り平等である事が望ましいと思う為。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
平等・公平		公平な教育
平等・公平		公教育はなるべく均質であるべきだと思うので。
平等・公平		教育環境に偏りがでてしまいそうだから
平等・公平		教育は誰にでも平等に与えられるべきと思うから。
平等・公平		教育の平等のため
平等・公平		学習環境を平等にするため
平等・公平		各学校で平等の教育が受けられることが必要
平等・公平		なるべく学校教育が平等であってほしいから。
平等・公平		子ども達の学習環境をできるだけ平等にする為。
平等・公平		小学校においては市内のどの小学校に通っていても、教師1人に対する生徒の人数が適切であるべきだと思うから。
平等・公平		偏りを減らし、皆が等しい環境で学べると良いと考えるため。
平等・公平		偏りがあるのは不公平だと思うから。
平等・公平		平等になるように
平等・公平		平等な環境であってほしいから。
平等・公平		平均化したほうがよいと思うから
平等・公平		特色を統一化する
平等・公平		得られる経験に偏りが出ないようにするため
平等・公平		同じ様な環境で様々な事が学べるのは良いと思う。
平等・公平		同じ市内の学校なので、ある程度規模が、そろっている方が、良いと思います。
平等・公平		同じ市内なのに大規模学校ではできない事が小規模学校では行われてたりして、統一されていないから
平等・公平		小規模と大規模でそれぞれにメリット、デメリットがあると思うが、義務教育なので児童全員が同じ教育レベルで指導される事が望ましいと思うので、必要かなと思う
平等・公平		公教育は、市内どの環境においても公平な条件下で行われるべきと考えるため。
平等・公平		教育の質をできるだけ均等化するために、児童数も分散、均等化を図り、各校の教員数の偏りをなくした方がよい。
平等・公平		学校規模に偏りがあると 規模によって受けられる条件等が 違って不公平だから
平等・公平		学校の規模は均等が望ましいと思います。 皆が同じような環境や状況で生活できた方がよいと思います。
平等・公平		学校によって違いや差が出来てしまう事を避ける為。
平等・公平		学校で差があるより同じ条件が適切であると思います。
平等・公平		みんなが同じような環境で(規模の大小なく)公平に過ごす事は良い事だと思うから。
平等・公平		なるべく平等にした方がよいかなと思います。
平等・公平		どこへ行っても同じような環境である方が望ましい
平等・公平		できる限り同じ環境で生活させたい。
平等・公平		すんでいる地域で差がでない方がよい、可能な限りの均一した教育が必要と思うから
平等・公平		すべての子どもたちが平等に学べるように
平等・公平		ある程度の平均化は必要
平等・公平	部活や学校行事への懸念	どの学校を出ても差がでないような取り組みは必要だと思います。行事などにおいて、人数が多いからできない、少ないから出来ないなど偏りが出来るのはかわいそう。どの学校に通ってもある程度同じことを経験させてほしい。
クラスの人数	少人数学級	少人数制で学力向上できる環境を作った方がよいと思うから。
クラスの人数	少人数学級	一クラスの人数は多すぎない方がよいと思うので。
クラスの人数	少人数学級	ひとくらすのにんずうを20人以下にしてほしい
クラスの人数	少人数学級	4クラス30人以下が良い
クラスの人数	少人数学級	1クラスの人数制限を下げた上で、クラス数の見直しをお願いしたいです。 1クラスに40名は多すぎます。 クラス数にこだわるなら、地域によっては子供の数が少ないところもあるので、上限を減らしたら良いと思います。
クラスの人数	少人数学級	1クラスの児童数が30人前後になるように調整して欲しい。
クラスの人数	少人数学級	1クラスしかないところは配慮が必要かもしれないが、無理に基準を作るより、1学年80人弱なら基準に満たなくてもクラスを3クラスにするなど柔軟な対等をしてほしい。
クラスの人数	少人数学級	クラスの人数は20-30人程度にした方が、今より目が届くと思います。なので、その分クラスが増えてしまっていますが、そこは編成してほしいです。
クラスの人数	教室のゆとり	教室が余っている学校があるなら、足りない学校の負担を減らせると思うので。
クラスの人数	教室のゆとり	クラスの広さと人数に余裕がほしい
クラスの人数	教室のゆとり	クラスの広さと人数にゆとりがほしい
クラスの人数		今通っている小学校は人数も適切であると思う
クラスの人数		今現在通っている学校は、人数(クラス数)が適正だと思うので
クラスの人数		高学年の人クラス辺りの人数が多いため
クラスの人数		学区見直しにより通学に時間を要することになる懸念。 1学年のクラス数が多くとも、1クラスの人数が適正であれば問題ないと思う。
クラスの人数		学区割を見直しして、クラス人数に偏りの無いようにした方がよいと思う
クラスの人数		クラス数よりもクラスあたりの人数のほうが重要だと思うため。
クラスの人数		クラスの人数にバラツキがでるから
クラスの人数		クラスの人数を先生が見られる範囲になるクラス数になるとよい。生徒数が多いと感じる学年もある。

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
クラスの人数 その他	少人数学級 地域間格差	1学年2～3クラスと決めるより、1クラスの人数を30～35人など少し減らした方がいいような。40人では教室も狭い先生1人がみるのは大変そう。地域によって人口、子供が増えるのは仕方がないので、全部を統一しなくてもいいと思う。
クラスの人数 先生の目	少人数学級	多すぎても、子どもたちに配慮出来ない。 学力でも小人数の方が関わりやすいと思うです
クラスの人数 先生の目	少人数学級	適正なクラス数を作ることで、子供たちへの配慮などしやすくなると思う。クラス数以外にもクラス内人数も適正化できることに繋がると思うため。
クラスの人数 先生の目	少人数学級	1クラスの人数が多くなると、先生方が子供達一人一人を把握しづらかったり、授業の理解度に偏りが出てくるように思うので。
クラスの人数 通学	少人数学級 通学距離重視	通学に多くの時間を要することになる懸念 1クラスの人数を制限できれば、クラス数が多くとも大きな問題はないのではないかとと思うので。
クラスの人数 先生の目	教室のゆとり	1クラス当たりの人数が多くて、先生方の指導が行き届いていない様に思う時がある。 法律で定める標準程度もありますが、多少クラスの数は増えても1クラス当たりの人数を少なくしてもらい、教室内もゆとりもできるし、先生方も指導がしやすくなるかと。
クラスの人数 通学	教室のゆとり 通学距離重視	教室の広さ(数)と人数が合っていないので机がぎゅうぎゅう状態で密に感じます。 近くの小学校と分散できればちょうどいいのではないのでしょうか。 また、ウチは上尾小学校の方が近いのに学区が違うということで少し遠い東町小学校になっています。 帰ってくるのにも時間がかかるし、選べたらよかったのに…と思います。
クラスの人数 その他	コロナ渦	1クラスに30～40人も居たら学習の理解度に差が出て流されて個別的な指導ができていくと思われ る。 コロナ禍であることから、密集の状態は感染対策も十分に行えない可能性が高い。 再編成などで人数を分散させる必要はあると思う。
クラスの人数 先生の目 通学	少人数学級	昔と比べて障害の有無に関わらず個別ケアが必要な児童が増えていると思うので大規模校は再編されたほうが良いと思う。また、教員の過重労働も言われているので1クラス当たりの人数も少ないほうが良いと思う。しかしそれにより通学距離が伸びて子どもの負担が大幅に増えるのであれば再編されなくてもいいと思う。特に近年猛暑や荷物の多さ等通学が過酷であると思うので、国語算数以外の教科書の持ち帰りをやめて荷物を軽くしたり日傘の利用を認める等快適な通学ができるようにするのであればこの限りではないと思う。
クラスの人数 人間関係の流動化 先生の目	少人数学級 交友関係拡大	大規模校に子供を通学させているが、先生の指導が子供たちに行き届かず、デメリットが大きいと感じる。毎年クラス替えしているが同じクラスにならなかった子もいて、交友関係も深まりにくい。一学年級25～30名×3～4クラスが一学年の規模してちょうどよいのではないかと。
クラスの人数 人間関係の流動化 先生の目	少人数学級 交友関係拡大	生徒数が少ない学校があり、先生方が目が行き届きやすいという良さもあるが子ども同士の交流など不足してしまう部分もあるため。クラス数を増やして、一クラスは20人程度にすると良いと思う。
クラスの人数 通学 先生の目	少人数学級 通学距離重視	小学校の通学区域を決めるのに一番大切なのは、通学距離ではないかと思っています。低学年は特に体力に差があると思われるので、無理な区域変更は子供達のためにならないのでは、と覚えてしまいます。 ひと学年の人数の多さは、目の届きにくさにつながるため、あまりにも差がある場合は可能な範囲で調整が必要かもしれないと思います。しかし、例えばひとクラスの人数を抑える、または、複数の先生でひとクラスを担当するなど、学区変更以外にも検討できる手段はあるのではないかな、と思います。
教員	負担軽減	適正な人数での運営をした方が、職員の負担や、教育運営もしやすいと思うから。
教員	負担軽減	偏りがあると先生方も大変だろうから。
教員	負担軽減	必要かと思いますが、住まいにもよるので、なかなか難しいのが現状だと思います。 新制度に限らず、全学年のクラスが少人数制になった方が、個々への指導もしやすく、先生方の負担も変わるのではないかと思います。教職員の人員確保が大変かもしれませんが。
教員	負担軽減	特にこだわりは無いので、先生の意見を尊重したい
教員	負担軽減	人数やクラスが多いことで教諭や保護者間での子どもへの対応等片寄りができてしまうため
教員	負担軽減	生徒への指導、教育への負担を見直す為。
教員	負担軽減	人数を均等化することにより先生の負担もかわると思う
教員	負担軽減	色々な状況もあるから、クラスの数だけで再編は決められない。でも、人数が多いと教師の負担も大きくなるので、検討することは必要だと思う。
教員	負担軽減	小規模校は産休や病休の代替職員を派遣してもらえず、職員に対しても子供に対しても不公平感がある。
教員	負担軽減	教員の負担低減
教員	負担軽減	学校や学年により1クラスの人数が違い過ぎ、先生の負担が多すぎ目が行き届かなくなる。 まだ統廃合などは難しいと思うけどこれから必ず必要になると思います。 人数が多いクラスには、副担任を設けるなどし、先生の負担を減らして上げてほしいです。
教員	負担軽減	学校の人数の偏りをなくすことで、子ども達の関わる人数の偏りもへり、教職員の負担の偏りも無くなる？
教員	負担軽減	ひとクラスの人数が多すぎると担任の先生の負担が大きい。
教員	数の不足	通学距離に懸念はあるが、教職員の人数も限られているので調整が必要だと思うから。
教員	数の不足	教職員が足りない事による教職員のレベルの低下を防ぐ為。
教員	数の不足	教員数が不足しているため
教員	数の不足	各学校のひとクラスの人数と教職員の数にばらつきがなければ無理のない範囲で必要だと思う
教員	質の向上	教員の配置や質の向上の視点も必要
教員 教育格差	負担軽減	学校規模により教員数が変わるため、教育活動や学習内容の偏りや、教員一人当たりの負担の偏りを無くしたいため。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
教員 先生の日	負担軽減	少人数クラスの方が先生の目が行き届き、能力別なども加味しやすいのと、先生の負担軽減にも繋がるかもしれないから
教員 先生の日	負担軽減	ある程度少人数制で先生の目が行き届くようになればと思いますが、教員数が増え、負担が軽減されることが前提です。
教員 多様な価値観の形成	負担軽減	子供の視野を広げることや、教職員の負担軽減になるため
教員 部活や学校行事への懸念	負担軽減	少ない分にはいいが、生徒数が多いと行事などがあつた際親の人数が多くなり、先生の手間や、時間などが無駄にかかると思うから。
教員 通学	負担軽減 通学距離重視	偏りが解消される事はとても良い事だと思う。先生や学校の負担が減るから。しかし通学時間が増えて子供の負担が増えるのは絶対にやめてほしい。
教員 通学	負担軽減 通学距離重視	通学が遠くなる子も配慮してほしいが、先生の負担も減らしてほしい
教員 人間関係の流動化	負担軽減 偏りの是正	人間関係が固定されすぎてしまう為。教員の負担が極端に変わる為。ある程度のクラスは必要かと思います。
教員 教育格差	数の不足	職員の偏り、教育の偏りなどがあると思う。
教員 時代に合わせた教育環境の整備	数の不足	クラスが少なくなるとはいえ、先生の数は必要になる。統合などその時その時に合ったことをしたほうが良いと思う。もう子供が増えることはないと思うし。
教員 部活や学校行事への懸念	数の不足	人数に偏りがあると、教員の数、行事、部活に影響が出る
教員 通学	数の不足 通学距離重視	学校までの距離の問題はありますが、統廃合なども検討しつつ教員の増強をしていただけると良いと思います。学校が減って先生もそのままであれば意味が無いと思います。
教員 人間関係の流動化 その他	負担軽減 交友関係拡大 地域の活性化	個人の意見としては、学年の人数が多くても、子供の対人的社会が広がり、好ましいと考える。その一方で、そこに携わる人員(先生)を多く充てられないのであれば、1人1人の負担が増えてしまい、仕事に追われるばかりで、心身の疲弊が増すだけ。せっかく持っていたやる気や目標を見失い、職員のワークライフバランスは崩れます。教員の不足と言われている現代では、対象となる人員の調整は見直されても、いいと思う。それにより先生方の働き方も見直されるのではないかと。日本は未来働く子供を増やす為に、少子化では居られない。子供を安心して育てられる社会を作る事で、子供が増やせる社会に変わる。子供を安心して育てられる地域には、働き盛りの子育て世代が集まり、それを狙った商業施設も集まり、地域が活性化し、住みやすく育てやすい地域に更に発展していく。子供を大切に育てる事は、今の日本にも、上尾市にも必要な事と考える。そして、ここで働きたい教師もまた増えるかもしれない!!
教員 通学 その他	負担軽減 スクールバス 地域間格差	少子化に伴い、児童生徒が少なくなると同時に先生も少なくなると、地域差がどんどん出てきてしまうので。通学が遠くなる場合は送迎車を出したり、自宅学習やオンライン授業の日を増やすなどすれば、登下校や先生の負担も減らせるのでは。
教員 通学 先生の日	数の不足 学校選択制	学級数が少ない学校を統合する事は、教員の不足解消には効果があると思う。逆に増え過ぎた学級数を減らす事も、子供に目が行き届き、教育が充実するのはとても良い事だと思う。自身は調整区域に居住しているが、希望があつて今の学校を選択している。それが変わってしまうのだろうか、という不安がある。
教員 人間関係の流動化 教育格差 先生の日	負担軽減 偏りの是正	クラスが多いとたくさんの人と出会え、逆に少ないと先生の目が届きやすいといったメリットがあると思うが、学校によって先生方のご負担が偏らないように、また、学習の環境をなるべく統一できるように、できる限り規模を統一できた方が良く考えます。
社会性の育成		子供にとっては、学校の世界が全てなので、あまり小さすぎると、世界が小さくなってしまふ気がする。
社会性の育成		子供たちの生育環境に差があるので
社会性の育成		子ども達にとっても先生方にとっても良い環境づくりができればと思います。
社会性の育成		平均化する必要は無いが、1クラスよりは2クラス以上あるほうが子供の育成には良いと考えるから。
社会性の育成		通学距離との兼ね合いもあるが、ある程度の規模の集団生活は必要だと思われる為
社会性の育成		沢山のひととの出会い、体験がその後の生徒の礎になるので必要だと思います。
社会性の育成		多くの子と関わった方が人格形成に役立つ事や、イジメなども起こりにくいから
社会性の育成		進学において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態などを考えると、幼い頃から一定規模の集団のもとで、多様な人々と協働しながら、たくましく生きる子供を育成することは必要。
社会性の育成		少しずつ集団生活に慣れるために、小中とわけた方がよい
社会性の育成		小規模過ぎず、ある程度の規模の集団の中で、人との関わり合いなどを学んで欲しいため。
社会性の育成		集団生活や社会性を学んでいくことを考えると、クラス替えなどによる新しい環境へ対応する力や、より多くの人との接点を持つことは大事だと思います。社会には本当に様々な人がいます。柔軟な小学生のうちにたくさんの人に触れることは大事だと思います。
社会性の育成		集団生活のルールを学ぶことは、社会に出てからも、役に立つ事だと思うから。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
社会性の育成		学校によりクラス数が違っているのも、良いところ悪いところ、それぞれあると思うが、子ども達が成長し社会へ出ていくことを考えると1クラスより、3クラス程の人数のなかで様々なことを経験していくことが大事なのではと思う
社会性の育成		学校がコミュニケーションを育む場所ならばある程度の人数がいた方が多種多様な人がいることも学べ、団体行動も学べると思うからです。多すぎても、まだ未熟な年頃では意思が伝えないのではないかと考えます。
社会性の育成		1学年1クラスでは社会性を学べないため。
社会性の育成		変化に対応することは必要だと考えるため
社会性の育成 その他		勉強、友達作りの基盤と言ってもいい小学校中学校時代に一人ひとりが充実した学校生活を送ってほしい。
社会性の育成 その他		学校規模の偏りをなくし、一定規模の集団のなかで多様な人々と協働していくことが理想とされますが、母校が消えていくことも残念です。
社会性の育成 先生の目		小規模校では、人との関わりも少ない為、将来的にコミュニケーション能力に欠けてしまうのではないかと不安もある。逆に大規模校では、学校についていけない児童のフォローがないがしろになってしまうのではないかと不安。先生の負担も心配。
社会性の育成 先生の目		あまりクラス数が少ないと社会性などが学べないと思うから。クラス数が多いのも先生の目が届かなそうだから適度な人数が良い。
社会性の育成 通学		多様な人々との協働は必要だとしても、実際登校などで不便となると本末転倒となる。負担も平等になるようにしないとならないと思う。
社会性の育成 能力向上・刺激		クラスが少ない学校の、学年の勉強のレベルが下がってしまう。競う人数が少ないと。社交性が身に付きにくくなってしまう。
時代に合わせた教育環境の整備		多すぎるクラス編成は改善すべきだと思いますが、今後の人口推移も考え柔軟に対応してほしいと思います。
時代に合わせた教育環境の整備		昔と今では傾向が違うので、可能な範囲で見直しがあるといいと思います。
時代に合わせた教育環境の整備		少子化等、時代の変化に適応すべきだと思うから。
時代に合わせた教育環境の整備		少子化対策の一環として必要だと思います。
時代に合わせた教育環境の整備		少子化は止められないので、いずれは再編が必要だと思うから
時代に合わせた教育環境の整備		少子化の流れは、避けられないので見直しは必要だと思います。
時代に合わせた教育環境の整備		少子化の実態に合っていない。
時代に合わせた教育環境の整備		少子化に伴い 今までのやり方ではなく現代に合わせて行くべきだと思う
時代に合わせた教育環境の整備		少子化が進んでいる以上多少の統廃合は否めないと思う
時代に合わせた教育環境の整備		少子化が進む中、このままの運用は、困難だと考える。
時代に合わせた教育環境の整備		少なくとも市内での学習環境はできるだけ偏り無くあることが理想と考えるため、時代も変わってきているのでこれを機会に学校再編を行うことは子供たちにとってプラスになるのではと思っています。
時代に合わせた教育環境の整備		小規模な学校は無理に残す必要はないのでは。未来、少子化が進む事がわかっているので残さず統合すべき。
時代に合わせた教育環境の整備		将来的に子供の数が減る事を考えた場合、学校の再編は必要であると思うから。
時代に合わせた教育環境の整備		時代の流れと共に変えなければいけないこともある。
時代に合わせた教育環境の整備		児童、生徒数が減少しているから
時代に合わせた教育環境の整備		子供達をとりまく環境は日々変化しています。柔軟に考えを変えていく必要はどんな場面でもあると思います。
時代に合わせた教育環境の整備		子供の数が少なくなるので仕方のないことだと思う
時代に合わせた教育環境の整備		子供の数が減ってきているので必要だと思います。
時代に合わせた教育環境の整備		子供の頃の体験は大人になっても役に立つから。
時代に合わせた教育環境の整備		子供が少ないから
時代に合わせた教育環境の整備		子どもが少なくなっていて、学校もどんどんクラスが減ってきているから
時代に合わせた教育環境の整備		現在尾山台小学校は全学年1クラスのみで、年々入学者が減っていて問題だと思うので
時代に合わせた教育環境の整備		一時的に差が大きくなっているのなら様子見でも良いが減少傾向が続く場合には検討が必要だと思う

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
時代に合わせた教育環境の整備		学校廃校はあまり賛成できないが 教員不足、教員の環境や教育 通うことも達や家庭事情も 時代と共に変化しているから そこに教育体制や内容 すべて 柔軟に変化すべき時なのでは
クラス数		大石中学校のクラスが多すぎるので。
クラス数		他の条件がクリア出来れば複数クラスがあった方が望ましいと思います。
クラス数		少なすぎても多すぎても問題が出てくるから2～3クラスが妥当だと思う。
クラス数		小規模学校に通わせております。 兄は小学校で2クラスでした。 弟は今3クラスです。 2クラスと3クラスの違いだけでも、 子ども同士、親の他の子とのかかわり方が違うなと感じることもあるので。 (コロナの影響も大きいとは思いますが) それが5クラスとなると、 同じ学校の子であっても見守るという感覚が持てなかつたりするのでは、と思います。
クラス数		最低でも2クラスはあった方がいいと思うから。
クラス数		現在のクラスで満足しているため
クラス数		現在、自分の子供の地区は、適正なクラス数なので、あまり実感が無い。
クラス数		ひとクラスは少なすぎる
クラス数		ある程度、クラス数があった方がいい。
クラス数		1学年、1クラスは人数が少ないと思うので。可能なら、2クラスにはしてあげたいと思います。
クラス数		1クラスしかないのは、やはり子供も保護者も不安な為、2クラス以上であれば問題ないと考えてます！ 無理に多くしたところで、違った問題が出てくると思うので…
クラス数		統廃合はよいと思う。 一学年ひとクラスというのは、考えものだと思う。
クラス数		私は中学1年の時クラスが多く、2年生から新設中学校に変わりました。大谷中学校です。4クラスしか なかったので全員の名前を覚えらるくらいの人数で過ごしやすかったため、現在の子供のクラス数を考 えると多いと思う。
クラス数 先生の目		小学校では3クラス程度が好ましいと思う。 多すぎることは抵抗がある。少ないのは仕方ないと思う。 先生の指導、目が行き届くのがこのくらいで、子供にとっても活躍できる場になり理想ではないか。
学校施設	使用頻度	校舎や校庭の広さはあまり変わらないのに、学校によって窮屈だったり余っていたりだと不公平に感じ る。
学校施設	使用頻度	学校によって、設備の格差が出てしまう。例えばクラス数が少なければ、体育館を1クラスで使用できる が、クラス数が多いと体育の授業が重なるため、何クラスかで使用するなど。タブレットも足りない学校も あると聞いたので。
学校施設	使用頻度	マンモスは体育館や音楽室の利用に不便が多そう。
学校施設	使用頻度	1学年5クラスもある学校は窮屈そうだから。 体育館や特別教室などの使用が少クラスの学校より少なくなりそうなイメージの為。
学校施設	使用頻度	標準以上のクラス数になると、特別教室や校庭、体育館などの利用が十分にできない事態が発生する から。
学校施設 その他	使用頻度	上平小と上平北小は1kmも離れていない場所にあります。北小は上平小よりも新しく校庭も広く思いっ きり走り回れます。 ただ全校生徒の人数が少ない。 こんな素晴らしい環境の北小を廃校にして欲しくありません。
学校施設 先生の目	使用頻度	小規模校と大規模校とでは、生徒が使える教材や教室、校庭に差が大きすぎるため。また児童への対 応の細やかさも差が出ると思うため。
学校施設 先生の目 部活や学校行事へ の懸念	使用頻度	クラス数、クラスの人数、いずれも多いと先生の目が届いてないと感じることがある。 また部活動の人数が多すぎて練習が足りないように感じる。 体育館を使える日や時間が少ないと感じる。
学校施設 部活や学校行事へ の懸念	使用頻度	児童数によって、児童が我慢しなければいけない事がでてくるのであれば必要であると思います。(行 事が出来ない、場所が狭い、学校で使用する道具を共有など)
学校施設 人間関係の流動化	使用頻度 トラブル・いじめ 回避	・1クラスだけだと、いじめがあった時にクラスを分けられないから。 ・マンモス校では、物理的スペースが狭く、校庭も自由に遊ばず、繊細な子(HSC)には刺激が強すぎる。 反対に活発な子も自由に遊ばずストレスが溜まると思う。
学校施設 人間関係の流動化 部活や学校行事へ の懸念	使用頻度 トラブル・いじめ 回避	1学年1クラス等の小規模な学校は部活動の充実が難しいと思いますし、イジメ等の問題も解消しにくい と思います。 また、大規模すぎてもプールや体育館の使用に制限ができてしまうなどあると思うので、適正化できれ ば良いと思います。
学校施設 人間関係の流動化	使用頻度 交友関係拡大	大規模すぎる事で学年内での連携、他学年との交流、体育館や校庭プール、トイレなどの施設利用の 調整も大変となり円滑に学校生活が過ごせない要因になりかねない。
学校施設 通学	使用頻度 通学距離重視	教室や校庭を、不自由なく使えるように環境を整えるの必要はある一方で、通学区域が変わることで通 学の距離が長くなったり、安全に問題がでたりする可能性があるから

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
学校施設 その他	地域での有効活用 地域間格差	近所では道路ができ、新築住宅も多く建ってきました。 この先、子供が増える可能性がある地域もあれば、逆に子供が減ってきている地域もあるかも知れません。 資料を見る限り、学年1クラスしかない学校は統合する事も考え、空いた学校を他に有効活用した方がいいと思います。
学校施設 通学	地域での有効活用 通学路の安全	生徒数が少ない学校は、登下校の安全が確保できるなら統廃合し、使わなくなった校舎を地域施設として再利用した方がいいと思うから。
学校施設	古い	現在、子の通う小学校について、クラス数児童数が多く、その割に校舎は古く狭く、適切な教育環境が保たれていると感じないから。
学校施設	古い	児童数が減る傾向。建物の古さ
学校施設	更新順位	小さい規模の学校は新設設備設置を後回しにされがちだから
学校施設	トイレ設置数	学校によって人数が違いすぎる 子供たちは、人数が多すぎてトイレに困ってます。
学校施設 クラス数 先生の目		我が子の通う学校が5クラスあり、大変多く感じる。自身が小学校教諭として務めているため、やはりあまり学級数が多すぎると、学年間の足並みを揃えるのも難しいのではと思う。教室配置等も、同じ学年が異なるフロアで過ごすなど、できればあまりないほうがいいのではと思います。
多様な価値観の形成		多様な価値観に触れる機会として一定数のクラスは必要と考えるから
多様な価値観の形成		多くの人間と関わる事で、だれと共に過ごすか、どの様な価値観を身につけるか、という選択肢が増える気がしますので
多様な価値観の形成		多くの人の意見や考え方に触れる機会を得ることで、心身ともに成長するから。 また、小学校から中学校に進学するうえで人間関係を円滑にするためにも出身小学校の人数に偏りを無くしてほしいから。
多様な価値観の形成		人数が平均的であった方が、いろんな個性をみることで社会に出た時に対応していく力がみにつきそう。
多様な価値観の形成		たくさんの人とかかわれるといろんな意見があるなかで教育してほしいから
多様な価値観の形成		いろいろな考えや立場をしり、偏見のない人になって欲しい
多様な価値観の形成		1学年1クラスでは少な過ぎる。 クラス替えが出来ないことによって、環境の変化への適応能力の向上が育ちにくいのではないかと心配される。
財政		児童数が減少することが分かっているのに、学校施設に巨額の費用をかけて維持管理する必要はない。学校も含めて公共施設の再編が必要であると思う。
財政		費用対効果のため
財政		少人数の学校でも固定費はかかるので、統合しその費用をあてるのが良いと思うから
財政 教育格差		コストがかかるから 教育の質が下がると思うから
小人数の良さ	小人数の良さ	人数は少ない方が親も子どもも顔馴染みになって良い。
小人数の良さ		人数が多いといじめが発生するから
小人数の良さ 先生の目		人数が少ない方が子ども達に目届き、落ち着いて学校生活をおくれると思う。また学年で仲の良い友達を作りやすいと思う。
子どもの負担軽減		子供たちに負担のかからない範囲でなら、必要である。
子どもの負担軽減		在学中に転校が生じたり、兄弟姉妹で異なる学校に通うなどの弊害が解消されるのであれば良いと思う。
子どもの負担軽減		課題は大きいと思いますが、適度な人数で児童、先生にも負担がない環境が良いと思います。
子どもの負担軽減 その他		子供の負担を考えていない小中一貫校など、ご都合主義の行政の考えた学校再編は不要です。 学校再編を考えるなら、子供のことを最優先した再編計画を考えるべき。 再編の結果、不都合があるなら、既存の学校で少人数での教育体制を考えたほうが良いと思います。 教育に投資しない自治体は消滅すると思います。
能力向上・刺激		多様性を高める時期なので、色々な人と関わり合い、個性を活かすためや、その先にある、競争社会にも対応出来るようにするには、ある程度の人数がいる学校の方が、良いと思う。
能力向上・刺激		多くの生徒と切磋琢磨することの重要性、様々な意見が飛び交う活発的な学習が必要であると考えため。
保護者の負担		役員の役割が必ず回ってくる
保護者の負担		各学校によって保護者の負担が異なる
先生の目 部活や学校行事への懸念		学校を統合することにより、教員による指導が充実すると考えます。また1学年が複数クラスになることにより、体育祭や文化系のイベントも楽しくなると思うので。
子どもの負担軽減 その他	少人数学級	学校の負担は公平であったほうが良いから。ただし、学校が減って、子供たちの負担が増えるなら、再編は反対で、すべての学校を残して、少人数で教育をしたほうが良いと考えます。
部活や学校行事への懸念 教育格差 その他	コロナ渦	感染、勉強、行事の心配をなくす為 人数が少ないから運動会が出来たりと、不公平を感じる
その他	統廃合の方法	入学時に統廃合するのならあり。 2年生以上の在校生が統廃合により環境が変わるのは反対。

どちらかといえば必要である（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「2. どちらかといえば、必要である」と回答した理由
その他	統廃合の方法	子供が少なくなってきたので、統廃合は仕方がないのかとは思いますが… なかなか難しいとは思いますが… できれば、自分の子が卒業するタイミング、または入学する切り替えのタイミングでやって欲しいとは思いますが…
その他	統廃合の方法	でも、統廃合はかわいそうです。 途中からではなければいいかと思えます。
その他	地域の活性化	地域によって少ない多いは、住宅の和にもよりますので、新しいマンション、戸建てが立つ時に市が、この地域を活性化させたいから、ここに戸建ての集まりを誘致してみようなど、考えてもいいんじゃないですか?? 市が考える事ですよ。
その他	地域の活性化	学区の見直しには賛成だが、廃校には反対。 児童数が少なくなる地域の児童数を増やすため、子どもがいる世帯・若い世代の誘致に力を入れるのも良いと思う。 (駅から遠い過疎化が進む地域でも通勤しやすいように、例えば駅の上や地下を利用して車通勤用に大規模駐車場を作るなど。)
その他	地域間格差	必要と思うが 地域によって住民の数が違うから難しいと思う
その他	地域間格差	必要であると思うが地域に住む子供の人数に偏りがある限り解決はできないものと思う
その他	検討の進め方	必要な場合もあるが今回のように地域住民や通っている子ども、保護者を置いてきぼりにするような統廃合の仕方はやめてほしい。説明、準備を時間をかけてやってほしい。 小規模校ですがマンモス校よりは私はいいと思う。
その他	コロナ渦	コロナもあり大人数の学校に通わせるのにまだ不安があるから
その他		必要はあるかもしれないが、それにより遠く離れたり人クラスの人数が増えたりしたら意味がないので、適切に行えないのならない方がいいと思う。
その他		他校との比較をする術がないため、クラス数の違いしか把握できていない中で判断できない。
その他		大規模校に集中する傾向がある。
その他		集団生活が苦手な子もいるので、必ずしも必要とは思いません。
その他		この先、人口減少に伴い必ず必要にはなると思うが、既存の場所で統廃合を行うと何処かにしわ寄せが起こる。新規で計画的に建設ができると良いと思います。
その他		必要ではあるかと思うけど住んでる場所があるから難しいと思う
その他		カラーや常識が偏り、評判や好みで学区を選ぶため。→それが正しいとは限らない。
その他		統廃合には将来を見越して慎重に精査すべき
その他		廃校にならない為に
その他		学校が閉鎖してしまう為
その他		理由はよくわからない。なんとなくです
その他		大規模は、限界がある
その他		住む場所で変わってしまうのはある程度仕方ないことだと思う。
その他		市が必要であると判断するならばいいと思う
その他		現実むずかしい面もあるから
その他		見直しをすると時間がかかってしまう
その他		見直しは必要だと思います。
その他		学校によって人数などが違うのは当たり前なので、しょうがないと思う。
その他		よく分かりませんが、そうかなと思いました
その他		とくになし
その他		とくはない。
その他		いいと思います
その他		社会で、生きて行く時に生きづらさがなくなる選択を、学校教育の場において、考える必要があるが、家庭での価値感など、個人差があり、地域性など、様々な背景があるため、一概にいけない。

どちらかといえば必要ではない（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
通学	通学距離重視	1クラス学級じゃないと通えない子もいる
通学	通学距離重視	クラス数が適正でも遠すぎる学校への登校はこどもの負担になるから
通学	通学距離重視	さらに遠くまで通う児童が、増えるのは可哀想
通学	通学距離重視	それにより、子供の通学距離が伸びてしまう。距離が伸びることによって、危険な場所も出てくる可能性もある。
通学	通学距離重視	やはり通う学校までの距離が遠すぎると子どもにとっても負担だし、あまり遠いと事故事件に巻き込まれないか心配がある。 それに配慮できる範囲での編成ならよいがなかなか難しいと思う
通学	通学距離重視	越境通学は大変だから
通学	通学距離重視	遠くなったりすると困る。
通学	通学距離重視	家が遠くなる
通学	通学距離重視	学区が広がり過ぎるのは安全面であまりいいと思えない。
通学	通学距離重視	学区が広範囲になると遠くなる可能性が出てきて、通学路が心配になるから。
通学	通学距離重視	学区が変わり、今までよりも遠い学校となることが考えられ、登下校に時間がかかる事、また安全面でも心配なため。 夏場は特に熱中症の危険が増してしまうため。
通学	通学距離重視	学校がおとなりかよいくくなるかのうせいがあるから。
通学	通学距離重視	学校が遠くなった場合、通学に時間がかかってしまう
通学	通学距離重視	学校が遠くなると困るので。
通学	通学距離重視	学校が遠くなる子が増えるんじゃないでしょうか？
通学	通学距離重視	学校が過度に遠くなるのはよくないので無理にする必要はない
通学	通学距離重視	学校に通う距離が遠くなると危ないから
通学	通学距離重視	学校の規模の大小はそれぞれにメリットがある 学校再編で登校距離が長くなることはメリットがない
通学	通学距離重視	学校の統廃合は、遠くに通う子が出る
通学	通学距離重視	学校までの距離が遠く 移動時間が増え 学習の時間が減るから
通学	通学距離重視	学校までの通学距離などが極端に遠くなる場所も出来るため、通学での事故等にも関わるため。
通学	通学距離重視	学校まで遠くなるなら、そのままだがよい。
通学	通学距離重視	学校規模の偏りは致し方ない問題。 学校を統廃合することにより学校数が減り、それによって登校時間が大幅に増える児童が出てくるなら、それも問題だと思う。 重たい荷物を背負い、特に夏場は昨今の異常な猛暑の中を登下校するのは危険。 その辺りをクリアできる方法を見出せるならば、検討の余地はあると思う。
通学	通学距離重視	学校再編の為に今より学校が遠くなるのは、非常に困る。 特に小学生などは、歩いて通わないと行けない為
通学	通学距離重視	学校統合も必要だが安全安心に通える通学時間、環境があると思うため
通学	通学距離重視	学校統廃合すると学校が遠くなり、登下校に危険が伴う
通学	通学距離重視	学校統廃合などにより、通学に時間がかかってしまうこともあり得るから。
通学	通学距離重視	学校統廃合により、こどもの通学時間が長くなる
通学	通学距離重視	学校統廃合により、学区が変わり、学校までの通学時間がかかるようになり、子どもに負担がかかるのは本末転倒だと思うので。
通学	通学距離重視	学校毎に人数を統一してしまうと、学校から自宅までの距離が遠くなってしまい、登下校に時間がかかってしまう為。
通学	通学距離重視	距離が遠くなるのは子供たちのためにならない
通学	通学距離重視	距離が問題
通学	通学距離重視	共働きをしているので、自宅から近い学校へ行ってくれるのが一番安心です。
通学	通学距離重視	区域が変わると、今よりも学校からの距離が長くなってしまふ子が出てきてしまうから。
通学	通学距離重視	兄弟で違う学校になったり、学校が遠くなったりするかもしれないから
通学	通学距離重視	今通っている学校は家から通いやすい場所にあるように学区設定していると思っているが、通学先が遠くなるようでは安全面で考えるとどうかと思う。
通学	通学距離重視	再編すると、学校まで遠くなってしまふ子など、距離的に偏りが出てしまうため。
通学	通学距離重視	再編すると通学時間が長くなる場合がある。それは避けてほしい。
通学	通学距離重視	再編によって遠くまで通学したり、危険な経路を通ることになる場合があるから。
通学	通学距離重視	再編時期によって、兄弟で通う学校に通ったりする事になったり、通学時間が増えるのが嫌だから。
通学	通学距離重視	再編成して通学距離が長くなると子どもが大変だから
通学	通学距離重視	最近の情報の学校再編の場合ですと、通学時間がかかりかかる学校に行かなければいけない地区があったので、そこは問題だと思いました。
通学	通学距離重視	子供の人数の偏りはわかるが、学区を見直すと通学が困難になる子もでてくるから
通学	通学距離重視	子供の通学時間が長くなるのはかいそうだと思えます。
通学	通学距離重視	子供を取り巻く環境が、危険にさらされる事が少なくない昨今、通学時間はなるべく少ない方が望ましいと思う。 統廃合によって、通学時間が長くなったり、一人で通学しなければならない距離が長くならない様に配慮すべきだと思うから。
通学	通学距離重視	子供達が通いやすい環境が大切だと思うので、統廃合により学校数が減ることは、反対です。
通学	通学距離重視	子供達には、学年の人数がどーとかあまり関係ないのでは？学区見直しによって、学校が遠くなる子がいたら、その方が可哀想だなと思えます。

どちらかといえば必要ではない（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
通学	通学距離重視	市内でも人口の偏りがあって当然と思う。学区再編で通学に時間のかかる遠い学校に登校するならば、近い方が負担も少なく、現状維持が良いと考える。
通学	通学距離重視	市内の人口分布からして偏りが出るのは当然であり、通学区域の見直しによる登下校距離の拡大には不安感しかない。
通学	通学距離重視	児童数の違いは確かに気になるが、小学校の数を減らして小中一貫校を作ったりした場合、通学時間、距離、その方法や災害時の避難先の確保など不安がある。
通学	通学距離重視	自宅から1番近い学校に通えなくなってしまう為。
通学	通学距離重視	自宅からの通学時間や距離を考えると、地域によって児童数の偏りがあっても仕方ないと思う。
通学	通学距離重視	自宅から遠い学校になる子が出ることが予想されるから。
通学	通学距離重視	小学校に関しては、通学距離の問題が出てくる為。
通学	通学距離重視	小学校は自分の足で通える範囲にしてほしい。
通学	通学距離重視	小学生は特に子供の足で通える範囲が大事だと思う。
通学	通学距離重視	小中学生、特に小学生では、通学距離や時間が生活週間に大きく関わるとおもいます。まずは、子どもたちが、自分自身で、通える適度な距離内に公立の学校があることが、望ましいと思います。
通学	通学距離重視	人数が多く分離するのは問題ないと思うが、統廃合の場合は学校までの距離が遠くなったりデメリットも出てくると思う。
通学	通学距離重視	人数を合わせる事と通学距離を合わせる事は矛盾するから。
通学	通学距離重視	生徒数に偏りがあるのは出来れば解消したほうがいいのかもかもしれないが、学区が変わり学校まで遠くなる方が心配。特に中学生は帰りが遅いので。偏りは程々に今までの学区編成程度でも良いのではと。場所によってなので一斉にするのはどうかと思う。
通学	通学距離重視	大規模な学校を分割するのは賛成ですが、少子化傾向の現在で今後学校を新設するとは考えにくく、学区の見直して通学時間が増えてしまったり、安全な登下校ができなくなる事だけは絶対に避けたい為。
通学	通学距離重視	地域によって人口数が違うので、わざわざ遠くの範囲にする必要がない。
通学	通学距離重視	地域に偏りが出てしまうのは仕方のないこと。子ども達にとっても親にとっても通学の時間はとても重要。あまり遠くになってしまうのは親子共々不安だと思う。
通学	通学距離重視	地域の小規模学校を統廃合するべきではないと思う。通学等が遠距離になり、通う生徒の負担が増してしまうと思う。
通学	通学距離重視	通いやすい場所へいくことが大事だと思う
通学	通学距離重視	通学が徒歩なので、通学時間が長くなると思われるため。子どもの事故・事件が多く、見守りの問題。
通学	通学距離重視	通学が便利になればよいが、再編によって通学距離が遠くなり大変になる人もいると思うから。
通学	通学距離重視	通学距離がどう変わるのか気になる
通学	通学距離重視	通学距離がながくなり、児童の負担になるため。
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなったりするのは大変
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなる可能性があるため。
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなる子供が出るのは可哀想
通学	通学距離重視	通学距離が長くなり、負担になる子どもも出てくるのでは。
通学	通学距離重視	通学距離が長くなるのが心配
通学	通学距離重視	通学距離が長くなるため
通学	通学距離重視	通学距離など毎日の生活に不便さが出る可能性は考慮したほうが良いように思う
通学	通学距離重視	通学距離の考慮が必要なため。
通学	通学距離重視	通学距離の問題もあるので、統廃合して通学距離が増えてしまっは子どもの負担も増えてしまうと思う。
通学	通学距離重視	通学距離や時間が長くなることも増えるのではないかとと思うから。
通学	通学距離重視	通学距離や時間の問題が出てくる可能性がある。
通学	通学距離重視	通学距離を優先すべきであると考えます。生徒数が少なく全学年のクラスが2組くらいしか無いのであれば統合も検討すべきかと思いますが、通学距離が遠くなってしまうのであれば現状維持が妥当だと思います。
通学	通学距離重視	通学区域が広がると通学時間が長くなるため、安全面に不安を感じる。
通学	通学距離重視	通学区域が広くなりすぎるため
通学	通学距離重視	通学区域が変わると、学校が遠くなる可能性も出てくるので。
通学	通学距離重視	通学区域が変更になると、学校が遠くなる子供もいるので大変だから。
通学	通学距離重視	通学区域の見直しや学校統廃合になると、遠い学校に子供が通う可能性がある。中学生ならよいが、小学校低学年の子を持つ親にとっては不安しかない。
通学	通学距離重視	通学区域を見直すことによって、遠くの学校に行かなくてはならないのは、中学生の子供には負担だと思う。
通学	通学距離重視	通学区域を見直すことによって、登校距離が長くなってしま子供が出てきてしまう為。
通学	通学距離重視	通学区域を見直すと遠距離通学が増えるから
通学	通学距離重視	通学区域を広げると 通うのが遠くて大変になる。登校も苦痛になる子もいる
通学	通学距離重視	通学時の安全面を重視するには、通学区域はあくまでも家からの距離で決めるべきだと考える。再編により、学校への距離が伸びるのであれば、クラス数が少なくても、再編すべきではない。
通学	通学距離重視	通学時間が最短の学校に通えることを優先するべき
通学	通学距離重視	通学時間が長くなってしまなどの問題があるため。
通学	通学距離重視	通学時間が長くなってしま可能性があるから。
通学	通学距離重視	通学時間が変わらない、もしくは短くなるのならいいと思うけど遠くなってしまのは良くないと思う
通学	通学距離重視	通学時間や距離、通学路の安全確保が最重要と考える為

どちらかといえば必要ではない（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
通学	通学距離重視	通学時間を長くしてまで、学校の人数を平均化する必要はない
通学	通学距離重視	通学路が遠いのは問題
通学	通学距離重視	通学路が長くなる 1クラスの人数が増えると、目が行き届かなくなる
通学	通学距離重視	低学年が歩いて通えるか疑問だから
通学	通学距離重視	適正化することによって、通学に時間がかかる子供が出て来そうだから。
通学	通学距離重視	登下校時間がかかりすぎるのは、昨今の異常気象を鑑みても、良いとは言えない。
通学	通学距離重視	登校距離
通学	通学距離重視	登校距離が延びるのはあり得ないです。
通学	通学距離重視	登校距離が長くなるため。
通学	通学距離重視	登校距離や通学経路を考えることも大切にしてほしいです！異常な暑さのなか、何十分も学校まで時間がかかってしまうなどは辞めてほしいです。
通学	通学距離重視	統合すると、通学距離が遠くなる子が増えると思うから。
通学	通学距離重視	統廃合によって学校までの距離が遠くなる生徒がいるため、帰りが遅くなる、暗くなる、防犯などの安全面に不安が出てくる。
通学	通学距離重視	統廃合により、通学路の安全の確保や通学距離が著しく延びてしまう影響が出る場合には良くないと考えます。安心して通学できる環境が第一だと思います。
通学	通学距離重視	統廃合により子供の通学などに負担がかかることもある。
通学	通学距離重視	統廃合により児童の通学距離や通学にかかる時間などに考慮が必要と思う為。全ての家庭が統廃合を希望するとは限らないこと、市の学校づくりを推進するあまり不利益をかける家庭がないように考えていただきたい。
通学	通学距離重視	統廃合により通学の距離が長くなってしまふことは子供への負担が増します。
通学	通学距離重視	統廃合により通学距離が延びる子がいるなら反対。重いランドセルの中身を軽くする取り組みの方が先だと思う。
通学	通学距離重視	統廃合により通学距離が大幅に伸びるケースが心配
通学	通学距離重視	統廃合や学区の変更で学校への距離が遠くなるのはよくない。
通学	通学距離重視	統廃合や通学区域を見直すことで、学校が遠くなってしまったり、通学に負担が生じてしまうのでは充実した学校生活がおくれないと思う。
通学	通学距離重視	統廃合をすると、学校が遠くなる子が出る。特に低学年のうちは重いランドセルを背負うので、長時間の通学は可哀想。安全面も不安。
通学	通学距離重視	統廃合をする事で通学時間がかかるようになる子が出るため。
通学	通学距離重視	統廃合等を行うと通学だけで疲れてしまうため
通学	通学距離重視	同じ小学校の子が増えるのは子供としては嬉しいと思う。 しかし、統廃合することによって登下校の時間が増える子供も増えると思う。 温暖化が進む中、熱中症や台風の影響など心配。
通学	通学距離重視	特に小学校で通学距離が長くなることは好ましくないと考えるため。
通学	通学距離重視	必要かもしれないが登校距離が遠くなってしまふ可能性もあるから
通学	通学距離重視	必要ではあるが、統廃合で家から遠くなる人もいるので、心配はある。
通学	通学距離重視	偏りは無い方が良いし見直しは必要だと思うが、子供が多い地域少ない地域があるので正直仕方がないと思う。 偏りをなくすために一部の子供が通学時間長くなったりするのは？
通学	通学距離重視	偏りを解消しようとする、学校のからの距離など遠くなってしまふ子も出てくるのではないかなと思う。
通学	通学距離重視	偏りを解消することで、通学時間が長くなるなどの弊害が出てくると思う。
通学	通学距離重視	偏りを解消するためにわざわざ遠い学校へ通わなければいけない児童が出てきてしまう。スクールバスなど通学手段があれば良いが、特に暑い日は通学に時間がかかるのはかわいそう。
通学	通学距離重視	編成した事により、通学路が長距離になり、交通量多い道路やひとけのない危険箇所や増えてしまふのではないかなと思うので、どちらかといえば必要でないと思う。
通学	通学距離重視	編成し直すと通学距離が遠くなったり、通学路の安全面が心配。
通学	通学距離重視	編成するのであれば、通学の距離を一番に考えてほしい。
通学	通学距離重視	無理に遠くまで通う必用はない。 バスがでるなら賛成だが、こどもの徒歩通学に距離があるのは反対
通学	子どもの負担軽減	1学年2クラス以上は欲しいところだが、統合対象にした方が良い学校ほど、通学が困難になりそうであるため。
通学	子どもの負担軽減	学区が極端に離れてしまふと通学が大変になってしまうので
通学	子どもの負担軽減	学校がこれ以上遠くなるのは子供の負担が大きい。タブレット化されても小学校も中学校も持ち物が多く、かなり重い為毎日の登下校を考えると近い方が安心である。
通学	子どもの負担軽減	学校の統廃合は仕方ないかもしれないが、子供の通学区域は昔から熟考して設定してあると考えるので、ただでさえ重たい教科書等を持って登校する距離を変更する必要があるのかと思うから
通学	子どもの負担軽減	自宅から通える範囲の学校に通うので、学校により人数が変わるのは仕方ないし、それが承知で住んでいるのでは。 登下校の心配もあります。放課後に友だちに会うなど、家から遠いと大変な事も出てくると思う。
通学	子どもの負担軽減	自力で通えなくなる
通学	子どもの負担軽減	小学校は登校距離が近い方が負担が少ないと思うから。
通学	子どもの負担軽減	小学校入学時はまだ体も小さく、通学距離が長くなると安全面、健康面で不安だから。

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
通学	子どもの負担軽減	通学が遠くなり、子供の負担が増える可能性が高い
通学	子どもの負担軽減	通学に時間がかかり大変になる子が出てくるから
通学	子どもの負担軽減	通学に時間が要するのは負担を感じる。
通学	子どもの負担軽減	通学の距離、それにかかる時間はクラスの数より重視したい
通学	子どもの負担軽減	通学の距離が長くなってしまうと児童の負担になってしまうため
通学	子どもの負担軽減	通学の負担が大きい
通学	子どもの負担軽減	通学距離、時間が延びると低学年はしんどい
通学	子どもの負担軽減	通学距離がかなり伸びてしまう子が出てくると思います。荷物が重いので、低学年の子は特に配慮する必要があります。
通学	子どもの負担軽減	通学時間が長くなると、熱中症、ケンカ、荷物が重いので負担にしかならない
通学	子どもの負担軽減	通学負担
通学	子どもの負担軽減	登下校の負担が増える心配がある
通学	子どもの負担軽減	統廃合することにより自宅から遠い小学校へ通わないといけなくなり通学距離が長くなるため。中学生は自転車を使えばいいのだが、小学生は暑い夏場など30分以上かけて登下校するのが大変である。
通学	通学の安全性	クラス人数の適正化以上に、小学生にとって学校までの距離が長くなるのは体力的にも安全面でも負担が増え、デメリットの方が上回らと思うので再編はあまり必要ないと思う。
通学	通学の安全性	学校が遠い子などがでてしまったり、大きな幹線道路などを通らないといけなくなったり危険を伴うようになりそうだから。 安全が一番大切。
通学	通学の安全性	住む場所によっては通学に距離ができて安全確保が難しくなると思うので必ずしも必要ではないかと生徒の安全(犯罪に巻き込まれないように、夏冬の気温での体調面など)を重視した方が良い
通学	通学路の安全	児童数、生徒数の偏りは気になるところですが、実際統合などで学校数が減ると通学範囲が広くなり、登下校が大変になったり防犯面が不安です。
通学	通学路の安全	通学距離が長くなる事は、そのまま事故のリスクが上がるため
通学	通学路の安全	通学路など他の問題が生じる。偏りが出るのはある意味仕方がない。
通学	夏場の通学の安全性	外国のようにスクールバスが出るならまだしも、出せない世の中ならあまりにも遠方の子供はかわいそうです。(特に今年のような猛暑時)かといって自転車通学は反対です。
通学	夏場の通学の安全性	学校が遠くなると、夏の暑さが心配
通学	夏場の通学の安全性	学校統廃合をすることで現在の通学距離よりも遠くなってしまう場合があると子ども達に何年も大きな負担をかけることにならないか。この酷暑が今後も予想外される状態で体力のない1年生が重いランドセルを背負って登下校するなかで熱中症等の心配もある。
通学	夏場の通学の安全性	自宅から学校まで遠くなることもあり、特に今年の夏のような気温では命の危険を感じます。また登校班集合同所まで遠く、子供が1人になる時間が長いなども聞きます。ランドセルも重く、からだのふたんもしんばいです。無理のある編成は必要ないと思います。
通学	夏場の通学の安全性	通学の距離が長くなると防犯の面や夏の体力が心配だからです
通学	夏場の通学の安全性	通学距離による。距離が長いと夏は熱中症が危険だし、防犯面も心配。ただし、中学生は自転車通学できると思うので、話しを進めていいと思う。
通学	夏場の通学の安全性	通学区を編成することで、通学距離が遠くなった場合、夏場は熱中症が心配だし、冬場は防犯が心配。 安全に通学出来ることを一番に考えてほしいです。
通学	学校選択制	クラス数の多い学校で満足している。近くにクラス数の少ない学校もあるので、そっちがいい人がそっちに行けるよう選択肢を広げればよいのではないかとと思う。
通学	学校選択制	通学距離が遠くなる子供がでるから、選択制でいいと思う
通学	学校選択制	学区を選べるわけではないけれど、引越などによって選ぶことが可能な場合にその子や家族の意見にあった規模の小さい学校、大きい学校と選べた方がいいと思う。
通学	学校選択制	実施することで選択地域はどうなるのかと気になったので。
通学	学校選択制	地域ではなく個人で決められる柔軟性が欲しい(学区は違うが通いたい小学校に通える制度)
通学	学校選択制	通う子供が選べばいいと思う。
通学	学校選択制 通学距離重視	通いやすいのが良い。 個人 で選べると良い

どちらかといえば必要ではない（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
通学	スクールバス	クラスが適正数になるのはいいが、学校までの距離が極端に遠くなってしまう子にはスクールバス導入又は親による送迎を許可すべき。炎天下を1時間程歩くのは危険。
通学	スクールバス	スクールバスや、自転車通学出来るのであれば、必要だと思います。
通学	スクールバス	遠方から通学する必要がある場合、スクールバス等の交通手段がないと、安全な通学が困難であると思われるため。
通学	スクールバス	学校が少なくなると通学距離も長くなる。スクールバスでもあれば良いが。
通学	スクールバス	学校まで遠くなる生徒がでそう。特に小1は大変なので、やるならスクールバスもあわせて検討してほしい。
通学	スクールバス	大規模学校については、分校にして適正化すべきと思いますが、小規模学校については、統合するとかかなりの遠距離通学になってしまうため、残しておく必要があると考えます。遠距離になる場合、スクールバス等の配慮が必要と考えます。
通学	スクールバス	地理的な問題で、子供たちの登下校距離が著しく遠くなる子もでてくるので、体力面や防犯面でも心配。ただし、スクールバスなどの対策がとれるようであれば学校再編自体に反対ではない。
通学	スクールバス	調整は必要ではあると思うが、統廃合ではなく、学区調整の話し合いやスクールバスの導入などで人数の偏りは解決できるのではないかと思います。
通学	スクールバス	通学区の見直しにより、通学に時間がかかったり、安全な経路での通学が難しいならば、子どもたちの負担となるので必要ない。通学バスなど出るなら検討の余地あり。
通学	スクールバス	平均したクラスにする為に遠くから子供を歩きで通わせるのは、可哀想だと思う。ただ、スクールバスや、自転車通勤等あれば、再編した方が良いと思います。
通学	通学区の見直し	母校は母校のままあって欲しいから。通学区見直しはいいが、統廃合はして欲しくない。
通学	通学区の通学区の見直し	大規模化は解消した方がいいと思うが、学校統廃合ではなく、通学区の見直しでできないのか。
通学	通学区の通学区の見直し	通学区の見直し
通学	自転車通学	通学時間が長くなってしまふことで、支障があると思う。学校までの距離が長くなる場合、今よりも自転車通学可能な範囲を狭くするべきだと思う。
通学		実際偏りがあるのは問題かなと思いますが、そのために通学区が見直しとなると小中学校は特に大変かなと思います。
通学		通学するのが難しくなりそう
通学		通学に支障がなければ再編をしてもかまわないと思う
通学		通学に支障が出そうだから。
通学		通学区が不自然になるなら今のままでいいと思う
通学		必ずしも人数的に均一にする必要はないと思うため。それぞれの環境を生かしてやれることを探るほうが、文化ができて面白いのではと考えます。また、統廃合や学区再編などで通学そのものが困難になるのは日々の暮らしに影響が大きすぎると思います。
通学 クラスの人数	通学距離重視	クラス数だけを見るのではなく、通学の距離やクラスの大きさに対する人数を考え直す必要がある。統廃合はよく見極めてからが良い。
通学 居住地選択理由	通学距離重視	家の購入や、引っ越しの際、通学区を確認して決める人も多いため、近い将来に変更されてしまうと困る人もいます。統廃合して、通学が長くなることで、交通安全面が心配です。遠い場合は通学班ではなく、保護者の送り迎えが出来る様になれば有難いです。
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	居住地によってクラスの数に差があるのは、仕方ない事。無理に統廃合して通学距離が遠くなったり学区が広範囲により学校の友達同士で気軽に放課後に近所の公園など遊びに行けないのは、子供が可哀想だと思う。
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	見直すことで、通学距離が遠くなってしまう子や友達の関係が変わってしまうことで、馴染めない子が出てこないように、配慮する必要がある。
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	再編にあたり、通学時間等が長くなるなら考え直して欲しい。クラスが多くても少なくともメリットデメリットはあると思うので、慎重に行うべき。子供の意見も取り入れて決めてほしい。
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	通学距離が長くなる可能性ありのため。現実に、北本市の小中学校が人数減少により統廃合となった。廃校となった学校の子は通学時間が長くなり、またさみしい田舎道を通学しなければならない。さらに、廃校となった学校の子は、新しい学校に行って、転校生、よそ者扱いでつらいと話している。現実に色々問題が発生していることも理解いただきたい。
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	統廃合された場合、学区が広くなるとから、登下校の安全が保てなくなる可能性がある。治安や夏場の熱中症など。また、もともとの地域性があることから、広くなることで人間関係の構築に時間がかかることや地区のギャップからトラブルが生まれることが懸念される。
通学 先生の日	通学距離重視	学校規模の偏りを解消する為に、通学圏が広くなり、通学時間が長くなる。大規模にする事で、ますます教員の目が届かなくな等、デメリットしかないから。
通学 先生の日	通学距離重視	統廃合は必要ない。人数の偏りは無くせる方がいいが、通学距離が遠くなることは、子供にとってはかなり負担。先生方の目の行き届く範囲でクラス編成をしてもらいたい。

どちらかといえば必要ではない（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
通学 地域とのつながりが 必要	通学距離重視	小学生には地域の繋がりや、学校までの距離も優先と感じる為。
通学 保護者の負担	通学距離重視	学校統廃合により子ども達の通学距離、時間が長くなって登下校時が心配です。下校防犯ボランティアの方々の時間的体力的な負担も増してしまう心配も。
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視 通学区域の見直し	1.遠くから学校に行くことになる。2.現在通学している子供も対象であれば、他の学校へ動かすことは、いいと思えない。3. 学区が複雑になることから。
通学 その他	通学距離重視 避難所	児童数の違いは気になるが、小学校の数を減らして小中一貫校を作ったりすれば、通学の距離や時間、その方法、災害時の避難場所の確保など不安がある
通学 その他	通学距離重視 避難所	通学距離が長くなるから。 避難場所が遠くなるから。
通学 教員 偏りを許容	通学距離重視	出来たらみんな同じ条件の下でクラス編成があつたらいいと思いますが、住まいの事なので...大規模な学校が出てきてしまうのは致し方ないと思います。学区見直しで、わざわざ通学が遠くなるのも毎日の事なので大変です。先生が無理なくみれていたらいいのではないのでしょうか。高校&大学&専門に進めば、ごまんといらっしゃいますからね。
通学 偏りを許容	通学距離重視	地域によって住人の年齢や人数に偏りが出てしまうのは、仕方がない事だと思うので、1学年1クラスだとしても、考慮すべきだと思う。小さい子を遠くまで通わせる事の方が心配である
通学 小規模校の良さを 生かす	子どもの負担軽減	統廃合によって学校までの距離が遠くなる場合、ただでさえ暑くて荷物も多いのに自転車通学できない小学生は大変。 また小規模ならではの異年齢交流や先生方との交流が好ましいと思っているので。大人数での社会性などは高校、大学でも学べるので一律に小学校を大規模にする必要はないと思う。
通学 その他	子どもの負担軽減 通学区域の通学 区域の見直し	学校再編で、通学が遠くなるのは、子供に負担が大きいのではないかとおもいます。児童生徒数の問題は、もう少し学区の検討をすとか、各校の交流時間を設ける(クラブを合同にする、総合の時間は交流教育も念頭に、など)検討材料も多くあるのではないかと思います。
通学 保護者の負担	通学路の安全	学校が遠すぎると、通学時間がかかったり、自宅につくまでの危険が増すと思う。今以上の見守りなどが必要になると保護者や学校側の負担も増えると思う。
通学 その他	通学路の安全 避難所	学校統廃合によって通学の負担が大きくなったり、事故の危険性が高い道を通る登下校を強いられる子どももいる為、数字上だけで考える数を減らす再編の決定は避けるべきだと思うから。 また、地域の避難場所となっている学校を廃止することにも疑問がある。 学校は公共施設であり子どもだけでなく地域住民全体の施設という前提を看過すべきでないと思う。
通学 その他	通学路の安全 避難所	通学路の安全が確保されていない現在、統廃合することで、通学の安全が保証されない不安がある。少子化だから学校を減らすということだと、避難所等の問題が出てくる。もう少し大きな視野で計画しないといずれ弊害がでると思う。
通学 廃校への懸念	夏場の通学の安全性	学校統廃合する場合、通っていたら学校がなくなってしまったら子供が悲しむ。 また、遠い距離まで通わないといけな生徒も出てくる。真夏の暑い日に重いランドセルを持って、何キロも歩かせるのは危険だと思う。(特にまだ身体が小さい低学年は心配)
通学 その他	夏場の通学の安全性 地域特性	大規模学校を標準規模の学校制度にすることは良いと思うが、小規模学校は教員が全児童をしっかりとみてくれているので、そのままでも良いと思う。 新興住宅地の増加で学級数が増加している地域もあるが、一時的なものなので、早急に統廃合は必要ない。 通学区域を見直す場合は近年の地球温暖化による熱中症リスク、道徳的観念が欠如している人間増加による子ども達が犯罪に巻き込まれるリスクを減らす為、徒歩20分以上かかる学区ではスクールバス運行等の検討も必要。
通学 現状維持	通学路の安全	統廃合すると危険な通学路を通ったり、距離が遠くなってしまうので心配です。 少人数で子どもは楽しそうなので今のままでいいと思います。
通学 偏りを許容	夏場の通学の安全性 通学距離重視	再編のために通学時間や距離が遠くなってしまうのは、色々なリスクがたかくなってしまふと考えるため。(異常気象下での通学や、犯罪の面において)
通学 居住地選択理由	学校選択制	戸建てで学区を考えて転居している家庭もあるため、途中で学区が変わり兄弟で別々になることは避けたほうが良い。 選択できるのであれば構わない。
通学 小規模校の良さを 生かす	学校選択制	規模は学校の特色でもあり、小規模校は意思疎通が図りやすいなど良い面がある。保護者による送迎やぐるっとくんの活用などで、市内全域で学区外通学を認めるのもよいと思う。 再編で通学先が遠くなると、過疎化が進んだりスクールバスが必要と思われる。小規模校のメリットを活かし、可能であれば維持できるとよい。
通学 偏りを許容	学校選択制	居住地によって偏りが出るのは致し方ないと思うし、そこも含めて居住地を決めている部分もある。むしろ、学科域を柔軟にしてある程度選べるようにした方が良いのではないかと
通学 偏りを許容	学校選択制	集団生活をする事が美德でも、少人数が美德でもなく、その地域に生まれたのも、めぐりあわせなので、自分の予期しない環境にも対応できる人間を育てることこそ重要だと思います。もちろん、希望する家庭には転校ができるような体制を整えることは良いと思います。

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
通学 偏りを許容	学校選択制	小規模、大規模どちらにもメリットデメリットがあると思うので、どちらも存在している状態で、通いたい学校を本人と保護者で選べばいいと思う。 中学校は市内のどこの学校を選んでもいいなど。小学校は近くの何校からか。
通学 子どもの負担軽減 教員	通学距離重視	学区割で長距離の登下校の子がでてる。 学校の特色、風習の違いでギクシャクしそう。 ただ、先生の確保など事務的なことを考えると再編も必要。
通学 子どもの負担軽減 廃校への懸念	通学距離重視	通っている、またはいた学校が廃合されてなくなってしまうのは残念であるし、統廃合によって新たな人間関係のトラブルや、通学の距離が長くなることへの懸念。
通学 クラスの人数 偏りを許容	学校選択制 通学距離重視 少人数学級	そもそもクラス数を合わせる必要があるのか疑問。 クラスの人数を少なくして、先生の目が行き届くようにしてほしい。 兄弟関係を考慮し、今までの学校も選択出来る事を条件として、学区の見直しはしてもよいと思う。 学校を統廃合する事により、通学が今より遠くなってしまったりする児童が出てしまう可能性もあるのでやめて欲しい。
偏りを許容		クラス編成の偏りで何が問題なのかイマイチ分かりません。問題になっている事柄は少人数の学校でも、マンモス学校で変わらないように思います。教育の面でも大差ないと感じています。
偏りを許容		それぞれの規模に対してメリット、デメリットがあると思う。 子ども達自身が自分の環境に合わせて生活していく事こそがたくましさや育む事に繋がると考える為。
偏りを許容		それぞれの地域特性があるから、そのままがいいと思う
偏りを許容		それぞれ学校の特色があるのは普通のこと。色々な環境の人間がいて順応していくのもまた一つの経験。足並みを必ずしも揃えなくてもよいのでは。
偏りを許容		どちらも良悪があるので、様々な学校があっても良いと思います。
偏りを許容		各学校の特徴があってもいいのではないのでしょうか
偏りを許容		学区が適正であれば学校の規模が大きくても小さくても問題はないと思う。
偏りを許容		学校ごとの特色は必要だとは思いますが、人数が少ないからこそその特色も必要になってくるとおもうから
偏りを許容		学校により特徴があるから、今のままで良い
偏りを許容		学校の規模は時代によって変化すると思うので、その度に学区の見直しをするのは非効率であるし、保護者にも混乱が生じるから
偏りを許容		学校規模の違いもまた個性であるため
偏りを許容		学校規模の大小が有っても、それが評価に直結すると思えない。
偏りを許容		管理しやすい構造で良い。クラス数など恣意的にコントロールしなくても良いと思う
偏りを許容		規模の大小で、それぞれメリット、デメリットがあるので、必ずしも一定規模に再編するのが良いとも思わない。ただ、規模が大きすぎる学校に限っては、検討が必要かなとも思う。
偏りを許容		規模を平均化する意味付けがわからないし 規模の大小、それぞれの利点があるのではと思っているから。
偏りを許容		近いことが1番 生徒を減らすより、大規模なところは人員や環境を整えれば良い
偏りを許容		子供がたくましく育つことと、クラスを一定規模にすることは、必ずしもつながらないと思う。
偏りを許容		子供によって人数が多いところが良いか少ないところが良いか違うから
偏りを許容		子供を出産した後、住宅を購入する際、学区や小中学校の児童生徒数や通学距離も調べました。 児童生徒数が多い大規模な学校でいろんなことに揉まれながら生活してほしいと考える家庭も、逆に少人数で先生方が児童生徒全員の顔や性格を知っている小規模な学校を希望する家庭も、そのどちらでもない中程度の学校を希望する家庭もあると思います。 その一方で、小中学校は義務教育ですので制度的には偏りを少なくする必要性があるのではないかと感じます。 したがって、どちらかと言えば、という表現にさせていただきました。
偏りを許容		小規模は小規模、大規模は大規模の良さがある。
偏りを許容		少人数クラスでも大人数クラスでもどちらもメリットはあるので、わざわざ平均化する必要はないと思う。
偏りを許容		色々な学校があつていいと思う。
偏りを許容		色々な環境に対応出来る様に、学校環境も異なっていて良いと思う
偏りを許容		親御さんに好き嫌いがあるんじゃないかな。うちは今のところ、とてもいいと思います。モデル校なんて、どちらを取るか特に分かれそうですよね。
偏りを許容		人数が多い、少ないから出来る事がその学校の特色にもなるし、全ての学校が同じにする必要はないと思う
偏りを許容		人数によって偏りがあるとは思えないから
偏りを許容		人数の偏りは、周りの住環境などの影響が多く、 今対応できているなら、適正なクラス数などは考えなくても良いのでは。
偏りを許容		人数の片寄りには仕方がない事だと思います。 人数が少なくても多くても それぞれで学べる事があるわけだから 人数ではないと思う為か
偏りを許容		全てがイコールコンディションでなくてもよい
偏りを許容		多いなら多いなりに、少ないなら少ないなりに特色ある学校作りをすればよいと思います。
偏りを許容		大規模校には大規模校の、小規模校には小規模校の良さがあるので、学校の規模だけに注目して再編する必要はないと思う。

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
偏りを許容		大人が気にしているだけで子どもは気にしていないと思う。現に私も自分が行っていた中学が市内で一番マンモスだということを大人になってから知った。子供はその場その場で順応していくものだからどっちでもいいと思う。過疎の田舎で学校全体で10人だったところから大都会東京に出てくる子もいるわけだし。色々でいいと思う。
偏りを許容		地域によって、学校の規模によって出来ないだろうと想定。人クラスの定員数を見直すのが先決だと思う。4→3クラスになる場合、定員数割れでも多い場合はそのままのクラス編成とし、翌年、1クラスの人数定員を見直すなど。
偏りを許容		地域によって人数に偏りがあるのは仕方ないと考えます。
偏りを許容		統合などをしたくましくなるかどうかは人それぞれなのでそこまで必要とは思っていない
偏りを許容		偏っていて不都合があるのか？ 均等な方が本当に良いのか？ 本当に見直しをせざるを得ない必要があるのではあれば、やった方が良くと思う。
偏りを許容		偏りがあるのは仕方ないことだとおもうから。 なんですべて平等じゃないといけないうのかかわからない 世の中平等じゃないこともいっぱいだよ？
偏りを許容		偏りがある方が、多様な社会に適しているとと思う
偏りを許容		偏りはあってもそれはそれで良いと思う。 学習指導が適切に行われるのであれば、他校との人的交流の機会を増やすことで数的バランスは取れると思われる。
偏りを許容		偏りはある程度は仕方ない
偏りを許容		偏りを無くしたことによって、子供達にどうい効果かでてくるかわからない。 人数の少ない学校 多い学校 どちらも良いところ悪い所が違はずなので、考え方が違う子供達が育ってくれそう。これは悪くないとおもう。
偏りを許容 廃校への懸念		多ければ多い、少なければ少ないで良いところがあると思います。無理に環境を作らなくても、子供達は大人が考えるよりどんな状況でも順応できると思うし、思い出の学校がなくなる方が悲しい気がします。
偏りを許容 廃校への懸念		大勢いる良さもある 少人数の良さもある 人それぞれなので 難しい。 廃校になるのは その学校に通ってた子にとって悲しいので それは避けたい
偏りを許容 現状維持 先生が目		少人数の学校は先生の目が行き届くし、大規模な学校はたくさんの人に揉まれるし、どちらも良いところがあると思うので今のままで良いと思う 小規模、大規模を選べないのは残念ですが、大人になっても置かれる環境は人それぞれなので、みんな同じ…にしなくても良いのかなと思う
現状維持		あまり必要性を感じないため
現状維持		学校の規模の適正化をしても、あまりメリットは感じられない。今ある学校施設を大きくしたり、または余ってしまう教室等が出てしまうなど、マイナス面しか思いつかない。
現状維持		現時点では通学距離を配慮した上での通学区域となっている訳であり、それをあらためて見直し、全ての学校規模を偏りなく編成していくというのは難しいと思う。
現状維持		現状で人数やクラス数に問題ない学校を他の学校と統合することには反対です。
現状維持		今のままでいい
現状維持		今のままでいいと思う
現状維持		今のままで充分だと感じるの。
現状維持		今のままで満足してる。
現状維持		今のままで良いと思うので
現状維持		今は必要性を感じない
現状維持		混乱しそうなので、今のままで良いと思います。
現状維持		不便を感じていない
子どもの負担軽減		我が子の事だけを考えると、現在の学校に満足している。 ただ、上尾中学校は、生徒数も多く通学範囲も広そうなので、通っているお子さん達は、心理的、身体的に色々大変ではないのかなと客観的に思います。
子どもの負担軽減		学校によってクラスの数にバラつきがあるのは気になるが、それを均等にしようとして途中から転校になったりするのには子供にとっては負担になる。
子どもの負担軽減		私の高校も合併しましたが、失敗した経験があります。少子化もあり今後、地域の過疎化に注視して考えるべきことだと思いますが、環境が変わるので子供のストレスも心配になります。小中学生の過ごしやすい環境づくりができればいいとは思っています。
子どもの負担軽減		少ない学校が全員で移動するのならいいと思うが、今通ってる学校で別れる事があるのは望ましくない
子どもの負担軽減		通学区域の変更により継続的な生活環境・人間関係を維持できない為
子どもの負担軽減		同じ小学校の仲の良い子と別れたりすると、子供が不安になってしまうんじゃないかと心配です。それぞれ学校によって人数がちがってもいいのではと思います。

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
子どもの負担軽減 通学		兄弟で違う学校に進学しなくてはならない可能性がでてくるから。 また、あの中学に進学するんだ！と期待していたところ、違う学校に再編されたらやる気が失せるから。
クラスの人数		1クラスの人数が適正であれば、1学年のクラス数は重要ではない、かと思います。
クラスの人数		クラス数よりもクラスの人数の方が重要だと思う。
クラスの人数		学校規模の偏りよりも、教員に対するクラスの生徒数や児童数が多すぎないようにする事の方が必要であると思う。
クラスの人数 通学	少人数学級 通学距離重視	水筒、タブレット端末など、コロナ前より日々の荷物が重たくなっています。特に低学年においては、再編により通学距離が長くなることは、大きな負担に思えます。 また、学年のクラス数や総人数を揃えるということよりも、各学校、ひとクラス当たり人数を減らし、一人一人の成長に合わせた教育の充実を図る事の方が大切ではないでしょうか。
クラスの人数 教員 先生の目	少人数学級	人数の偏りは、地域差なので仕方のない事ではあると思います。なので、クラス数の統一ではなく、クラス内の人数を減数統一し、先生の負担が少しでも軽減し、そして先生と生徒との距離感は近く…というのが良いのかなと思います。
クラスの人数 通学 現状維持	少人数学級 通学路の安全	いまのままでよい。通学路が遠くなることは危ない。1クラスは30人までがいい。
先生の目		学校統廃合については、子供達の人数が多くなりすぎによって、先生と生徒達のコミュニケーションが不足、目配りが不足になると思う為、そう思います。
先生の目		子供が不登校なのですが、担任をはじめ先生方に親子で支えてもらっています。 少人数のメリットだと思います。
先生の目		小規模学習が行き届いた学習になると思うため
先生の目 人間関係の流動化		1クラスは卒業まで同じだから仲良くなるのはいいと思うけど友だちの交流が少なすぎるのもどうかと思う。でも1クラスだと先生の目が行き届くし分からないところも聞きやすくてとても大切だと思う。 イジメとかにもなりにくい。
教員		教師の目が行き届く環境であればクラスがいくつでも良いと思う。
教員		小規模で教員の数が多い学校は理想的
教員		多少の人数のばらつきは仕方がない。子供の人数に見合った職員の配置などを行なっていければと思う。
教員 現状維持		先生や設備が足りていて、問題がないのであれば必要ないと思う
地域とのつながりが 必要		住んでいる場所に依るので難しそう。 少なかったら、地域の中での交流や他の地域との交流を考えては…。
地域とのつながりが 必要		小学校は地域に密着してする必要があると思うから
地域とのつながりが 必要		地域に根ざした各学校の良さがあると思うから。
地域とのつながりが 必要		無理に通学区域の見直しをして変更してしまうと地区の分断やその地域で行われていた活動が無くなってしまふ可能性があるため。それが本当に子供のためになるのか疑問な為。
能力向上・刺激	少ないと弊害ある	少なすぎる人数は競争心がなくなってくる
能力向上・刺激	少ないと弊害ある	人数が少ない学校だと、競争心がなくなる
保護者の負担		人数が多い地域は、人間関係もドライ。PTAを他の地域と同じレベルで構成できないので、本部役員がとても大変になる。 本部役員をやったからこそ、思う。
保護者の負担		朝の旗当番の問題が出てくるので、そこを理解して欲しい。
クラス数		クラスが多いと気づかれしそう
クラス数		人数によってだが、1クラス制はやめた方がいい。 児童も先生も人間関係があるから。
時代に合わせた教育環境の整備		標準程度に適正化という考え方が偏っていると思う。子ども達の実態と時代に合わせて今の教育をさらに良くしていただきたい。この間だと、適正化が必要、と言わざるを得ないような印象を回答者に与えていると思う。
時代に合わせた教育環境の整備 偏りを許容	中高一貫	それぞれに良さ欠けるものがあると思う。ただ、そもそも中高一貫を視野に動いているのであれば自然とそれを考慮に入れての学区編成になるのではないのでしょうか。
廃校への懸念		廃校になるのは困る
廃校への懸念 偏りを許容		小規模校も大規模校もそれぞれに良い点があるので、全て同じ環境にする必要は無いと思う。統廃合で、通っていた学校がなくなることは卒業生にとっては悲しい思いをすることになる。
部活や学校行事への懸念		部活動等の充実などで差が出てしまうと思うが、今まで不満が出ていないようならこのままでもよいと思う。
人間関係の流動化		子供のクラスが増える事で、いろいろな形の子供達同士のコミュニケーションが増え、いろいろな面で成長に繋がると思う為クラスが少ないと、息詰まる子供も出てきてしまう
将来にまた再編が必要		過去に学区の再編成した結果、今学校規模の偏りが起きていると思う。 今再編成しても、切り離れた学区で20年後に同じことが起こると思うので慎重に検証すべき。 何度も学区の切り離しや再編成をすべきでは無いと思う。

大項目	中項目	設問25 「3. どちらかといえば、必要ではないと思う」と回答した理由
居住地選択理由		地域差が出てまで引っ越しして学区を決めた方もいるので、その人達になんだかんだかき回されるのはいやだから
その他	地域特性	学校側でどうこうなる問題ではないと思う。 住宅地の偏りやマンションの建設等による人口の差が大きく関係しているので、都市開発などの問題だと思う
その他	地域特性	再編しても地区の発展によって偏りは随時あると思うから
その他	地域特性	地域での子どもの人数は調整出来ない
その他	地域特性	地域によって住宅密集度合いが違うので、それも考慮した上でその場所に住んでいるのだと思うから。
その他	地域特性	地区分けがすごく遠いなどあれば変えれば良いと思おますが 住居問題や 新しい住居が建って増えたりしてるのであれば、その学校が増えるだけで良いと思います。
その他	地域の活性化	各学区内に子育て世帯が定住したいと思える環境作りのほうが大事。 再編しても、いつかまた同じような問題がおきそうです。
その他	地域の活性化	学校統合より、空き家や私有地により、近所で同級生がいないので、その問題をどうにかしてもっと子供がいる地域づくりをお願いします。
その他	避難所	学校を減らす事は、避難所も減ってしまうため、学校の数は維持すべき
その他	避難所	小規模校でも、地域で大切に思われ、避難所でもあるため、失くすべきではない。
その他	兄弟の通学への配慮	学校の物理的な規模にあわせて生徒数を調整するのは良いと思いますが、やるのであれば兄弟によって学校が異なる等を避ける対策を取っていただければと思います。
その他	統廃合の方法	時期やタイミングを考えてやる分には良いと思います。
その他	人口減少	どの地域であれ、児童数は減少をたどっていて、何をしても場当たりの対応にしかならないから
その他	地域特性	同じ市内でも人口分布の偏りは当然生まれるため。
その他		クラスの数で、いま学校が抱えている問題は解決するのか？そこがわからない。 再編ありきの質問に感じる。
その他		一概には答えるのは難しい
その他		簡単にうまくいかないのではないかと思います
その他		今から先の少子化に向けて再編を考えているという資料があったが、少子化を解消する気がないというのが問題だと思う。
その他		子どもの数までは予測できない為
その他		統廃合はそんなに簡単な話ではないとおもいます。
その他		特になし
その他		子どもの特性に合わせてフリースクールの様な学校、少数がいい、多数がいいなどが選択できる方が良いと考えます。現在のような通う距離やクラス数を軸にするのではなく、子どもが楽しみながら通える学校づくりを目指して欲しいです。
その他		施設の老朽化や少子化などを考えると学校再編は合理的なのかもしれないが、実際は難しいと思う。
その他		少人数制がたくましくなるとは限らないでは。 多様性の観点からも大人数の方が交流の機会が増えて、たくましくなると思う。

大項目	中項目	設問25 「4. 必要ではないと思う」と回答した理由
通学	通学距離重視	市内全体の生徒数のバランスをとるために通学距離が想定より大幅に増えるのであれば、過疎地域で子供がいる世帯は転居する必要が出てくる。子育て世帯には経済的負担や小学校入学時の不安が大きくなる。また、小学校に通わせられない距離の地域からは子供がいなくなる。
通学	通学距離重視	偏りを解消する為に生徒が遠い学校に通う必要性を感じないから
通学	通学距離重視	廃校側の通学区域からの距離が大きく変わるため。そして、その通学時間は、安全確保も大きく損なうため。
通学	通学距離重視	統廃合すると学校が、遠くなりそう
通学	通学距離重視	統合、廃校によって、学校が遠くなるのはよくないと思う。
通学	通学距離重視	登校距離が引っ掛かるため
通学	通学距離重視	登校、通学に時間がかかってしまう
通学	通学距離重視	徒歩で通学出来る範囲がいいと考えるから
通学	通学距離重視	通学路及び通学時間に無理が生じる。現実的に不可能。
通学	通学距離重視	通学路が遠くなる場合があるから
通学	通学距離重視	通学路が、遠いのは子供にとって負担なので学校により偏りは、仕方ない！
通学	通学距離重視	通学範囲が広がることで通学する子供達が大変になる。長距離の登下校のため、安全面に不安がうまれる。
通学	通学距離重視	通学時間を鑑みた所、負担が大き過ぎても問題だから。
通学	通学距離重視	通学時間は短く、通学路は安全であるのが良い。
通学	通学距離重視	通学時間が長くなってしまいう児童が出てくるため
通学	通学距離重視	通学区域を見直すと、学校まで遠くなる可能性があるため
通学	通学距離重視	通学区域を見直すと、家から遠いところに通学する可能性が高くなる為、無条件で賛成は出来ません。現在も35度を越える暑さの中、通学は大変です。様々な安全性の面でも慎重な検討が必要だと思えます。
通学	通学距離重視	通学区域を見直して、通学時間が長くなるのを良しとしないため。
通学	通学距離重視	通学区域を見直して学校から遠すぎちゃうと危険だと思うから
通学	通学距離重視	通学区域が変わり、今でさえ遠いのに、これよりも通学に時間がかかると困る
通学	通学距離重視	通学距離の問題が大きい。安全に登下校できない。
通学	通学距離重視	通学距離が長くなる
通学	通学距離重視	通学距離が長くなってしまいう
通学	通学距離重視	通学距離が長くなってしまい、子供の負担になる。平方小だと平方東に統合と聞いたが、遠すぎる。低学年は通えない。
通学	通学距離重視	通学距離が遠くなる生徒が増えるから。
通学	通学距離重視	通学距離が遠い子どもが出てくる可能性がある為。
通学	通学距離重視	通学距離がどんどん長くなる。安心して通わせることが出来ない。
通学	通学距離重視	通学距離、教員への負担等、メリットが全く見えない。
通学	通学距離重視	通学の距離や環境の都合が色々出てきそうだから。
通学	通学距離重視	通学が長くなったり危険が増えるから
通学	通学距離重視	通学が遠くなる児童には不便
通学	通学距離重視	通学が遠くなるような無理な再編が行われると予想される。
通学	通学距離重視	通学が遠くなるのは、デメリットが多いため
通学	通学距離重視	通学が遠くなってしまいう方が出てきてしまいう
通学	通学距離重視	地域により、すむ人数が違えばそうならざるを得ない。一定規模数を図るために通学距離を伸ばしたりすることで、児童の時間を通学時間としてとることで、その分の時間の有効活用化の妨げにならないかと考えるため。余りに少ないとなると統合にならざるを得ないだろうとも考えるが、...
通学	通学距離重視	地域によって差があるのは仕方がない。再編により通学時間が長くなるのは問題。
通学	通学距離重視	場所によって、すごく遠くなる為、反対です。
通学	通学距離重視	小学生は低年齢の児童もいるため、通学が近くて安全な方がよい。クラス数に重きを置くと、通学の安全性が低くなる地域も出てくると思う。
通学	通学距離重視	小学校や中学校が、今より自宅から遠くなるのは良くないと思うから。
通学	通学距離重視	自宅から学校まで歩くので、人数だけで分けてしまいうとかなり遠い距離を歩く子が可哀想。遠い距離を歩くのは真夏だと熱中症の心配があるし、防犯の面でも良くないと思う。ただし、中学校に関しては自転車通学が可能であると思うので、中学校は話し合いを進めていいと思います。
通学	通学距離重視	自宅から学校が遠くなり子どもの負担が増えるから
通学	通学距離重視	私自身 選択地域であった為に ご近所の方と小学校が違うという不安がありました登下校で少人数で帰宅するより多いほうが良いですし 30分以上歩くのも不安があります。学校統廃合は通学時間の問題などだと思います
通学	通学距離重視	子供を遠くまで通学させるのが不安だから。
通学	通学距離重視	子供が通っている小学校は閉校予定である。閉校の場合、合併された学校までの距離が遠いので登下校が心配。

大項目	中項目	設問25 「4. 必要ではないと思う」と回答した理由
通学	通学距離重視	子供が増える場合があるので、そうなると偏りはなくならないとおもうし、通う距離がながくなるなど、デメリットがおおい 子供の事を第一に考えてないような気がする
通学	通学距離重視	子どもの人数揃えても意味はない。通学の距離が短い事の方が余程重要。
通学	通学距離重視	子どもが遠くの学校に登校しなくては行けない可能性があるためです。通学路が長くなればなるほど危険が増すと考えます。(熱中症、交通事故、不審者等)
通学	通学距離重視	見直しの結果、通学時間がかかりすぎてしまうのは子どもにとって負担だと思う
通学	通学距離重視	距離を考慮した学区が大事と考える
通学	通学距離重視	居住地によっては学校が遠くなってしまふ。
通学	通学距離重視	学校編成の為に登下校が遠くなるのだけは避けて欲しい。 重いランドセルに遠い通学は子供の負担が大きすぎる。 学校編成よりも、今まで通り1番近い最寄りの学校に通学できるのが最善だと思います。
通学	通学距離重視	学校統廃合により、通学時間がさらにかかる児童が増え、子供の安全が確保できなくなると思うため
通学	通学距離重視	学校統廃合すると、通学が大変になりそうなので。
通学	通学距離重視	学校統合になった場合、遠くから通う子も増えて通学が大変になるから。低学年の体力で、重たい荷物を持って2キロ先まで歩くのは無理だと思う。通学バスなど取り入れないと難しい。
通学	通学距離重視	学校再編をして、学校が少なくなったり、登校距離が遠くなってしまつては、子ども達にとっては好ましくないと思うから。
通学	通学距離重視	学校再編により、今以上に通学に時間を要する子供たちが増え、安心安全な通学路の確保が困難になる恐れがあるため。
通学	通学距離重視	学校規模に偏りがあることによるデメリットが感じられない。 それよりも通学路が遠くなる方にデメリットを感じる。
通学	通学距離重視	学校を統廃合することで、通学時間が長くなるし、安全面を考えると不要だと思います。
通学	通学距離重視	学校までの距離が遠すぎるから。
通学	通学距離重視	学校までの距離が遠くなるのは、デメリットだと思う。
通学	通学距離重視	学校は近いほうが良い。 人数の偏りが出るのは仕方がないこと。
通学	通学距離重視	学校の再編成が行われれば、小規模校に通いやすい場所に住んでいる子ども達はどのようなのでしょうか？ 上尾市に住むすべての子ども達のことを考えてほしいです。
通学	通学距離重視	学校が増えない限り通学距離が長くなる
通学	通学距離重視	学校が遠くなってしまふ可能性があるため。
通学	通学距離重視	学校が遠くなった場合、登下校が大変になり、子供の負担が増える。 その分、登下校の事故が増えると思う。
通学	通学距離重視	学校が遠くなったら通学が不安だから
通学	通学距離重視	学校から遠い家庭が出来てしまふ
通学	通学距離重視	学区を再編すると遠い学校に通わなくてはならない場合が出てくると思うため。
通学	通学距離重視	学区を広げると通学が困難な子供や、事故などの心配が増えるから
通学	通学距離重視	学区が広くなりすぎて通いにくくなる生徒が出てくると思うから
通学	通学距離重視	学区が広がり登下校にかかる時間が増える可能性がある。
通学	通学距離重視	各地域の特徴があると思う。 学区が広くなれば通学に時間が掛かり、子どもの負担も考えられます。
通学	通学距離重視	遠すぎる子が出てきてしまふ。
通学	通学距離重視	一番は通学の安全だと思いますので、 遠い学校へ通わせるのは心配が多いかと思います。
通学	通学距離重視	まとめてしまふとより通学時間が長くなる可能性があるため。
通学	通学距離重視	それにより、通学距離が長くなるなら反対です。
通学	通学距離重視	それによって登校するのに遠くなりすぎたら安全ではないので反対です
通学	通学距離重視	1学年1クラスの小規模な学校に通っているが、特に問題を感じないため。 統廃合により学校が遠くなることの方が問題である。
通学	通学距離重視	1クラスになってしまつているからとの理由で、遠い学校に通う事になってしまつたら可哀想だと思います。
通学	通学の安全性	編成により通学時間が長くなるおそれや踏切を低学年が渡ることにより保護者や渡ろうとしている一般の方々へ負担や迷惑がかかる
通学	通学の安全性	統廃合により、通学時間が長くなったり、危険な通学路を通らなければならなくなったりすることがあるなら、しない方がよい。
通学	通学の安全性	統廃合すると、通学距離が長くなり、低学年の子どもを通わせるには心配がある。 安全に通える通学路かどうか重要だと思う。
通学	通学の安全性	統合することで、学校が遠くなったりするのは、危険を伴わないのかと、心配に思う。だったら先に通学路を整備してくれと思う。 同じ道ばかりを毎年きれいにしている、アホかと思う。もっと困っている道、危険な道がありますよね。
通学	通学の安全性	通学路に大きな幹線道路や踏切が入ってくるのは適切では無い。 特に小学校低学年は通学の安全や負担の軽減に配慮すべきだと思う。
通学	通学の安全性	通学区域によっては踏切など危険な場所もあるし、時間がかかりかかる場所もあるので、統合はかわいそう。
通学	通学の安全性	地域により人数にばらつきがあるのは、仕方ないと思う。無理にかけると、遠くなり、登下校の危険が増す。

大項目	中項目	設問25 「4. 必要ではないと思う」と回答した理由
通学	通学の安全性	地域で人数が異なるのは当然のこと 登下校時での安全が一番に考えられるべき 事件事故、不審者事案がたびたび発生していることを考えると、通学距離が長くなる学校の統廃合は大反対
通学	通学の安全性	現在登校に30分かかっているのに、これ以上遠くなるのは防犯などの点も踏まえて不適切だと考えるため。
通学	通学の安全性	近くの学校があればいいが遠すぎる場合は防犯の面で不安がある
通学	通学の安全性	学校規模よりも通学にかかる時間や安全性の方が重要だと思うから。
通学	通学の安全性	学校を減らす理由にはいけない。 子どもは安全に通える近くの学校に行けるべきです。
通学	夏場の通学の安全性	必ず通学の距離がとて長くなる子が出てきて、夏場の体力や防犯の面で心配だからです
通学	夏場の通学の安全性	統廃合する事で、学校まで遠くなり、小学生の歩く距離が増える。温暖化により天候が変化しているので、小学生には辛いと思う。長い距離を歩く場合はスクールバスなどの対応があれば、統廃合も考えてもいいのではないかと。中学生は自転車通学などあるので、統廃合も可能ではないかと。
通学	夏場の通学の安全性	通学時間が長くなると困る。今10分弱の時間をかけて下校してくるが、顔を真っ赤にして帰ってくる。これ以上登下校の時間が長くなり、熱中症になって取り返しのつかない事になったら大変だ。なので、学校再編には反対です！！！！
通学	夏場の通学の安全性	通学時間が長くなると夏は熱中症の恐れ、疲労で勉強に集中できないなどの支障があると思うため。
通学	夏場の通学の安全性	真夏等で通学時間が延びたりする事で熱中症で倒れてしまうのではないかと不安要素が大きい為
通学	夏場の通学の安全性	家から遠くなると低学年は特に通学が大変になります。真夏の37℃とかの日に1時間かけて通うとかは非常に危険です。
通学	子どもの負担軽減	偏りがあるのもどうかと思うけれど、かといって統廃合により、マンモス校を作り出すことには絶対反対です。特に通学路が長くなる分、交通事故や不審者と出会う可能性も増え、保護者としては心配です。また、通学路が長くなる分、重い荷物を背負う子どもたちの体や心への負担も大きいです。それが、学校に行きたくなる原因になってしまうのでは本末転倒だと思います。発達障害とまではいなくても、グレーと言われる子どもたちが増えています。その中で、きめ細やかな配慮をするには先生方にも限度があります。ひとクラスの人数についても大人数にするのではなく、ゆとりある人数での編成を検討頂きたいと思います。
通学	子どもの負担軽減	統廃合すると通学が大変になる生徒がいる為
通学	子どもの負担軽減	通学圏内が広がると、通学時間がかかり負担になる。
通学	子どもの負担軽減	通学区域を広げることは通学の負担になるから
通学	子どもの負担軽減	通学距離が広がることで、子どもに負担がかかること、また登下校中の防犯も考え直す必要がでてくるため。
通学	子どもの負担軽減	人数合わせによって、学区が変わると通学距離に無理が出ると思うから。遠くまで行かせるのは心配だし、子供の負担が大きい。子供は、炎天下でも雪でも嵐でも自分で歩かなければいけない。犯罪、事故もあるので出来るだけ1人にはならないように近い場所にしてあげてほしいから。
通学	子どもの負担軽減	小規模学校は問題だと思うが、統廃合によって通学距離が延びることの方が遥かに心配なため。低学年の児童が、重い荷物を抱え、大雨や酷暑の中1km以上歩くのは心身の負担がかなり大きいと思う。例えばスクールバスを導入するのであれば、再編も仕方ないと思えるのだが。
通学	子どもの負担軽減	ランドセルや持ち物が重く、体に対して負担が大きいのに、通学が遠くなるなど子供への更なる負担が大きい。毎日になると可哀想。
通学	子どもの負担軽減 夏場の通学の安全性 スクールバス	統廃合により、遠方から通う子の体力、時間、安全について無視されている事にどう思われているのか？スクールバスでもあれば話が変わるが、上尾市に住もうという、若い世代が少なくなる。今通ってる彼らは未来の別の市民になっても良いのか？
通学	子どもの負担軽減 学校選択制	地域の子どもの人数の差は致し方ないかと思えます。その理由で再編成して学校まで遠くなったり負担が出ると思うので現状のままでいいと思えます。また、大規模の学校がよい、小規模の学校がよいとなればその方たちだけ、市内なら移動できますよね。全体が動く必要はないかと思えます。
通学	学校選択制	学区で強制させられる事が不満 サービスや環境の質を改善するためにも、利用者の自由選択とし、市や教育機関は選ばれる努力をするべき
通学	学校選択制	様々な学校があり、選択できれば良い。
通学	学校選択制	偏りは少ない方がよいとは思いますが、個性に合わせて規模を選択できると考えるからです。
通学	学校選択制	地域によって偏るのは仕方ない。少人数の学区が良いからあえて選ぶ場合もある。小学校を少なくするのは、子供達にとって不利益なことだと思う。

大項目	中項目	設問25 「4. 必要ではないと思う」と回答した理由
通学	学校選択制	多クラス校と少クラス校を選択できるような仕組みでもいいと思います。
通学	学校選択制	人数に偏りが出てもいいと思う。 通学の距離が長いと心配。 中学校が近くに2校ある場合は、どちらに行くかはその家庭に任せてもいいと思う。
通学	学校選択制	現状で良いが、家庭の都合で学区を選んでも良いと思います。
通学	学校選択制	近くが1番。 子供が毎日歩いて通える範囲内の学校が複数ある場合、選択の自由は欲しい。 クラス人数に拘る必要性は感じない。
通学	学校選択制	やはり、家庭によって場所の違いもあると思いますし、『この子と一緒にの学校がいい！』というのもあると思います。なので矯正してやらなくてもいいんじゃないかなと思いました。
通学	学校選択制	どうしても分けなければならないなら自由に学校を選べる選択制にすれば良いと思う。そうすることで各学校切磋琢磨して学校改革が必要になるとされます。
通学	学校選択制	その子の個性に合わせて学校を選べばよい
通学	学校選択制	1人1人性格も個性も違うので、選択できるような環境の方が良いと思います。
通学	学校選択制 通学距離重視	児童の性格等によって あえて少人数の学校を選ぶ人もいると思う。 統廃合することによって、通学が遠くなる事は、児童にとって大きな負担になると思う。
通学	兄弟の通学への配慮	兄弟に園児がいる場合、兄弟がバラバラになる可能性がある
通学	兄弟の通学への配慮	上の子が通った学校に下の子も通わせたい 市の都合で、兄弟で違った学校に通う事態にさせないでほしい
通学	兄弟の通学への配慮 通学距離重視	切り替えをどこでするのか、兄弟で違う学校になってしまう可能性が感じられるから。 人数を揃えれば、通学距離が遠くなる人が出てきそうだから。
通学	スクールバス	統廃合は構わないが、通学ルートに支障が出る場合も出てくる。その児童にどう対応できるかによる。 状況次第でスクールバスの導入も視野に入れなければならない。その費用は市(或いは県)が負担するの？近年バス事故が多いのでそこも不安。
通学	スクールバス	合併してしまうと遠い子が出てしまって可哀想。スクールバスがあればいいと思うが。
通学	通学区域の見直し	学校統廃合は反対ですが、学区見直しは必要かと思う。
通学		登校方法によってはリスクもありえるため
通学		通学しやすさが第一だから
通学		通学が遠くなる場合があると困る。 スクールバスにした場合の費用や乗り遅れた場合等心配。
通学		地域毎の子供数に開きがあるので、児童数のバラツキは致し方ない部分があるが、学区の再整理は通学経路の面に於いては必要と思う。
通学		自宅から通えるところに通うものだと思って生活をしていて、人数が足りないからあなたはこっちの学校へとバラバラにされても納得できなそう。
通学 その他	通学距離重視	廃校だけでなく、新規で学校を建設して、全体の均衡を取るのなら良いと思うが、廃止する学校だけであるのは違うと思う。 明らかに通学距離が遠くなる。等の弊害がある。
通学 その他	通学距離重視	ランドセル、リュックがとても重いのに、通学時間が延びることになるのは、絶対反対。夏は熱中症の原因にもなる。統廃合でなく、小規模校は、イベントとして、年に何回かでも、他の学校と交流すればいいと思う。
通学 その他	通学距離重視 検討の進め方	学校を廃校にするのは仕方ないと思いますが、学校までの距離が延びてしまった事への配慮などがどうなるのかなど、きちんと保護者や地域に説明してから決めるなりしてほしい。 実際に利用する人たちの事を、もっと考えてほしい。
通学 その他	通学距離重視 地域の特性	小規模校で本当によかったと思っています。通学距離が遠くなることも反対です。過人数になっている学校は住宅開発の差でしかなく、都市計画に問題があるのではないですか？
通学 その他	通学距離重視 避難所	統廃合により、通学が遠くなりすぎる。 避難所として学校は残してほしい。
通学 その他	通学距離重視 避難所	統合することで学校がかなり遠くなってしまいう児童が出てくる可能性がある。 学校は避難所としても使用されるため、減らすのは妥当ではない。
通学 その他	通学距離重視 避難所	学校な数を減らそうとしているが、登下校が大変になる子たちに関してはどう考えているのだろうか？ 避難所としての役割もあるし、安易に減らすことが良いとはとてもじゃないが思えない。
通学 居住地選定理由	通学距離重視	学校統合した場合、通学距離が倍以上になったり危険な道を1人で歩いたりすることになったら、男女問わず心配で学校に出せません。 そもそも統合の話がばっと出て、そんな話を知らずに家を購入し学区範囲を勝手に広げられるなんて以ての外です。
通学 教員 その他	通学距離重視 負担軽減 避難所	クラスの数を増やすために、学区が広がることで、遠くから登下校しなければならないのは子どもにも負担が増える。 クラスの数より、教員の質の確保とともに、教員の負担を減らす対策が先ではないか。 学校は、災害時の避難所としての意味があり、地域の学校の数が減るのは、適正でないと感じる。
通学 現状維持	通学距離重視	資料を読んでも、規模偏りによる問題が何かわからない。通学距離が長くなる子供が増えるだけのよう に思える。現状の情報だけなら反対。

大項目	中項目	設問25 「4. 必要ではないと思う」と回答した理由
通学 財政	通学距離重視	学校統廃合により、考えられないような通学距離になってしまう。メリット以上に子どもの負担が大きすぎる。予算削減のためとしか考えられない。
通学 子ども同士の交流	通学距離重視	通学距離が長くなって子どもの負担が増す。学年途中で統廃合で今まで築いてきた友達関係が終わってしまうのは抵抗がある。
通学 子ども同士の交流	通学距離重視	地域によって子供の数に偏りがあるのは仕方ない事。再編により通学時間が長くなったり、同じ学校なのにお互いの家が遠く遊べない等の方が好ましくない。
通学 子ども同士の交流	通学距離重視	学区を変更すれば、通学距離に無理が生じる為。小学校で作上げた子供同士のコミュニティーを大人の都合で破壊すると、孤立する子供を作る原因になる可能性があるから。
通学 廃校への懸念	通学距離重視	学校統廃合により、通学距離が遠くなると困るから。母校が無くなるのが嫌だから
通学 偏りを許容	通学距離重視	学校再編により、通学距離が遠くなってしまうから。クラス数が多い場合、少ない場合、どちらにも良い面悪い面はあるので、再編する必要性を感じない。
通学 保護者の負担	通学距離重視	各学年の目標はそれぞれ異なるので無理に統廃合する必要はない、統廃合することで、通学時間が長時間になると子どもへ負担がかかる。統廃合で学校が遠くなると、授業参観、運動会など保護者参加は車禁止なので、学校行事に参加することが負担になる。統廃合で、学校が遠くなった場合、子供に何かあった場合、保護者がすぐに駆けつけられない。
通学 その他	通学の安全性 避難所	統廃合により、通学が遠くなり事件事故の可能性が高まり、猛暑での登下校が危険である。避難所として建物は残してほしい。
通学 その他	夏場の通学の安全性 避難所	クラスを均等化することで、通学時間の問題が出てくる。徒歩30分以上かかるのは夏場は特にキツイ。市がスクールバスなどを検討するなら別だが、おそらく無理であろう。同様の理由で、緊急時の避難所の役割が果たせなくなると思う。
通学 学校規模への懸念	通学の安全性	学校という場合は安心&安全に通えることが大事なので、意味不明な統合とかをして登校時間がかかってしまうと元も子もない。少子化が進んでいるという理由での統合は賛成だが、1学年5クラスある学校と1クラスしかない学校があるから均したいという理由であれば反対です。
通学 現状維持	通学の安全性	通学に時間がかかる子供が増える。距離が長くなる分、危険も増える。クラスが1クラスも5クラスもそれぞれ問題はあるだろうし、その環境に対応できるようになる事も社会に出てからは必要。
通学 子どもの負担軽減	通学の安全性	学校までの距離感を考えると安全面を考慮していなさすぎる。ただでさえ、遠くから通っている子ども多いのに統合する事で更に負担が増す。兄弟が少ないこの時代に、大勢の中で暮らさせる事は負担にしかならない。大人の都合で考えているとしか思えない。
通学 地域とのつながりが必要	通学の安全性	現在でも20分歩いて登校しており、通学路は危険な場所も多い。これ以上遠くなる場合はスクールバスの整備をするなど必要。また、地域の目が届かなくなる場合があるので、連携が必要。
通学 クラスの人数	子どもの負担軽減 教室のゆとり	通学距離を長くするのは、子供の負担が増える。少人数でもいい。むしろ大規模の人数を教室にぎゅうぎゅう詰めにしている実態を問題化してほしい。
通学 その他	子どもの負担軽減 検討の進め方	子供の意見を聞くべき。役所、大人の考えだけで決める方針は見直した方が良い。重い荷物を持って遠い通学は体調に影響を与える。また通学時の安全にも配慮が必要。
通学 先生の目	子どもの負担軽減	通学区内は今後もできるだけ近い学校に通えることにメリットがあると思います。タブレットの勉強が進んでもまだまだ、ランドセルは重く、遠くの学校に通わざるおえなくなれば、本人の負担が大きく、長い通学路は防犯面でも心配です。学校統廃合によりクラス単位が増えるよりも小規模の学校で一人一人に合った学習を希望します。クラス人数も少ないことで目が届きやすく担任の先生の負担軽減にもなるように思います。
通学 偏りを許容	子どもの負担軽減	地域によって人口の差は仕方ないものであり、無理に統合などすると、子どもか通うことが大変になったりするので、無理に統合再編する必要はない。その代わりに、大規模、小規模ならではの学校の特色を伸ばして行くほうがいいのではないかと思います。
通学 その他	学校選択制	失礼ながら、小中学校の設立時に熟慮が足りず、時代の流れに応じ、施設の移転や新設等の判断が遅れ先送りしてきた故の問題ではと感じます。各家庭の諸事情や希望に沿うことは難しいでしょうし、学校選択制を導入して頂き、学区に関係なく子ども達が希望する小中学校に通えるようにして頂けたらと思います。
通学 廃校阻止	通学区域の見直し 通学距離重視	安易に小学校を廃校にするのではなく、学区の見直しをし、1学年3クラス以下にするべきだと思う。学区は1キロが限度にすべき。廃校、統合は反対。
通学 偏りを許容 教員	通学距離重視 質	通いやすい距離に学校があることが安全面を考慮一番大事です。学校、クラス規模が違うことは特色と捉えて各校で工夫していけばよいと思います。ナラシたいのは管理側の勝手な都合です。それよりも教員の質を上げる工夫に力を注いでほしいです。

大項目	中項目	設問25 「4. 必要ではないと思う」と回答した理由
通学 保護者の負担 その他	子どもの負担軽減	規模ありきによる再編は論外。学校の規模の平準化は手段であって目的であるべきではない。学校再編に伴って一番の影響を受けるのは通学している子供たちである。通学の負担（夏場は熱中症や光化学スモッグの影響を受ける恐れがある、冬場は暗い中帰宅しなければならず犯罪や交通事故に巻き込まれる危険性が増す等）、教育環境、親の負担（学童の送迎の負担、学校行事への参加への負担）に配慮すべき。学校再編を行うのであれば、これらの懸念について解決策を示すのが先決である。
偏りを許容		地域によって、人数のばらつきがあるのは、仕方ないとおもいます。
偏りを許容		地域差はあっても、将来的に、人とのコミュニケーションを円滑にはかれる力が身につけば、何人であろうと関係ないとする為
偏りを許容		大規模校、小規模校それぞれの特色を生かした学校作りをすればよいと思う。 それを適正な教育と言うのではないのでしょうか。 少人数学級の方が、学力が高い傾向に有るとも言われています。何でも同じにする必要はナイと考えます。
偏りを許容		多ければ多いすくなければ少ないでそれぞれいいところもある
偏りを許容		少人数の学校でも、人と協働することは十分でき、学校にも多様な姿があつていいと思います。
偏りを許容		小規模も大規模も、良いところもある悪いところもあるので、わざわざ、平均にする必要は無いと思う。それぞれの良いところを活かす方が望ましい。
偏りを許容		小規模、大規模それぞれの良いところ悪いところがあるので、それぞれの環境で学ぶべきことを学べばいいと思います。 学校再編せず自校の中、もしくは他校と共同で人数調整した授業をしてはどうかと思ひます。 大規模校は、少人数授業をする時間を設ける。小規模校は、近隣校との共同授業をする時間を設ける。など
偏りを許容		柔軟性を持ってそれぞれの良さがあるから
偏りを許容		規模の大小でそれぞれ良さがあると思う
偏りを許容		過疎化に伴い仕方がない事です。小規模、大規模はどちらもメリット、デメリットはつきものです。
偏りを許容		どちらにも良さがあるため
偏りを許容		それぞれの規模の良さがあるため。
偏りを許容		それぞれで良いと思う。また、子供達に対してのメリットやデメリットを明確にしなければ判断し兼ねる。あえて統一する意味がいまいち分からない。
偏りを許容		このまま、今ある学校を大切にしていきたい。
偏りを許容		大事なのはクラスの数ではないと思ひます。大規模な学校でも小規模な学校でもそれぞれ長所短所はあります。どんな規模でも長所を伸ばすことを考えることが大事だと思ひます。なぜ「同じ」にこだわるのですか？社会に出れば「違う」だらけです。会社の規模、職種、環境…。学生時代に回りがお膳立てして「同じ」にすることは社会に出てから辛い思いをさせることになりませんか？違う中で考えさせて工夫や努力をさせる事は大事な教育だと思ひます。
偏りを許容		多様性、一律均等よりも変化や違いがこれからは重要だと考えるため
偏りを許容		全てを同じにする事が良いとは思わないので
偏りを許容		人数が少なすぎて廃校というなら学校統合は仕方ないが、わざわざ全て同じ人数にするのはどうかと思う。小規模でも大規模でもそれぞれの良さや悪さがあり、全て適正の人数に統一したからといって子供がたくましくなるとは思えない。
偏りを許容		人口の密集箇所の偏りがある以上、学校規模の偏りはやむなしと考える。 学校の規模（キャンパス）を超えたクラス編成は問題があるが、クラス数の多様性は有っても構わないのではと思ひます。
偏りを許容		児童、生徒の多い、少ないを含めて、地域の特性だと考えているから。
偏りを許容		全ての地域において子供の数が一緒ではないので、地域にあった学校、クラス数でいいと思う。
偏りを許容		偏っていてもいい、先生の人数などを調整
偏りを許容 通学	通学距離重視	ひとクラスや少人数クラスでもそれなりのメリットはある。その地域の個性として受け入れてはどうか。再編して通学が遠くなるのは良くないと思う。
偏りを許容 通学	通学距離重視	その学校の個性かと思ひます。 それよりも通学時間が長い子を救って欲しい
偏りを許容 通学	通学距離重視 通学の安全性	今のままでいいと思う。少数、多数どちらにも良し悪しがあるわけで。無理に統廃合すれば通学が大変になったり負担になる子だけとてつもない負担になると思う。今ですら学校内に通学する時間など差があるわけだからまず今通っている児童のために通学路を安全にしたりやることやってからにしてほしいです。
偏りを許容 学校施設	複合化	理想的なクラス数の方がよいかもしれませんが、学校を統廃合してまで進めなくてもいいのではないのでしょうか。 学校は子どもたちのための場所であつて、色々な公共施設を併設するのは違和感を覚えます。静かに学ぶ環境を守ってあげてほしいです。
偏りを許容 その他		見直したところで数年後子供の人数は変動する。人数の偏りを議論の中心にする必要を感じない。 統合を進めたいのなら、少子化と施設の老朽化を理由にした方が納得がいく。
偏りを許容 通学 地域とのつながりが 必要	学校選択制	子供の数が均等であることに意味を感じない。それぞれ特色があつていいと思う。 逆に生徒、保護者が地域の学校を自分で選べたら素敵。 4クラスある学校に通いたい子、1クラスしかない学校に通いたい子、みんなに対応するのは難しいが実現できれば、学校、学校の対応ではなく、地域も含めた広い視野が持てる気がします。

大項目	中項目	設問25 「4. 必要ではないと思う」と回答した理由
偏りを許容 将来にまた再編が必要 先生の目		多様な人々と協働しながら、たくましく生きる子供を育成するとあるが、小規模校であっても、大規模校であっても、教師の教え方次第で変わってくると思う。 新築が増え、数年間は児童・生徒数が増えていく地域学校であっても、10年後20年後には児童・生徒数が減少していく可能性もあり、学校統廃合は、その場しのぎのやり方ではないかと思えます。
偏りを許容 小規模校の良さを生かす 子どもの負担軽減 通学	学校選択制	小さい学校を大きい学校と統廃合して、マンモス校にする必要はないと思います。 1人1人を丁寧に育てる現状を壊す必要はないと思います。 学区編成をして、大きい学校から小さい学校への移行はありだと思えます。 少人数だから可哀想とか思うのは間違いだと思います。 小さい学校に通っていても、伸び伸び元気に活動していると思います。 マンモス校に通ってる人から、卒業まで一度も同じクラスになった事が無い、顔と名前も一致せしない。学校内で知らない人が多い、と、聞いています。 そのような環境は、良くないのではないかな…と、個人的に思います。
現状維持		せっかく今の学校生活に馴染んでいるのに大人の勝手な判断基準でその生活を壊すのはおかしいと思う
現状維持		必要性を感じないから。
現状維持		通学区見直しの弊害のほうが大きいと思うため
現状維持		近所の中学校が統廃合になると聞いた。 しかし、子供が入学する頃でも生徒の人数は微減という予想だった。 統廃合の必要性を感じません。
現状維持		学校規模に偏りがあることを解消する必要性を感じない為。
現状維持		1クラスのまま大人になった人なんて沢山いるから。 必要性を感じない
現状維持		子供達は既にたくましく生きています
現状維持		今のままがちょうどいい
現状維持		今がちょうど良いから
現状維持		現状のままで十分である
現状維持		現時点では、不満が無いからです。
現状維持		5クラスあっても何の不自由もないし、子供が楽しく通えているからちいさ
現状維持		与えられた環境を素直に受け入れ、その中で生活することでしか得られないものがあると思うので、無理に統一する必要はないと考えています。
現状維持		郷に入っては郷に従え。 無理に合併などし、通学が遠くなるのは安全面からも懸念される為、生徒人数は地域柄として受け入れても良いと思う。 進学、就職など環境が変わる度に適応能力も身につくものではないかと思う。
現状維持		特に必要と思わないから
現状維持		学校の統廃合は必要ないと思うから。
現状維持 通学	通学距離重視	子供の通っている学校において、クラス数に不都合はない。また、通学距離に満足しているので、学区見直しにより通学距離が遠くなるのが懸念されるから。
現状維持 その他		地域により偏りがあるのは仕方ないことだと思う。 今後開発等で増える可能性もあるので、今のままでいいと思う。 必要であれば他の学校とオンライン授業やレクレーションを行うといいのでは。
先生の目		少人数学級だったが、先生達の目もしっかり行き届いてとても良かった。 校長先生が生徒一人ひとりの顔と名前を覚えるくらいちゃんと見てもらえたと思う。
先生の目		少人数の方が先生の目が行き届き、このままの方が良い。多くなるといじめなども増えそう。
先生の目		小規模クラスでも目が行き届いていいと思う。
先生の目		ひとクラスに生徒数が多すぎてもフォローしきれないから
先生の目 通学	通学の安全性	統廃合により生徒が増え、教員の目が行き届かなくなる可能性が強く、勉強についていけない生徒へのフォローが難しくなる恐れがある。 通学距離も統廃合により明らかに長くなる。通学路が長ければ長いほど、事故や事件に巻き込まれやすいのでいいことは一つもなく感じる。
先生の目 その他	コロナ	学校を統廃合すると、一校当たりの人数が増えてしまい、このコロナの状況と逆になります。人数少ない学校は先生の目が行き届きとても安心しています。今度もこのままでいきたいです。
先生の目 偏りを許容		生徒数は少ないほうが先生の目が行き届いて良いと思います。 生徒が少ないから多いからではなく、学校の方針や教育が子供達の学びとなると思うので、必要ではないとおもいます。 ただ運営するのに児童減少が問題なのはわかります。
先生の目 偏りを許容		クラスの数を決めることによって、ひとクラスの人数が増えてしまっ先生目が行き届かないと思います。 地域によって偏りが出してしまうのは仕方ないと思います。
先生の目 保護者の負担		少ない学校の児童数を増やす事によって 教員の目が行き渡らなくなってしまい 勉強等にも影響が出てしまい保護者に負担が出てしまう。
子どもの負担軽減 子どもの負担軽減	統廃合の方法	通学区の見直しのタイミングによっては、通学している子供が困る為。 変化に弱い子どももいるため
子どもの負担軽減		どのタイミングでも学校が変わってしまう子供がいて、その時の子どもだけに負担がかかってしまうと考えます。

大項目	中項目	設問25 「4. 必要ではないと思う」と回答した理由
子どもの負担軽減		子どもの心の負担が大きい
子どもの負担軽減 先生の目		今現在だって、学校の先生達は手一杯でやっているのに、これ以上、学校の数が減るとことは、さらに子供たちに負担がかかるし、統合された学校での児童数が増える事で、教員の目が届かず、生活面でも、学習面でも子ども達に負担がかかり、効率も悪くなると思います。
子どもの負担軽減 先生の目 地域とのつながりが 必要 通学	通学の安全性	今通っている瓦葺小学校がなくなるのは良くないと思う。遠くに通学することの安全面や体力面での不安、地域コミュニティの崩壊にもつながる。1クラスの人数が減ることで先生の目が行き届くし、ゆとりのある生活ができるから存続させてほしいと切に願います。
地域とのつながりが 必要		地域にあつまた形で良いと思います。
地域とのつながりが 必要		子どもの数が偏る原因を追求論議せずに、統廃合だけを考えるのは、職務の怠慢。学校は地域コミュニティの核、安易に合併せずに地域に残せるよう進めるべき
地域とのつながりが 必要 通学	通学距離重視	学校がなくなると、その地域が衰退していくと思うから。登校時間が長くなる子はすごく大変だと思う。
地域とのつながりが 必要 通学 偏りを許容	通学距離重視	学校は地域の中であり、地域として子ども達を見守り支えていただいています。人数調整のために通学距離が遠くなったり、学校がなくなったりすることは、子どもにとっても地域にとっても望ましくないと考えますし、防犯上に問題もあると思います。それぞれの学校には「よさ」があります。それを削除するのではなく、「よさ」を守りながらアップデートしていけるような学校づくりを期待します。
教員		職員の配分で対応可能と思われる
教員 その他	人員削減	通学時間の偏りが極端に発生する児童に題する対応を行政が行うのであれば、教員人数削減に繋がると考える
教員 偏りを許容	数の不足	学校統廃合するよりも、児童数に合わせて教員の数を適切に配置した方が良いと思う。大規模校、小規模校は特色の一つとしてそのままが良いと思う。クラス数を統一する必要を感じない。
教員 居住地選定理由 通学	負担軽減 通学距離重視	統廃合は反対です。統廃合すると、そこに児童数がかかり先生方の負担が増えると思います。我が家は児童数少なく、問題が少ない学区の家を選びました。統廃合することで、その意味もなくなり、通学や避難場所も遠くなり、メリットは一つもないと思っています。
クラスの人数 その他	少人数学級	学年の人数よりも、1クラスの人数を調整してほしい。精神的に未熟な上に40人弱の環境では、周りに合わせられる事が正義になり自己成長に繋がりにくい気がします。安心して社会に出られる様な環境が欲しいです。もちろんインジメは傷害事件とするなど、学生と社会人のギャップを減らしてあげて欲しいです。話がそれですみません。
クラスの人数 先生の目 学校規模への懸念	少人数学級	クラス数で学校再編を考えているが、一クラスの人数を30人以下にして、教師の眼が行き届く余裕のある教育を構築することが最優先課題である。アンケートの質問文に、「国の法律」や「法律で定める」という言葉が使われているが、国のどの法律を指しているのか不明確です。法律という言葉を使うのであれば、該当する法律の全文の記載が必要です。教育委員会のホームページに、適用している法律の全文を掲載することを強く望みます。
クラスの人数 先生の目 通学	少人数学級 通学距離重視	統廃合によって児童数が増えると、教師の目が行き届かなくなると思う。一クラス25名程度で一人一人の子供をしっかりみてもらいたい。また、通学距離が長くなるのは子供にとっても大変だし、親としても心配。
学校規模への懸念		標準が正しく導き出されたものなのか不明確。信頼できない枠組みありきで議論せず地域の適正を柔軟に検討して欲しい。
学校規模への懸念		学校規模が偏ることは悪いことであるかのような前提になっておりますが、そのような確かな実績データはないと思います。
学校規模への懸念		法律で定める標準程度に学校規模を適正化する必要がないと考えます。
学校規模への懸念		小規模、大規模それぞれの良さがあるし全てを均一化するのは難しいのではないかな？
学校規模への懸念 教員 クラスの人数	負担軽減 少人数学級	「学校規模を適正化」の定義として35人学級ベースの3クラスは多すぎる気がします。様々な教育的課題を抱える子どもたちも増え、学習指導要領などで指導時間の増加、などで先生方が対応出来ていないため、受け持ち児童数を減らし、1人1人に関わる時間を増やすべきである。そのためには、15人～25人程度でもよいと思う。「一定規模の集団のもので、多様な人々と協働」についても、多様な人々との協働はクラスの規模に関わらず出来るのでは？「たくましく生きる子供を育成すること」についても、人数ではなく、様々な教育体験や問題解決型課題などで身に着けさせることが出来る。農村部で育った児童生徒であってもたくましく育つため、規模の問題ではないのでは？
居住地選定理由		通学時間を考えて今の家に住んでいるので、通学時間が長くなるなら統廃合はしてほしくないです。
居住地選定理由		住居購入時等、子供の教育環境も考慮した住居選定をするべきである為。
居住地選定理由		その学校が良いと思って家を購入したりしている。今変更えられても困る。
居住地選定理由		子供が行きたい学校、親が行かせたい学校の学区内に合わせて一軒家を購入した人もいます。学区内見直しはやめていただきたい。
居住地選定理由 現状維持		当校に限らず他校でも学校の規模による不満を聞いたことがない。入れたい学校で住む場所を決めている人もいいるし、全ての人が納得するように再編することは不可能である。
人間関係の流動化	交友関係拡大	クラスが少ないといじめなどを受けた時に逃げ場がなくなると思う。人間関係が狭くなる恐れもある。

大項目	中項目	設問25 「4. 必要ではないと思う」と回答した理由
人間関係の流動化 その他	トラブル・いじめ 回避 コロナ	人数が多いと感染リスクも高くなり、いじめ問題も増えると思う
親密な人間関係		小規模な学校は、敬遠されますが、反対に、子供が早くに大人になります。 先生も、めっちゃくちゃ面倒見てくれて、うちは、学区が、変わり、最初は、心配でしたが、子供達は、小規模の小学校で、よかったと言ってます。男女が、仲良しです。 高学年なのに、男女で、バスの席座るのは、当たり前で、先生がびっくりにしていましたが、他の学校は、いじめがあったりして、腐ってると言っていました。
親密な人間関係 通学	子どもの負担軽減	少人数クラスで交流がおろそかになっても 通学距離や時間が大幅にかかるようになるのであれば、通学の負担になりかねないと思います。
将来にまた再編が必要		地域によって、人数の増減あるのは当たり前。 今現在だけの人数で判断すると 無理が起こればと思います。
将来にまた再編が必要		一時しのぎな気がする。こどもの人数が変わったらまた色々見直すのか。キリがないと思う。
小規模校の良さを 生かす 通学	通学距離重視	小規模ならではの良さがある。 再編により、遠くに通わなくてはならないようになった人は、負担が大きい
小規模校の良さを 生かす 偏りを許容 教員	数の不足	大規模校、小規模校それぞれを生かした特色ある学校経営をして欲しい。 みな一緒では、これからの時代に対応できないと思う。 小規模校の方が学力が高い傾向にあるとも言われています。 教員数を増やす方が大事だと思う
子ども同士の交流 子どもの負担軽減		学区を越えて学校選択は、子供の負担になるし、また小学校からの友達付き合いもあると思う。 人数がバラけてしまうのは、仕方ないと思う。地区の特性などもあるため。 また、子供会なども同じ学校だから円滑に進められるけど、学校が違うとなると存続が厳しい。
子ども同士の交流		友達とは一緒にいたいと思う
廃校への懸念		自分の通っていた学校が無くなる事が悲しいから。
廃校への懸念		学校を廃校してほしくない
廃校への懸念 通学	通学距離重視	そのために廃校にすることに反対です。通学が不便になります
保護者の負担		生徒が多なくても少ななくても、親がしっかりしていれば関係ないです。
社会性の育成 地域とのつながりが 必要		学校に対して集団による協働制の学びをある程度は求めるが、規模の大小で大きく変わると思えず、再編により範囲が広がることで地域との密着制が阻害される危惧の方が強い。
部活や学校行事への懸念 通学 地域とのつながりが 必要 財政	通学距離重視	中学校は、部活動の兼ね合いなどから、ある程度の統廃合は致し方ないと思っているが、小学校に関しては、一年生を1時間近く歩かせたり、普段の生活ではほとんど通ることのない踏切や大通りを毎日通学で渡らせるなど考えられないと思います。子どもたちの安全があつてのたくましく生きる子どもでしようと思えます。 地域で子育てをしていこうと推進している中、瓦葺地区が原市と合併したら、広範囲すぎて余計に地域とのつながりが薄くなると思います。 防災に関しても、これだけ子供が増えている瓦葺地区にも関わらず、学校がなくなったら何かあった時、子どもたちにどこまで避難させよというのでしょうか。 人数が多ければ多いなりに人員を配置し、人数が少なければ少ないなりに、それを補う充実した教育をする方法を考えるべきだと思います。 未来を作っていくのは子どもたちなのだから、変な予算の削減の仕方をせずに、大事に育てて欲しいと思います。
その他	検討の進め方	市民の意見を全然聞かずに、学校の統合しますよ誰も納得しません
その他	検討の進め方	市の計画している統廃合が地元の意見を集約していないため
その他		枠組みありきではなく、各地域で適正な状態を導き出せる体制に変わって欲しい。
その他		自然の多い学校は貴重
その他		集団でたくましく生きる意味とはなんですか？ 人は、本来、集団で同じ事をして生きなければいけないのでしょうか？ 協働して生活する事が正しいと言う固定観念がまちかっています。 沢山の人と協働する事は、奴隷社会です。 人は得意を仕事に、仲間と分かち合い生きて行くものです。 集団に詰め込む事が正解では、ありません。
その他		特に
その他		統廃合には反対です
その他		他のアンケートで回答済み

分からない（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「5. 分からない」と回答した理由
通学	通学距離重視	無理のない通学距離は保てるのか気になる。
通学	通学距離重視	不都合に登下校に時間がかかるようになる可能性があるなら、安全性に疑問を感じるから。昔とは、天候や人間、交通事情も違うので一緒にたにして危険性を増やす結果になるのは避けた方がいいと思う。
通学	通学距離重視	標準基準で学校区域を変更するとなると、学校までの距離が長くなる場合、登下校に時間がかかってしまう場合が出てきてしまうと思う。
通学	通学距離重視	必要だと思うが通学時間が増えるのはよくないので、なんともいえない
通学	通学距離重視	統廃合の必要性はわかるが、学校から遠くなるなど、実現が難しそう
通学	通学距離重視	統廃合で学校がこれ以上遠くにはなあってほしくない。
通学	通学距離重視	統廃合でこれ以上学校までの距離が遠くなるのは困る
通学	通学距離重視	統合も良いと考えているが、中学では自転車通学が出来るので、統合しても遠い子は対応できる。しかし小学生は徒歩限定なので、統合すると遠くなってしまふ子が出てきてしまうのは大丈夫なのかが疑問。
通学	通学距離重視	統合すると学校に近い人はよいが遠くなる人がかわいそう。
通学	通学距離重視	登校距離、時間の状況によっては通学事態が大変な場合が出てくると思うので、生徒数クラス数だけでははかれないと思う。新しく校舎、学校が出るなら、人数のバランスをはかることは出きるかもしれませんが、統廃合だけだと厳しく思います。
通学	通学距離重視	登下校の距離が長くなるのは問題だと思うから。
通学	通学距離重視	通学時間が長くなる児童が出る可能性があるため
通学	通学距離重視	通学時間が長くならなければ、いいと思う
通学	通学距離重視	通学時間があまりにも長くなってしまふと大変だと思うから。
通学	通学距離重視	通学距離に考慮必要と思われるため
通学	通学距離重視	通学が今以上遠くなる子供がでてしまうことがあったら失敗ではないのかと思ったから
通学	通学距離重視	通学が遠距離になる人が出る
通学	通学距離重視	通学が、家から遠過ぎて大変になるのを考えると。
通学	通学距離重視	地域によっては必要な統合や学区見直しが必要などもあると思うが、それにより学校までが遠くなる可能性もあり得る。小学生だと自転車通学は出来ないのではどうか？と思う部分もある。
通学	通学距離重視	人数の都合で区域の見直しが行われた場合、通学の距離が遠くなってしまふ等のデメリットをどう解消するのかがわからないから。
通学	通学距離重視	自宅から1番近い学校に通える事が1番かなと思う。
通学	通学距離重視	再編により通学時間が長くなることに不安を感じます。
通学	通学距離重視	再編によって、通学距離が長くなるなどの不安
通学	通学距離重視	今の子供の通学距離が長くないか心配です。
通学	通学距離重視	規模の偏りは是正したほうがいいが、それにより通学時間が長くなるのも問題だと思うから。
通学	通学距離重視	学校までの距離が大幅に増えなければ見直しも有りだと思う
通学	通学距離重視	学校の統廃合は場合によっては良いと思うが、通学距離が長くなるような事は避けたほうが良いと思うので一概に必要とは言えない。
通学	通学距離重視	学校の統廃合により、通学距離が長くなる場合もあり子供に負担がかかる為。慎重に検討すべき。
通学	通学距離重視	学校が遠くなるのは好ましくない。

大項目	中項目	設問25 「5. 分からない」と回答した理由
通学	通学距離重視	学区再編で、今まで以上に遠くなるようなことは、避けてほしいです
通学	通学距離重視	家から学校までの通える範囲と言うものがあるから
通学	通学距離重視	遠距離通学がさらに増えてしまうのではないかと。ただでさえ小学生中学生の毎朝の荷物の重さは大人でも辛い量であるから。小学生中学生は近距離通学を重要視するべきだと思います。
通学	通学距離重視	一定規模も悪くないと思いますが、学校再編により、通学時間が再編前より長くなってしまっている子が出てくると思ったので。
通学	通学距離重視	クラス数が少なすぎるのは是正が必要だとは思いますが、地域によっては、通学距離が長すぎになってしまっているのは子どもたちにとってかなり負担が大きいと思います。
通学	通学距離重視	クラスの数よりも、近くて登下校が、安全なほうが重要だとおもう。
通学	通学距離重視	1クラスのところは可能な範囲で近隣の学校と合併するのは仕方ないと思うが、通学距離が長くなってしまったため、保護者の同意を得られるようにしなくてはいけない。
通学	通学距離重視 学校選択制	地域で人口格差があるのだからこの様な結果になるのは当然だと思う。自分で行きたい学校を選ぶなどこちらに選択ができれば良いとおもいます。 ○家から近い所に通わせたい ○大規模校に行かせたい ○小規模校向いてる など親子の意向がくめる多様な方法でもよいのかと
通学	通学距離重視 子どもの負担軽減	見直しは必要かもしれないが、通学距離がのびたり子どもに支障が出ては困る。親が全て手助けは出来ない。
通学	学校選択制	統廃合する必要があるかどうかは疑問だが、通う学校を選べるようにしたり、学区を変更したりすることも検討出来ると思う
通学	学校選択制	定員を決めて選択制にしたらいと思う
通学	学校選択制	今は、学区外の中学へ通う事もできるから
通学	学校選択制	行く学校を指定できるようにすればある程度の偏りはなくなるのでは？遠くても送迎してでもここがいい！とか思う親御さんもいるだろうし近いからって理由で近くを希望する人もいるだろうから第三希望くらいまで希望を聞くようにしたらいいのでは
通学	学校選択制	現在の一部地域のみ学区選択制は不公平だと感じます。近隣校から各々選択できるようになるのであれば、学校再編は賛成です。
通学	学校選択制	どちらもメリット、デメリットがあるから統一するより個々にあった学校にかよわせられたらいい。
通学	学校選択制	それぞれのご家庭の事情や、考えがあるので…ご家庭で選べるのが良いですね
通学	学校選択制	クラスの少ない学校を希望する方もいる様に思います。学区外でも少ない学校への通学希望を取ってみたいらどうでしょう。
通学	子どもの負担軽減	統廃合により通学が遠くなり大変になる子供が増える可能性があるから必要とは言い切れない。
通学	子どもの負担軽減	登校時間が長くなるような通学区域の編成は、子供の負担になる場合もあるから、一概に良い悪いが判断できないから。
通学	子どもの負担軽減	登校下校の時間、体力的なところ、学校では、受験対策はして下らないので、塾通、習い事を下校後行います。その時間を有効に使う事に考慮頂き、自転車通学を自己責任で許可して頂きたい。
通学	子どもの負担軽減	通学時間が長くなるような分け方はしてもらいたくないです。規模の違いについては仕方ない様に思います。うちは別の小学校の方が近く、重い荷物をかかえて通う子供がかわいそうです。
通学	子どもの負担軽減	通学時間が長くなってしまふのは、重いランドセルを背負っている子供のさらなる負担になるので、統合や再編成は慎重にかんがえてほしい。
通学	子どもの負担軽減	通学区域を見直すことにより、通学時間が増えて子供の負担になるかもしれないので、一概に良い悪いが判断できないから。
通学	子どもの負担軽減	通学区域の見直しは必要だと思うが、廃校などで通学が遠くなった場合、子供の負担が大きくなる。
通学	子どもの負担軽減	小規模な学校を統廃合をするのは必要であると思うが、通学距離や通学路の問題等があるため、一概に必要であるとは言えない。
通学	子どもの負担軽減	小規模でもたくましく生きる子供もいるし、逆もある。親としては統廃合によって学校が遠くなると登下校が心配(低学年)

大項目	中項目	設問25 「5. 分からない」と回答した理由
通学	子どもの負担軽減	小学校の規模を統一することにこだわりすぎると、登下校の巨利が長くなり、過酷になる。熱中症や事故の危険も増える
通学	子どもの負担軽減	子どもが通学しやすいのであれば、通学区域の見直しもよいかと思う。
通学	子どもの負担軽減	今の中学を廃校にしたら40分かかる道のりがさらに遠くなる。子供の負担をどお考えるのか聞きたい
通学	子どもの負担軽減	見直しは必要かもしれないが、通学距離がのびたり子どもに支障が出ては困る。親が全て手助けは出来ない。
通学	子どもの負担軽減	学校統合に伴い学区内が広がることで通学距離がのびたときの、防犯上(通学、放課後、見守り)の問題も併せて時代と照らし合わせ考えていただきたいです。
通学	子どもの負担軽減	学校再編の法律的には必要かと思えます。それにより通学の範囲が広がる事で良い面もあると思いますが、小学生に限っては範囲が広がる事で低学年の通学が大変になるのではと思います。ウチも選べる学区で希望する学校へ通えているので、有り難くメリットが大きいですが、少し距離が遠い為に登下校が特に夏場や天候が悪い時は大変な様なので、学校統廃合時後の実際通う子供達の負担の部分が気になります。
通学	子どもの負担軽減	クラス数が多すぎても少なすぎても、弊害が生じやすいと思う。ランドセルやリュックの荷物が重すぎることや、熱中症、ゲリラ豪雨、地震などが起きた時のことを考えると、統廃合により通学時間が余計に長くなってしまいう生徒がいるのかどうか気がかりです。
通学	子どもの負担軽減	クラスは均等化されるのは好ましいが、通学時間が変更された場合の子供たちの負担が増える可能性が大きいと思うから。
通学	子どもの負担軽減 通学距離重視	1学年の人数やクラス数に配慮して、見直しをするのはわからないでもないが、学区の再編成にあたっては、通学に関する条件(距離や道路事情等)が適切か、などをいろいろ配慮すべきところはあると思うので。
通学	通学の安全性	通学区域を見直すことで登下校時の少人数化につながり危険が増えることも考えられるので、どちらが良いかわからない
通学	通学の安全性	通学区域の見直しは、子供が通える安全なルートなら見直ししてもらいたいが、遠い学校に移動させられ、交通事故が起きそうな通学ルートにされては困る。
通学	通学の安全性	人数だけを見て学区を調整すると、学校までの距離が遠くなる児童が出てくると思う。今の小学校の配置的に、学区を調整するには無理があるように思える。特に小学生などは距離が遠くなってしまっっては安全な通学環境とは言えない。今現在の通学距離とほぼ変わらないのであれば、調整してもいいと思う。
通学	通学の安全性	再編された場合、通学経路、通学時間が長くなるようなことが想定される子どもが増えれば安全面で心配。
通学	通学の安全性	学校によって不平等があるのは良くないが、無理に統廃合をして通学距離が長くなるようなら、登下校が防犯上不安です。
通学	通学の安全性	クラス数のために学校を選ぶことより、小学校は登下校の安全を重視して、近い学校のほうがいいと思うから。
通学	夏場の通学の安全性	北上尾からこの炎天下に重いリュックを背負わされて通って来るのは異常です。うちは学校まで僅かなので、いつも気の毒に感じています。毎日の犬の散歩でもあんなに遠くまで行きません。熱中症で死ぬ子がでる前に対策を是非。
通学	夏場の通学の安全性	以前の案では地域の小学校は廃校予定だった。うちの地域は今でさえ、小学校低学年の子供は通学に徒歩30分前後かかる。異常に重い荷物を持つての登下校は大変だった。特に下校。夏場は熱中症が、冬場は日没が心配。 学校がより遠くなった場合、通学にかかる時間ももっと増える。通学バスがあるなら再編は良いと思うが、そうでなければ子供の負担が増えるだけ。
通学	バス通学	通学が遠くなることも考えなければならぬから、必ずそれがいいか分からない。もし、遠くなるなら、バス通学などをさせてほしい
通学	スクールバス	小規模学校で学ぶことのメリットもありますが、デメリットもあり。なので、統合には条件付きで賛成。 この地域、昔は小学校、幼稚園歩いて通学していたらしいですが、今は、見守る親も働いて時間ありません。地域の人でも高齢者ばかりです。スクールバス必要かと思えます スクールバス導入できなければ、統合の必要無いと思えます。
通学	スクールバス	区域を見直すことで、徒歩で通えなかつたりなど問題点も出てくると思います。スクールバスを導入したりなど安全に配慮しすすめていく必要があると思う
通学	スクールバス 学校選択制	通学区域を固定化してしまうのは、選択肢の自由がなくなってしまいます。遠い学校だとしても、スクールバスなどの対応があれば選択肢が広がるのかと思います。いじめなど、様々な問題を解決するには、選択肢が必要です。

大項目	中項目	設問25 「5. 分からない」と回答した理由
通学	通学区域の見直し	通学区域を見直す
通学	通学区域の見直し 子どもの負担軽減	通学区域の再編や統廃合が必要と感じる一方で、通学の距離が増えたり、危険な通学路が増えたりしないか、どう影響があるのかが、わからない。
通学	自転車通学	児童全員に教員の目が行き届く且つ 統合によって通学時間が伸びることで時間の使い方に不公平さが生まれる為、自転車での通学可能な距離を短く設定してもらえれば、問題ないと思う。
通学		必要だとは思いつつも、学区を選べないのがほとんどの家庭だからどうしても出来ない
通学		人数の都合で、地図上で線引きされた通学区域分けに納得してないため。
通学		必要かもしれないが、通学が遠くなる場合の救済策が提示されなければ受け入れられない。
通学		通学路などあるので。
通学		通学の問題もあり、なんともいえない
通学		通うのが困難でないか懸念
通学 クラスの人数	通学距離重視	統廃合により学校や学童が遠くなるのは困る。 それよりは、少人数学級に力を入れてほしい。1クラス40人は多すぎる。
通学 クラスの人数	通学距離重視	少人数クラスになり、子供が徒歩で歩ける範囲に学校があるのが理想。 今出ているように、小学校をいくつかなくすような案なら、出ている課題と逆行すると思う。 学校を増やし、少人数クラスにすべき。
通学 学校規模の平準化	通学距離重視	学区を見直すことにより、場所によっては遠い学校へ通うことになってしまう子が出てしまうことが懸念される。 フレキシブルに対応できるなら学区見直しによる生徒数の平等や割り振りには賛成。
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	編成をしてバランスが取れるのはいい事だと思うが、それにより、遠くなったり友達と離れないといけなくなるのは、子どもたちがツライと思う。
通学 子どもの負担軽減	通学距離重視	学区を整理することで、登下校の時間が負担にならないならば、という条件がある。 重いランドセルやリュック、手荷物を持つての時間がかかる登下校において、置き勉推奨しないと子供たちの体に負担がかかる。肩こり、頭痛の子供が多いことをもっと重視するべきだと思う。
通学 社会性の育成	通学距離重視	登校距離に差が出来すぎて、遠くなる子供達は登校時間が早くなるなど、どう対応するべきか難しいかと思う反面小規模では子供たちの交流力等が学べないかなとも思いますので、分からないと解答しました。
通学 先生の目	通学距離重視	再編することで、通うのが大変な児童が増えるのであれば、近い学校に通える方が良いと思う一方、あまり大規模な学校だと、丁寧に子どもをみてもらえないのではという不安もあるため。
通学 廃校への懸念	通学距離重視	学校の廃校は反対。学区を見直すのはありだが通学距離が遠くなるなど子供に負担のかかる編成では意味がない。
通学 判断できない	通学距離重視	見直したら通学距離等デメリットも多く出てきそう。ただ少人数のデメリットもわかるからどちらとも判断が難しい
通学 偏りを許容	通学距離重視	登下校の時間が長くなる生徒がでる。 生徒数に偏りが出るのは様々な要因が重なるためある程度は仕方ないと思う。
通学 偏りを許容	通学距離重視	地域での子供の人数の差は仕方ないと思うから 学区などを変更して、学校までにかかる登下校時間があまりにも長くなったりすると、待ってる方も心配
通学 偏りを許容	通学距離重視	見直したことでさらに通学距離が長くなったりすると困る。そういうことを色々対処した上でその偏りを見直すのはいいと思う。
通学 偏りを許容	通学距離重視	規模を均一にする事で、通学距離が長くなってしまうのは問題があると思います。
通学 偏りを許容	通学距離重視	学校規模に偏りがあるのは良くないと思う一方、統廃合により通学時間がかかってしまう人も出てきてしまうと思うので、どちらとも言えない
通学 保護者の負担	通学距離重視	学区が変わることで登校が遠くなるリスクや、共働きが必須の世の中で旗当番の実施が難しくなることへの懸念
通学 偏りを許容	学校選択制	クラス数を基準にするのではなく、子供たちが通学しやすい学校が選択できるとよい。 学校周辺の住宅数も違うし、ある程度の児童数の偏りは仕方ないと思う。
通学 子どもの負担軽減	学校選択制 通学距離重視	再編することにより、通学が遠くなったり、小学校から中学校へ上がった際に同じ小学校のお友達と離れ離れになるならば強制はしてほしくない。
通学 その他	子どもの負担軽減	再編によって、通学時間が大幅に延びる子は負担が大きいのではと思います。 不審者情報も多く、子供達を守るシステムがもう少し確立しなければ、これ以上遠くまで登校はさせられないと思うからです。 校舎の老朽化もあるので、中間地点に新設する等、具体策があれば良いと思います。

分からない（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「5. 分からない」と回答した理由
通学 教育格差	子どもの負担軽減	不必要理由:統廃合のために通学時間に差ができてしまう。遠くなる児童は、熱中症リスク、起床時間が早まるなどの問題があるかと思う。 必要理由:校外学習など
通学 偏りを許容	子どもの負担軽減	偏りは良くないが、学区の見直しにより通学に不便さが出てしまうのは良くないと思う。
通学 偏りを許容	子どもの負担軽減	規模による不平等があってはいけないと思うが、通学区域が変わることにより通学時間や距離が大幅に増えてしまうと、子どもの心身にかかる負担も増大することが予想され、また通学時の安全確保も多少困難になると思われる為。
通学 判断できない	通学の安全性	今のままでいいかもしれないし、悪いかもしれない。教育者でもないのだからわからない。 個人的な意見を言えば、私は通学路が長く、小中学校、はたまた高校まで、痴漢にあったり、不審者につけまわされたり、嫌な思いをしました。 上尾は、学校が多いお陰で自宅から学校が近く、そのような嫌な思いを、今の子ども達にさせなくて済むなら、再編はいらないのかもしれないと、考えてしまいます。
通学 偏りを許容	通学の安全性	登下校の距離が延びて、交通事故や熱中症の危険性が増えるのは嫌ですが、少人数の学校と大人数の学校で、コミュニケーション能力に差が出るのも困ります。
通学 その他	夏場の通学の安全性 跡地活用	実際に、複数の学校が統廃合して今より遠い距離の学校へ通わなくてはならなくなった場合、特に夏が年々暑くなっているのに歩いて通わなくてはならないのは酷だと思います。その場合スクールバスでの送迎なども必要かと思えます。建物自体が古い学校を新しくしたり、廃校になる学校は取り壊すのか、今後どのように使用されるのかが気になるところです。
通学 小規模校の良さを生かす	通学区域の見直し	偏りを少なくするために通学区域を編成し直すことは必要だと思うが、小規模だからと廃校にするのは反対。小規模でも質の高い実践をしている学校は多い。
通学 現状維持		現在通っている小学校が選択区で選べて通学路も近く、学年3クラスで丁度良いほうを選択し、満足している。
通学 人間関係の流動化判断できない	通学距離重視	再編により通学が遠くなるのは避けたい。 子供は大規模校に通っていて、特に不満はない。 ただ、小規模校に通っていたら、交友関係が固定化されるのは心配。再編がいいのかどうなのかわからない。
通学 人間関係の流動化部活や学校行事への懸念判断できない	通学距離重視	学校に通う子どもたちが負担になるような距離まで通わなければいけない、もしくは親が送らないといけないなら必要ないと思う。 でも少人数過ぎると部活が選べないし、人間関係に問題があると逃げ場もないし… メリット、デメリット両方あると思うので。
偏りを許容		行事や学習の体験に良くも悪くも差が出るのが、問題なのかどうか不明のため
偏りを許容		良し悪しがあるとおもうので。 上尾市だけの問題ではないと思う。 人数のかたよりはあたりまえのことだとおもう。
偏りを許容		偏りを解消しなければいけない理由がわかりません。
偏りを許容		偏りがあっても仕方ないと思うから。
偏りを許容		通学区域の見直し等により、望ましくない結果になってしまう家庭も出てくると思う為。
偏りを許容		地区によって住民の数に偏りがあるので、児童生徒数に偏りがでるのは仕方ないと思う。
偏りを許容		人数差による
偏りを許容		規模による不平等があってはいけないと思うが、通学区域が変わることにより通学時間や距離が大幅に増えてしまうと、子どもの心身にかかる負担も増大することが予想され、また通学時の安全確保も多少困難になると思われる為。
偏りを許容		地域で子供の人数に偏りが出るのは、仕方のないことなので、それを解消するのは難しいと思いました。
偏りを許容		人数が多い学校にも少ない学校にもそれぞれの良さがあると思う。
偏りを許容		小規模学級だからこその、善し悪し。 大規模学級だからこその、善し悪し。 がある中で、無理な学校統合は必要とは思わないから。 全てが平均。が模範回答だとは思わない。
偏りを許容		小規模の学校でも、大規模の学校でも、どちらで教育を受けたとしても、それぞれの良い部分の経験ができると思うので、どちらがよいのかはわかりません。
偏りを許容		小規模、大規模なりの良さがあるから。色々な学校規模があってよいとおもいます。
偏りを許容		子どもによって違うから
偏りを許容		環境の違いは全て統一する事は出来ない。 いろんな環境があってもいいと思うから
偏りを許容		大規模、小規模、それぞれの良さがあると思います。ただ先生方が、せっかく元いた学校で培った技術や知識を、異動した先の学校の規模がまったく違うことで、活かさないことがあるのなら、それは勿体無いことだと思います。
偏りを許容		完全に平等にすることは難しいのではないかと感じる

分からない（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「5. 分からない」と回答した理由
偏りを許容 判断できない		社会生活の環境が違う状態では育つ人間も変わる。それも多様性。同じ環境下におかれるということが最善なこととは言えないと思う。 しかし、生産性・効率性では劣ると思うので肯定も否定もできません。
偏りを許容 子どもの負担軽減 通学	通学距離 重視	規模に偏りがあることは子どもが経験することに偏り生じる為、残念ではあるが、区域を見直すことで通学距離などの心配や、仲の良い友達と遠くなることへ子どもが不安に感じる事起こりうる為
偏りを許容 先生の目 部活や学校行事への懸念		人数が少ない学校であれば、じっくり勉強を見てもらえるし、多ければ行事等楽しい事があるので、いいところも悪いところもどちらにもあるから。
偏りを許容 教育格差 通学 その他	通学距離 重視	住んでいる地域によって人数に偏りが生じてしまうのは仕方ないかと思う。人数が少ない学校を統廃合によってなくして遠距離を通学させるのは可哀想だと思う。学校間での交流や、育成の仕方についてなるべく差が生じないように工夫していく方が良いのではないかと思う。
判断できない		どちらの答えになっても、子どもたちの安心・安全を第一に考えた結果につながってほしいです。
判断できない		昔も特に必要なかつけど今は時代の変化についていけないとなのかとも思いますがよくわからない
判断できない		経験がない為、今の状態が当たり前のように思っていますが、変わる事によって良いところも悪いところも出てくると思うので。
判断できない		メリットもデメリットもあると思うので…
判断できない		どちらもメリットデメリットがあるので決められない
判断できない		その年によって子供の人数は変わるので、何がベストかわかりません。
判断できない		時代により児童数が変わり、再編成時期の判断が難しそうだからです？
判断できない		少人数の良い点が生かされているので、この学校で良かったと思っているが、逆も然別だから分からない。
判断できない		小規模な学校に通わせたことがないから
判断できない		小規模な学校、大規模な学校どちらにも利点があると思うからどちらとも言えない。
判断できない		実際にやってみないとわからない。
判断できない		質問内容に理解出来ていない
判断できない		子供たちの学校は、人数も多く小規模な学校に通わせたことがないのでなんとも言えない
判断できない		再編するためには様々な問題が出てくると思うので、その内容を把握してみないと何とも言えない
判断できない		今までのその地域ならではの歴史や伝統、文化を考えた時に、望ましい教育環境とはどんなものか判断する知識がないから。
現状維持		その学校に入学して、その数のクラスで納得してしまう。
現状維持		今の学区では適正な規模だと思う
現状維持		自分が8クラスの中学校でしたが、楽しく豊かに育った記憶があり、多いことも悪くないと思います。
現状維持		今の学校は、あまり競争をさせない。少人数よりは人数が多い方が、競争意識も高められ、社会に出て強く生きていけると思うが、学校の教育事態が「みんな一緒にみんな良い」になっている今、人数が多くても少なくても変わらない気がします。
現状維持		今、小学校を選べる地域にいるが、親が決める事もあると思うが家は結局子供が行きたい学校を選んでいる為
現状維持		登校時間など全く考慮されない見直しはしない。
学校規模の平準化		全ての学校の人数が均等化されることはいいことだと思いますが、実際に学区の見直し作業が難しい気がします。
学校規模の平準化 通学	通学距離 重視	規模の偏りを解消することは必要だと思いますが、それにより子どもの通学距離が遠くなりすぎるのは心配だと思います。 それが解決できるのであれば、規模の適正化は必要であると思います。
学校規模の平準化 通学	通学距離 重視	学校規模の適正化は必要かと思われませんが、一方で学校再編にはおきましては、自宅から学校までの通学時間に偏りが生じるなど、それぞれ一長一短のため。
学校規模の平準化 通学	通学距離 重視	学校規模の適正化は大切だと思いますが、通学距離が長くなるのも心配です。
学校規模への懸念 その他		学校規模の偏りが財政面以外にどのような問題をもたらしているのかわからない(抽象的すぎる)。集約化を進めるのであれば、それによって見込まれる効果を定量的に示すべきである。また、KPIを設定し、目標が実現できたかを市民が検証できるようにすべき。

大項目	中項目	設問25 「5. 分からない」と回答した理由
学校規模の平準化 通学	子どもの負担軽減	学年のクラス数、クラスの人数を標準程度にすることは必要だと思うが、それにより通学路の安全性、適正な距離が損なわれるのであれば賛成できない。
子どもの負担軽減		突然、友達と違う学校になってしまったりしないよう、子供の負担にならない方法があれば見直してもよいと思う。
子どもの負担軽減		学区が変わったことにより、子どもの負担にならないかを考慮すべきだと思う
子どもの負担軽減 通学	子どもの負担軽減 通学の安全性	クラスが少ない事で行事の縮小など、子供達の満足度に偏りがあるなら見直す方がいいとは思いますが。 学区を見直す事で、通学が遠くなってしまったり危険な通学路になってしまったりするのが心配です。
子どもの負担軽減 偏りを許容		学力の差が出てしまうと思うので、必要なかなと考えましたが、子供によっては少人数のほうが安心する子もいるのでは？ 子供の性格や保護者の考えによって選択できてもいいのかな？
廃校への懸念		クラスが少なくてもその学校毎の良いところがあるので、簡単に廃校などにはほしくないほしい
廃校への懸念		近くの小中学校が廃校になってしまうのは困る。
廃校への懸念		学校再編は検討しても良いと思うが、学校を閉校することは回避してほしいです。
廃校への懸念		わからないけど、自分が通っていた母校が閉校したら悲しいと思う。
廃校への懸念 通学	通学区域の見直し	学校の統廃合には反対！ ただ、通学地区を見直すのは必要だと思う。
居住地選択理由		学校の特色を考えて今の場所に引っ越したから
居住地選択理由		魅力ある学校に通いたいため、引越する人もいるので、再編に反対の人もいると思う
居住地選択理由		通わせたい学校の校区で家を買った場合、困るので。
クラスの人数		クラス数よりも各クラスの適正人数を減らした方がいいと思います。
クラスの人数		1クラス少人数制が良い
クラスの人数		1クラスの人数を減らして、クラスを増やしてほしい
クラスの人数 教員		学級数は、通学区域に住んでいる子供の数によりけりなので、学級数を適正にする事より、一クラスの人数を最大25から30程度にしてほしいです。先生の数が足りないのはじゅうじゅうしていますが、今の人数では、先生の負担が逆に多いです。
小中一貫		そもそも、上尾市として予算があるのかないかわからないにもかかわらず、判断できない。 他県はどのように対応して、成功した事例はありますか？ 現在の全国学力テストでずっと中位にいるのに、一貫することで上位にいけると思いますか？
小中一貫 通学	学校選択制 通学距離重視	児童が少ない地域のみ、小中一貫にすることは検討されるべき。 また、居住地に関係なく学校を選択することが出来るようにし、通学距離の短縮が出来るようになることも検討してほしい。
小中一貫 人間関係の流動化		小中一貫教育を実施するには、 小中の学校数は同じか、近隣小学校は教育方針を合わせる必要がある。 クラス数ではなく、良い教師や関係者と出会えるかも重要ではないかと思う。
地域とのつながり 必要		簡単に統合だと 歴史ある学校もなくなって 地域のつながりが薄くなりそう
地域とのつながり 必要		学校再編によって地区に学校がなくなると困るから。
人間関係の流動化		小学生の2-3クラスは少ないと感じる。 子供同士で何かあった時、クラス替えがあったとしても同じ人同士になる事が多く微妙。
人間関係の流動化 通学	通学距離重視	沢山の人のふれあいが大事なのはわかるが、学校は自宅に近いほうが良いと考えているため。
保護者の負担		人数が多いから良いとは一概には思えないが、人数が少ないとPTAなどで親の負担が増えるのもあるので、どちらがいいかはわからない。
保護者の負担 クラスの人数		クラスが多いければ、強制的なPTA、役員をする率が高くなるからクラスが少ない方がいい。それでクラスの人数が増えるなら先生を二人体制にすれば、先生の負担も軽減できると思う。
居住地選択理由		家を購入するときは子供の通学距離が遠くないように決めたため 遠くなったら今住んでる意味がなくなる
先生の日		大規模な学校を、適切な規模にする必要はあると思います。 しかし、愚息の通う小学校は、1学年1クラスですが、小規模だからこそ、先生方の目が届き、どの学年の先生も、「あ、〇〇君、おはよう！」と、名前を把握してくださっている、とても素晴らしい学校です。そのような小規模校を、廃止にしたりする必要はないのでは、と思っています。
特色づくり		各学校の特色(勉強、スポーツ、資格等)を作り、それに共感した学校に通えるようになればいいと思う。(学区や人数制限無し)

分からない（保護者アンケート）

大項目	中項目	設問25 「5. 分からない」と回答した理由
学校施設 通学	老朽化 通学の安全 性	校舎の老朽化などもあり、新しくするためには統廃合が、必要な部分もあるかもしれないが、通学時間が長くなり、安全の問題などを考えるとマイナス面もあるので。
教育格差 先生の目		受けられる教育に差が出るのは良くないと思うが、西小学校でのあたたかい経験や先生方の手厚い関わりは、少ない児童数ならではのだったと思い、感謝しているため。
教員 学校施設		クラスが多くても教員、施設が充実していれば良い。
社会性の育成 その他	避難所	学校が子供の育成の場だけでなく、災害時の避難所や地域の交流の場である面からも考えるべき
能力向上・刺激 人間関係の流動化		その子によって、学年の人数が多いと活躍しない、出来ない子が出てくるし、少ないと友達関係で悩むことも増える。 だから一概には決められない。
部活や学校行事への懸念 現状維持		自分が通っていた中学校は10クラスあったが、合唱や体育祭などで迫力がすごいと県内でも有名で、地域の方の前で合唱をすると大変喜んでもらった。 少なければ一人一人しっかり見てもらえるメリットもあるけど、生徒数が多い醍醐味もある。
居住地選択理由 偏りを許容 教育格差		学校の事を考えて住む場所(住宅)を決めているので、大規模、小規模を今から統合されて変わるのには逆に困る(迷惑) クラスの数の偏りとか全て同じにしなくても良いとは思 それよりも1クラスの人数を少なくして学力をどの学校に通わせても同じ位にすることが必要 隣のさいたま市など土曜日授業をしているのに原市はしていないのは小学校ですすでに学力の差が出ているのはクラスの数の問題ではない
その他	地域性	地域に合わせて進めていけば良いと思います。
その他	地域性	地域によって人数が変わると思います。
その他	地域性	地域によって人数がちがうから 仕方がない
その他	地域性	地域ならではのよさも弊害もあるので、どちらが良いか判断しづらい
その他	地域性	子供にとって、先生にとって最適とはどのような状態なのでしょう？学校によって生徒数の偏りが出ているのは市の街づくりがおかしいと思います。キャパオーバーしてる学校区域内にどんどん家が建っている。今後もそうなるのなら市としての街づくりをどう考えているのか？学校再編する前にそっちを聞きたいです。
その他	地域性	学校は容易に作れないし動かせないし柔軟に対応できないし、地域ごとに人口や年齢構成も変化するので、街づくりも思った通りに設計できないので、この問題は解消できないと考えました。
その他	見直しの方向性	そのようなことで、たくましく生きる子どもを育成できると考えることに疑問を感じます。
その他	統廃合の方法	時代により児童数が変わり、どのタイミングで再編成するのかの判断が難しそうだからです。
その他	検討の進め方	それぞれの保護者にはそれぞれの考えがあるので、アンケートによる多数意見での方向性の決定は納得出来ないから。
その他	分からない	わかりません
その他		学力に差が生じているなら、まずはそこを保護者に説明すべき。
その他		学生数がいっぱいいるといいかも知れません、
その他		例えば富士見小。建て替えた上に「モデル校」ということで「何か特別なんだ」ということで小学生にあがる前に学区へ引越した家族が多くいました。 校舎を新しくしないと何か特別なことはできないのでしょうか？ 出る杭を叩く公立が特別なことをした結果だと思います。

4. 教員アンケート 問 7-2 学校再編理由

(1) 「必要」「どちらかといえば必要」と回答された方の主な理由

①教員の負担軽減

学校再編により学校により差が出ている教員の業務量の差が縮小する、必要な教員が確保でき負担が軽減するといった校務負担の平準化を期待する意見が多く出されている。これらのことが教員の働き方改革につながると期待する意見も出されている。

②児童生徒の人間関係

クラス替えできることで、児童生徒の人間関係が固定化せず、トラブル・いじめ回避にもつながるといった意見が多く出されている。

③学校規模の適正化（平準化）

教育の機会が学校間で平等・公平であるべきだ、学校規模の偏りは適正化（平準化）した方が市全体として教育効果が高まるといった意見が出されている。

④その他

児童生徒の通学距離への懸念などが出されている。

(2) 「どちらかといえば必要ではない」「必要ではない」と回答された方の主な理由

①通学に関すること

学校再編により通学距離が遠くなることへの懸念が出されている。

②その他

地域とのつながりを重視する意見や、地域事情への配慮を求める意見も出されている。

(3) 学校再編の是非【単数回答】(n=646) (上段：実数、下段：%) ※報告書本編より

全体	問7-1 学校再編の是非					
	必要であると思う	どちらかといえば、必要であると思う	どちらかといえば、必要ではないと思う	必要ではないと思う	分からない	不明
646	224	274	52	25	69	2
100.0	34.7	42.4	8.0	3.9	10.7	0.3

(4) 学校再編の是非の理由まとめ (注：Nは出された意見の数)

①「教員」学校再編
「必要」理由(N=227)

意見項目	単位：%
教員	22.9
人間関係の流動化	13.7
学校規模の平準化	13.2
教育格差	8.4
平等・公平	7.0
社会性の育成	4.4
部活や学校行事への懸念	4.4
通学	3.5
教育の質の向上	3.1
その他	19.4

※3%以下は、その他に計上

②「教員」学校再編
「どちらかといえば必要」理由(N=205)

意見項目	単位：%
人間関係の流動化	15.6
学校規模の平準化	14.1
教育格差	12.7
教員	12.7
通学	8.3
平等・公平	8.3
社会性の育成	6.3
部活や学校行事への懸念	3.9
その他	18.0

※3%以下は、その他に計上

教員に関することが最も多く (①22.9%、②12.7%)、次いで児童生徒の人間関係に関すること (①13.7%、②15.6%)、学校規模の平準化に関すること (①13.2%、②14.1%) や教育格差 (①8.4%、②14.1%) が多くなっている。

③「教員」学校再編
「どちらかといえば不要」理由(N=49)

意見項目	単位：%
通学	51.0
地域の特性	18.4
偏りを許容	6.1
教員	4.1
クラスの人数	2.0
クラス数	2.0
学校規模の平準化	2.0
教育格差	2.0
現状維持	2.0
時代に合わせた教育環境の整備	2.0
将来また再編が必要	2.0
小規模校の良さを生かす	2.0
先生が目	2.0
地域とのつながりが必要	2.0

④「教員」学校再編
「不要」理由(N=24)

意見項目	単位：%
通学	33.3
地域事情への配慮	12.5
クラスの人数	8.3
現状維持	8.3
将来にまた再編が必要	8.3
小規模校の良さを生かす	8.3
地域とのつながりが必要	8.3
施設の複合化	4.2
教員	4.2
廃校への懸念	4.2

通学に関すること (③51.0%、④33.3%) が最も多く、次いで地域特性 (③18.4%) や地域事情への配慮 (④12.5%) などに関することが多くなっている。

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
教員	負担軽減	偏りがあることによって、教員の業務内容にも偏りがあると感じるため。
教員	負担軽減	働く側としては違いがありすぎて、働きやすさに差があるから
教員	負担軽減	単学級の指導が、とても困難だから。
教員	負担軽減	大規模校は、1つの授業を複数で持ったりして指導の方針が一貫しないのと、事務作業だけでも膨大な数になるから。
教員	負担軽減	大規模の学校では、学年や学校で統一して指導を進めるのが大変だと思うから。部活動指導やテストの採点等で業務量に大きく差がつくと感じるから。
教員	負担軽減	先生あたりの生徒数がsる程度一定化されていないと、業務内容や業務量に差が出るため、働き方改革の進捗が下がると思われるから。
教員	負担軽減	人数の偏りがあると指導が大変だから
教員	負担軽減	小規模校は教員の負担が大きい。標準法が変われば小規模もよい
教員	負担軽減	小規模校は課題が多くあるため、適正にするべきである。小規模校は教員の数も少なくなり、かかっている業務はどの学校も同じなので、負担がかなり大きくなるため。
教員	負担軽減	小規模校と大規模校で、ほぼ同じことや同じ分掌をやっています。小規模校では圧倒的に教員一人に対する仕事量が多いです。教員の数は同じようにしてほしいです。
教員	負担軽減	小規模校では校務分掌を複数担当し、教員一人当たりの負担が大きくなっている。働き方を考える上でも、小規模校をなくしてほしい。また、規模が大きい方が業務効率は良いので、規模は大きいに越したことはないと思う。中規模校も数年の後は小規模校になると思うので。
教員	負担軽減	児童数の差は、教員数の差につながり、職員一人当たりの負担に差が出てくる。
教員	負担軽減	指導する教科によっては1人で全校生徒の成績処理を行わなくてはならない教科がある。現状700名近くの成績処理をしているが大きな負担を感じるため。
教員	負担軽減	校務分掌や受け持ち生徒数の差異
教員	負担軽減	教職員の負担軽減を図れる可能性があるため(働き方改革への道筋)
教員	負担軽減	教職員の人員不足を補うために必要だと感じているから
教員	負担軽減	教員の負担も学校規模によって一定ではないため
教員	負担軽減	教員の人数に偏りが生じ、勤務体制が学校ごとに大きく異なるため、生徒の人数やクラス数はできる限り、揃えた方がよい。
教員	負担軽減	学年で2クラス以上あれば学年だよりや会計を分担したり、教材研究を分担したりできるから。
教員	負担軽減	学校規模の教員数により、仕事量(出張や校務分掌、部活動等)が変わるため。一人の教職員にかかる負担が変わるため。
教員	負担軽減	学校規模の違いによる教職員の負担の差をなくすため
教員	負担軽減	学校ごとで教員の負担に差が生じすぎる
教員	負担軽減	クラス数が多ければ、負担が大幅に増える。
教員	負担軽減	クラス数が多いと職務の仕事量に偏りが出る。若手育成という名の「押し付け」がある
教員	負担軽減 費用削減	教職員の再編成ができ、必要なマンパワーが集結できる。管理職の数も減るので人件費が抑えられる。
教員	人数の確保	統廃合することで、1校の教員数を増やし、より手厚くできるのであればよい。
教員	人数の確保	教員の配置にも影響するので、人の力を多く子どもたちにかけるにはある程度の児童数が学校に必要なから。
教員	人数の確保	教員の数を適切に確保するため
教員	人数の確保	教員の確保
教員	人数の確保	学校教員や管理職不足解消のため
教員	教員間の連携確保	5クラス以上だと、教員間の連携もとりづらいため。
教員 学校規模の平準化	負担軽減	学校規模で生徒の教育環境が大きく変わる。職員の仕事量も変わってくるから。
教員 平等・公平	負担軽減	学校規模にばらつきのない方が、生徒の教育環境(や教職員の労働環境)の改善に市全体として統一した取組ができると考えられる。
教員 社会性の育成	負担軽減	児童生徒側では、集団での学びの面、教職員側では働き方改革の面で必要であると考えます。
教員 教育の質の向上	負担軽減	教員の働き方改革→教員の心のゆとり→質の高い教育→子供や地域への還元
教員 教育の質の向上	負担軽減	教育の質に差がでるため。また、小規模校と大規模校とで教員の業務に差が出ている。その差に対する金銭的な補助などもないため。
教員 保護者の負担	負担軽減	市内共通の取り組み(陸上競技大会等)を行う際、クラス数によって教員や保護者への負担も変わってきてしまうと思うから。
教員 学校施設	負担軽減 利用頻度	教職員の校務分掌の担当数の適正・均一化を図ること。体育館やプール、など様々な学校施設のゆとりある利用のため。

必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
教員 財政	費用削減	教員数の確保ができる。費用等多くの面で無駄が省ける。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	多感な時期にたくさんの大人（教員や地域）と子供にかかわることが、子供の成長に必要であると考え る。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	人間関係が固定化し、視野が狭くなってしまうため。また、いじめ問題等の諸問題が発生した際の解決 が非常に難しいため。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	交友関係を構築してためにも複数学級の方が心が豊かになる。友達が多数いることで刺激を受けな がら学校生活を送ることができる。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	クラス数が少ないことで人間関係が上手くいかなかった時にクラス替えができず逃げ場がなくなってしまう から
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	1学年1クラスだと人間関係が固定化され、不登校の増加など弊害を生みやすい。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ 回避	1クラスでは、いじめ問題が出た時など児童の環境を帰ることができない
人間関係の流動化 教育環境	人数不足ゆえの 制限	単学級は人間関係が固定化しやすかったり、学習において、新たな気付き等につながりにくい。
人間関係の流動化		保護者や児童の人間関係がうまくいかなかったとき、クラス替えは重要。次年度に引きずらない。
人間関係の流動化		偏りがあると、子供の成長過程の中で、人間関係の育成等に差が生まれてしまうため。
人間関係の流動化		配慮が必要な児童や、児童生徒間の相性を配慮し、児童生徒と職員の固定化を防ぐため。
人間関係の流動化		単学級は、人間関係が固定化しやすく、多様な関わりを経験させたいと思うため。
人間関係の流動化		単学級で6年間学校生活を送るよりも、より多くの友達との交流があった方が、人間関係作りに有効で あると考える。
人間関係の流動化		多様な人々との関わりが必要であると考えから。
人間関係の流動化		生徒の多様な人間関係づくりのために必要だから
人間関係の流動化		人数が少なすぎる→人間関係の構築が閉鎖的になる
人間関係の流動化		人間関係作りのため
人間関係の流動化		少人数でも良いこともあると思いますが、多くの生徒との関わりという時間も大切だと思います。
人間関係の流動化		小規模校では、新しい人間関係が築き上げづらいから
人間関係の流動化		小規模な学校の子どもは物理的に多様な人々と関われないため
学校規模の平準化 人間関係の流動化		児童数の多さによって、児童全体をみとることが厳しくなってしまう。また、児童数が少なすぎると、児童 同士が関わる機会が少なくなってしまうと思う。どちらも厳しさがある。
人間関係の流動化		子ども達の交流は必要。単学級だと人間関係に偏りが生まれると思うから。
人間関係の流動化		1学年1クラスでは、活動に限界があり、児童の人間関係が固定化してしまうと思われるから。
人間関係の流動化		小規模校では限られた人間関係になりやすく、教育効果が限定されるため
人間関係の流動化 教員	人数の確保	小規模であるとしても人間関係が固定化してしまう。中学校では教科の教員を全て確保することが 困難になり、学校運営に支障をきたす。
教員 人間関係の流動化	人数の確保	クラス替えができることと教員の確保
人間関係の流動化 教員	負担軽減	単学級は人間関係が固定化される。また、小規模校は教職員の校内分掌が多く、負担。
人間関係の流動化 教員	負担軽減	規模が小さければ単学級のよさもあるが、6年間クラス替えがないままの友好関係しか築けない。また 職員数も少なければ行事を行う上での職員の負担が一人にのしかかる。
人間関係の流動化 通学	通学距離重視	交友関係は、広い方が、良い。通学時間の通学適正化適正化。
人間関係の流動化 学校施設	利用頻度	人数が少なすぎると人間関係が固定化してしまう。多すぎると市内の学校では施設（体育館等）の面等 で対応が難しくなってしまう。
学校規模の平準化	中一ギャップ	少人数の小学校から中学校へ入学すると適応できない生徒が多いと感じる。
学校規模の平準化	中一ギャップ	小規模校の生活から中規模の人数の中学校に入学した時の様々なギャップへの対応が大変だと考 えている。
学校規模の平準化 平等・公平		生まれた地区により、子供に不平等感があるといけないから。大規模、小規模、ともに一長一短があり、 それらを均等化して、すべて中規模に編成することが大切だと考える
学校規模の平準化 平等・公平		公教育は平等な機会を提供するべきだから。生徒が減っているから、統廃合して教室や教員を減らす のではなく、少ない学校に多い学校の生徒を移して、より丁寧にみられるようにするのが望ましいと思 います。
学校規模の平準化		適切な規模があるため
学校規模の平準化		適切な学校規模での教育が保障されるべきだから
学校規模の平準化		中、大規模での学校生活との差が出てしまうから

必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
学校規模の平準化		単学級をなくし、各学年2クラス以上はあるといいと思う。
学校規模の平準化		人数に偏りがあるため
学校規模の平準化		少な過ぎも多すぎも良くないと思うから
学校規模の平準化		児童数に偏りが大きい。小規模、大規模、それぞれに弊害があると思われるため。
学校規模の平準化		児童数が違いすぎているため。
学校規模の平準化		子供の安全、教員の目の届く限界を超えている人数で心配な学校もある為。
学校規模の平準化		現状、実態に合わせることは必要だから。
学校規模の平準化		均等化が必要
学校規模の平準化		規模の差により格差が生じるのであれば、同一程度の規模に揃えることも必要だと思うから。
学校規模の平準化		学校再編しないと、施設面や教職員数などに支障が生じ、持続可能な学校ではなくなってしまうと考えるから
学校規模の平準化		学校規模の格差の解消
学校規模の平準化		学校規模に偏りがあるため
学校規模の平準化		学校規模によって偏りがでるため。
学校規模の平準化		学校規模の違いが大きいから
学校規模の平準化		学区によって生徒の人数が違うので普段の生活の取り組みや行事などでも生徒の様子が変わってくるので、ある程度の人数がいる方がよい。
学校規模の平準化		クラス数の偏りがあると問題だから
学校規模の平準化		1学年2～3クラス程度の方が全体的に目が行き届きやすい。
学校規模の平準化 通学	通学距離重視	学校や学年の規模が大きすぎると、保障される学習環境にも偏りが生じるため、児童生徒一人ひとりのために、一定規模に絞る必要があると思いました。通学に時間を要す児童も、負担が軽減されると良いと思ったからです。
学校規模の平準化 教員	負担軽減	偏りを解消することで、教員が全部の子どもを把握しやすくなること、成績処理等教員の働き方改革にもつながると思うため
学校規模の平準化 クラスの人数		どの小学校も2クラスくらいになるように学区を見直すことはいいと思う。統廃合は反対です。1クラスの人数を減らすことが大切だと思います。
教育格差		地域性はあると思うのですが、できるだけ平等な教育を与え、学校間の格差をなくした方がいいと思います。
教育格差		地域差がない方がよいから。
教育格差		児童の教育環境に大きな違いがあってはならないと考える。
教育格差		市内で教育の差ができないようにするため、どの学校も各学年クラス数は同じ方がよい。
教育格差		市内での格差がなく、市内にいる児童が同じように教育をうけるべきだから。
教育格差		教育環境によって、子供の成長に違いが多少あると感じているので。
教育格差		教育や体験の均等を図るため。
教育格差		教育の質の均等化のため。
教育格差		教育の機会均等が保たれない。
教育格差		学校規模の偏りは生徒の選択できる幅にも格差を生じさせるため
教育格差		学校間における教育環境の格差を是正することは必要と考えるため
教育格差		学校の規模による格差をなくすため。「住んでいる地域だから仕方ない」で終わらせないため。
教育格差		学校により差があるのはよくないと感じるため、見直す必要があると思う
教育格差		どの学校も同じ規模の方が平均した教育ができるから
教育格差		クラス数の違いによって様々な差が生じると思う。(学力・体力・生徒指導など)
教育格差		「学校」として公教育の場を確保し、教員の負担減とニーズに応じた生徒対応をするためには、統廃合が現実的に良いのではないと思うから。
教育格差 教員	負担軽減	偏りが生じている状況は、児童の学習機会はもとより、教職員の仕事量にも大きな影響があるため
教育格差 教員	負担軽減	学級数の偏りで、児童の教育にも偏りがでたり、教員の仕事量にも偏りがでると感じるから。
平等・公平		偏りをフラットにすることは必要なことである。子どもの教育にも偏りが生じるため。
平等・公平		偏りはないほうがいい
平等・公平		偏りが解消されることで学習状況が均一化される可能性があるから。
平等・公平		同じような環境の方がいいと思う

必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
平等・公平		地域での差をなくすべき
平等・公平		人数の隔たりは教育の機会均等が保たれない気がするため。
平等・公平		住んでいる場所によって学び方や人間関係の作り方に偏りが生じるから。
平等・公平		教育の平等性
平等・公平		学習機会の平等のため
平等・公平		学校間の差が出てしまう。
平等・公平		学校間の格差をなくすことができ、どの学校でも同じような教育を受けることができる。
平等・公平		学校間での偏りをなくすため。
平等・公平		学校によって、できること、できないことの格差が生まれてしまうから。
社会性の育成		同年代の様々な人と触れ合える機会を確保するため
社会性の育成		適正な規模の集団生活が、教育活動の中で必要だと考えているため
社会性の育成		人数の環境は、子供たちにとっても必要な学習環境であると考えているため。
社会性の育成		集団の中で行動することはどの年齢段階においても必要なことだから
社会性の育成		一定規模の集団のもとで、多様な人々と協働しながら、学習や生活を行い子供達を育成することができる。
社会性の育成		一定規模の集団のもとで、多様な人々と協働しながら、たくましく生きる子供を育成することに必要性を感じるため
社会性の育成		コミュニケーション能力をつけるには、必要だと考えたため。
社会性の育成		ある程度の児童数があった方が、社会性の学びになると思うから
社会性の育成 能力向上・刺激		1学年1クラスでは、学力や体力、社会性などさまざまな面で成長の限界があると思うからです。
部活や学校行事への懸念		中学校の部活動維持のため
部活や学校行事への懸念		生徒数の偏りがあると、委員会や部活動などの自己選択の幅が狭まってしまうため。
部活や学校行事への懸念		生徒数が極端に少ない学校は教員の数も少ないため、部活動に教員が適切に配置できない。それにより、部活数を泣く泣く減少させた結果、生徒はその学校でやりたいスポーツを選択できず、通学区域外の学校にわざわざ通い、自分のやりたい部活動へ参加する生徒が出ている。
部活や学校行事への懸念		小規模校と大規模校では人数によってできる行事が変わってくるため、同程度の人数にすることで、市内で同じような行事を行うことができると考えるため。
部活や学校行事への懸念		市内の小学校で行う、様々な行事等で問題が発生するから
部活や学校行事への懸念		行事や部活動、人間関係の構築などで一定の生徒数・クラス数を確保する必要があると考える。
部活や学校行事への懸念 保護者の負担		学校の規模により、行える行事等に差が出てしまうと、地域、保護者の信頼がなくなると思います。
部活や学校行事への懸念 人間関係の流動化		学校間で大きな偏りがあることで、本来の規模以上に人数が多く、満身に活動できない学校や少ないことで人間関係や行事関係に影響のある学校も多いと思うため。
部活や学校行事への懸念 教員 学校規模の平準化	人数の確保	生徒人数が少ないとできる活動も限られてくるし、配置される職員数も減り、まわらなくなる。逆に生徒数が多すぎても目が行き届かなくなるため、人数調整は必要と感じる。
通学	通学区域の見直し	通学区域に関して偏りがあるように感じているから。
通学	通学区域の見直し	学区の関係で近くに学校があるのに自転車や遠くの学校に通う生徒がいるので、通学区域の見直しは必要だと感じている。
通学	通学距離重視 通学区域の見直し	徒歩の距離に差がある。他の学校の方が近い児童がいる等。
通学	学校選択制	選択する方法は、必要になる
教育の質の向上		偏りが少ない方が、教育活動の充実につながると思うから。
教育の質の向上		多様な学びの機会を実現するため。
教育の質の向上		生徒の人数が多すぎたり少なすぎたりすると効果的な教育活動がしにくくなると思う。
教育の質の向上		質の高い教育活動を推進するため
教育の質の向上		教育の充実を図るため

必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
多様な価値観の形成		偏りがあることによって、考え方やコミュニケーション等にも偏りが出ると考えるため。
多様な価値観の形成		単学級の場合、多くの友達との価値観の相違などを知り、人間関係作りを学ぶには限界を感じるから
多様な価値観の形成		少人数の学校では、井の中の蛙状態になってしまいがちだから。
多様な価値観の形成		一定規模の集団のもとで、多様な人々と協働しながら、たくましく生きる子供を育成するためには必要なことだと思うので
学校施設 教員	利用頻度 負担軽減	大規模校は体育館や様々な施設の使用が自由がききません。また、小規模校は部活動や委員会等、授業準備も負担です。
時代に合わせた教育環境の整備		世の中の多様化に伴って
時代に合わせた教育環境の整備		社会情勢にちなんで
時代に合わせた教育環境の整備		児童数や教育環境が変化しているのだから、時代に応じた再編成は必要であるから。
時代に合わせた教育環境の整備		今の時代に合った教育体制にするため
学校施設 教育格差 通学	地域での有効活用 通学距離重視	学校の建物や空き教室の有効活用と、教育力の平均化、通学距離の適正化のため
財政		老朽化した学校を維持管理するためには、学校数を減らす必要を感じているため
財政		統合による財政面のメリットは、教育に必要。
財政		財源の観点から
財政		限られた予算を効率的に使っていくのが公教育の使命とを感じるから。
少人数学級		児童の人数が少ないほうが、ゆとりをもって指導できるため。
少人数学級		クラス内の人数を30人未満にしたほうが指導が行き届きやすいから。
少人数学級		1クラスの人数が均等化されれば、教師の指導が同じように行き届くようになるため
先生の目	個別指導の充実	個に応じた指導をどの学校でもしやすくなるから。
先生の目	個別指導の充実	一人ひとりの個性を大切に教育にあたりたいから。
先生の目		指導が行き渡りやすくなるから。
クラスの人数		時代にあった教育をするうえで、児童生徒の数も見直す必要があると考えるから。
クラスの人数		1学級35人から40人は、多すぎる。今の時代に即していない。1家庭あたりの子供の数が減っていて、不登校傾向の児童が増えている中、25人以下が適切だと思う。
支援学級		全校の児童生徒数は支援学級の児童生徒数に直結している。支援学級も生徒数が少なく、集団生活や共同学習の経験を積むことが難しくなっているため。
支援学級		現在特別支援学級を担任しているが5クラスで29人と、人数が多く、指導の難しさを感じているため
教育環境	人数不足ゆえの制限	生徒数が少ないためにできない教育活動がある。
教育環境 教員	人数不足ゆえの制限 負担軽減	単学級では学ばせられないことがあると感じるため、校務分掌の負担軽減のため。
学校施設	利用頻度	大規模であると、体育館や特別教室等の使用に制限が出てしまったり、校内の教室数にゆとりがでなかったりと、のびのびと児童を学ばせることが厳しい面がある。そのため、上記の取組は必要であると考えられる。
クラス数		3クラスが一番適切な数と考えているため。
能力向上・刺激		児童の社会性や協調性、学習面においても切磋琢磨できるような人数は、必要であると考えため
その他	少子化	少子化なので仕方がない
その他	地域事情への配慮	持続可能で地域を大切にするために適切な判断をする必要がある。
その他	民間活用	財政負担の軽減のため。遠距離通学の児童のための送迎バスの導入、水泳指導の民間委託等、積極的に民間事業を活用したとしても、財政負担は軽減するはずだ。
その他	法律	法律に定められているから。
その他		必要だから
その他		公教育だから。

どちらかといえば必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	単学級は、1年から6年までクラス替えがなく、一度人間関係でトラブルがあると、なかなか解消されないため。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	単学級になってしまうと、クラス替えができなくなり人間関係の改善に取り組むことが難しくなる。学校再編を進めることで複数学級となれば、この点が解消されると考えるから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	小さな学校で、限られた人数で密接に関わり合い、成長していく場合もあるが、1クラスゆえにトラブルが多く、発達の支援を必要とする児童への配慮、低学力者へのフォローなど、担任一人では抱えきれない課題が山積してしまうことがある。クラス替えができる規模の方がトラブルへの対処やバランスを考えた配置ができ、これが児童の心の安定や健全な成長にも繋がると考える。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	学年1クラスの学校だと、交友関係に問題があっても解消することが困難である。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	ひと学年ひとクラス、単学級では人間関係の固定化や関係が濃くなりすぎ、より良い人間関係の構築を育むことに障害が生じると感じているからです。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	クラス替えがないことで、人間関係が悪化してしまったり、中学校でいきなり人数が増え、対応できなくなってしまうから。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1クラスだと、他の児童との交流ができないこと。何か悩んだときに、他のクラスの友達に相談したくても難しいところ。
人間関係の流動化	トラブル・いじめ回避	1 多くの児童との関わりが救いとなる児童もいるため。クラス替えができず人間関係が固定されると、つらい思いをする児童がいると考えられるため。
人間関係の流動化		単学級を担任したことがあるが（その学年は1年生から単学級で、自分が担任にしたのは5年生）、子供達の輪の中に教師が入り込むような空気が嫌であった。（4月）
人間関係の流動化		単学級は、人間関係が固定されてしまうので、複数クラスがあった方がいいと思う。
人間関係の流動化		単学級では人間関係が育たない
人間関係の流動化		多くの友達と関わりを持つことが大切だと思う
人間関係の流動化		人間関係の偏りがでるため。
人間関係の流動化		小規模校と大規模校では同じ市内でも行事や生徒同士の交流面で大きく状況が異なるため。
人間関係の流動化		小規模の良さもあるかと思うが、ある程度の人数や多様な人間関係の中で学び得るものは大きいと思うから。
人間関係の流動化		児童にとってクラス替えができる環境があることが望ましいから。
人間関係の流動化		子供たちのコミュニティ作りの輪が広がるから。
人間関係の流動化		固定化した人間関係は社会性を育成するうえで、ハンデになると思うから。
人間関係の流動化		規模が大きすぎると活動に制限がかかるため。規模が小さいとクラス替え等もなく、人間関係を広げにくい。
人間関係の流動化		学年1クラスだと人間関係に広がりがないので
人間関係の流動化		1学年1学級については人間関係の固定化による弊害があることを踏まえ、解消を考えたほうが良いと感じる。
人間関係の流動化		1学年1クラスだと人間関係が固定化してしまうため。
人間関係の流動化 通学	通学距離重視	単級だと学級内での立ち位置が固定化されがちであるが、あまりにも遠いと通うのに不便
人間関係の流動化 社会性の育成	トラブル・いじめ回避	人間関係のこじれ等があっても複数学級であればクラス替えの対応ができることと、多様な児童との関わりを経験することで、互いに高め合えたり社会性を身に付けたりすることが期待できるため。
人間関係の流動化 教員	負担軽減	規模が小さすぎると、子供の人間関係が固定化されてしまったり、教員数が少ないことで業務の負担が増えるため。
人間関係の流動化 教員	通学区域の見直し 負担軽減	単学級だと、クラス替えが無いことや、教員の負担が大きいと感じるから
人間関係の流動化 先生の目		交友関係を広げるとともに、教員の目や指導が届きやすくするため
学校規模の平準化		必要ではあると思うが、通学距離等を考えると現実的には厳しいと思う。
学校規模の平準化		特色である一方で、差でもあるから。
学校規模の平準化		同じ市で偏りが無いほうが良い。
学校規模の平準化		適切な児童数が必要だから
学校規模の平準化		適正な教育活動のため
学校規模の平準化		適正な規模の集団にした方が、教育活動が効果的に行えるから。
学校規模の平準化		通学時間や方法に問題がなければ、必要であると思います。
学校規模の平準化		通学区域等の再編をすることで改善される見込みがあるなら必要だと思います。一方でこれまでの大規模校と小規模校のそれぞれの良さがなくなってしまうのも気になることです。
学校規模の平準化		通学区域を見直すことで学校規模が多少是正されると考えられる。

どちらかといえば必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
学校規模の平準化		単学級の動きにくさ、不便
学校規模の平準化		生徒数に差があるのはしょうがないし、生徒数がないと学校運営にも課題が多くなると思うから。
学校規模の平準化		生徒をバランスよくみたほうがいい。
学校規模の平準化		成長著しい時期に適正規模の集団でことは過ごすことは大切だと思うから。
学校規模の平準化		人数の多すぎる学校や少なすぎる学校があるから。
学校規模の平準化		小規模の学校と大規模の学校では、児童の学習や生活の環境が大きく異なると感じるため。
学校規模の平準化		児童数の変動が激しく、学校行事に検討や修正をする必要があるので
学校規模の平準化		子供が少なくなっているので、各学校の人数の偏りを調節した方が良く考えたため
学校規模の平準化		子どもの人数の偏りを無くすのに賛成だと思うから。
学校規模の平準化		今ある学校はそのままに、通学区域を見直して児童数の偏りをなくすとよいから
学校規模の平準化		教育活動がしやすい児童数、クラス数にするため
学校規模の平準化		学校区によって人数の多少が出てくるのはしかたないので、それを通学区域を見なおすなどして均一化したほうが、施設の面、教師数の面、児童数の面でメリットが増えると思うから。
学校規模の平準化		学校規模を均一化するため
学校規模の平準化		学校規模の偏りを解消するため
学校規模の平準化		学校間で人数差に大きな差がありすぎるから。
学校規模の平準化		学校ごとに生徒の人数に偏りが無い方がよい
学校規模の平準化		学級数や児童数が多いことや少ないことにより、それぞれ活動が制限されてしまうことがあると思うから。
学校規模の平準化		どの子も同じような規模の集団のもので学校生活を送る経験を小学生のうちからさせておいた方が、今後の人間関係形成などに役立っていくのではないかと考えるから。
学校規模の平準化		どの学校でも同じような規模で教育を展開することで、市としての教育力が上がると考えるため
学校規模の平準化		できるだけ似たような環境で子供たちを育成していった方がいいと思うから
学校規模の平準化		クラス数に偏りがあるため。
学校規模の平準化		クラス数が多すぎても大変だから。
学校規模の平準化		おなじくらいの規模になるとよいと思うから。
学校規模の平準化		ある程度の人数の集団でしか、学べないことや体験できないことがある。
学校規模の平準化		ある程度の人数がいた方が様々な考えに触れることができるから。
学校規模の平準化		ある程度、同規模が良いと思うため
学校規模の平準化		3クラス程度が人間関係も偏らずにできる
学校規模の平準化		1学年5クラスは多すぎる。
学校規模の平準化 地域とのつながりが 必要		集団生活を送る上である程度の人数は必要であると思うが、自分の地域で学ぶことも大切であると考え るため
教育格差		単学級の学校の児童の教育の機会を適正化するため
教育格差		大規模も小規模もそれぞれの良さがあるとは思いますが、差が出すぎてしまうと困ると思うから。
教育格差		多少の差は問題ないが、現状はあらゆる面で偏りが大きすぎると思う。
教育格差		人数の偏りが学びの偏りにつながると思うからです。
教育格差		人数の差が激しいと、一貫した教育活動が望めないため。
教育格差		人数が少なすぎても多すぎても生徒の育成環境には合わないと考えているため
教育格差		少人数のメリットもあるが、人数によって活動が制限されてしまうから。
教育格差		児童数が少なすぎても多すぎても授業内容に差が出てしまうから
教育格差		市の全小学校で活動を行うときに規模が違っていると差が生じてしまうため
教育格差		極端に学級数が多かったり、少なかったりすると教育活動に支障が生じるから。
教育格差		教育環境や児童数があまりにも違っていると、学習できる内容も大きく異なってしまうため。
教育格差		教育活動がかぎられてしまうことがある
教育格差		教育格差をなくすため
教育格差		教育の平等を図るため、児童の安全面の確保を図るため

どちらかといえば必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
教育格差		教育の質に偏りが生じてしまうと感ずるため。
教育格差		規模に偏りが生じると学習面でも差が出てしまうと感ずるから
教育格差		学校規模を適正化することで、教育内容の偏りが減り、地域差が少なくなると思うから。
教育格差		学校規模を均一化することによって、学校間の情報共有や実践事例の共有がより活発になるため。
教育格差		学校規模の格差をなくす
教育格差		学校間の差をなくすため
教育格差		学校間の格差を、できるだけ小さくすることが望ましいと考えるから。
教育格差		学級数に偏りが出てしまうと、生徒の学びの機会に偏りが生じてしまうと感ずるから。
教育格差		一定規模の集団にすることで、学習環境や指導に偏りがなくなるため。
教育格差		一人一人が適切な教育を受けるのに必要だと思ふから。
教育格差		クラス数の違いにより、学びの幅に大きく差が出てしまうため。
教育格差		1学級しかないのは学びの機会の幅が狭まると思ふ
教員	負担軽減	同じぐらいの人数にした方が、教員の指導の差がなくなると感ずるから。(教科担任制の割合など)
教員	負担軽減	地域に根ざした学校であるので、すぐに統廃合というわけにはいかないと思ふが、市内の学校の人数の格差が大きく、教員の働き方に差があるのではないかと考えるため。(特に校長、教頭、教務主任、養護教諭、事務職員などの一人職)
教員	負担軽減	大規模校、小規模校のそれぞれの良さがあり悪くないと思ふが、年間の教員の持ち時間等、教員の仕事の違いが大きいから。
教員	負担軽減	組織を統合することは、働き方が改善されるきっかけにもなると考えるため
教員	負担軽減	小規模校の教員は、校務分掌が多くて大変だから
教員	負担軽減	小さい学校では教員の負担が多すぎるので、どこも標準程度になればよいかと思ふます。
教員	負担軽減	校務分掌などの、教員の負担に偏りができるため
教員	負担軽減	教科授業等の教員一人ひとりにかかる負担の均一化のため
教員	負担軽減	教科によって持ち時間数に変化してしまう。
教員	負担軽減	教員の負担軽減にもつながる
教員	負担軽減	教員の負担軽減
教員	負担軽減	教員の負担軽減
教員	負担軽減	教員の人数にも限りがあるため
教員	負担軽減	教員の集団としての力を発揮するのに、単学級は厳しいと思ふます。
教員	負担軽減	教員の仕事量の偏りがあると考へたため
教員	負担軽減	教員にも負担があるから。小さい学校は校務分掌がかたより、大変。
教員	負担軽減	学校の規模を可能な限り均一化することで、教員数を均一化し、公務文書の負担を分散するため。
教員	負担軽減	学校ごとの児童数の差をできるだけ均等にできれば、教員の負担も減るから
教員	負担軽減	クラス数により、教員数も変わる。適正な教員数確保のため、クラス数も適正なものがよいと思ふから。
教員	負担軽減	クラスの偏りがなくすることで、どの学校でも教員の負担の偏りがなくなる。
教員	質の向上	再編した方が余裕のある指導ができると考へたから
教員 財政 その他	数の不足 少子化	少子化、教員の不足、予算面から
通学	通学区域の見直し	通学可能である学区編成になるのなら、編成は必要だと思ふから
通学	通学区域の見直し	地域の実情と合っていない通学区域があるため
通学	通学区域の見直し	住宅密集地や中心部に人口が集まるのはしょうがないと思ふ。学校からの適切な距離を考慮し、町名や地区名で学区を分けないようにすれば偏りが減るように思ふ
通学	通学区域の見直し	学区が混ざっているところがあるので、地域によっては統合してもいいのかも思ふたから。
通学	通学区域の見直し	快適な学校生活を送るためにも、通学が可能な範囲で学区の領域を変更し、人数をならしたほうがよいから
通学	通学距離重視	規模としては適切であるが、登校距離が長くなる場合があるため
通学	通学距離重視	学校差が生まれるが、通学時間や地域差があるため、厳しい面があると思われるため

どちらかといえば必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
通学	通学の安全性	登下校の距離に学校ごとの大きな差があると、防犯上での危険が増えていくと思うのから。
通学	通学の安全性	通学区域の見直しにより、下校時に目が行き届かなくなってしまうことや、登校距離が伸びてしまうことにより、児童の負担が増えないか心配なため。
通学	通学の安全性	通学の安全確保
通学	学校選択制	地区で分けて選択制
通学	学校選択制	地域により限定してしまうのではなく、学校選択や幅を持たせる必要もある。
通学	学校選択制	学校の特性を理解して、方針に合った学校を選ぶことは必要だと思います。
通学 人間関係の流動化	通学距離重視	通学の距離が延びてしまうと大変だが、クラス替えは必要と感ずるため。
通学 平等・公平	通学距離重視	教育の機会を均等にするためには必要であると思います。しかし、児童の通学距離が延びてしまう点や、学校数が過度に減少する点には配慮が必要だと思います。
通学 財政 人間関係の流動化	通学距離重視	経済的に可能なのか。遠くなる小学校が大変かと思うが、固定された人間関係が6年間はキツイと思う。
平等・公平		偏りを調節できるのであればよいと思うが、その違いによってよさもあると思うため。
平等・公平		偏りを少しでもなくすことで、大規模な学校であっても指導がいきなりやすくなるから考えるから。
平等・公平		偏りを解消するため。
平等・公平		偏りを解消するため
平等・公平		偏りの解消は必要だが、デメリットもあるため
平等・公平		偏りが大きすぎると教育活動にも影響があると思うから
平等・公平		偏りが大きいから
平等・公平		偏りが生じるから。しかし、統廃合すると通学路が長くなってまなどの問題が生じると考える。
平等・公平		偏りが無いほうが良いから
平等・公平		平等な教育環境確保のため
平等・公平		地域による格差は最小限にすべき
平等・公平		全児童・生徒を同じような環境で育てていけると思うから。
平等・公平		全ての児童が同じような教育を受けることができる。
平等・公平		色々な子供たちの経験が偏らないようにしていきたい。
平等・公平		小規模校が大規模校に比べて不利になることがあるから。
平等・公平		小規模校・大規模校のメリット・デメリットはあるが、それが子供のせいではないので、平等化してもよいのかなと感じたからです。
平等・公平		児童生徒数の極端な差は、学校教育活動に大きな影響を与える。それは学校ごとの「特色」という言葉だけで表現することはできず、多くの児童生徒にとって公正な環境をを目指すべきと思う。
平等・公平		教育の機会に差が出るため
平等・公平		規模によって、同じ行事や活動でも児童への教育的意義が変わってしまう場合がある。
平等・公平		学びを均等にすることも大切だと思います。
平等・公平		隔たりが大きいと子供にとっても教職員にとっても不公平な場合がある。
平等・公平		一人ひとりの児童生徒に対して、より均等に教育を行うようにするためには必要かもしれない
平等・公平		どの子供にも公平な環境をつくる方が良いと思うから。
平等・公平		それぞれが生活する地元で学ぶことは必要ではあるが、様々な待遇面でのバランスとして考えると平等ではない。
平等・公平 教員	負担軽減	学校間で偏りが無い方が、児童や保護者の伸び方の違い、教員の負担等に影響がないと思うから。
平等・公平 その他	地域事情への配慮	通う学校によっての格差は可能な限り無い方がよいと思うから。一方、再編によって伝統としてあった学校に変化が生じるのは地域の方々からすると愛着等失われてしまう可能性もありそう。
社会性の育成		複数クラスある環境で学ぶことで、社会性を身に付けることが必要
社会性の育成		多くの人と関われるから。
社会性の育成		他者とのかわりあい方を学ぶことは今後の人生でとても重要だから。
社会性の育成		生徒数が少なく、十分な集団活動が出来ない可能性があるから。
社会性の育成		人との関わりが必然的に少なくなることによって、それぞれの経験値に、偏りがでると思うから。
社会性の育成		小人数の限られた環境だけでは学べないこともあるから。

どちらかといえば必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
社会性の育成		小集団ではなく、大きな集団で生活することが必要だと思うから
社会性の育成		社会性の育成に差が生まれやすいと考えられるため。
社会性の育成		児童数に偏りがあると、集団で学ぶ機会も減り、学習内容に偏りが出てしまうと思うから。
社会性の育成		義務教育期間の間に一定規模の集団の中に身を置くことはやはり子どもの成長にとって大事だと考えます。
社会性の育成		一定数の集団の中で、色々な人との関係作りを学んだ方が良いと考えるため。
社会性の育成		一定規模の集団生活が必要だと思いました。
部活や学校行事への懸念		中学校では、小規模な学校だと部活動など子供の選びたいものがない場合があるから。
部活や学校行事への懸念		学校規模やクラス数、部活動の大会などに、地域間のギャップを感じるため。
部活や学校行事への懸念		学級数が少ない＝教員数が少ないため、学校行事などの運営に対する負担が大きいと感じているため
部活や学校行事への懸念 教員	負担軽減	小規模の学校では、校務分掌を複数かかえなければならなかったり、行事を行うのに難しい面があったりするため。また、小規模でも、学校の機能を維持するために、必要な人材を確保する必要があるので、統合した方が効率的。
部活や学校行事への懸念 教員	負担軽減	学校が小規模だと、生徒の諸活動も小規模になってしまう。また、教員も少なくなるため、校務分掌等の教員の負担も大きい。
部活や学校行事への懸念 社会性の育成		小規模校ではせつかくやる行事や活動も小さいものになってしまい、もっと多くの仲間の交流させてあげ、幅広い社会性を身につけてほしいと感じるから
部活や学校行事への懸念 人間関係の流動化		学校規模の偏りによって、体育館や校庭、特別教室等の施設の使用に制限があり、行える活動が限られることがあるため。小規模校の人間関係の固定化が心配であるため。
部活や学校行事への懸念 先生の目		行事など、人数によって開催に大きな差が生まれてしまう。また、一人ひとりに目を向けて指導する際にも、どうしても差が生まれてしまうと感じるため。
先生の目		様々な人々と協働する面や児童生徒への指導・支援の面を考えると学校規模の適正化が必要だと考えるから。
先生の目		人数が多すぎると教育(特に生徒指導や教育相談的な面)の質が下がると思うから
先生の目		一人ひとりに目が行き届くから。
先生の目 現状維持		単学級の素晴らしさは、ここの児童に目が行き届くところです。多様な人々と協働しながら、たくましく生きる子供を育成することについては大変必要な事であると考えます。単学級であっても、縦割り活動や地域の方々との交流、オンラインを使った他校との交流等によって、多様な人との協働は可能です。この観点からすると、手厚い個別対応が必要な児童が多い本校においては、統廃合については、「どちらかと言えば必要でないと思う。」という回答になります。
先生の目 人間関係の流動化		少人数のメリットは、個別指導の充実。デメリットは、人間関係の固定化と視野の狭さ。
クラスの人数		偏りはなくした方がよいとは思うが、少人数学級の実現のチャンスでもあると考える。
クラスの人数		学級数の見直しよりも、在籍人数の少人数化を図りたい。
クラスの人数		クラス数よりも、1学級あたりの児童生徒数を基準に考えた方が、学力でも人間性でも向上すると考えるから。1学級30人が妥当。
クラスの人数		クラス数というよりは、学級の人数を30人程度になるとよいと思う
クラス数 通学	通学距離重視	単学級はなるべく無くした方がよい。ただし、それによって通学時間が長時間になることがないよう配慮が必要。
クラス数		小学校は1学年2～3クラスが適正だと思うので。
クラス数		ひと学年が多いと全員の生徒を把握できない。生徒間も話さずに卒業する場合があるから。
時代に合わせた教育環境の整備		時代や子供の数の変化に対応できれば良いと考えたから
時代に合わせた教育環境の整備		時代の変化に合わせて学校も変わるべきだと思うから。
時代に合わせた教育環境の整備		効果的な学習環境を整えるため
多様な価値観の形成		単学級では、児童の世界が6年間変化がなく成長と思うため。
多様な価値観の形成		小規模では、多様な人と出会う、協力するという体験が不足だと思う。
多様な価値観の形成		学級が複数あることで、人間関係の広がりや、多様な意見を聞くなど教育的にも良い面があると思うため。

どちらかといえば必要である（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
能力向上・刺激		様々な教員のアイデアをもとに、教科指導や行事の取組が行われるためには、標準程度の学級数がよいと考えるため。
能力向上・刺激		生徒数によって、可能な取り組みや不可能な取り組みの差が出てきてしまう。
能力向上・刺激		児童生徒一人一人の活躍の場が広がるほうが良いと思うから。
教育環境	規模	学校の規模の差が大きいから
教育環境	地域差のない教育	学校によって格差が生じるのはよくないと思うから。
学校施設 人間関係の流動化	使用頻度	多すぎて施設が使いづらいのも、少なすぎて人間関係が固定化しやすいのも児童の育成にとってあまりよくないと思うから。
学校施設 多様な価値観の形成 通学	空き教室 通学の安全性	空き教室を作らない。様々な生徒との交流することにより、考え方や学びを深くさせる。ことができる一方、通学の不安や安全性の確保など課題となる。
居住地選択理由 通学	通学距離重視	住居を構えるのに学校も選択の一つであると考え。自分が思っていたよりも良い学校に通学できるのであれば問題はないが、そうでないと混乱が生じる可能性もありそう。統廃合により、通学時間が倍になるのは避けたい。
その他	地域事情への配慮	地域毎に偏りがあるため様々な教育活動で差が生じてしまうから。
その他	地域事情への配慮	地域の特性に配慮して、柔軟に検討するのがよいと考えるからです。
その他	検討の進め方	適切な学びの場としての需要があるかどうかは、時代の変化に合わせて検証する必要があると思うから。
その他	検討の進め方	丁寧に時間をかけて考えていくべきである
その他	少子化	将来の子供数の減少
小規模校の良さを生かす		大規模を少なくすることは必要であると思うが、小規模を統合することについてはどちらかというと反対である。

どちらかといえば必要ではない（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
通学	通学距離重視	こどもが学区変更により通学困難になってしまうかも知れないので。
通学	通学距離重視	学校からの距離が遠くなると、大変だから。
通学	通学距離重視	学校数が少なくなることで、通学範囲が更に広がってしまうから。
通学	通学距離重視	近隣の学校の有無において、編成されている。そのため、子供たちの人数に応じて再編すると通学の際にかかる時間が長くなってしまいう児童生徒が生じてしまう可能性が考えられるため。
通学	通学距離重視	現在の学校でさえ、20分以上かけて登下校している児童がいます。スクールバスなどの配慮があればよいと思いますが、登下校が統合されてしまうと倍以上になると聞いていますので少し心配しています。
通学	通学距離重視	人数の適正化も大切だが、それよりも、家から近いところに通えるほうが大切だから。
通学	通学距離重視	通学にかかる時間や距離に無理が出ないか心配です。
通学	通学距離重視	通学距離が伸びてしまい、通学に時間がかかると危険なため。
通学	通学距離重視	通学距離が長くなり児童の負担が大きくなる。
通学	通学距離重視	通学距離時間の方が大切だと思う
通学	通学距離重視	通学時間が長くなってしまふから。
通学	通学距離重視	通学時間を考えて、無理に遠くの学校に行くことがないようにした方がよいから。
通学	通学距離重視	統廃合しようにも通学距離の問題等が発生すると考えるため
通学	通学の安全性 通学距離重視	学校再編を行うことで、通学時間・距離による子どもたちの負担が増える、見守り等の安全確保が十分にできなくなる、といった懸念が生じるため。
通学	保護者の負担	通学が大変になるという理由で、保護者が困ることがありそうだから。
通学		つうががきになる
通学		生活区に沿った学区を定めるべきだと思うから
通学 地域の特性	通学距離重視 スクールバス	地域性が薄れる可能性がある。学校が遠くなる可能性もある。スクールバスを導入したら（児童生徒の安全のためとはいえ）、費用もかかる。市民が納得して負担できるのか不明。
通学 教員	通学距離重視 人数	通学路の問題や、教員の雇用の問題
通学 地域の特性	通学距離重視	学校までの距離や、地域でのこと等がうまくいくのであれば、必要だと思う。そうでなければ、無理やり統廃合するのは、よくないと思う。
通学 教員	通学距離重視 負担軽減	通学区域を見直すことで、偏りが解消されるかもしれないが、より学校までの距離が遠くなってしまふ児童がいるのではないかと考える。また、通学班や通学路の変更、通学や登校時の安全確保など、働き方改革と言われている中で教員や管理職の仕事が増えすぎると考えたため。
通学 学校規模の平準化	夏場の通学の安全性	通学路が広くなり通学時間が長くなると熱中症等の危険性が増すため。ただクラスの平等化は必要であると思う。
地域の特性		その環境の違いも学校や地域の特色であり、全て同じようにしなくてもよい。
地域の特性		それぞれの学校が築いてきた地域とのつながりや地域の特色もあると思うので、人数だけで割り切れるものではないと思うから
地域の特性		地域の特性があることは仕方が無い。
地域の特性		地域の特徴を生かした教育も必要と考える。
地域の特性		地域性があり、学校の校風になじまない恐れがありそうです。
地域の特性		地域性があるので、無理に再編する必要はないと思う。
地域の特性		廃校になった学校の卒業生の気持ちを考えて
偏りを許容		偏りがあっても、学校数があるとそれぞれの学校の取り組みや良さが出ると考えるため。
偏りを許容		本当に少ない学級数のみの学校では必要と感じるため。市内で2～3校
偏りを許容		様々な規模の学校があることによって学校教育の多様性が生まれると思うから。
クラスの人数 通学	通学距離重視	クラス人数の適性化も必要であるが、そのために遠方の学校へ通うようにするのは違うかと思います。
クラス数		クラスの数を均等にした方がよいと思うから。
教育格差		地域によって学力の差があるから
現状維持		現状のままでよい
時代に合わせた教育環境の整備 先生の目	小中一貫	通学区域によって小中連携がしやすいと思うし、教師も生徒に目が行き届きやすいと思うから
将来また再編が必要		通学区域を見直ししても、また数年後に偏りが出るといけないから。

どちらかといえば必要ではない（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2 「問7-1」で回答した理由を教えてください。
小規模校の良さを生かす		小規模で学ぶこともあると思うから。
地域とのつながりが必要		数値的な部分では必要であるが、卒業、在校児童の気持ちや地域の方々の気持ちを考えると積極的になれない気持ちがある。

必要ではない（教員アンケート）

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
通学	通学距離重視	統廃合を行うことで、通学距離が伸びる児童・生徒が増えるため
通学	通学距離重視	統廃合すると、学区が広くなり、低学年児童の通学が困難。
通学	通学距離重視	通学時間や自転車などの駐輪台数の上限を考えた結果距離で学校数を決めるべき
通学	通学距離重視	通学の距離は、伸ばせない。
通学	通学距離重視	遠距離通学をすることは大きな決断であり、いろいろ課題が大きい。また、身近の学校の方がメリットが大きい。
通学 地域とのつながりが 必要	通学距離重視	クラス数のみ考えると、児童の通学時間が伸びたり、地区によっては、地域の学校がなくなり、地域の方のつながりや協力が得られなくなるから、学校統廃合に反対です。
通学 クラスの人数	通学の安全性 通学距離重視	統廃合をすると、学区が広くなり、通学に時間がかかることが考えられるため。最近では、登下校を狙った犯罪も増えており、児童生徒が犯罪や交通事故に巻き込まれる危険性が高くなるのは良くない。また、クラス数が増えて、一クラスの人数も増えてしまうのであれば、質の高い教育を続けられるか不安であるため。一人の教員に対して、担当する児童生徒が増えてしまっは本末転倒であると考えます。
地域事情への配慮		地域の特色をよりよく生かすため
地域事情への配慮		各地域の特色があるので、無理に見直す必要はないと思うから。
地域事情への配慮		その地域の特色やよさがあるため。
クラスの人数 将来にまた再編が 必要		学校規模に偏りはあるが、数年経つとそれも変化していくため、今の現状で適正化するのは必要ではないと思う。クラス数よりも、1クラスあたりの児童の人数を考えて行く必要があると思う。1クラスあたりの人数が少なければ、クラス数が多くても特に問題はないのではないかと。
現状維持		登下校の変更は混乱が生じるため、現状のままでよい。
現状維持		現在の環境が適していると思うから。統合することでの課題が様々にあると思う。ただし、職員の数にはさらに必要だと思う。
将来にまた再編が 必要		地域内でも子どもの数が増減するので、その都度見直すのはややこしくなりそうな気がする
小規模校の良さを 生かす		地域に根ざした教育を進めることと、小規模校には小規模校のよさがあるから。
小規模校の良さを 生かす		単学級ならではの、教職員の働き方やコミュニティの小ささの良さ、子供の安心できる学級が6年間継続できる。
地域とのつながりが 必要		地域との交流が希薄になってしまうため。
施設の複合化		静かな学びの場所を生徒達には提供したい。いろいろと複合施設にしてしまうのはどうかと考える。
教員	数の不足	現在の環境が適していると思うから。統合することでの課題が様々にあると思う。ただし、職員の数にはさらに必要だと思う。
廃校への懸念		学校を減らすことや増やすことには反対。さまざまな問題が生じる。

大項目	中項目	問7-2「問7-1」で回答した理由を教えてください。
通学	通学距離重視	合併した方がよい学校もあると思うが、通学距離が長くなるなら必要かどうか分からない
通学	通学距離重視	地域によって実態が違うのは仕方ないことである。統廃合して一定規模になることはよいが、通学時間がかかりすぎてしまわないか心配
通学	通学距離重視	地域によって通学路が長くなってしまふのは良くないと思うから。
通学	通学距離重視	通学の時間や距離も関係してくるから
通学	通学距離重視	通学区域を見直すことによって通学距離が長くなってしまふと、子供たちへの負担が大きくなる。オンラインを活用して学校間をつなげていく教育も同時に検討できないかと考えたため、上記の回答を選択した。
通学	通学距離重視	通学時間も考えた方が良いため
通学 地域とのつながりが 必要	通学距離重視	通学区域を見直すことで、登校にかかる時間が長くなったり、今までであった地域とのつながりが希薄になってしまうのであれば、難しい問題だと思う。
通学	通学の安全性	統廃合はある程度は必要かもしれないが、それによって通学距離が遠くなり子供たちの安全が確保できなくなる恐れもあるため
通学	通学の安全性	偏りを解消する必要性はあると思うが、学校が遠くなり通学時間が長くなるのは身体的にも精神的にも負担が生じると思います。また、一人で登下校する時間が長くなるのは安全面で心配。
通学	夏場の通学の安全性	人口の密集度合いが違うため、通学距離が大きく影響すると考えられる。今年のような熱中症が心配される時期の登下校の安全確保を考えると安易に学区を広げてよいのかわからない。
通学 学校施設	通学区域の見直し 空調	統廃合ではなく、区域の見直しが必要であると思います。新しい施設は お金もかかりりません。そのまゝに 特別教室などにエアコンを設置してください。
一長一短		それぞれの良さや弊害があるため、どっちとも選べない。また、実現するには、かなり大変そうだから。
一長一短		どちらかを解決すればどちらかに不都合が生まれたりするかもしれない。
一長一短		どちらにも一長一短あると思うので。
一長一短		よさはそれぞれだと思うから
一長一短		色々な学校がある中で各々の良さがあり、それをなくしたことでデメリットもおきくと思うから。
一長一短		人間関係が固定されてしまうのは、よくないとも思うが、大規模・小規模の良さもあるとも思うので、なんとも言えません。
クラスの人数		学級数が多いことはそこまで問題ではないと考える。単学級では仕事の負担は増えるが、子供達のことをよく見ることができるのは利点であると考え。問題は、1クラスの人数が多いところにある。安易に学校規模で統廃合を考えるのではなく、1クラスの人数がMAXに近い数になっている学校を中心にどうしていくべきか将来を見据えた検討が望ましいと考えるため。
クラスの人数		通学距離や通学時間、学校の大きさなどさまざまあるから。クラスが減っても、クラス内の在籍人数が増える場合は、生徒にとっても教員にとっても良いことはないから。
学校規模の平準化		大規模校は、新設校を作り2つに分けて、中規模校程度の規模にしてほしい。
子どもの負担軽減		通学区域を見直す通学時間が以前よりもかかり、通学の負担が増える児童が出てくる可能性があり、その負担と規模の偏りの解消を考えたとき、どちらを優先するべきか判断がつかないため
教員	負担の軽減	上記を行うことにより教職員の負担がどうなるか分からないから。逆に教員の数を倍にし、各クラス3名体制。A先生は授業専門。B先生は保護者対応専門 C先生は成績処理専門 のような細分化する必要があると考える。
地域とのつながりが 必要		地域のつながりや思いの大切さも、断ち切らないような工夫がおもいつかないから。
その他	検討の進め方	児童生徒の実際の声を聞いておらず、大人の都合のみによる回答となってしまうため。
その他	判断できない	あまり分かりません。
その他	判断できない	どちらともいえないため。
その他	判断できない	小規模校で勤務した経験が少ないから
その他	判断できない	深く考えたことがない。
その他	判断できない	担任をまだもっていないため
その他	判断できない	難しい内容だと思います。
その他		規模に見合った環境ではなかったり、規模による違いや差を感じたりすることがあるため。
その他		経験年数があさいため